



# 札幌市立大学年報

平成30年度  
(2018年度)



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY



# 目次

## I 概要

1 大学の概要	1
2 デザイン学部の概要	4
3 看護学部の概要	5
4 デザイン研究科の概要	6
5 看護学研究科の概要	7
6 助産学専攻科の概要	8
7 平成30年度の特筆すべき事項	9
8 行事	10

## II 教育活動

1 教育活動概要	12
2 共通教育・連携教育	13
3 デザイン学部	15
4 看護学部	31
5 デザイン研究科	52
6 看護学研究科	58
7 助産学専攻科	70
8 デザインと看護の連携教育	73

## III 研究活動

1 個人研究費による研究一覧	75
2 学内公募研究課題一覧	78
3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況	79
4 寄附金の受入状況	80
5 その他研究助成	81
6 海外出張記録	81

## IV 社会活動

1 地域貢献諸活動	84
2 公開講座開催実績	97
3 国・自治体審議会等への就任状況	100
4 専門職支援・セミナー講師等	106
5 国際交流実績	113
6 サテライトキャンパスの利用状況	114

## V キャリア支援活動

1 デザイン学部	115
2 看護学部(助産学専攻科含む)	120
3 デザイン研究科	123

## VI 平成31年度入学者選抜結果

1 デザイン学部・看護学部	126
2 デザイン研究科・看護学研究科	132
3 助産学専攻科	136

## Ⅶ 附属図書館

1 概要	138
2 利用状況	139

## Ⅷ 法人・学内運営の概要

1 平成30(2018)年度公立大学法人札幌市立大学 組織図	140
2 役員会及び審議会の審議状況	140
3 役員会及び審議会委員名簿	141
4 経営会議	142
5 部局長会議	142
6 企画室	143
7 広報室	143
8 教授会	143
9 地域連携研究センター	144
10 附属図書館	145
11 アドミッションセンター	146
12 キャリア支援センター	146
13 教育支援プロジェクトセンター	146
14 学内委員会	146
15 構成員名簿	148
16 FD・SD活動	154

## Ⅸ 資料

1 平成30年度年度計画	156
2 平成30年度決算	166
3 教職員数	167
4 管理職一覧表	168
5 学生定員及び学生数	169
6 授業料等	170
7 奨学金貸与・授業料減免実施状況	170
8 学生の入選・受賞	172
9 学生の課外活動	173
10 後援会	174
11 教育・研究刊行物一覧	174
12 施設	175
13 大学へのアクセス	180
14 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』	181

## X 教員一覧

1 教員一覧	182
2 教員業績一覧	183



# I 概要

## 1 大学の概要

### 1) 設置の経緯

環境問題や少子高齢化、高度情報化、国際化などの進展に伴い、社会構造がますます複雑化する中で、学術研究の高度化、学際化とともに、社会では高い資質と能力を持った職業人が強く求められている。

特に、札幌市においては、公共事業の削減が進む中、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要であり、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

また、今後も当分の間、看護職の不足が続くと予測されているにもかかわらず、看護職養成施設の廃止や定員の削減に伴う新卒看護職の減少が懸念されている。そうした中、在宅医療を支える訪問看護等の需要増加を始めとして、今後は、患者の生活の質向上を目指したケアを行うことができる、広範で高度な看護能力を有する看護職の確保が求められている。

一方、今日の高等教育機関には、その高度な教育研究機能を通じて、これまで以上に地域社会への貢献を果たすことが大きな社会的要請となっている。

平成3年に開校した札幌市立高等専門学校は、中学卒業時から5年間の早期一貫教育を行うデザイン系高等教育機関として、実践的職業人を数多く輩出してきたほか、企業や行政からの受託研究などを通じて、産業の振興や市民生活の向上に貢献してきた。

また、昭和40年に開校した札幌市立高等看護学院は、高校卒業後の3年課程の専修学校として、市立札幌病院を始めとする札幌市内の医療機関に看護職を多数輩出し、市民の健康支援に貢献してきた。

このような状況の中で、先の地域課題への対応や社会的要請にこたえるために、札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院の大学化の必要性と方向性について幅広い論議を行うべく、平成13年11月、「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」を設置した。

大学化検討懇話会は、市民論議の中心的役割を担う立場から、インターネットを始め、さまざまな形で寄せられる市民の意見に耳を傾け、審議経過を逐次公開しながら検討を進め、平成14年12月、約1年間にわたる市民論議の集大成として、「札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院が社会構造の変化に的確に対応し、かつ、地域社会の要請にこたえていくためには、4年制大学化によるレベルアップをできるだけ早期に図る必要がある。」とした「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」をまとめた。

こうした市民論議の経過を踏まえて、札幌市では、平成15年9月に「(仮称)札幌市立大学基本構想」を策定し、平成18年春の開学を目指すこととした。

そして、この基本構想に盛り込まれた方向性を具体化するために、平成15年11月に大学教育の専門家を中心とする「(仮称)札幌市立大学設置準備委員会」を設置して調査・審議を進め、学部・学科や教育課程、学生の受け入れ、校地・校舎のあり方といった事項について、準備委員会における検討内容を踏まえて、平成16年7月に「(仮称)札幌市立大学基本計画」を策定し、平成17年4月に札幌市立大学の設置認可申請を行った。同年12月に大学の設置が認可され、平成18年4月に開学した。

また、デザインと看護の学部での教育を基盤として、より高度な専門的知識を有する高度専門職業人及び研究者・教育者の育成を目的として大学院修士課程を設置することとした。

大学院修士課程は大学院基本計画に基づき学部1期生の卒業時期に合わせた開設が計画され、平成21年5月に札幌市立大学大学院設置認可申請書を文部科学省に提出、10月に大学院の設置が認可され、平成22年4月に札幌市立大学大学院修士課程を開設した。

大学院修士課程の開設と併せて、より高度な能力を持った助産師の養成が必要とする社会的要請を受け、本学に助産学専攻科を設置して助産師を育成することとした。

その後、平成23年5月に大学院デザイン研究科・看護学研究科の課程変更認可申請書(修士課程を博士課程に変更)を文部科学省に提出、同年10月に認可され、平成24年4月に大学院デザイン



研究科・看護学研究科に博士後期課程を開設するとともに、両研究科の修士課程を博士前期課程に改称した。

## 2) 理念

札幌市立大学では、造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させたデザイン学と看護学を教育研究の対象とする。

また、札幌市立大学では、次の二つの理念を掲げて、デザイン学及び看護学に関する教育研究に取り組むとともに、社会における有為な人材の育成に取り組む。

### ① 「人間重視を根幹とした人材の育成」

デザイン学と看護学は、いずれも人間を対象とした学問領域であることから、両者に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、一人の人間から社会全体までを対象に、安全で快適な暮らしを創造できる職業人を育成するとともに、知識・技術に加え、教養と人間性を涵養し、有為な人材を育成する。

### ② 「地域社会への積極的な貢献」

札幌市立大学が市民からの負託にこたえ、「市民に開かれた大学」、「市民の力になる大学」、「市民が誇れる大学」という三つの視点を掲げて、地域貢献という使命を果たし続けていくため、時代の要請に柔軟に対応しながら質の高い教育研究を追究する。

## 3) 特長

札幌市立大学では、教育研究上の理念のもと、「デザイン学部」及び「看護学部」の二つの学部を設けて教育研究を行うとともに、次の二つの特長を備え、開学後及び将来にわたっての大学の基本的な方向性としている。

### ① 「デザイン学部と看護学部の連携」

デザイン学部と看護学部を併せ持つという特長を生かし、両学部の教員が連携・共同して教育を行うとともに、保健・医療・福祉分野を対象とするデザインなどを共同研究し、両学部の連携を目指す。

### ② 「幅広いネットワーク」

行政施策や公的機関、市民、産業界などと連携することにより、幅広いネットワークを持った大学とし、地域課題等に対応した教育研究を積極的に展開することを目指す。

## 4) 目的

### ① 学術研究の高度化等に対応した職業人の育成

デザインと看護に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、デザイン分野においては、幅広いデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、看護分野においては、医療の高度化に対応する知識・技術に加え、問題解決能力を有し、他職種と連携できる職業人の育成を目指す。

### ② まちづくり全体により大きな価値を生み出す「知と創造の拠点」

デザイン学部の設置によって、産業や芸術・文化の振興、都市機能・都市景観の向上などへの貢献を果たすとともに、看護学部の設置によって、少子高齢社会における地域看護の充実、看護職への学習機会の提供などを通じた、市民の健康の保持増進への貢献を果たす。

また、札幌市の行政施策との緊密な連携によって、地域課題の解決に積極的に取り組み、その成果を広く市民に還元して地域貢献を実現する。



## 沿革

昭和40年4月	札幌市立高等看護学院 開校
平成3年4月	札幌市立高等専門学校 開校
平成8年4月	札幌市立高等専門学校専攻科 開設 札幌市立高等専門学校附属研究所 開設
平成13年11月	「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」設置
平成14年12月	同懇話会による「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」
平成15年9月	「(仮称)札幌市立大学基本構想」策定
平成15年11月	「(仮称)札幌市立大学設置準備委員会」設置
平成16年7月	「(仮称)札幌市立大学基本計画」策定
平成17年12月	大学設置認可
平成18年3月	公立大学法人札幌市立大学 設立認可
平成18年4月	札幌市立大学 開学
平成18年10月	サテライトキャンパス 開設
平成19年4月	地域連携研究センター 開設 アドミッションセンター 開設
平成20年3月	札幌市立高等看護学院 閉校
平成20年4月	キャリア支援センター 開設
平成20年8月	認定看護管理者制度サードレベル教育課程 開講
平成21年3月	札幌市立高等専門学校本科 閉科
平成21年10月	大学院(修士課程)設置認可
平成21年12月	助産学専攻科の助産師学校指定通知
平成22年4月	大学院(修士課程)デザイン研究科・看護学研究科・助産学専攻科 開設
平成23年3月	札幌市立高等専門学校専攻科 閉校
平成23年10月	大学院(博士課程)変更認可
平成24年4月	大学院(博士後期課程)開設 大学院(博士前期課程)に改称
平成27年5月	COCキャンパス「まちの学校」開設
平成30年4月	まこまないキャンパスに改称(旧称:COCキャンパス「まちの学校」)



## 2 デザイン学部の概要

### 1) 特色

デザイン学部では、大学の特色を踏まえ、幅広い職業人の育成を行うことを基盤とし、デザインという特定の専門分野の教育研究を通じて、社会に貢献することを特色としている。具体的には、優秀で創造的な人材を社会に輩出するほか、企業との共同研究や受託研究といった産学連携、個人の創造性・スキルに基盤を置き、知的資産によって価値を生み出す創造的な産業の振興などを通じて社会に貢献するものである。

また、平成17年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある七つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、デザインという「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

### 2) 教育目的

デザイン学部では、次のような人材の育成を目的とする。

#### ① 幅広いデザイン能力を持った人材の育成

デザインの基礎的な理論や技術について幅広く教育を行い、高度な職業人に必要なデザイン能力を持った人材を育成する。

#### ② 人間中心の視点に立ったデザインに取り組める人材の育成

造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させ、人にやさしいデザインや使いやすいデザインなど、人間中心の視点に立ったデザインに取り組むことのできる人材を育成する。

#### ③ 地域社会に貢献できる人材の育成

時代や社会の要請を的確に捉えた教育研究に取り組むとともに、地域産業や芸術・文化の振興をはじめ、都市機能や都市景観の向上など、まちづくり全体に幅広く貢献する人材を育成する。

### 3) 育成する人材像

札幌市においては、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野や、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要視されており、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

デザイン学部では、そうした社会の人材需要にこたえるとともに、教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

#### ① 多様なコミュニケーション能力

的確に意思疎通を図り、豊かな人間関係を形成することができる能力のほか、海外とのコミュニケーションに必要な実用的な英語能力、高度情報化社会に不可欠な情報処理能力を養う。

#### ② 課題探求能力と問題解決能力

社会の課題やニーズを自ら探求する能力と、その問題をデザインによって解決することのできる能力を養う。

#### ③ デザインの基礎となる表現力

豊かな感性を涵養するとともに、創造的な発想と豊かな表現力を養う。

#### ④ 人間や環境に配慮したデザイン思考能力

人間にとって使いやすいデザインや環境への負荷に配慮したデザインを行う能力を養う。

#### ⑤ 新たな価値を発見する柔軟な発想力

固定観念にとらわれず、さまざまな視点からデザインに取り組むことのできる柔軟な発想力を養う。

#### ⑥ 企画力や管理・運営能力

デザインを実践的に活用することのできる企画力や管理・運営能力を養う。





### 3 看護学部の概要

#### 1) 特色

看護学部では、幅広い職業人を育成することを基盤として、看護学という特定の専門的分野の教育研究を通じて、社会貢献を果たしていくことを特色としている。具体的には、確実な看護実践力を持ち、高い資質を有する看護職を輩出するとともに、保健・医療・福祉行政や関係機関などと連携し、地域看護の充実や市民の健康の保持増進につながる研究を通して社会に貢献するものである。

したがって、看護学部では、平成17年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある7つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、看護という「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

#### 2) 教育目的

看護学部では、看護職として活躍する次のような人材の育成を目的とする。

##### ① 的確な実践力を有する人材の育成

看護は、看護の理論や知識を基盤とした看護実践を通して研鑽を重ねつつ、専門性を深める学問である。

高度・専門化する医療、多様化する看護ニーズに対応するためには、緻密な観察に基づく的確な判断能力と技術力、さらにこれらを基盤とした問題解決能力が求められる。また、人々がより高い水準の健康を維持・獲得するためには、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を用いて、自律的にケアを推進する実践的な援助能力が求められる。

このため、あらゆる健康レベルや場において、人々が快適で安全に安心して生活できるよう、理論・知識・根拠に基づき的確に看護を実践できる技術と能力を有する看護職を育成する。

##### ② 人間性を尊重した対人関係形成能力を備えた人材の育成

看護の援助過程は、看護職と看護を必要とする人との人間関係形成により進行するものである。看護職は、人間の尊厳を重視し、安心感を与える態度・態様が求められるとともに、看護行為を実施する上では、すべての人に対する人権の擁護と倫理的判断ができるように常に志向することが肝要である。

また、医療施設における看護はもとより、福祉施設や在宅における看護、地域における看護など、看護職に求められる能力、期待される役割が増大しているとともに、高度化する医療は、さまざまな職種の医療従事者を必要としており、看護職や他の従事者と連携・協働し、対象である人間を中心とする視点に立った医療・看護を提供することが重要である。

このため、対象あるいは医療従事者間との意思疎通を図り、対人関係の形成のために、身体的側面だけではなく、心理的、社会的側面から人間を理解し、幅広い教養を基盤とした豊かな人間性と倫理観を備えた看護職を育成する。

##### ③ 地域社会に貢献できる人材の育成

市民の健康に対するニーズの増大や価値観の多様化などに伴い、看護職に対する需要は増大、複雑化してきており、本学では、このような地域の看護需要に対応することが必須になる。

このため、保健・医療・福祉などの学びに加えて、幅広い分野・職種と連携し、創造的、主体的に学習することで、積極的に地域社会における市民の健康の保持増進に貢献できる人材を育成する。また、看護職に対する需要は、それぞれの地域ごとに異なっており、札幌市はもとより、北海道内あるいは全国的な視点から、看護の発展に寄与できる看護職を育成する。

#### 3) 育成する人材像

札幌市には、多くの高度・専門的医療機関が立地し、北海道における高度・先進的医療技術の中核的役割を担っている。少子高齢化が急速に進行し、さらに、独居老人世帯数、高齢夫婦世帯数も増加しており、このような社会情勢に的確に対応した看護職が求められている。

このため、看護学部では、医療機関における高度・専門的医療を担う看護職を育成することはもとより、在宅の高齢者等に対する看護、保健指導など地域の看護需要に対応できる看護職を育成す



ることとし、こうした社会の人材需要の充足と教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

- ① 対人関係形成能力  
豊かな人間性と倫理的判断力を備え、安心感を与える的確な意思疎通により対人関係を形成できる能力を養う。
- ② 権利擁護・安全なケア提供能力  
さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階、さまざまな場において、対象の権利を擁護し、安全なケアを提供できる能力を養う。
- ③ 的確な判断能力と問題解決能力に基づく看護実践技術力  
緻密な観察と科学的知識に基づく的確な判断能力と問題解決能力を培い、これらを基盤とした看護実践技術力を養う。
- ④ 医療従事者間における調整・指導のための基礎的能力  
看護対象者の視点から保健・医療・福祉を追究し、各分野における看護の専門性と役割を認識の上、医療従事者間の調整や指導的役割を担うための基礎的な能力を養う。
- ⑤ 課題解決力を高めるための自己研鑽能力  
主体的・創造的に課題探求に取り組み、解決する力を高めるために継続的に自己研鑽できる能力を養う。

## 4 デザイン研究科の概要

### 1) 特色

デザインの役割が拡張し、従来のように造形や視覚表現にとどまらず、社会や地域、産業等の複雑な問題をデザイン課題として受け止め、人間や環境に配慮したデザイン提案によりその解決策を実現できる、高度なデザイン能力を有する人材が必要となっている中で、デザイン研究科では、よりよい地域社会の実現に貢献できる高度専門職業人及び研究者・教育者を育成するため、以下の能力を修得することを特色とする。

また、平成17年9月中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の四つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組む。

#### 【博士前期課程】

- ① 複合的かつ複雑な課題・問題を解決する「課題解決能力」
- ② デザインを通じて新たな価値を見出す「創造力」
- ③ 課題・問題の発見、分析から具体的事業化までを一貫したデザインプロセスとしてまとめる「企画調整能力」
- ④ 一連のデザインプロセスを具体化する「実践能力」

#### 【博士後期課程】

- ① 自身の専攻分野の専門的知識・技能を中心としつつ、関連近隣分野の基礎的素養をも修得し、幅広い見識から事象の本質を捉える「課題発見・分析・解決能力」
- ② デザインの視点を通じて自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究遂行能力」
- ③ 国内外の専門家や研究者とのコミュニケーションを図りながら、広く社会全体を俯瞰し、「リーダーシップ」を発揮できる確かな「調整力」及び「指導力」



## 2) 教育目的

## 【博士前期課程】

地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業、芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としている。

## 【博士後期課程】

自立した研究者として独創的な視点から社会課題を発見するとともに、深く研究に取り組み、デザイン分野における学術理論及び技能の高度化の追求を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

## 3) 育成する人材像

## 【博士前期課程】

- ① 屋内外の様々な空間を対象とする空間デザイン分野において、人間の生活や自然環境に配慮しつつ、建築デザインや環境デザインに関する高度なデザイン能力を有する人材
- ② 人間生活に欠かせない多様な製品並びにそれを支えるインタフェース（操作性）について、人間中心の生活システムとしての製品やそのインタフェースをデザインできる高度なデザイン能力を有する人材
- ③ 人々の豊かなコミュニケーション活動を支えるコンテンツの制作と、多様なコンテンツのメディア展開を企画・構築し、運営に至るプロセスをプロデュースできる高度なデザイン能力を有する人材

## 【博士後期課程】

- ① デザインを通じた組織構築や質改善のためのシステム開発を実践し、組織において指導的立場となり得る人材
- ② 自立して研究活動を行い、デザインの学問的体系を構築できる人材

## 5 看護学研究科の概要

## 1) 特色

近年、看護分野は専門分化しており、これに対応する卓越した実践能力を有する看護職及び統合的な調整能力を有する看護管理者の育成が急務となっている。

また、これら卓越した臨床能力及び看護の専門性のさらなる向上には、看護の未来を見据えた洞察力・創造力を有し、学問的理念を基盤として研究を推進する自立した教育者・研究者の果たす役割が大きい。

看護学研究科は、このような社会の要請に応える人材を育成し、札幌を発信源に、21世紀の看護の一端を担い、これを保健・医療・福祉分野へ発信できる、看護のバランス感覚に優れた人材の育成を目指している。

なお、本研究科では、平成17年9月5日中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の4つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組むことを特色とし、以下の能力の修得を目指している。

## 【博士前期課程】

- ① 正確性・緻密性及び独創性を有する高度な臨床看護実践能力
- ② 高度な倫理観に基づき、専門看護分野において分析・判断・行動・評価ができる能力
- ③ 他職種と協働し、看護における将来展望に資する統合・調整ができる能力
- ④ 積雪寒冷地における健康づくり支援に取り組む能力

## 【博士後期課程】

- ① 看護に対する社会的課題を的確に認識し、将来を見据えた技術開発やシステムの検証・創出、組織での施策提言等を行う能力



- ② 豊かな人間性や広い視野に加え、高度な倫理観、専門知識や技能に裏打ちされる高い管理能力、指導能力
- ③ 高度な学識と臨床の両面から、看護学の基礎研究や応用研究に自立的に取り組み、実践科学としての看護学を追究する能力

## 2) 教育目的

### 【博士前期課程】

保健・医療・福祉分野における様々な課題に主体的に取り組む高度な看護実践能力を有する看護職及び総合的な調整能力を有する看護管理者の育成を目指し、市民の健康の保持増進への貢献を果たすことを目的としている。

### 【博士後期課程】

自立した研究者として、様々な看護現象に対して深く研究に取り組み、看護の枠組みの再構築やシステム開発や、技術開発などを行い、看護分野における学術理論及び技能の高度化の追究を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

## 3) 育成する人材像

### 【博士前期課程】

- ① 保健・医療の中核を担う高度臨床看護実践者の育成（専門看護師を含む）
- ② 総合的に看護ケアをマネジメントする看護管理者の育成
- ③ 地域や在宅においては健康な生活と福祉の向上に率先して貢献する看護職の育成
- ④ 看護の未来を創造・開拓する看護研究者・看護教育者の育成
- ⑤ 看護技術の開発及び評価能力を備える人材の育成
- ⑥ 幅広い視野のもとで新しい看護システムや制度の開発に資する人材の育成

### 【博士後期課程】

- ① 看護学の基礎研究・応用研究に自立的に取り組み、人材育成システムの検証・提言ができる研究者・開発者
- ② 確かな知識や技術、倫理観を基盤として、看護職者を志す人々に質の高い教育を実現し、さらに新たな教育制度や方法、カリキュラム等の創出に寄与できる教育者
- ③ 看護現象の分析・評価を通じて、看護システムをグローバルに構築・変革し、自ら行動する高度専門職業人及び看護管理者を養成・指導できる教育者・管理者

## 6 助産学専攻科の概要

### 1) 特色

助産学専攻科では、学士課程4年間において培った自己研鑽力が発揮できる教育課程を特色としている。

その1つとして、選択科目を設定せず、学生個々に助産学に広く関連した課題を発見し、自ら学びを深める機会を創っている。加えて、この学びの更なる発展に向け文献研究を行う。

また、1年間の学修では、助産師に必要な基本的知識・技術を土台に、ハイリスク事例に対応できるような高度な知識・技術を熟練した助産師と専門医のもとで修得する。この学修では、看護師資格が大いに役立っている。

### 2) 教育目的

札幌市立大学の理念である「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を基盤に、各種助産技術能力の正確な修得を目指し、次のような教育を目的とする。

- ① 助産師に必要な基本的かつ高度な知識が修得できる。
- ② 助産師に必要な基本的かつ正確な助産技術が修得できる。
- ③ 助産師に必要な知識と技術を統合し、助産ケアが実践できる。



### 3) 育成する人材像

北海道、札幌市においては、需給見通しで助産師の不足が見込まれる一方、産科医師の減少などにより、助産師の需要がさらに増加する可能性がある。また、少子高齢化が急速に進行する中で、より一層安全で安心な分娩介助が求められるとともに、思春期や更年期への相談など、助産師が担う役割は広範化・高度化する傾向にある。

このため、助産学専攻科においては、次のような人材を育成する。

- ① 助産に関する高度な知識と正確な技術を幅広く有する助産師
- ② 地域社会における母子健康の向上に貢献できる助産師
- ③ 人間性豊かな助産師

## 7 平成30年度の特筆すべき事項

平成30年度、札幌市立大学では以下のような特筆すべき事項があった。

### 1) 新理事長体制の始動

平成30年4月、新理事長・学長に中島秀之が就任した。

新理事長・学長は、本学の特長であるデザインと看護の連携について、デザインと専門である情報処理技術を融合し、看護の未来を創造していくということ、自ら広告塔となって本学の取り組みを積極的にPRしていくこと、また、これまで築いてきたネットワークを活用し他大学との連携を実現することに積極的に取り組んでいる。

### 2) 第三期中期計画始動

第二期中期計画（平成24年度～平成29年度）終了に伴い、第三期中期計画が始動した。

札幌市が策定した第三期中期目標（平成30年度～令和5年度）を受け、札幌市立大学では第三期中期計画を策定し、「教育」「研究」「地域貢献」「大学運営」に関する目標を達成するための措置を掲げた。平成30年度は47項目の年度計画を立案、実施した。

### 3) 公立はこだて未来大学との学術交流協定調印

新学長の中島秀之が平成16年4月～平成28年3月まで公立はこだて未来大学学長を務めたこと、これまでも公立はこだて未来大学と本学デザイン学部との交流があったことに加え、医療・デザイン・AI等が連携する必要性が増す今後の社会情勢を鑑み、発展的な関係を構築するために、平成30年7月3日に学術交流協定を調印した。協定内容は、①教員及び研究者の交流、②学生の交流、③学術資料、刊行物及び情報等の交換、④共同研究の実施、⑤公開講座の共同開催、⑥施設の相互利用、⑦その他相互に必要と認める協力である。

調印の記念公開講座として「最先端研究者が語る人口知能の現状 -何ができて、何ができないのか-」を開催した。東京大学特任准教授の松尾豊氏をお招きした他、公立はこだて未来大学の松原仁教授、本学学長の中島秀之が講演した。

### 4) 国立台中科技大学との学術交流協定調印

これまでも、本学デザイン学部が台湾の華梵大学と台日デザインワークショップを開催するにあたり、国立台中科技大学関係者が参加してきた。このデザイン学部との交流を更に深めるため、また台中科技大学の看護学部と本学看護学部との交流を促進するために学術交流協定を調印したい旨、先方から申し入れがあった。協議の結果、台中科技大学関係者が来学し、平成30年12月10日に学術交流協定を調印した。協定内容は、①教員及び研究者の交流、②学生の交流、③学術資料、刊行物及び情報等の交換、④共同研究・シンポジウムの実施である。

令和元年度には、従来の台日デザインワークショップ開催に加え、看護学部生の台中科技大学訪問、中島学長の訪問が予定されている。



## 5) 教員任期制の見直し

開学以来実施していた教員の任期制について、労働契約法及び大学教員等の任期に関する法律の改正を踏まえ、見直しを行った。

## 6) 北海道胆振東部地震への対応

平成30年9月6日に北海道胆振東部地震が発生した。

本学では、発生直後から状況把握、安否確認及び情報共有に努めた。迅速に休校、登校禁止及び出勤禁止の措置を決定し、学生及び教職員に対しメール等によって周知を行った。また、芸術の森キャンパスにおいて、大学祭を延期した。

被災地の厚真町と本学は平成30年6月22日に「包括連携協定書」を更新調印し、学生が厚真町役場をインターンシップ先としていた他、デザイン学部教員による厚真町の古民家の再生、建築系講義のフィールドとしての活用、厚真町のセミナー等への講師の派遣や厚真町のPR方法へのアドバイスなど、協定に基づく交流を積極的に行っていた。震災発生直後に教職員有志による義援金を厚真町に贈った他、本学の教員、学生が中心となり、復興支援を主旨とする広報支援等の支援活動を行っている。

同じく被災地であるむかわ町の避難所では、足湯とハンドマッサージを実施するなどの支援を行った。

また、上記の支援活動を行っている教員に研究費を措置し、被災地支援の一助となることを旨とする研究を推進した。

## 8 行事

行 事 名	月 日
前期開始	4月1日
入学式・後援会総会	4月3日
前期ガイダンス	4月4日
前期授業開始	4月5日
前期履修登録期間	4月5日～12日
健康診断	4月9日・11日
第1回オープンキャンパス	6月16日
デザイン学部3年次編入学試験	7月21日
大学院デザイン研究科博士前期課程推薦選抜入学試験	7月21日
前期定期試験期間	8月3日～10日
夏季休業	8月11日～9月2日
看護学部3年次編入学試験	9月1日
助産学専攻科入学試験	9月1日
第2回オープンキャンパス	9月15日
大学祭	9月17日・10月7日
後期ガイダンス	9月21日・27日・28日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月22日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月22日
後期授業開始	9月25日・28日・10月1日
前期終了	9月30日
後期開始	10月1日
後期履修登録期間	10月1日～9日
デザイン学部特別選抜入学試験（推薦入学・社会人）	11月24日
看護学部特別選抜入学試験（推薦入学・社会人）	11月24日



冬季休業	12月23日～1月3日
後期定期試験期間	1月4日～8日・ 2月6日～19日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月2日
大学院看護学研究科博士後期課程入学試験	2月2日
デザイン学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
看護学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
デザイン学部特別選抜入学試験（私費外国人留学生）	2月25日
春季休業	3月1日～31日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	3月2日
大学院デザイン研究科博士後期課程入学試験	3月2日
デザイン学部一般選抜入学試験（後期日程）	3月12日
卒業式・修了式	3月19日
後期終了	3月31日



## II 教育活動

### 1 教育活動概要

#### 1) デザイン学部・看護学部

デザイン学部・看護学部共通の「共通教育科目」は、両学部に通ずる「人間重視」の考え方を基本に、両学部の学生が一緒に学習することにより、学部間の交流を深め、異なる分野を志す学生が互いの発想に触れ、広い視野を持つことができるよう体系化した。また、「共通教育科目」は、①大学における心構えや履修方法、あるいは基本的な学習の進め方や研究方法を学ぶ「導入科目」、②文化や人間、社会に対する理解を目的とする「教養科目」、③語学などのコミュニケーション・ツールの修得を目的とする「コミュニケーション科目」の3つの区分で構成した。

デザイン学部の「専門教育科目」は、デザインの基礎的な理論や技術から、より専門性の高い知識や技術、実践的・発展的な知識やデザインの方法までを体系的に理解できるよう、①「基本科目」、②「展開科目」、③「発展科目」の3つの科目群で構成した。また、学芸員の資格を取得するために必要となる科目を「自由科目」という区分で開講した。その他、専門教育科目を履修する上で必要となる技術や知識を補完する目的で「『まち保育のススメ』まちで育てる・まちで育つ・まちが育てる・まちが育つ」、「『理念が建物をつくる！！』～デザイン×医療福祉の最前線」といった特別講義を実施した。

看護学部の「専門教育科目」は、専門科目を学ぶ前提や基礎となる「専門基礎科目」と看護の専門的知識・技術を学ぶ「専門科目」で構成し、段階を踏んで学修できるよう体系化している。特に「専門科目」の各看護領域の授業カリキュラムは、まず「概論科目」により基本理念や考え方を理解した後、「演習科目」「実習科目」を学ぶことで、高度な実践的能力を修得できる構成としている。「実習科目」は、1年次から4年次まで開講し、各学年の講義・演習のレベルに応じた実習を行っている。また、平成24年度（編入学生は26年度）以降の入学生のうち、保健師国家試験受験資格の取得を希望する場合は、必要な単位を修得したうえで保健師コースを選択することとしている。保健師コースは3年次前期終了時に選択（編入学生を含む）することとしており、選択希望者が30名を上回る場合は、面接及び3年次前期までの成績等により総合的に判定し、選択者を決定している。

#### 2) デザイン研究科

デザイン研究科博士前期課程の授業科目は、幅広い視野を身につけ、デザインと看護に共通する関連領域の基礎的素養を涵養するため、看護学研究科と合同で行う「研究科連携科目」とデザイン分野における高度専門職業人及び研究者・教育者に必要な専門知識・技術、研究方法を修得するための「専門教育科目」の2つに区分し、「専門教育科目」はさらに「基本科目」、「展開科目」、「実践科目」及び「修了研究」の4つの科目群で構成され、学生がデザインの高度かつ専門的な知識・技術を学ぶことができるよう体系化している。

デザイン研究科博士後期課程では、「基本科目」、「展開科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分を設け、体系的なコースワークによる教育課程を編成し、研究指導を体系的・組織的に展開する教育・研究環境を整備している。それにより、専門分野に関する高度な専門知識及び能力を修得させるとともに、関連する分野の教育を行っている。

#### 3) 看護学研究科

看護学研究科博士前期課程の授業科目は、課程制大学院の趣旨に従い、教育目標を達成するために体系化した構成としている。科目区分は、デザイン研究科と合同で授業を行う「研究科連携科目」と、看護学の各専攻分野に関する高度の専門的知識および能力を修得する「専門教育科目」に区分し、卓越した能力を発揮できる人材を育成する。また、専門看護師（CNS）教育課程の認定基準に沿った授業科目も配置し、広く保健・医療・福祉や看護学の発展に寄与することを目指して





いる。

看護学研究科博士後期課程は、課程制大学院としてコースワークを意識し、コースワークがリサーチワークの基礎となるよう学修できる教育課程を構成している。「連携科目」、「専門科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分に基づき体系的な授業展開を行い、看護学開発の基盤形成をねらいとする「看護学特論（1年次前期）」の学修を通じて、社会を広く俯瞰し看護学のさらなる進化、発展に取り組む提案力を形成する。各特講科目では、高度な創造性を涵養して主体的に課題発見や新たな提案を行い、「特別研究」で独創的な研究を取りまとめる。

#### 4) 助産学専攻科

助産学専攻科では、助産に関する幅広く、高度な知識と正確な技術を有し、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目標として教育課程を編成している。また、助産師活動に不可欠な技術・能力を高い次元で身につけるため、学部教育と同様にOSCEを導入し、各種助産技術能力の修得度を適正に評価している。

## 2 共通教育・連携教育

### 1) 教育活動

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
スタートアップ演習	演習・60時間	1年次前期	◎町田 佳世子 松井 美穂 矢部 和夫 椎野 亜紀夫 藤木 淳 丸山 洋平 三谷 篤史 大淵 一博 須之内 元洋 石田 勝也 猪俣 千代子 卯野木 健 三上 智子 守村 洋 工藤 京子 櫻井 繭子 高橋 奈美 原井 美佳 檜山 明子 近藤 圭子
哲学と倫理	講義・30時間	1年次前期	★中島 孝一
体のしくみ	講義・30時間	1年次前期	小宮 加容子
人間関係を考える	講義・30時間	1年次前期	★椿 武愛子
自然科学を学ぶ	講義・30時間	1年次前期	★佐藤 頼子
札幌を学ぶ	講義・30時間	1年次前期	町田 佳世子
英語 I A	演習・30時間	1年次前期	★赤間 荘太 ★佐川 萌東子 ★清水 香
英語 I B	演習・30時間	1年次前期	町田 佳世子 松井 美穂 ★白土 淳子 ★鈴木 一生
英語 I C	演習・30時間	1年次前期	★バマイ モクター ★山田 パトリシア
日本語表現法	演習・30時間	1年次前期	★斎木 正直 ★齊田 春菜 ★平野 葵 ★安永 立子
基礎カウンセリング	演習・30時間	1年次前期	★小坂 守孝
情報リテラシー I (デザイン学部)	演習・30時間	1年次前期	大淵 一博
情報リテラシー I (看護学部)	演習・30時間	1年次前期	★杉野 佑太
宗教と思想	講義・30時間	1年次後期	★堀 雅彦
芸術と文化	講義・30時間	1年次後期	★望月 由美子
心のしくみ	講義・30時間	1年次後期	★岸 靖亮
動物の暮らし	講義・30時間	1年次後期	★桑原 禎知

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
現代社会と家族	講義・30時間	1年次後期	丸山 洋平
現代社会と経済	講義・30時間	1年次後期	★近藤 公彦
統計の世界（看護学部）	講義・30時間	1年次後期	丸山 洋平
英語ⅡA	演習・30時間	1年次後期	町田 佳世子 ★赤間 荘太 ★佐川 萌東子 ★清水 香
英語ⅡB	演習・30時間	1年次後期	松井 美穂 ★白土 淳子 ★鈴木 一生
英語ⅡC	演習・30時間	1年次後期	★バマイ モクター ★山田 パトリシア
プレゼンテーション	演習・30時間	1年次後期	◎武田 亘明 矢久保 空遥
対人コミュニケーション	演習・30時間	1年次後期	町田 佳世子
手話	演習・30時間	1年次後期	★高橋 淨
情報リテラシーⅡ（デザイン学部）	演習・30時間	1年次後期	★児玉 潤二郎
情報リテラシーⅡ（看護学部）	演習・30時間	1年次後期	★杉野 佑太
環境を考える	講義・30時間	2年次前期	矢部 和夫
ジェンダーと文化	講義・30時間	2年次前期	松井 美穂
現代社会と国際関係	講義・30時間	2年次前期	★青木 隆直
ボランティア活動を考える	講義・30時間	2年次前期	★篠原 辰二
グループ・ダイナミクス	演習・30時間	2年次前期	★山口 司
実践英語A（デザイン学部）	演習・30時間	2年次前期 ・後期	松井 美穂 ★志堅原 郁子
実践英語B（デザイン学部）	演習・30時間	2年次前期	★バマイ モクター
実践英語A（看護学部）	演習・30時間	2年次前期	★二ノ宮 靖史
実践英語B（看護学部）	演習・30時間	2年次前期 ・後期	★山田 パトリシア
健康とスポーツ（看護学部）	講義・30時間	2年次後期	★出町 道代
中国語（看護学部）	演習・30時間	2年次後期	★照井 はるみ
ロシア語（看護学部）	演習・30時間	2年次後期	★ジダーノフ ウラジーミル
教育を考える	講義・30時間	2年次後期	★光本 滋
生活と文化	講義・30時間	2年次後期	蓮見 孝
日本国憲法を学ぶ	講義・30時間	2年次前期	★岡田 信弘
韓国語	演習・30時間	2年次後期	★松田 由紀
健康とスポーツ（デザイン学部）	講義・30時間	3年次前期	★出町 道代
中国語（デザイン学部）	演習・30時間	3年次前期	★照井 はるみ
ロシア語（デザイン学部）	演習・30時間	3年次前期	★ジダーノフ ウラジーミル
統計の世界（デザイン学部）	講義・30時間	3年次後期	丸山 洋平

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



## 3 デザイン学部

## 1) 平成30年度時間割

## ① 1年前期

		月	火	水	木	金	
1	9:00 ～ 10:30		材料加工 理論/ 実習 I	表現基礎 (描画)	情報リテラシー I	体のしくみ	人間関係を考える
					時間表現理論/演習 I		
2	10:40 ～ 12:10		材料加工 理論/ 実習 I	表現基礎 (描画)	情報リテラシー I	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	哲学と倫理
					時間表現理論/演習 I		
3	13:10 ～ 14:40	デザイン史	デザインと数学		英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	札幌を学ぶ
4	14:50 ～ 16:20	人間空間デザイン論	材料加工 理論/ 実習 I	表現基礎 (描画)	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	スタートアップ演習	英語 I A 英語 I B 英語 I C 基礎カウンセリング
5	16:30 ～ 18:00	人間情報デザイン論			自然科学を学ぶ		英語 I A 英語 I B 英語 I C 基礎カウンセリング

## ② 1年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	情報リテラシー II	Webデザイン	芸術と文化	デザイン工学	手話
2	10:40 ～ 12:10	情報リテラシー II	Webデザイン	宗教と思想	現代社会と家族	手話
				動物のくらし	心のしくみ	
3	13:10 ～ 14:40	表現基礎 (製図)	材料加工理論/実習 II	英語 II A 英語 II B 英語 II C プレゼンテーション	英語 II A 英語 II B 英語 II C プレゼンテーション	現代社会と経済
		表現基礎 (構成)				
4	14:50 ～ 16:20	表現基礎 (製図)	材料加工理論/実習 II	英語 II A 英語 II B 英語 II C	英語 II A 英語 II B 英語 II C	英語 II A 英語 II B 英語 II C 対人コミュニケーション
		表現基礎 (構成)				
5	16:30 ～ 18:00	視覚・色彩心理学			アイデア生成プロセス	英語 II A 英語 II B 英語 II C 対人コミュニケーション



## ③ 2年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	デザイン総合実習Ⅰ	現代社会と国際関係	環境心理学	建築計画論	デザイン研究法 (人間空間)
			日本国憲法を学ぶ			ビジュアライ ゼーションⅠ (人間情報)
2	10:40 ～ 12:10		実践英語A		建築設計製図	実践英語B
			時間表現理論/演習Ⅱ			プログラミングⅠ
3	13:10 ～ 14:40	デザイン研究法 (人間情報)	実践英語A	フィールド スタディ	環境芸術論	実践英語B
		ビジュアライ ゼーションⅠ (人間空間)	時間表現理論/演習Ⅱ			プロダクト デザインⅠ
4	14:50 ～ 16:20	協同デザインⅠ	環境を考える		3DCG 実習 (表現系)	建築系 CAD実習
		コミュニテイ デザイン論	ジェンダーと文化			
5	16:30 ～ 18:00	近現代建築史	グループ・ ダイナミックス			学部連携基礎論
		情報製品製図	ボランティア活動 を考える			

## ④ 2年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	エコロジカル デザイン	生活と文化	プログラミングⅡ	3DCG実習 (建築系)	コンピュータ グラフィックス
		空間デザイン史	韓国語	ユニバーサル デザイン論		情報社会論
2	10:40 ～ 12:10	プロダクト デザインⅡ				
		Webプログラミング	家具・インテリア デザイン	メディア芸術論	建築デザイン論	一般構造
空間プロダクト	協同デザインⅡ					
4	14:50 ～ 16:20	製品系CAD実習			デザイン総合実習Ⅱ	教育を考える ※前半7.5週で終了
5	16:30 ～ 18:00					



## ⑤ 3年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30		生涯学習概論	ユニバーサル デザイン都市札幌	建築設備計画	ランドスケープ アーキテクチャ
				博物館情報・ メディア論	ビジュアルイ ゼーションⅡ (人間情報)	ヒューマンインタ ラクションⅠ (人間情報)
2	10:40 ～ 12:10	博物館資料論 ※1～8回目	中国語	構造力学Ⅰ	地域ブランド構築	博物館資料論 ※9～15回目
		博物館概論 ※9～15回目	ロシア語		プログラミングⅢ	
3	13:10 ～ 14:40	都市計画論	中国語	インターンシップ	健康とスポーツ	
			ロシア語			
4	14:50 ～ 16:20	感性情報学	空間演出デザイン論	博物館概論 ※1～8回目		デザイン総合実習Ⅲ
			ユーザーエクスペ リエンスデザインⅠ (人間情報)			
5	16:30 ～ 18:00	空間映像表現	メディア社会論	博物館教育論		キャリアガイダンス

## ⑥ 3年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	寒冷地デザイン論	ヒューマンインタ ラクションⅡ	建築構法	デザイン 展開プロ セス	ユーザーエクスペ リエンスデザインⅠ (人間空間)
2	10:40 ～ 12:10	博物館経営論	統計の世界	構造力学Ⅱ	構造・ 材料実験	ビジュアルイ ゼーションⅡ (人間空間)
3	13:10 ～ 14:40	建築法規		博物館展示論	建築生産	ヒューマンインタ ラクションⅠ (人間空間)
4	14:50 ～ 16:20	地場産業振興論	学部連携演習			デザイン総合実習Ⅳ
5	16:30 ～ 18:00	キャリアガイダンス				



## ⑦ 4年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ∩ 10:30		デジタル音響デザイン	デザイン英語	建築設備計画	
2	10:40 ∩ 12:10		起業論		コンテンツ流通技術	ヒューマンケア 機器デザイン 放送メディア デザイン
3	13:10 ∩ 14:40	博物館実習	住宅論	構造力学Ⅱ	デザインマネジメント	ロボティクス ネットワーク システムデザイン
4	14:50 ∩ 16:20					
5	16:30 ∩ 18:00					キャリアガイダンス

## ⑧ 4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ∩ 10:30					
2	10:40 ∩ 12:10					
3	13:10 ∩ 14:40					
4	14:50 ∩ 16:20					
5	16:30 ∩ 18:00	キャリアガイダンス				

2) カリキュラム

① 授業科目一覧

平成24～27年度（編入学生は平成26～29年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位			
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	演習	2		○										2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義		2		○										4単位以上
		宗教と思想	講義		2			○									
		芸術と文化	講義		2			○									
		教育を考える	講義		2					○							
		生活と文化	講義		2						○						
		ジェンダーと文化	講義		2					○							
	人間に対する理解	心のしくみ	講義		2			○									4単位以上
		体のしくみ	講義		2		○										
		人間関係を考える	講義		2		○										
		健康とスポーツ	講義		2					○							
		環境を考える	講義		2						○						
		自然科学を学ぶ	講義		2		○										
	社会に対する理解	動物のくらし	講義		2			○									6単位以上
		現代社会と家族	講義		2			○									
		現代社会と国際関係	講義		2					○							
		現代社会と経済	講義		2				○								
		札幌を学ぶ	講義		2		○										
		ボランティア活動を考える	講義		2						○						
	外国語	統計の世界	講義	2				○									8単位以上
		日本国憲法を学ぶ	講義		2					○							
		英語 I A	演習	1			○										
		英語 I B	演習	1			○										
		英語 I C	演習	1			○										
		英語 II A	演習	1				○									
		英語 II B	演習	1				○									
		英語 II C	演習	1				○									
		実践英語A	演習		1					○	○						
		実践英語B	演習		1					○	○						
		韓国語	演習		1						○						
		中国語	演習		1						○						
	コミュニケーション科目	ロシア語	演習		1					○							4単位以上
日本語表現法		演習		1		○											
プレゼンテーション		演習	1				○										
基礎カウンセリング		演習		1		○											
対人コミュニケーション		演習		1			○										
グループ・ダイナミックス		演習		1					○								
手話		演習		1				○									
情報リテラシー I		演習	1			○											
情報リテラシー II	演習	1			○												
専門教育科目	デザイン基礎	デザイン原論	講義	2			○									16単位以上	
		デザイン史	講義	2			○										
		デザイン方法論	講義	2				○									
		色彩設計論	講義	2				○									
		感性科学	講義	2					○								
		工学基礎	講義		2				○								
		感性デザイン論	講義	2						○							
		ユニバーサルデザイン論	講義	2						○							
		創造産業論	講義	2						○							
		現代芸術論	講義		2					○							
		デザイン解析論	講義		2					○							
		ヒューマンファクターズ入門	講義		2					○							
	造形基礎	近現代建築史	講義		2					○						6単位以上	
		設計製図基礎	演習		2					○							
		認知科学	講義		2					○							
		デザイン法規	講義		2					○							
		エコロジーデザイン論	講義		2						○						
		情報社会論	講義		2						○						
	情報基礎	造形基礎実習 I	実習	2				○								8単位以上	
		表現基礎実習	実習	2				○									
		造形基礎実習 II	実習	2					○								
		デザイン材料加工実習 I	実習		2					○							
		デザイン材料加工実習 II	実習		2						○						
		コンピュータ基礎実習 I	実習	2					○								
情報基礎	コンピュータ基礎実習 II A (3D)	実習		2					○						8単位以上		
	コンピュータ基礎実習 II B (ムービー)	実習		2						○							
	コンピュータ基礎実習 II C (CAD)	実習		2							○						
	プログラミング I	演習	2					○									
		プログラミング II	演習		2				○								

さらに基本科目から10単位以上

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位				
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
専門教育科目	展開科目	空間デザイン系	空間デザイン論	講義	2					○								展開科目から一つの系の全科目を含め34単位以上を修得
			空間デザイン史	講義	2					○								
			景観デザイン論	講義	2							○						
			都市計画論	講義	2								○					
			空間デザイン法規	講義	2									○				
			構造力学	講義+演習	2										○			
			建築構法	講義+演習	2											○		
			構造・材料実験	実習	2											○		
			建築設備計画	講義+演習	2												○	
			建築計画論	講義	2									○				
	環境計画論	講義	2									○						
	家具・インテリアデザイン	講義+演習	2							○								
	住宅論	講義	2												○			
	製品デザイン系	製品デザイン論	講義	2						○								
		製品デザイン史	講義	2										○				
		製品造形論	講義	2							○							
		製品計画論	講義	2								○						
		感性情報学	講義	2								○						
		ヒューマンファクターズ	講義+演習	2							○							
		インタラクションデザイン	講義+演習	2								○						
		メカトロニクス	講義+演習	2									○					
		ロボティクス	講義+演習	2										○				
		感性インタラクションデザイン	演習	2									○					
	プロトタイプシミュレーションI	演習	2									○						
	プロトタイプシミュレーションII	演習	2										○					
	ヒューマンケア機器デザイン	演習	2											○				
	コンテンツデザイン系	コンテンツデザイン論	講義	2						○								
		デジタル映像史	講義	2											○			
		コンテンツ制作システム論	講義	2									○					
		物語デザイン論	講義	2										○				
		バーチャルリアリティ	講義	2											○			
		コンピュータグラフィクス	講義+演習	2									○					
		アニメーションI	講義+演習	2									○					
		アニメーションII	講義+演習	2										○				
		デジタル音響デザイン	講義+演習	2											○			
		ダイナミックオブジェクトデザイン	演習	2							○							
	マルチメディアコンテンツデザイン	演習	2									○						
	デジタル映像コンテンツデザイン	演習	2										○					
	ネットワークシステムデザイン	演習	2											○				
	メディアデザイン系	メディアデザイン論	講義	2							○							
		メディア文化史	講義	2											○			
		知的財産権論	講義	2											○			
		メディア芸術論	講義	2											○			
		アートマネジメント論	講義	2											○			
		広告デザイン	講義+演習	2								○						
ブランド構築		講義+演習	2									○						
デジタルアーカイブ		講義+演習	2										○					
コンテンツ流通技術		講義+演習	2											○				
メディアビジネス		演習	2							○								
出版メディアデザイン	演習	2								○								
インターネットメディアデザイン	演習	2									○							
放送メディアデザイン	演習	2										○						
発展科目	デザイン応用	一般構造	講義+演習	2								○						
		寒冷地デザイン論	講義	2										○				
		観光とデザイン	演習	2										○				
		地場産業振興論	講義	2										○				
		建築生産	講義+演習	2										○				
		デザインマネジメント	演習	2										○				
		起業論	講義	2										○				
		デザイン英語	演習	2										○				
		構造力学II	講義+演習	2										○				
		学外実習A (インターンシップ)	実習	2									◎					
学外実習B (フィールドスタディ)	実習	2									◎							
学部連携	学部連携演習	演習	2										○	2単位				
デザイン総合実習	デザイン総合実習I	実習	2							○					6単位			
	デザイン総合実習II	実習	2								○							
	デザイン総合実習III	実習	2									○						
卒業研究	卒業研究	演習	6										○ ○	6単位				
自由科目	学芸員課程 関連科目	生涯学習概論	講義			2							○					
		博物館概論	講義			2								○				
		博物館経営論	講義			2								○				
		博物館資料論	講義			2								○				
		博物館資料保存論	講義			2								○				
		博物館展示論	講義			2								○				
		博物館博物館情報・メディア論	講義			2								○				
		博物館教育論	講義			2								○				
		博物館実習	実習			3								◎				

注1) ◎は集中開講 注2) 展開科目(単位数の網掛け部分) : 所属コース内の各科目は卒業要件単位となるため、すべて履修する必要があります。



平成28年度（編入学生は平成30年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位			
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2			○										2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義	2			○										4単位以上
		宗教と思想	講義	2				○									
		芸術と文化	講義	2				○									
		教育を考える	講義	2							○						
		生活と文化	講義	2							○						
		ジェンダーと文化	講義	2						○							
	人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義	2				○									4単位以上
		体のしくみ	講義	2			○										
		人間関係を考える	講義	2			○										
		健康とスポーツ	講義	2								○					
		環境を考える	講義	2						○							
		自然科学を学ぶ	講義	2			○										
	社会に対する理解	動物のくらし	講義	2				○									4単位以上
		現代社会と家族	講義	2				○									
		現代社会と国際関係	講義	2							○						
		現代社会と経済	講義	2					○								
		札幌を学ぶ	講義	2			○										
		ボランティア活動を考える	講義	2						○							
	外国語	英語 I A	演習	1			○										8単位以上
		英語 I B	演習	1			○										
		英語 I C	演習	1			○										
		英語 II A	演習	1				○									
		英語 II B	演習	1				○									
		英語 II C	演習	1				○									
		実践英語A	演習	1	1				○	○							
		実践英語B	演習	1	1					○	○						
		韓国語	演習	1							○						
		中国語	演習	1								○					
		ロシア語	演習	1									○				
		コミュニケーション科目	日本語表現法	演習		1		○									
	プレゼンテーション		演習	1				○									
	基礎カウンセリング		演習		1		○										
対人コミュニケーション	演習			1			○										
グループ・ダイナミクス	演習			1				○									
手話	演習			1				○									
デザイン	デザイン概論	講義	2			○										4単位	
	人間空間デザイン論	講義	2			○											
	デザイン理論	デザイン史	講義	2			○									20単位以上	
		近現代建築史	講義	2	2				○								
		情報社会論	講義	2						○							
		エコロジカルデザイン	講義	2							○						
		メディア社会論	講義+演習	2								○					
		知的財産権論	講義	2									○				
		デザインと数学	講義+演習	2			○										
		デザイン工学	講義+演習	2				○									
		コンピュータグラフィックス	講義+演習	2							○						
		アイデア生成プロセス	講義+演習	2				○									
		デザイン展開プロセス	講義+演習	2	2								○				
		視覚・色彩心理学	講義	2				○									
		環境心理学	講義	2	2					○							
		ユニバーサルデザイン論	講義	2							○						
	感性情報学	講義	2								○						
	デザイン基盤	デザイン研究法	講義+演習	2						○							20単位以上
デザイン英語		講義+演習		2										○			
表現基礎 (描画)		実習	2			○											
表現基礎 (製図)		講義+演習		2			○										
表現基礎 (構成)		講義+演習		2			○										
材料加工理論/実習 I		実習	2			○											
材料加工理論/実習 II		実習	2				○										
建築設計製図		演習	2						○								
情報製品製図		演習	2							○							
3DCG実習		実習	2							○	○						
建築系CAD実習		実習	2							○							
製品系CAD実習		実習	2								○						

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位	
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基本科目	デザイン基盤	時間表現理論/演習Ⅰ		2		○									20単位以上
		時間表現理論/演習Ⅱ		2				○							
		Webデザイン	2				○								
		Webプログラミング		2					○						
展開科目	人間空間デザインコース	建築デザイン論		2						○					所属するコースから22単位以上/他コースから10単位以上
		空間デザイン史		2						○					
		建築計画論		2					○						
		都市計画論		2							○				
		景観デザイン文化論		2									○		
		住宅論		2									○		
		環境計画論		2					○						
		建築設備計画		2							○				
		構造力学Ⅰ		2							○				
		構造力学Ⅱ		2								○			
		一般構造		2						○					
		建築構法		2								○			
		構造・材料実験		2									○		
		建築生産		2									○		
	建築法規		2									○			
	家具・インテリアデザイン		2						○						
	ランドスケープアーキテクチャ		2								○				
	コミュニティデザイン論		2						○						
	メディア芸術論		2						○						
	人間情報デザインコース	空間演出デザイン論		2							○				
		地域ブランド構築		2							○				
		観光デザイン論		2									○		
		環境芸術論		2					○						
		空間プロダクト		2						○					
		空間映像表現		2							○				
		寒冷地デザイン論		2								○			
起業・経営論			2									○			
プロダクトデザインⅠ			2						○						
プロダクトデザインⅡ			2							○					
ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ			2								○				
ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ			2									○			
ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ		2										○			
プログラミングⅠ		2						○							
プログラミングⅡ		2							○						
プログラミングⅢ		2								○					
ヒューマンインタラクションⅠ		2							○						
ヒューマンインタラクションⅡ		2								○					
協同デザインⅠ		2						○							
協同デザインⅡ		2							○						
ビジュアライゼーションⅠ		2							○						
ビジュアライゼーションⅡ		2								○					
ビジュアライゼーションⅢ		2									○				
発展科目	連携	学部連携基礎論		2						○				4単位以上	
		学部連携演習		2							○				
		地域プロジェクト			2		○	○	○	○	○	○	○		
		地域プロジェクトⅠ(基礎編)			2		○	○	○	○					
		地域プロジェクトⅡ(応用編)			2				○	○	○	○	○		
		地域プロジェクトⅢ(発展編)			2					○	○	○	○		
	ユニバーサルデザイン都市札幌			2						○					
	総合実習	デザイン総合実習Ⅰ	実習	2						○				8単位	
		デザイン総合実習Ⅱ	実習	2						○					
		デザイン総合実習Ⅲ	実習	2							○				
デザイン総合実習Ⅳ		実習	2								○				
卒業研究	卒業研究Ⅰ	演習	3									○	6単位		
	卒業研究Ⅱ	演習	3									○			
キャリア教育	フィールドスタディ	実習		2					◎				4単位以上		
	インターンシップ	実習		2						◎					
	キャリアデザイン	講義		2							○				
自由科目	学芸員課程関連科目	生涯学習概論	講義		2						○		19単位		
		博物館概論	講義		2						○				
		博物館経営論	講義		2							○			
		博物館資料論	講義		2							○			
		博物館資料保存論	講義		2							○			
		博物館展示論	講義		2							○			
		博物館情報・メディア論	講義		2							○			
		博物館教育論	講義		2							○			
		博物館実習	実習		3									◎	

平成29年度（編入学生は平成31年度）以降入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位					
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次							
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	演習	2			○										2単位		
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義	2			○											4単位以上	
		宗教と思想	講義	2				○											
		芸術と文化	講義	2					○										
		教育を考える	講義	2															
		生活と文化	講義	2							○								
		ジェンダーと文化	講義	2						○									
	人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義	2				○										4単位以上	
		体のしくみ	講義	2				○											
		人間関係を考える	講義	2				○											
		健康とスポーツ	講義	2								○							
		環境を考える	講義	2							○								
		自然科学を学ぶ	講義	2				○											
	社会に対する理解	動物のくらし	講義	2														4単位以上	
		現代社会と家族	講義	2															
		現代社会と国際関係	講義	2								○							
		現代社会と経済	講義	2															
		札幌を学ぶ	講義	2				○											
		ボランティア活動を考える	講義	2							○								
	外国語	統計の世界	講義	2											○			8単位以上	
		日本国憲法を学ぶ	講義	2							○								
		英語 I A	演習	1				○											
		英語 I B	演習	1				○											
		英語 I C	演習	1				○											
		英語 II A	演習	1					○										
		英語 II B	演習	1					○										
		英語 II C	演習	1					○										
		実践英語A	演習	1	1					○	○								
		実践英語B	演習	1	1					○	○								
		韓国語	演習	1							○								
		中国語	演習	1								○							
		ロシア語	演習	1									○						
		コミュニケーション科目	日本語表現法	演習	1	1			○										
プレゼンテーション			演習	1				○	○										
基礎カウンセリング	演習		1	1			○												
対人コミュニケーション	演習		1	1				○											
グループ・ダイナミクス	演習		1	1					○										
手話	演習		1	1					○										
情報リテラシー I	演習		1				○												
情報リテラシー II	演習	1					○												
専門教育科目	デザイン概論	人間空間デザイン論	講義	2			○										4単位		
		人間情報デザイン論	講義	2			○												
	デザイン理論	デザイン史	講義	2				○									20単位以上		
		近現代建築史	講義	2	2				○										
		情報社会論	講義	2							○								
		エコロジカルデザイン	講義	2							○								
		メディア社会論	講義+演習	2								○							
		知的財産権論	講義	2											○				
		デザインと数学	講義+演習	2				○											
		デザイン工学	講義+演習	2					○										
		コンピュータグラフィックス	講義+演習	2							○								
		アイデア生成プロセス	講義+演習	2						○									
		デザイン展開プロセス	講義+演習	2	2									○					
	デザイン基盤	視覚・色彩心理学	講義	2					○								20単位以上		
		環境心理学	講義	2	2					○									
		ユニバーサルデザイン論	講義	2							○								
		感性情報学	講義	2								○							
		デザイン研究法	講義+演習	2						○									
		デザイン英語	講義+演習	2	2										○				
		表現基礎 (描画)	実習	2				○											
		表現基礎 (製図)	講義+演習	2						○									
表現基礎 (構成)		講義+演習	2						○										
材料加工理論/実習 I		実習	2				○												
材料加工理論/実習 II	実習	2	2					○											
建築設計製図	演習	2							○										
情報製品製図	演習	2							○										
3DCG実習	実習	2						○	○										
建築系CAD実習	実習	2						○											
製品系CAD実習	実習	2							○										

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位	
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基本科目	デザイン基盤	時間表現理論/演習 I		2											20単位以上
		時間表現理論/演習 II		2											
		Webデザイン		2											
		Webプログラミング		2											
専門教育科目	人間空間デザインコース	建築デザイン論		2											所属するコースから22単位以上/他コースから10単位以上
		空間デザイン史		2											
		建築計画論		2											
		都市計画論		2											
		景観デザイン文化論		2											
		住宅論		2											
		環境計画論		2											
		建築設備計画		2											
		構造力学 I		2											
		構造力学 II		2											
		一般構造		2											
		建築構法		2											
		構造・材料実験		2											
		建築生産		2											
	建築法規		2												
	家具・インテリアデザイン		2												
	ランドスケープアーキテクチャ		2												
	コミュニティデザイン論		2												
	メディア芸術論		2												
	空間演出デザイン論		2												
	地域ブランド構築		2												
	観光デザイン論		2												
	環境芸術論		2												
	空間プロダクト		2												
	空間映像表現		2												
	寒冷地デザイン論		2												
	起業・経営論		2												
人間情報デザインコース	プロダクトデザイン I		2												
	プロダクトデザイン II		2												
	ユーザーエクスペリエンスデザイン I		2												
	ユーザーエクスペリエンスデザイン II		2												
	ユーザーエクスペリエンスデザイン III		2												
	プログラミング I		2												
	プログラミング II		2												
	プログラミング III		2												
	ヒューマンインタラクション I		2												
	ヒューマンインタラクション II		2												
	協同デザイン I		2												
	協同デザイン II		2												
	ビジュアルイゼーション I		2												
ビジュアルイゼーション II		2													
ビジュアルイゼーション III		2													
発展科目	連携	学部連携基礎論		2										4単位以上	
		学部連携演習		2											
		地域プロジェクト I (基礎編)			2										
		地域プロジェクト II (応用編)			2										
		地域プロジェクト III (発展編)			2										
	ユニバーサルデザイン都市札幌			2											
	総合実習	デザイン総合実習 I		2										8単位	
		デザイン総合実習 II		2											
		デザイン総合実習 III		2											
		デザイン総合実習 IV		2											
卒業研究	卒業研究 I		3										6単位		
	卒業研究 II		3												
キャリア教育	フィールドスタディ		2										4単位以上		
	インターンシップ		2												
	キャリアデザイン		2												
自由科目	学芸員課程関連科目	生涯学習概論			2								19単位		
		博物館概論			2										
		博物館経営論			2										
		博物館資料論			2										
		博物館資料保存論			2										
		博物館展示論			2										
		博物館情報・メディア論			2										
		博物館教育論			2										
		博物館実習			3										

## ② 卒業要件

平成27年度（編入学生は29年度）以前入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	13	15	28
専門教育科目	40	56	96
(基本科目)	(26)	(14)	(40)
(展開科目)	—	(34)	(34)
(発展科目)	(14)	(8)	(22)
合 計	53	71	124

平成28年度（編入学生は30年度）以降入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	11	15	26
専門教育科目	42	56	98
(基本科目)	(24)	(20)	(44)
(展開科目)	—	(32)	(32)
(発展科目)	(18)	(4)	(22)
合 計	53	71	124



## 3) 教育活動 (デザイン学部)

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
人間空間デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎齊藤 雅也 上遠野 敏 羽深 久夫 矢部 和夫 椎野 亜紀夫 高井 真希子 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 山田 良 石田 勝也 大島 卓 片山 めぐみ 小宮 加容子 須之内 元洋 金子 晋也 田島 悠史
人間情報デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎石井 雅博 細谷 多聞 安齋 利典 城間 祥之 若林 尚樹 柿山 浩一郎 張 浦華 藤木 淳 三谷 篤史 大淵 一博 金 秀敬 福田 大年 松永 康佑 矢久保 空遥
デザイン史	講義・30時間	1年次前期	◎細谷 多聞 金子 晋也
デザインと数学	講義+演習・30時間	1年次前期	◎石井 雅博 大淵 一博 松永 康佑
表現基礎 (描画)	実習・60時間	1年次前期	◎若林 尚樹 藤木 淳
材料加工理論/実習 I	実習・60時間	1年次前期	◎上遠野 敏 矢久保 空遥 ★川上 理恵
時間表現理論/演習 I	講義+演習・30時間	1年次前期	◎須之内 元洋 石田 勝也
デザイン工学	講義+演習・30時間	1年次後期	◎齊藤 雅也 細谷 多聞
アイデア生成プロセス	講義+演習・30時間	1年次後期	福田 大年
視覚・色彩心理学	講義・30時間	1年次後期	石井 雅博
表現基礎 (製図)	講義+演習・30時間	1年次後期	◎山田 信博 金子 晋也
表現基礎 (構成)	講義+演習・30時間	1年次後期	◎金 秀敬 福田 大年
材料加工理論/実習 II	実習・60時間	1年次後期	◎安齋 利典 張 浦華 ★石崎 友紀 ★山田 祥子
Webデザイン	演習・30時間	1年次後期	大淵 一博
地域プロジェクト I (基礎編)	演習・60時間	1年次・2年次通年	◎定廣 和香子 大淵 一博
近現代建築史	講義・30時間	2年次前期	◎金子 晋也 羽深 久夫 山田 良 ★池上 重康 ★小澤 丈夫 ★武田 明純 ★中渡 憲彦
環境心理学	講義・30時間	2年次前期	片山 めぐみ
デザイン研究法 (人間空間デザイン)	講義+演習・30時間	2年次前期	◎矢部 和夫 石井 雅博 森 朋子
デザイン研究法 (人間情報デザイン)	講義+演習・30時間	2年次前期	◎城間 祥之 石井 雅博 張 浦華 金 秀敬
建築設計製図	演習・30時間	2年次前期	山田 良
情報製品製図	演習・30時間	2年次前期	柿山 浩一郎
3DCG実習 (表現系)	実習・60時間	2年次前期	松永 康祐
建築系CAD実習	実習・60時間	2年次前期	金子 晋也



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
時間表現理論／演習Ⅱ	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	◎石田 勝也 須之内 元洋
建築計画論	講義・30時間	2年次前期	◎片山 めぐみ 山田 信博
環境計画論	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	◎齊藤 雅也 矢部 和夫
コミュニティデザイン論	講義・30時間	2年次前期	◎武田 亘明 片山 めぐみ
環境芸術論	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	◎山田 良 上遠野 敏
プロダクトデザインⅠ	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	安齋 利典
プログラミングⅠ	演習・30時間	2年次前期	石井 雅博
協同デザインⅠ	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	福田 大年
ビジュアライゼーションⅠ	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	吉田 和夫
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎齊藤 雅也 武田 亘明 松井 美穂 福田 大年 金子 晋也 田島 悠史 ◎古都 昌子 小田 和美 喜多 歳子 小坂 美智代 矢野 祐美子 柏倉 大作
デザイン総合実習Ⅰ (建築・環境)	実習・60時間	2年次前期	◎山田 信博 齊藤 雅也 羽深 久夫 矢部 和夫 椎野 亜紀夫 山田 信博 山田 良 大島 卓 片山 めぐみ 金子 晋也
デザイン総合実習Ⅰ (地域コミュニケーション・総合系)	実習・60時間	2年次前期	◎武田 亘明 片山 めぐみ 小宮 加容子
デザイン総合実習Ⅰ (人間情報デザインコース)	実習・60時間	2年次前期	◎安齋 利典 大淵 一博
フィールドスタディ	実習・60時間	2年次集中	◎若林 尚樹 小宮 加容子 福田 大年 森 朋子
情報社会論	講義・30時間	2年次後期	武田 亘明
エコロジカルデザイン	講義・30時間	2年次後期	矢部 和夫
コンピュータグラフィックス	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	松永 康祐
ユニバーサルデザイン論	講義・30時間	2年次後期	小宮 加容子
3DCG実習(建築系)	実習・60時間	2年次後期	山田 信博
製品系CAD実習	実習・60時間	2年次後期	◎城間 祥之 三谷 篤史
Webプログラミング	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	大淵 一博
建築デザイン論	講義・30時間	2年次後期	◎山田 良 齊藤 雅也
空間デザイン史	講義・30時間	2年次後期	羽深 久夫
一般構造	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	羽深 久夫
家具・インテリアデザイン	実習・60時間	2年次後期	◎片山 めぐみ ★岸本 幸雄 ★祐川 諭 ★藤原 誠



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
メディア芸術論	講義・30時間	2年次後期	須之内 元洋
空間プロダクト	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	小宮 加容子
プロダクトデザインⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	三谷 篤史
プログラミングⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	松永 康祐
協同デザインⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	若林 尚樹
デザイン総合実習Ⅱ (建築・環境)	実習・60時間	2年次後期	◎金子 晋也 齊藤 雅也 羽深 久夫 矢部 和夫 椎野 亜紀夫 山田 信博 山田 良 大島 卓 森 朋子 片山 めぐみ
デザイン総合実習Ⅱ (地域コミュニケーション・総合系)	実習・60時間	2年次後期	◎石田 勝也 山田 良 須之内 元洋 田島 悠史
デザイン総合実習Ⅱ (人間情報デザインコース)	実習・60時間	2年次後期	◎張 浦華 矢久保 空遥
地域プロジェクトⅡ (応用編)	演習・60時間	2年次・3年次 ・4年次通年	◎定廣 和香子 大淵 一博
メディア社会論	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	須之内 元洋
感性情報学	講義・30時間	3年次前期	◎張 浦華 金 秀敬
都市計画論	講義・30時間	3年次前期	森 朋子
建築設備計画	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	齊藤 雅也
構造力学Ⅰ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	★石丸 修二
ランドスケープアーキテクチャ	講義・30時間	3年次前期	◎椎野 亜紀夫 大島 卓
空間演出デザイン論	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	◎石田 勝也 山田 良 小宮 加容子
地域ブランド構築	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	◎細谷 多聞 田島 悠史
空間映像表現	演習・30時間	3年次前期	石田 勝也
ユーザーエクスペリエンス デザインⅠ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	金 秀敬
プログラミングⅢ	演習・30時間	3年次前期	三谷 篤史
ヒューマンインタラクションⅠ	演習・30時間	3年次前期	矢久保 空遥
ビジュアルライゼーションⅡ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	藤木 淳
ユニバーサルデザイン都市札幌	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	◎酒井 正幸 高井 真希子 張 浦華 小宮 加容子 中原 宏
デザイン総合実習Ⅲ (建築・環境) ※人間空間デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎山田 良 細谷 多聞 齊藤 雅也 羽深 久夫 矢部 和夫 柿山 浩一郎 椎野 亜紀夫 山田 信博 大島 卓 片山 めぐみ 金子 晋也





授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
デザイン総合実習Ⅲ (地域コミュニケーション・総合系) ※人間空間デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎上遠野 敏 若林 尚樹 大島 卓 小宮 加容子
デザイン総合実習Ⅲ (ものづくり・総合系) ※人間情報デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎柿山 浩一郎 細谷 多聞 齊藤 雅也 羽深 久夫 矢部 和夫 椎野 亜紀夫 山田 信博 山田 良 大島 卓 片山 めぐみ 福田 大年 金子 晋也
デザイン総合実習Ⅲ (情報・総合系) ※人間情報デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎藤木 淳 若林 尚樹 大島 卓 小宮 加容子 松永 康佑
インターンシップ	実習・60時間	3年次集中	◎三谷 篤史 片山 めぐみ 金子 晋也 矢久保 空遥
デザイン展開プロセス	講義+演習・ 30時間	3年次後期	安齋 利典
構造力学Ⅱ	講義+演習・ 30時間	3年次後期	★石丸 修二
建築構法	講義+演習・ 30時間	3年次後期	金子 晋也
構造・材料実験	実習・60時間	3年次後期	羽深 久夫
寒冷地デザイン論	講義・30時間	3年次後期	◎齊藤 雅也 山田 良
建築生産	講義+演習・ 30時間	3年次後期	★佐野 天彦
建築法規	講義+演習・ 30時間	3年次後期	★小林 宏
ユーザーエクスペリエンス デザインⅡ	講義+演習・ 30時間	3年次後期	張 浦華
ヒューマンインタラクションⅡ	演習・30時間	3年次後期	石井 雅博
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎若林 尚樹 羽深 久夫 柿山 浩一郎 山田 信博 山田 良 大島 卓 金 秀敬 小宮 加容子 松永 康佑 田島 悠史 矢久保 空遥 ◎定廣 和香子 川村 三希子 菊地 ひろみ 大野 夏代 貝谷 敏子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 本田 光 村松 真澄 伊藤 健太郎 武富 貴久子
デザイン総合実習Ⅳ (人間空間デザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎須之内 元洋 上遠野 敏 齊藤 雅也 羽深 久夫 矢部 和夫 椎野 亜紀夫 森 朋子 武田 亘明 山田 信博 山田 良 石田 勝也 大島 卓 片山 めぐみ 小宮 加容子 金子 晋也 田島 悠史
デザイン総合実習Ⅳ (人間情報デザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎石井 雅博 細谷 多聞 安齋 利典 若林 尚樹 柿山 浩一郎 張 浦華 藤木 淳 三谷 篤史 大淵 一博 金 秀敬 福田 大年 松永 康佑 矢久保 空遥
キャリアデザイン	講義・30時間	3年次後期	◎安齋 利典 須之内 元洋



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
地域プロジェクトⅢ（発展編）	演習・60時間	3年次・ 4年次通年	◎定廣 和香子 大淵 一博
建築設備計画	講義+演習・ 30時間	4年次前期	齊藤 雅也
住宅論	講義・30時間	4年次前期	山田 良
ロボティクス	講義+演習・ 30時間	4年次前期	三谷 篤史
ヒューマンケア機器デザイン	演習・30時間	4年次前期	◎小宮 加容子 安齋 利典 張 浦華
デジタル音響デザイン	講義+演習・ 30時間	4年次前期	◎★久保 壽光 ★伊藤 博之
ネットワークシステムデザイン	演習・30時間	4年次前期	大淵 一博
コンテンツ流通技術	講義+演習・ 30時間	4年次前期	石田 勝也
放送メディアデザイン	演習・30時間	4年次前期	石田 勝也
デザインマネジメント	演習・30時間	4年次前期	安齋 利典
起業論	講義・30時間	4年次前期	★小林 元
デザイン英語	演習・30時間	4年次前期	松井 美穂
構造力学Ⅱ	講義+演習・ 30時間	4年次前期	★石丸 修二
卒業研究 （空間デザインコース）	演習・90時間	4年次通年	◎矢部 和夫 齊藤 雅也 羽深 久夫 椎野 亜紀夫 森 朋子 山田 信博 山田 良 大島 卓 片山 めぐみ 金子 晋也
卒業研究 （製品デザインコース）	演習・90時間	4年次通年	◎安齋 利典 若林 尚樹 柿山 浩一郎 張 浦華 三谷 篤史 金 秀敬 小宮 加容子 矢久保 空遥
卒業研究 （コンテンツデザインコース）	演習・90時間	4年次通年	◎石井 雅博 細谷 多聞 城間 祥之 藤木 淳 大淵 一博 福田 大年 松永 康佑
卒業研究 （メディアデザインコース）	演習・90時間	4年次通年	◎上遠野 敏 武田 亘明 石田 勝也 須之内 元洋 田島 悠史
生涯学習概論	講義・30時間	3年次前期	★木村 純
博物館概論	講義・30時間	3年次前期	◎矢部 和夫 ★岩崎 直人 ★越前谷 宏紀
博物館資料論	講義・30時間	3年次前期	◎★佐藤 弥生 ★小野 裕子
博物館情報・メディア論	講義・30時間	3年次前期	武田 亘明
博物館教育論	講義・30時間	3年次前期	★細川 健裕
博物館経営論	講義・30時間	3年次後期	★佐藤 幸宏
博物館資料保存論	講義・30時間	3年次後期	★福岡 孝
博物館展示論	講義・30時間	3年次後期	★亀谷 隆
博物館実習	実習・90時間	4年次前期 （学外での実 習は集中）	◎矢部 和夫 ★岩崎 直人 ★越前谷 宏紀 ★古沢 仁

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



## 4 看護学部

## 1) 平成30年度時間割

## ① 1年前期

		月		火	水	木	金
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)				
1	9:00 ∩ 10:30				情報リテラシー I	体のしくみ	人間関係を考える
2	10:40 ∩ 12:10			看護観察技術論	情報リテラシー I	英語 I A 英語 I B 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	哲学と倫理
3	13:10 ∩ 14:40	形態機能学 I		形態機能学 II	英語 I A 英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	英語 I A 英語 I B 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	札幌を学ぶ
4	14:50 ∩ 16:20	形態機能学 I		形態機能学 II	英語 I A 英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	スタートアップ演習	基礎カウンセリング 英語 I A 英語 I B 英語 I C 英語 I C
5	16:30 ∩ 18:00	看護学原論	地域保健 学概論	人間発達援助論	自然科学を学ぶ		基礎カウンセリング 英語 I A 英語 I B 英語 I C 英語 I C

② 1年後期

		月		火		水	木	金
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)			
1	9:00 ~ 10:30	病理病態学		看護過程論		芸術と文化		情報リテラシーⅡ
								手話
2	10:40 ~ 12:10	病理病態学		看護理論	看護過程論	宗教と思想	現代社会と家族	情報リテラシーⅡ
						動物のくらし	心のしくみ	手話
3	13:10 ~ 14:40	基礎看護技術論		薬理学		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC 英語ⅡC プレゼンテーション	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡB 英語ⅡC プレゼンテーション	現代社会と経済
4	14:50 ~ 16:20	基礎看護技術論		感染予防論		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC 英語ⅡC	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡB 英語ⅡC	英語ⅡA 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC 対人コミュニケーション
5	16:30 ~ 18:00						統計の世界	英語ⅡA 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC 対人コミュニケーション

③ 2年前期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	精神看護学概論	人間工学	現代社会と国際関係	老年看護学概論			家族社会学		
				日本国憲法を学ぶ						
2	10:40 ~ 12:10		環境保健	実践英語A 実践英語B	医療情報		成人看護学概論		臨床栄養学	
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生学	成人看護援助論	実践英語A 実践英語B	生命科学		疾病治療学概論		症状マネジメント論	
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生学	成人看護援助論	環境を考える ジェンダーと文化	生命倫理	社会福祉学			症状マネジメント論	
5	16:30 ~ 18:00	疾病治療学B		グループ・ダイナミックス ボランティア活動を考える		社会福祉学	疾病治療学A		学部連携基礎論	

④ 2年後期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30		精神看護 援助論	生活と文化	臨床薬理学		疾病治療学C			
2	10:40 ~ 12:10	母性看護 学概論	精神看護 援助論		臨床心理学		小児看護 学概論	看護倫理学		
3	13:10 ~ 14:40	感染管理論	教育を考 える	中国語 ロシア語 実践英語B	健康とスポーツ		老年看護 援助論	がん看護学	援助の人 間関係論	在宅看護 援助論
4	14:50 ~ 16:20	在宅看護 学概論	教育を考 える	中国語 ロシア語	韓国語		老年看護 援助論	がん看護学	援助の人 間関係論	在宅看護 援助論
5	16:30 ~ 18:00				公衆衛生 看護学 概論			チーム 医療論		

⑤ 3年前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療 福祉行政 論 I		保健統計	
2	10:40 ~ 12:10	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療 福祉行政 論 I		保健統計	
3	13:10 ~ 14:40			在宅看護 技術論				リハビリ テーショ ン看護学		精神看護 技術論	
4	14:50 ~ 16:20	小児看護 援助論		在宅看護 技術論				リハビリ テーショ ン看護学		精神看護 技術論	
5	16:30 ~ 18:00	小児看護 援助論						疫学 I			



## ⑥ 3年後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	研究方法論		健康教育 指導法		看護教育学		公衆衛生看 護援助論 (前半I後半II)		老年看護 技術論	
2	10:40 ~ 12:10	研究方法論		健康教育 指導法		透析ケア		公衆衛生看 護援助論 (前半I後半II)		老年看護 技術論	
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生看 護援助論 (前半I後半II)		学部連携演習				小児看護 技術論		重症集中ケア	
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生看 護援助論 (前半I後半II)						小児看護 技術論		母性看護 技術論	
5	16:30 ~ 18:00	救急看護学						放射線医 療管理論		母性看護 技術論	

## ⑦ 4年前期

		月		火		水		木	金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	国際保健学				看護管理学		卒業研究	ヘルスプロ モーション 活動論	
2	10:40 ~ 12:10	現代専門職論		災害看護学		看護管理学		卒業研究	ヘルスプロ モーション 活動論	
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生看 護技術論		医療経営学		パリアティ ブケア			医療安全 管理論	
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生看 護技術論		寒冷地医療					ペリネイ タルケア	
5	16:30 ~ 18:00			国際看護学					看護情報学	



## ⑧ 4年後期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ∩ 10:30				公衆衛生看護管理論		卒業研究			保健医療福祉行政論Ⅱ
2	10:40 ∩ 12:10				公衆衛生看護管理論		卒業研究			保健医療福祉行政論Ⅱ
3	13:10 ∩ 14:40									疫学Ⅱ
4	14:50 ∩ 16:20									
5	16:30 ∩ 18:00									

2) カリキュラム

① 授業科目一覧

平成21～23年度（編入学生は23～25年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次（◎は集中で開講）								卒業要件単位				
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2														2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義		2			○										4単位以上
		宗教と思想	講義		2				○									
		芸術と文化	講義		2				○									
		環境を考える	講義		2					○								
		教育を考える	講義		2						○							
		生活と文化	講義			2				○								
	人間に対する理解	心のしくみ	講義		2				○									4単位以上
		体のしくみ	講義		2			○										
		ジェンダーを考える	講義		2					○								
		人間関係を考える	講義		2				○									
		健康とスポーツ	講義		2						○							
		自然科学を学ぶ	講義			2			○									
	社会に対する理解	動物のくらし	講義			2			○									6単位以上
		現代社会と家族	講義		2				○									
		現代社会と国際関係	講義		2					○								
		現代社会と経済	講義		2					○								
		札幌を学ぶ	講義		2				○									
		ボランティア活動を考える	講義		2						○							
	外国語	統計の世界	講義	2					○									8単位以上
		日本国憲法を学ぶ	講義			2				○								
		英語 I A	演習	1					○									
		英語 I B	演習	1					○									
		英語 I C	演習	1					○									
		英語 II A	演習	1						○								
		英語 II B	演習	1						○								
		英語 II C	演習	1						○								
実践英語A		演習		1						○								
実践英語B		演習		1						○	○							
韓国語		演習		1							○							
中国語		演習		1							○							
コミュニケーション科目	ロシア語	演習		1							○						4単位以上	
	日本語表現法	演習		1				○										
	プレゼンテーション	演習		1					○									
	基礎カウンセリング	演習		1				○										
	対人コミュニケーション	演習		1					○									
	グループ・ダイナミクス	演習		1						○								
	手話	演習		1						○								
	情報リテラシー I	演習	1					○										
情報リテラシー II	演習	1						○										
専門基礎科目	人間と命	形態機能学 I	演習	2				○									5単位以上	
		形態機能学 II	演習	2					○									
		生命科学	講義		1						○							
		生命倫理	講義		1						○							
		環境保健	講義		1						○							
	健康と健康障害と予防	人間工学	講義		1						○						10単位	
		薬理学	講義	1						○								
		臨床薬理学	演習	1								○						
		臨床栄養学	演習	1								○						
		病理病態学	演習	2							○							
保健と医療と福祉	疾病治療学概論	演習	1							○						7単位以上		
	疾病治療学A	演習	1							○								
	疾病治療学B	演習	1							○								
	疾病治療学C	演習	1							○								
	感染予防論	講義	1						○									
	公衆衛生学	演習	1							○								
	社会福祉学	講義	1							○								
	家族社会学	講義		1						○								
	チーム医療論	講義		1							○							
	感染管理論	講義		1							○							
臨床心理学	講義		1							○								
地域保健学概論	講義	1					○											
保健医療福祉行政論	演習	1									○							
保健統計	演習	1									○							
医療情報	演習	1							○									





区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次 (◎は集中で開講)								卒業要件単位	
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
看護の基礎となるもの	看護学原論	講義	1			○									7単位
	看護理論	講義	1				○								
	援助的人間関係論	演習	1						○						
	人間発達援助論	演習	1			○									
	看護初期実習	実習	1			◎									
	看護倫理学	講義	1						○						
	健康教育指導法	演習	1								○				
	看護過程論	演習	1				○								
	看護観察技術論	演習	1			○									
	症状マネジメント論	演習	2					○							
看護の基本的展開	基礎看護技術論	演習	2				○							10単位	
	基礎看護学臨床実習Ⅰ	実習	1				◎								
	基礎看護学臨床実習Ⅱ	実習	2					◎							
	研究方法論	演習	1								○				
	小児看護学概論	講義	1						○						
	小児看護援助論	演習	1							○					
	小児看護技術論	演習	1								○				
小児	小児看護学臨床実習	実習	2								◎			5単位	
	母性看護学概論	講義	1						○				5単位		
	母性看護援助論	演習	1							○					
	母性看護技術論	演習	1								○				
母性	母性看護学臨床実習	実習	2								◎				
	成人看護学概論	講義	1					○					8単位		
	成人看護援助論	演習	1					○							
	成人看護技術論	演習	1							○					
成人	成人看護学臨床実習Ⅰ	実習	3						◎						
	成人看護学臨床実習Ⅱ	実習	2							◎					
	老年看護学概論	講義	1					○					6単位		
	老年看護援助論	演習	1						○						
老年看護技術論	演習	1								○					
老年看護学臨床実習Ⅰ	実習	1							◎						
老年	老年看護学臨床実習Ⅱ	実習	2								◎				
	精神看護学概論	講義	1					○					5単位		
	精神看護援助論	演習	1						○						
	精神看護技術論	演習	1							○					
精神	精神看護学臨床実習	実習	2								◎				
	在宅看護学概論	講義	1						○				5単位		
	在宅看護援助論	演習	1						○						
	在宅看護技術論	演習	1							○					
在宅	在宅看護学臨床実習	実習	2								◎				
	リハビリテーション看護学	演習	1							○			5単位以上		
	がん看護学	演習	1						○						
	認知症ケア	演習	1							○					
透析ケア	講義		1							○					
重症集中ケア	講義		1							○					
救急看護学	講義		1							○					
放射線医療管理論	講義		1								○				
ペリネイタルケア	講義		1								○				
パリアティブケア	講義		1								○				
寒冷地医療	講義		1								○				
健康問題への対応	地域看護学概論	講義	1							○			9単位		
	地域看護援助論	演習	2								○				
	地域看護技術論	演習	1									○			
	ヘルスプロモーション活動論	演習	1									○			
	地域看護学臨床実習Ⅰ	実習	2									◎			
	地域看護学臨床実習Ⅱ	実習	2									◎			
発展・統合に関するもの	看護管理学	演習	1									○	11単位以上		
	看護教育学	講義	1								○				
	卒業研究	演習	4									○			
	ヘルスクアマネジメント実習	実習	3									◎			
	看護情報学	講義		1								○			
	災害看護学	講義		1								○			
	国際看護学	講義		1								○			
	国際保健学	講義		1								○			
	医療経営学	講義		1								○			
	医療安全管理論	講義		1								○			
現代専門職論	講義		1								○				
学部連携	学部連携演習	演習	2								○	2単位			

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。

平成24～25年度（編入学生は26～27年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数		保健師 コース 必修	配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位		
			必修	選択		1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2			○									2単位	
	文化に 対する 理解	哲学と倫理	講義	2			○								4単位 以上	
		宗教と思想	講義	2				○								
		芸術と文化	講義	2					○							
		教育を考える	講義	2						○						
		生活と文化	講義	2						○						
		ジェンダーと文化	講義	2						○						
	人間と 自然に 対する 理解	心のしくみ	講義	2				○							4単位 以上	
		体のしくみ	講義	2				○								
		人間関係を考える	講義	2				○								
		健康とスポーツ	講義	2						○						
		環境を考える	講義	2						○						
		自然科学を学ぶ	講義	2				○								
	社会に 対する 理解	動物のくらし	講義	2					○						6単位 以上	
		現代社会と家族	講義	2					○							
現代社会と国際関係		講義	2						○							
現代社会と経済		講義	2						○							
札幌を学ぶ		講義	2				○									
ボランティア活動を考える		講義	2						○							
外国語	英語 I A	演習	1				○							8単位 以上		
	英語 I B	演習	1				○									
	英語 I C	演習	1				○									
	英語 II A	演習	1					○								
	英語 II B	演習	1					○								
	英語 II C	演習	1					○								
	実践英語A	演習	1						○							
	実践英語B	演習	1						○							
	韓国語	演習	1							○						
	中国語	演習	1							○						
	ロシア語	演習	1							○						
	コミュニ ケーション ・ 情報技術	日本語表現法	演習	1				○								4単位 以上
プレゼンテーション		演習	1					○								
基礎カウンセリング		演習	1				○									
対人コミュニケーション		演習	1					○								
グループ・ダイナミクス		演習	1						○							
手話		演習	1						○							
情報リテラシー I		演習	1				○									
人間と命	形態機能学 I	演習	2				○							5単位 以上		
	形態機能学 II	演習	2					○								
	生命科学	講義	1						○							
	生命倫理	講義	1						○							
	環境保健	講義	1						○							
	人間工学	講義	1						○							
	健康と健康 障害と予防	薬理学	講義	2				○								12単位
		臨床薬理学	演習	1						○						
		臨床栄養学	演習	1						○						
		病理病態学	演習	2					○							
疾病治療学概論		演習	1						○							
疾病治療学A		演習	1						○							
疾病治療学B		演習	1						○							
疾病治療学C		演習	1							○						
保健と医 療と福祉	感染予防論	講義	2				○							9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)		
	公衆衛生学	演習	1						○							
	社会福祉学	講義	1						○							
	家族社会学	講義	1						○							
	チーム医療論	講義	1							○						
	感染管理論	講義	1							○						
	臨床心理学	講義	1							○						
	地域保健学概論	講義	1				○									
	保健医療福祉行政論 I	演習	1							○						
	保健医療福祉行政論 II	演習	1								○					
	保健統計	講義	2							○						
疫学 I	疫学 I	講義	1							○						
	疫学 II	講義	1								○					
	疫学 II	講義	1									○				
医療情報	演習	1						○								



区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次 (◎は集中で開講)								卒業要件単位				
			必修	選択	保健師コース必修	1年次		2年次		3年次		4年次						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
看護の基礎となるもの	看護学原論	講義	1			○											7単位	
	看護理論	講義	1				○											
	援助的人間関係論	演習	1							○								
	人間発達援助論	演習	1								○							
	看護初期実習	実習	1			◎												
	看護倫理学	講義	1															
	健康教育指導法	演習	1										○					
	看護の基本的展開	看護過程論	演習	1					○									10単位
		看護観察技術論	演習	1				○										
		症状マネジメント論	演習	2						○								
		基礎看護技術論	演習	2						○								
		基礎看護学臨地実習 I	実習	1						◎								
		基礎看護学臨地実習 II	実習	2							◎							
		研究方法論	演習	1											○			
	小児	小児看護学概論	講義	1							○							5単位
		小児看護援助論	演習	1								○						
		小児看護技術論	演習	1									○					
小児看護学臨地実習		実習	2										◎					
母性	母性看護学概論	講義	1							○							5単位	
	母性看護援助論	演習	1								○							
	母性看護技術論	演習	1									○						
	母性看護学臨地実習	実習	2										◎					
成人	成人看護学概論	講義	1					○									8単位	
	成人看護援助論	演習	1					○										
	成人看護技術論	演習	1								○							
	成人看護学臨地実習 I	実習	3							◎								
	成人看護学臨地実習 II	実習	2								◎							
老年	老年看護学概論	講義	1					○									6単位	
	老年看護援助論	演習	1						○									
	老年看護技術論	演習	1									○						
	老年看護学臨地実習 I	実習	1								◎							
精神	精神看護学概論	講義	1					○									5単位	
	精神看護援助論	演習	1						○									
	精神看護技術論	演習	1								○							
	精神看護学臨地実習	実習	2									◎						
在宅	在宅看護学概論	講義	1						○								5単位	
	在宅看護援助論	演習	1						○									
	在宅看護技術論	演習	1								○							
	在宅看護学臨地実習	実習	2									◎						
健康問題への対応	リハビリテーション看護学	演習	1							○							5単位以上	
	がん看護学	演習	1						○									
	認知症ケア	演習	1								○							
	透析ケア	講義		1								○						
	重症集中ケア	講義		1								○						
	救急看護学	講義		1								○						
	放射線医療管理論	講義		1								○						
	ペリネイタルケア	講義		1									○					
	バリアティブケア	講義		1										○				
	寒冷地医療	講義		1											○			
コミュニティケアに関するもの	公衆衛生看護学概論	講義	1							○							2単位以上 (保健師コース10単位)	
	公衆衛生看護援助論 I	演習	1									○						
	公衆衛生看護援助論 II	演習			1								○					
	公衆衛生看護技術論	演習			1									○				
	ヘルスプロモーション活動論	演習		1										○				
	公衆衛生看護学臨地実習 I	実習			2									◎				
	公衆衛生看護学臨地実習 II	実習			3									◎				
発展・統合に関するもの	看護管理学	演習	1											○			12単位以上	
	看護教育学	講義	1											○				
	卒業研究	演習	4												○			
	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3												◎			
	公衆衛生看護管理論	講義			1										○			
	看護情報学	講義		1											○			
	災害看護学	講義		1											○			
	国際看護学	講義		1											○			
	国際保健学	講義		1											○			
	医療経営学	講義		1											○			
	医療安全管理論	講義		1											○			
	現代専門職論	講義		1											○			
学部連携	学部連携演習	演習	2										○			2単位		

注1) ◎は集中 注2) 単位数 (選択) の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)

平成26～27年度（編入学生は28～29年度）入学生用

区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数			配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位		
				必修	選択	保健師 コース 必修	1年次		2年次		3年次		4年次				
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
共通教育科目	導入科目	C1A000	スタートアップ演習	演習	2			○									2単位
	文化に 対する 理解	C1A001	哲学と倫理	講義	2			○									4単位 以上
		C1A002	宗教と思想	講義	2				○								
		C1A003	芸術と文化	講義	2				○								
		C2A004	教育を考える	講義	2					○							
		C2A005	生活と文化	講義	2					○							
		C2A006	ジェンダーと文化	講義	2					○							
	人間と 自然に 対する 理解	C1A007	心のしくみ	講義	2				○							4単位 以上	
		C1A008	体のしくみ	講義	2			○									
		C1A009	人間関係を考える	講義	2			○									
		C2A010	健康とスポーツ	講義	2					○							
		C2A011	環境を考える	講義	2					○							
		C1A012	自然科学を学ぶ	講義	2			○									
	社会に 対する 理解	C1A013	動物のくらし	講義	2				○							6単位 以上	
		C1A014	現代社会と家族	講義	2				○								
		C2A015	現代社会と国際関係	講義	2					○							
		C1A016	現代社会と経済	講義	2				○								
		C1A017	札幌を学ぶ	講義	2			○									
		C2A018	ボランティア活動を考える	講義	2					○							
	外国語	C1A019	統計の世界	講義	2				○							8単位 以上	
C2A020		日本国憲法を学ぶ	講義	2				○									
C1A101		英語 I A	演習	1			○										
C1A102		英語 I B	演習	1			○										
C1A103		英語 I C	演習	1			○										
C1A104		英語 II A	演習	1				○									
C1A105		英語 II B	演習	1				○									
C1A106		英語 II C	演習	1				○									
C2A107		実践英語A	演習	1					○								
C2A108		実践英語B	演習	1					○								
C2A109		韓国語	演習	1						○							
コミュニ ケーション ・ 情報技術	C2A110	中国語	演習	1						○							
	C2A111	ロシア語	演習	1						○							
	C1A112	日本語表現法	演習	1			○										
	C1A113	プレゼンテーション	演習	1				○									
	C1A114	基礎カウンセリング	演習	1			○										
	C1A115	対人コミュニケーション	演習	1				○									
	C2A116	グループ・ダイナミックス	演習	1					○								
	C1A117	手話	演習	1				○									
	C1A118	情報リテラシー I	演習	1			○										
	C1A119	情報リテラシー II	演習	1				○									
専門基礎科目	人間と命	N1A201	形態機能学 I	演習	2			○							5単位 以上		
		N1A202	形態機能学 II	演習	2			○									
		N2A203	生命科学	講義	1					○							
		N2A204	生命倫理	講義	1					○							
		N2A205	環境保健	講義	1					○							
		N2A206	人間工学	講義	1					○							
	健康と健康 障害と予防	N1A207	薬理学	講義	2			○							12単位		
		N2A208	臨床薬理学	演習	1					○							
		N2A209	臨床栄養学	演習	1					○							
		N1A210	病理病態学	演習	2			○									
		N2A211	疾病治療学概論	演習	1					○							
		N2A212	疾病治療学A	演習	1					○							
		N2A213	疾病治療学B	演習	1					○							
		N2A214	疾病治療学C	演習	1					○							
		N1A215	感染予防論	講義	2				○								
		N2A216	公衆衛生学	演習	1					○							
	保健と医 療と福祉	N2A217	社会福祉学	講義	1					○					9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)		
		N2A218	家族社会学	講義	1					○							
		N2A219	チーム医療論	講義	1					○							
		N2A220	感染管理論	講義	1					○							
N2A221		臨床心理学	講義	1					○								
N1A222		地域保健学概論	講義	1			○										
N3A223		保健医療福祉行政論 I	演習	1						○							
N4A224		保健医療福祉行政論 II	演習	1							○						
N3A225		保健統計	講義	2						○							
N3A226		疫学 I	講義	1						○							
N4A227		疫学 II	講義	1							○						
N2A228		医療情報	演習	1					○								

区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数			配当年次 (◎は集中で開講)								卒業要件単位	
				必修	選択	保健師コース必修	1年次		2年次		3年次		4年次			
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
看護の基礎となるもの	ヒューマンケアの基本	N1A301	看護学原論	講義	1			○								7単位
		N1A302	看護理論	講義	1				○							
		N2A303	援助の人間関係論	演習	1											
		N1A304	人間発達援助論	演習	1						○					
		N1A305	看護初期実習	実習	1				◎							
		N2A306	看護倫理学	講義	1											
		N3A307	健康教育指導法	演習	1									○		
看護の基本的展開		N1A308	看護過程論	演習	1				○							10単位
		N1A309	看護観察技術論	演習	1			○								
		N2A310	症状マネジメント論	演習	2					○						
		N1A311	基礎看護技術論	演習	2				○							
		N1A312	基礎看護学臨床実習 I	実習	1				◎							
		N2A313	基礎看護学臨床実習 II	実習	2					◎						
		N3A314	研究方法論	演習	1									○		
小児		N2A315	小児看護学概論	講義	1					○					5単位	
		N3A316	小児看護援助論	演習	1						○					
		N3A317	小児看護技術論	演習	1							○				
		N3A318	小児看護学臨床実習	実習	2								◎			
		N2A319	母性看護学概論	講義	1						○					
母性		N3A320	母性看護援助論	演習	1						○			5単位		
		N3A321	母性看護技術論	演習	1							○				
		N3A322	母性看護学臨床実習	実習	2								◎			
		N2A323	成人看護学概論	講義	1					○						
成人		N2A324	成人看護援助論	演習	1					○				8単位		
		N3A325	成人看護技術論	演習	1							○				
		N2A326	成人看護学臨床実習 I	実習	3						◎					
		N3A327	成人看護学臨床実習 II	実習	2							◎				
		N2A328	老年看護学概論	講義	1					○						
老年		N2A329	老年看護援助論	演習	1					○				6単位		
		N3A330	老年看護技術論	演習	1							○				
		N3A331	老年看護学臨床実習 I	実習	1							◎				
		N3A332	老年看護学臨床実習 II	実習	2								◎			
		N2A333	精神看護学概論	講義	1					○						
精神		N2A334	精神看護援助論	演習	1						○			5単位		
		N3A335	精神看護技術論	演習	1							○				
		N3A336	精神看護学臨床実習	実習	2								◎			
		N2A337	在宅看護学概論	講義	1						○					
在宅		N2A338	在宅看護援助論	演習	1						○			5単位		
		N3A339	在宅看護技術論	演習	1							○				
		N3A340	在宅看護学臨床実習	実習	2								◎			
		N3A341	リハビリテーション看護学	演習	1							○				
		N2A342	がん看護学	演習	1						○					
健康問題への対応		N3A343	認知症ケア	演習	1							○		5単位以上		
		N3A344	透析ケア	講義		1							○			
		N3A345	重症集中ケア	講義		1							○			
		N3A346	救急看護学	講義		1							○			
		N3A347	放射線医療管理論	講義		1							○			
		N4A348	ペリネイタルケア	講義		1							○			
		N4A349	パリアティブケア	講義		1							○			
		N4A350	寒冷地医療	講義		1							○			
		N2A401	公衆衛生看護学概論	講義	1						○				2単位以上 (保健師コース 10単位)	
		N3A402	公衆衛生看護援助論 I	演習	1							○				
N3A403	公衆衛生看護援助論 II	演習			1						○					
N4A404	公衆衛生看護技術論	演習			1						○					
N4A405	ヘルスプロモーション活動論	演習		1							○					
N4A406	公衆衛生看護学臨床実習 I	実習			2						◎					
N4A407	公衆衛生看護学臨床実習 II	実習			3						◎					
発展・統合に関するもの		N4A408	看護管理学	演習	1								○	12単位以上		
		N3A409	看護教育学	講義	1								○			
		N4A410	卒業研究	演習	4								○			
		N4A411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3								◎			
		N4A412	公衆衛生看護管理論	講義			1						○			
		N4A413	看護情報学	講義		1							○			
		N4A414	災害看護学	講義		1							○			
		N4A415	国際看護学	講義		1							○			
		N4A416	国際保健学	講義		1							○			
		N4A417	医療経営学	講義		1							○			
		N4A418	医療安全管理論	講義		1							○			
		N4A419	現代専門職論	講義		1							○			
学部連携	N3A420	学部連携演習	演習	2								○	2単位			

注1) ◎は集中 注2) 単位数 (選択) の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)

平成28年度（編入学生は30年度）入学生用

区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数				配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位		
				必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
共通教育科目	導入科目	C1B000	スタートアップ演習	演習	2				○									2単位
	文化に 対する 理解	C1B001	哲学と倫理	講義	2				○									4単位 以上
		C1B002	宗教と思想	講義	2					○								
		C1B003	芸術と文化	講義	2					○								
		C2B004	教育を考える	講義	2							○						
		C2B005	生活と文化	講義	2								○					
		C2B006	ジェンダーと文化	講義	2						○							
	人間と 自然に 対する 理解	C1B007	心のしくみ	講義	2						○							4単位 以上
		C1B008	体のしくみ	講義	2					○								
		C1B009	人間関係を考える	講義	2					○								
		C2B010	健康とスポーツ	講義	2								○					
		C2B011	環境を考える	講義	2							○						
		C1B012	自然科学を学ぶ	講義	2					○								
	社会に 対する 理解	C1B013	動物のくらし	講義	2						○							4単位 以上
		C1B014	現代社会と家族	講義	2						○							
		C2B015	現代社会と国際関係	講義	2							○						
		C1B016	現代社会と経済	講義	2							○						
		C1B017	札幌を学ぶ	講義	2					○								
		C2B018	ボランティア活動を考える	講義	2								○					
外国語	C1B101	英語 I A	演習	1					○								8単位 以上	
	C1B102	英語 I B	演習	1					○									
	C1B103	英語 I C	演習	1					○									
	C1B104	英語 II A	演習	1						○								
	C1B105	英語 II B	演習	1						○								
	C1B106	英語 II C	演習	1						○								
	C2B107	実践英語A	演習	1							○							
	C2B108	実践英語B	演習	1							○							
	C2B109	韓国語	演習	1								○						
	C2B110	中国語	演習	1								○						
	C2B111	ロシア語	演習	1								○						
コミュニ ケーション 科目	C1B112	日本語表現法	演習	1					○								4単位 以上	
	C1B113	プレゼンテーション	演習	1						○								
	C1B114	基礎カウンセリング	演習	1					○									
	C1B115	対人コミュニケーション	演習	1						○								
	C2B116	グループ・ダイナミクス	演習	1							○							
	C1B117	手話	演習	1							○							
	C1B118	情報リテラシー I	演習	1					○									
	C1B119	情報リテラシー II	演習	1						○								
人間と命	N1B201	形態機能学 I	演習	2					○								5単位 以上	
	N1B202	形態機能学 II	演習	2					○									
	N2B203	生命科学	講義	1							○							
	N2B204	生命倫理	講義	1							○							
	N2B205	環境保健	講義	1							○							
	N2B206	人間工学	講義	1							○							
	健康と健康 障害と予防	N1B207	薬理学	講義	2						○							12単位
		N2B208	臨床薬理学	演習	1								○					
		N2B209	臨床栄養学	演習	1							○						
		N1B210	病理病態学	演習	2						○							
N2B211		疾病治療学概論	演習	1							○							
N2B212		疾病治療学 A	演習	1							○							
N2B213		疾病治療学 B	演習	1							○							
N2B214		疾病治療学 C	演習	1								○						
N1B215		感染予防論	講義	2							○							
保健と医 療と福祉		N2B216	公衆衛生学	演習	1						○							
	N2B217	社会福祉学	講義	1						○								
	N2B218	家族社会学	講義	1							○							
	N2B219	チーム医療論	講義	1								○						
	N2B220	感染管理論	講義	1								○						
	N2B221	臨床心理学	講義	1								○						
	N1B222	地域保健学概論	講義	1					○									
	N3B223	保健医療福祉行政論 I	演習	1								○						
	N4B224	保健医療福祉行政論 II	演習	1									○					
	N3B225	保健統計	講義	2									○					
	N3B226	疫学 I	講義	1									○					
	N4B227	疫学 II	講義	1										○				
N2B228	医療情報	演習	1							○								

区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数				配当年次(◎は集中で開講)								卒業要件単位			
				必修	選択	保健師コース必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
看護の基礎となるもの	ヒューマンケアの基本	N1B301	看護学原論	講義	1				○									7単位	
		N1B302	看護理論	講義	1				○										
		N2B303	援助の人間関係論	演習	1						○								
		N1B304	人間発達援助論	演習	1				○										
		N1B305	看護初期実習	実習	1				◎										
		N2B306	看護倫理学	講義	1							○							
		N3B307	健康教育指導法	演習	1								○						
	看護の基本的展開	N1B308	看護過程論	演習	1					○								10単位	
		N1B309	看護観察技術論	演習	1				○										
		N2B310	症状マネジメント論	演習	2					○									
		N1B311	基礎看護技術論	演習	2					○									
		N1B312	基礎看護学臨地実習 I	実習	1					◎									
		N2B313	基礎看護学臨地実習 II	実習	2						◎								
		N3B314	研究方法論	演習	1									○					
	小児	N2B315	小児看護学概論	講義	1						○						5単位		
		N3B316	小児看護援助論	演習	1							○							
		N3B317	小児看護技術論	演習	1								○						
		N3B318	小児看護学臨地実習	実習	2								◎						
	母性	N2B319	母性看護学概論	講義	1						○					5単位			
		N3B320	母性看護援助論	演習	1							○							
		N3B321	母性看護技術論	演習	1								○						
		N3B322	母性看護学臨地実習	実習	2								◎						
	成人	N2B323	成人看護学概論	講義	1					○						8単位			
		N2B324	成人看護援助論	演習	1					○									
		N3B325	成人看護技術論	演習	1							○							
		N2B326	成人看護学臨地実習 I	実習	3						◎								
		N3B327	成人看護学臨地実習 II	実習	2							◎							
	老年	N2B328	老年看護学概論	講義	1					○					6単位				
		N2B329	老年看護援助論	演習	1						○								
		N3B330	老年看護技術論	演習	1								○						
		N3B331	老年看護学臨地実習 I	実習	1							◎							
		N3B332	老年看護学臨地実習 II	実習	2								◎						
	精神	N2B333	精神看護学概論	講義	1					○					5単位				
		N2B334	精神看護援助論	演習	1						○								
		N3B335	精神看護技術論	演習	1							○							
		N3B336	精神看護学臨地実習	実習	2							◎							
在宅	N2B337	在宅看護学概論	講義	1						○				5単位					
	N2B338	在宅看護援助論	演習	1						○									
	N3B339	在宅看護技術論	演習	1							○								
	N3B340	在宅看護学臨地実習	実習	2							◎								
	N3B341	リハビリテーション看護学	演習	1							○								
健康問題への対応	N2B342	がん看護学	演習	1						○				5単位以上					
	N3B343	認知症ケア	演習	1							○								
	N3B344	透析ケア	講義	1								○							
	N3B345	重症集中ケア	講義	1								○							
	N3B346	救急看護学	講義	1								○							
	N3B347	放射線医療管理論	講義	1								○							
	N4B348	ペリネイタルケア	講義	1									○						
	N4B349	バリアティブケア	講義	1									○						
	N4B350	寒冷地医療	講義	1									○						
	N2B401	公衆衛生看護学概論	講義	1						○									
コミュニケイションに関するもの	N3B402	公衆衛生看護援助論 I	演習	1								○		2単位以上 (保健師コース 10単位)					
	N3B403	公衆衛生看護援助論 II	演習			1						○							
	N4B404	公衆衛生看護技術論	演習			1						○							
	N4B405	ヘルスプロモーション活動論	演習		1							○							
	N4B406	公衆衛生看護学臨地実習 I	実習			2						◎							
	N4B407	公衆衛生看護学臨地実習 II	実習			3						◎							
	N4B408	看護管理学	演習	1									○						
発展・統合に関するもの	N3B409	看護教育学	講義	1								○		12単位以上					
	N4B410	卒業研究	演習	4									○						
	N4B411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3									◎						
	N4B412	公衆衛生看護管理論	講義			1							○						
	N4B413	看護情報学	講義		1								○						
	N4B414	災害看護学	講義		1								○						
	N4B415	国際看護学	講義		1								○						
	N4B416	国際保健学	講義		1								○						
	N4B417	医療経営学	講義		1								○						
	N4B418	医療安全管理論	講義		1								○						
	N4B419	現代専門職論	講義		1								○						
	N5B421	地域プロジェクト	演習				2	○	○	○	○	○	○		○				
	N5B423	地域プロジェクト I (基礎編)	演習				2	○	○	○	○	○	○		○				
	N5B424	地域プロジェクト II (応用編)	演習				2			○	○	○	○		○				
	N5B425	地域プロジェクト III (発展編)	演習				2				○	○	○		○				
学部連携	N2B422	学部連携基礎論	演習	2						○				4単位					
	N3B420	学部連携演習	演習	2								○							

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。  
 注3) 単位数(選択)の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)

平成29年度（編入学生は31年度）以降入学生用

区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数				配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位				
				必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次						
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
共通教育科目	導入科目	C1C000	スタートアップ演習	演習	2				○										2単位	
	文化に 対する 理解	C1C001	哲学と倫理	講義		2			○											4単位 以上
		C1C002	宗教と思想	講義		2				○										
		C1C003	芸術と文化	講義		2				○										
		C2C004	教育を考える	講義		2						○								
		C2C005	生活と文化	講義		2							○							
		C2C006	ジェンダーと文化	講義		2					○									
	人間と 自然に 対する 理解	C1C007	心のしくみ	講義		2					○									4単位 以上
		C1C008	体のしくみ	講義		2			○											
		C1C009	人間関係を考える	講義		2			○											
		C2C010	健康とスポーツ	講義		2						○								
		C2C011	環境を考える	講義		2						○								
		C1C012	自然科学を学ぶ	講義		2			○											
	社会に 対する 理解	C1C013	動物のくらし	講義		2				○										4単位 以上
		C1C014	現代社会と家族	講義		2					○									
		C2C015	現代社会と国際関係	講義		2						○								
		C1C016	現代社会と経済	講義		2					○									
		C1C017	札幌を学ぶ	講義		2			○											
		C2C018	ボランティア活動を考える	講義		2						○								
外国語	C1C101	英語 I A	演習	1				○										8単位 以上		
	C1C102	英語 I B	演習	1				○												
	C1C103	英語 I C	演習	1				○												
	C1C104	英語 II A	演習	1					○											
	C1C105	英語 II B	演習	1					○											
	C1C106	英語 II C	演習	1					○											
	C2C107	実践英語A	演習		1					○										
	C2C108	実践英語B	演習		1					○										
	C2C109	韓国語	演習		1						○									
	C2C110	中国語	演習		1						○									
	C2C111	ロシア語	演習		1						○									
コミュニ ケーショ ン 情報技術	C1C112	日本語表現法	演習		1			○										4単位 以上		
	C1C113	プレゼンテーション	演習		1				○											
	C1C114	基礎カウンセリング	演習		1			○												
	C1C115	対人コミュニケーション	演習		1				○											
	C2C116	グループ・ダイナミックス	演習		1					○										
	C1C117	手話	演習		1					○										
	C1C118	情報リテラシー I	演習	1				○												
	C1C119	情報リテラシー II	演習	1					○											
人間と命	N1C201	形態機能学 I	演習		2			○										5単位 以上		
	N1C202	形態機能学 II	演習		2			○												
	N2C203	生命科学	講義		1					○										
	N2C204	生命倫理	講義		1					○										
	N2C205	環境保健	講義		1					○										
	N2C206	人間工学	講義		1					○										
健康と健康 障害と予防	N1C207	薬理学	講義		2				○									12単位		
	N2C208	臨床薬理学	演習		1					○										
	N2C209	臨床栄養学	演習		1					○										
	N1C210	病理病態学	演習		2				○											
	N2C211	疾病治療学概論	演習		1					○										
	N2C212	疾病治療学A	演習		1					○										
	N2C213	疾病治療学B	演習		1					○										
	N2C214	疾病治療学C	演習		1						○									
	N1C215	感染予防論	講義		2					○										
	保健と医 療と福祉	N2C216	公衆衛生学	演習		1					○									9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)
N2C217		社会福祉学	講義		1					○										
N2C218		家族社会学	講義		1					○										
N2C219		チーム医療論	講義		1						○									
N2C220		感染管理論	講義		1						○									
N2C221		臨床心理学	講義		1						○									
N1C222		地域保健学概論	講義		1				○											
N3C223		保健医療福祉行政論 I	演習		1							○								
N4C224		保健医療福祉行政論 II	演習		1								○							
N3C225		保健統計	講義		2							○								
N3C226		疫学 I	講義		1							○								
N4C227		疫学 II	講義		1								○							
N2C228	医療情報	演習		1						○										



区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数				配当年次(◎は集中で開講)								卒業要件単位	
				必修	選択	保健師コース必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門教育科目	看護の基礎となるもの	N1C301	看護学原論	講義	1												7単位
		N1C302	看護理論	講義	1				○								
		N2C303	援助的人間関係論	演習	1						○						
		N1C304	人間発達援助論	演習	1				○								
		N1C305	看護初期実習	実習	1				◎								
		N2C306	看護倫理学	講義	1						○						
		N3C307	健康教育指導法	演習	1								○				
	看護の基本的展開	N1C308	看護過程論	演習	1					○							10単位
		N1C309	看護観察技術論	演習	1				○								
		N2C310	症状マネジメント論	演習	2						○						
		N1C311	基礎看護技術論	演習	2					○							
		N1C312	基礎看護学臨地実習 I	実習	1					◎							
		N2C313	基礎看護学臨地実習 II	実習	2						◎						
		N3C314	研究方法論	演習	1									○			
	小児	N2C315	小児看護学概論	講義	1						○						5単位
		N3C316	小児看護援助論	演習	1							○					
		N3C317	小児看護技術論	演習	1								○				
		N3C318	小児看護学臨地実習	実習	2								◎				
	母性	N2C319	母性看護学概論	講義	1						○						5単位
		N3C320	母性看護援助論	演習	1							○					
		N3C321	母性看護技術論	演習	1								○				
		N3C322	母性看護学臨地実習	実習	2								◎				
	成人	N2C323	成人看護学概論	講義	1						○						8単位
		N2C324	成人看護援助論	演習	1						○						
		N3C325	成人看護技術論	演習	1							○					
		N2C326	成人看護学臨地実習 I	実習	3						◎						
		N3C327	成人看護学臨地実習 II	実習	2							◎					
	老年	N2C328	老年看護学概論	講義	1						○						6単位
		N2C329	老年看護援助論	演習	1						○						
		N3C330	老年看護技術論	演習	1								○				
		N3C331	老年看護学臨地実習 I	実習	1							◎					
	精神	N2C332	老年看護学臨地実習 II	実習	2							◎					5単位
		N2C333	精神看護学概論	講義	1						○						
		N2C334	精神看護援助論	演習	1							○					
		N3C335	精神看護技術論	演習	1								○				
N3C336		精神看護学臨地実習	実習	2							◎						
在宅	N2C337	在宅看護学概論	講義	1							○					5単位	
	N2C338	在宅看護援助論	演習	1							○						
	N3C339	在宅看護技術論	演習	1								○					
	N3C340	在宅看護学臨地実習	実習	2							◎						
健康問題への対応	N3C341	リハビリテーション看護学	演習	1								○				5単位以上	
	N2C342	がん看護学	演習	1						○							
	N3C343	認知症ケア	演習	1								○					
	N3C344	透析ケア	講義	1									○				
	N3C345	重症集中ケア	講義	1									○				
	N3C346	救急看護学	講義	1									○				
	N3C347	放射線医療管理論	講義	1									○				
	N4C348	ペリネイタルケア	講義	1										○			
	N4C349	バリアティブケア	講義	1										○			
	N4C350	寒冷地医療	講義	1										○			
コミュニティーケアに関するもの	N2C401	公衆衛生看護学概論	講義	1							○					2単位以上(保健師コース10単位)	
	N3C402	公衆衛生看護援助論 I	演習	1								○					
	N3C403	公衆衛生看護援助論 II	演習			1						○					
	N4C404	公衆衛生看護技術論	演習			1							○				
	N4C405	ヘルスプロモーション活動論	演習		1								○				
	N4C406	公衆衛生看護学臨地実習 I	実習			2							◎				
	N4C407	公衆衛生看護学臨地実習 II	実習			3							◎				
発展・統合に関するもの	N4C408	看護管理学	演習	1										○		12単位以上	
	N3C409	看護教育学	講義	1										○			
	N4C410	卒業研究	演習	4										○			
	N4C411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3										◎			
	N4C412	公衆衛生看護管理論	講義			1								○			
	N4C413	看護情報学	講義		1									○			
	N4C414	災害看護学	講義		1									○			
	N4C415	国際看護学	講義		1									○			
	N4C416	国際保健学	講義		1									○			
	N4C417	医療経営学	講義		1									○			
	N4C418	医療安全管理論	講義		1									○			
	N4C419	現代専門職論	講義		1									○			
	N5C423	地域プロジェクト I (基礎編)	演習			2	○	○	○	○							
	N5C424	地域プロジェクト II (応用編)	演習			2			○	○	○	○	○	○			
	N5C425	地域プロジェクト III (発展編)	演習			2				○	○	○	○	○			
学部連携	N2C422	学部連携基礎論	演習	2						○						4単位	
	N3C420	学部連携演習	演習	2							○						

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。  
 注3) 単位数(選択)の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)



## ② 卒業要件

平成21～23年度（編入学生は23～25年度）入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	12	16	28
専門教育科目	94	6	100
(専門基礎科目)	(20)	(2)	(22)
(専門科目)	(74)	(4)	(78)
合 計	106	22	128

平成24～27年度（編入学生は26～29年度）入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	12	16	28
専門教育科目	91	7	98
(専門基礎科目)	(24)	(2)	(26)
(専門科目)	(67)	(5)	(72)
合 計	103	23	126

平成28年度（編入学生は30年度）以降入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	10	16	26
専門教育科目	93	7	100
(専門基礎科目)	(24)	(2)	(26)
(専門科目)	(69)	(5)	(74)
合 計	103	23	126

## 3) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
形態機能学Ⅰ	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
形態機能学Ⅱ	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
地域保健学概論	講義・15時間	1年次前期	◎喜多 歳子 本田 光
看護学原論	講義・15時間	1年次前期	◎定廣 和香子 猪股 千代子
人間発達援助論	演習・30時間	1年次前期	◎小田 和美 松浦 和代 宮崎 みち子 村松 真澄 守村 洋

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
看護初期実習	実習・45時間	1年次前期	◎菅原 美樹 大野 夏代 貝谷 敏子 神島 滋子 藤井 瑞恵 古都 昌子 本田 光 三上 智子 村松 真澄 守村 洋 伊東 健太郎 工藤 京子 小坂 美智代 櫻井 繭子 高橋 奈美 原井 美佳 檜山 明子 矢野 祐美子
看護観察技術論	演習・30時間	1年次前期	◎檜山 明子 大野 夏代 武富 貴久子
薬理学	講義・30時間	1年次後期	★松本 真知子
病理病態学	演習・60時間	1年次後期	◎★鳥越 俊彦 ★廣橋 良彦 ★塚原 智英 ★金関 貴幸 ★中津川 宗秀 ★久保 輝文
感染予防論	講義・30時間	1年次後期	★永坂 敦
看護理論	講義・15時間	1年次後期	◎定廣 和香子 檜山 明子
看護過程論	演習・30時間	1年次後期	◎古都 昌子 大野 夏代 武富 貴久子 檜山 明子
基礎看護技術論	演習・60時間	1年次後期	◎大野 夏代 樋之津 淳子 武富 貴久子 檜山 明子 矢野 祐美子
基礎看護学臨地実習 I	実習・45時間	1年次後期	◎武富 貴久子 定廣 和香子 樋之津 淳子 大野 夏代 古都 昌子 檜山 明子 柏倉 大作 近藤 圭子 田仲 里江 出水 美菜子 大友 舞 鬼塚 美玲 渋谷 友紀 高橋 葉子 中田 亜由美
地域プロジェクト I (基礎編)	演習・60時間	1・2年次通年	◎定廣 和香子 大淵 一博
生命科学	講義・15時間	2年次前期	★山田 恵子
生命倫理	講義・15時間	2年次前期	★村上 友一
環境保健	講義・15時間	2年次前期	★齋藤 健
人間工学	講義・15時間	2年次前期	◎檜山 明子 樋之津 淳子 ★佐藤 秀一
臨床栄養学	演習・30時間	2年次前期	★高野 良子
疾病治療学概論	演習・30時間	2年次前期	◎★高野 廣子 ★檀上 渉 ★堀口 貴行
疾病治療学A	演習・30時間	2年次前期	◎★甲谷 哲郎 ★秋江 研志 ★和田 典男 他
疾病治療学B	演習・30時間	2年次前期	★永坂 敦 他
公衆衛生学	演習・30時間	2年次前期	◎★高橋 恭子 ★廣田 洋子
社会福祉学	講義・15時間	2年次前期	★新田 雅子
家族社会学	講義・15時間	2年次前期	◎丸山 洋平 小田 和美 松浦 和代
医療情報	演習・30時間	2年次前期	◎★小笠原 克彦 ★遠藤 晃 ★谷 祐児
症状マネジメント論	演習・60時間	2年次前期	◎藤井 瑞恵 卯野木 健 貝谷 敏子 神島 滋子 菅原 美樹 村松 真澄 工藤 京子 小坂 美智代 柏倉 大作
基礎看護学臨地実習 II	実習・90時間	2年次前期	◎大野 夏代 定廣 和香子 樋之津 淳子 古都 昌子 武富 貴久子 檜山 明子 石引 かずみ 柏倉 大作 近藤 圭子 田仲 里江 大友 舞 渋谷 友紀 中田 亜由美
成人看護学概論	講義・15時間	2年次前期	◎小田 和美 卯野木 健 川村 三希子

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
成人看護援助論	講義・30時間	2年次前期	◎神島 滋子 貝谷 敏子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 工藤 京子 小坂 美智代 柏倉 大作
老年看護学概論	講義・15時間	2年次前期	村松 真澄
精神看護学概論	講義・15時間	2年次前期	守村 洋
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎古都 昌子 小田 和美 喜多 歳子 小坂 美智代 矢野 祐美子 柏倉 大作 ◎斉藤 雅也 武田 亘明 松井 美穂 福田 大年 金子 晋也 田島 悠史
臨床薬理学	演習・30時間	2年次後期	◎★唯野 貢司 ★後藤 仁和
疾病治療学C	演習・30時間	2年次後期	★三澤 一仁 他
チーム医療論	講義・15時間	2年次後期	◎矢野 祐美子 猪股 千代子
感染管理論	講義・15時間	2年次後期	◎貝谷 敏子 ★スーダイ神崎和代 ★土佐 理恵子
臨床心理学	講義・15時間	2年次後期	◎守村 洋 ★菊池 浩光
援助の人間関係論	演習・30時間	2年次後期	◎守村 洋 藤井 瑞恵 古都 昌子 伊東 健太郎
看護倫理学	講義・15時間	2年次後期	古都 昌子
小児看護学概論	講義・15時間	2年次後期	松浦 和代
母性看護学概論	講義・15時間	2年次後期	宮崎 みち子
成人看護学臨地実習 I	実習・135時間	2年次後期	◎小坂 美智代 卯野木 健 小田 和美 川村 三希子 貝谷 敏子 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 工藤 京子 柏倉 大作 近藤 圭子 田仲 里江 出水 美菜子 大友 舞 鬼塚 美玲 渋谷 友紀 高橋 葉子 中田 亜由美
老年看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎村松 真澄 原井 美佳 ★前沢 政次
精神看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎伊東 健太郎 守村 洋 ★松原 良次 ★松永 力
在宅看護学概論	講義・15時間	2年次後期	菊地 ひろみ
在宅看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎高橋 奈美 菊地 ひろみ ★石崎 剛 ★石谷 夕子 ★松田 諭
がん看護学	演習・30時間	2年次後期	◎川村 三希子 三上 智子 小坂 美智代
公衆衛生看護学概論	講義・15時間	2年次後期	◎喜多 歳子 本田 光
地域プロジェクトII (応用編)	演習・60時間	2・3・4年次 通年	◎定廣 和香子 大淵 一博
保健医療福祉行政論 I	演習・30時間	3年次前期	◎櫻井 繭子 本田 光 守村 洋 近藤 圭子 田仲 里江
保健統計	講義・30時間	3年次前期	◎★片倉 洋子 ★榎 洋一
疫学 I	講義・15時間	3年次前期	喜多 歳子
小児看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎三上 智子 松浦 和代 ★川村 信明
母性看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎山本 真由美 石引 かずみ ★菅原 照夫

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
成人看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎貝谷 敏子 卯野木 健 小田 和美 川村 三希子 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 工藤 京子 小坂 美智代 柏倉 大作
成人看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	3年次前期	◎工藤 京子 貝谷 敏子 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 小坂 美智代 柏倉 大作
老年看護学臨地実習Ⅰ	実習・45時間	3年次前期	◎原井 美佳 村松 真澄 中田 亜由美
精神看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎伊東 健太郎 守村 洋
精神看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎伊東 健太郎 守村 洋 出水 美菜子
在宅看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎菊地 ひろみ 高橋 奈美
在宅看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎菊地 ひろみ 高橋 奈美
リハビリテーション看護学	演習・30時間	3年次前期	◎神島 滋子 柏倉 大作 ★山中 康裕 ★石井 陽史
認知症ケア	演習・30時間	3年次前期	◎村松 真澄 原井 美佳
健康教育指導法	演習・30時間	3年次後期	◎田仲 里江 櫻井 繭子 近藤 圭子
研究方法論	演習・30時間	3年次後期	◎貝谷 敏子 神島 滋子 檜山 明子
小児看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎三上 智子 松浦 和代
小児看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎三上 智子 松浦 和代
母性看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎石引 かずみ 山本 真由美
母性看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎山本 真由美 渡邊 由加利 石引 かずみ 大友 舞
老年看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎原井 美佳 村松 真澄
老年看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	3年次後期	◎村松 真澄 原井 美佳 中田 亜由美
透析ケア	講義・15時間	3年次後期	◎藤井 瑞恵 ★木村 剛
重症集中ケア	講義・15時間	3年次後期	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★高橋 正浩
救急看護学	講義・15時間	3年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★三上 剛人
放射線医療管理論	講義・15時間	3年次後期	◎★池田 光 ★神島 保
公衆衛生看護援助論Ⅰ	演習・30時間	3年次後期	◎櫻井 繭子 本田 光 近藤 圭子 田仲 里江
公衆衛生看護援助論Ⅱ	演習・30時間	3年次後期	◎本田 光 櫻井 繭子 近藤 圭子 田仲 里江
看護教育学	講義・15時間	3年次後期	◎定廣 和香子 武富 貴久子
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎定廣 和香子 川村 三希子 菊地 ひろみ 大野 夏代 貝谷 敏子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 本田 光 村松 真澄 伊東 健太郎 武富 貴久子 ◎若林 尚樹 羽深 久夫 柿山 浩一郎 山田 信博 山田 良 大島 卓 金 秀敬 小宮 加容子 松永 康祐 矢久保 空遥
地域プロジェクトⅢ（発展編）	演習・60時間	3・4年次通年	◎定廣 和香子 大淵 一博

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
ペリネイタルケア	講義・15時間	4年次前期	◎三上 智子 渡邊 由加利 田仲 里江
パリアティブケア	講義・15時間	4年次前期	◎川村 三希子 小坂 美智代
寒冷地医療	講義・15時間	4年次前期	◎原井 美佳 ★前沢 政次
公衆衛生看護技術論	演習・30時間	4年次前期	◎近藤 圭子 櫻井 繭子 田仲 里江
ヘルスプロモーション活動論	演習・30時間	4年次前期	◎本田 光 小田 和美 菊地 ひろみ 守村 洋 渡邊 由加利 櫻井 繭子 近藤 圭子 田仲 里江
公衆衛生看護学臨地実習 I	実習・90時間	4年次前期	◎櫻井 繭子 喜多 歳子 本田 光 近藤 圭子 田仲 里江
公衆衛生看護学臨地実習 II	実習・135時間	4年次前期	◎本田 光 喜多 歳子 櫻井 繭子 近藤 圭子 田仲 里江
看護管理学	演習・30時間	4年次前期	◎猪股 千代子 矢野 祐美子
看護情報学	講義・15時間	4年次前期	★佐藤 ひとみ
災害看護学	講義・15時間	4年次前期	◎矢野 祐美子 喜多 歳子 田仲 里江 ★浅井 康文
国際看護学	講義・15時間	4年次前期	大野 夏代
国際保健学	講義・15時間	4年次前期	★千葉 逸朗
医療経営学	講義・15時間	4年次前期	◎猪股 千代子 矢野 祐美子 ★勝見 真澄
医療安全管理論	講義・15時間	4年次前期	◎猪股 千代子 古都 昌子 檜山 明子 矢野 祐美子
現代専門職論	講義・15時間	4年次前期	◎樋之津 淳子 他
保健医療福祉行政論 II	演習・30時間	4年次後期	◎本田 光 櫻井 繭子 近藤 圭子 田仲 里江
疫学 II	講義・15時間	4年次後期	喜多 歳子
ヘルスケアマネジメント実習	実習・135時間	4年次後期	◎矢野 祐美子 猪股 千代子 大野 夏代 貝谷 敏子 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 古都 昌子 三上 智子 村松 真澄 守村 洋 伊東 健太郎 工藤 京子 小坂 美智代 高橋 奈美 武富 貴久子 原井 美佳 檜山 明子 鬼塚 美玲
公衆衛生看護管理論	講義・15時間	4年次後期	◎本田 光 喜多 歳子 櫻井 繭子
卒業研究	演習・120時間	4年次通年	◎神島 滋子 猪股 千代子 卯野木 健 小田 和美 川村 三希子 菊地 ひろみ 喜多 歳子 定廣 和香子 樋之津 淳子 大野 夏代 貝谷 敏子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 古都 昌子 本田 光 三上 智子 村松 真澄 守村 洋 伊東 健太郎 工藤 京子 小坂 美智代 櫻井 繭子 高橋 奈美 武富 貴久子 原井 美佳 檜山 明子 矢野 祐美子 山本 真由美 石引 かずみ 柏倉 大作 近藤 圭子 田仲 里江

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



## 4) 実習概要

※機関種別

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
看護初期実習	平成30年6月4日～8日	医療機関	108名
		老人福祉センター	83名
		健診センター、その他	58名
基礎看護学臨地実習Ⅰ	平成30年10月15日～19日	医療機関	336名
基礎看護学臨地実習Ⅱ	平成30年5月21日～6月1日	医療機関	810名
成人看護学臨地実習Ⅰ	平成30年10月29日～11月16日	医療機関	1,148名
老年看護学臨地実習Ⅰ	平成30年5月7日～11日	老人福祉センター	42名
		介護老人保健施設	41名
		老人クラブ	83名
成人看護学臨地実習Ⅱ	平成30年6月18日～7月27日	医療機関	802名
精神看護学臨地実習	平成30年6月18日～7月27日	医療機関	470名
		社会福祉施設	166名
在宅看護学臨地実習	平成30年6月18日～7月27日	医療機関	14名
		訪問看護ステーション	322名
		地域包括支援センター・居宅介護支援事業所	308名
母性看護学臨地実習	平成30年11月19日 ～平成31年2月1日	医療機関	719名
小児看護学臨地実習	平成30年11月19日 ～平成31年2月1日	医療機関	484名
		保育所	249名
老年看護学臨地実習Ⅱ	平成30年11月19日 ～平成31年2月1日	医療機関	378名
		介護老人保健施設	203名
公衆衛生看護学臨地実習 Ⅰ・Ⅱ	平成30年6月11日～7月27日	保健所・保健センター	468名
		事業所	52名
		教育機関	27名
ヘルスケアマネジメント 実習	平成30年9月25日～10月12日	医療機関	1,044名
		介護老人保健施設	72名

## 5 デザイン研究科

### 1) 平成30年度時間割

#### ① 前期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年次	博士後期課程	博士前期1年次	博士前期1年次	博士前期1年次	博士前期2年次	博士前期1年次	博士前期1年次
1	9:00 ~ 10:30								国際関係特論
2	10:40 ~ 12:10	環境マネジメント特論		メカトロニクス特論		製品造形特論		景観デザイン特論	コミュニケーション特論
3	13:10 ~ 14:40	環境共生デザイン特論				形状情報処理特論			少子高齢社会特論
4	14:50 ~ 16:20			インターシッピⅠ (事前講義)		インタラクティブデザイン特論			連携プロジェクト演習
				インターシッピⅡ (事前講義)					
5	16:30 ~ 18:00			ビジュアルデザイン特論	建築構造デザイン特論	地域創成デザイン特別セミナーA			
6	18:10 ~ 19:40	建築計画特論	人間空間デザイン研究法	デザイン特論	メディアプロデュース特論		地域プロジェクト演習	デザイン研究法	
			人間情報デザイン研究法						
7	19:50 ~ 21:20								

※デザイン特別演習、特別研究、横断型連携特別演習、博士デザイン特別演習および博士特別研究Ⅰ～Ⅲの開講時期は担当教員により異なる。

#### ② 後期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年次	博士後期課程	博士前期1年次	博士前期1年次	博士前期1年次		博士前期1年次	博士前期1年次
1	9:00 ~ 10:30			建築環境学特論		インタフェースデザイン特論			健康福祉政策特論
2	10:40 ~ 12:10			製品評価特論		コンピューショナル・アート特論		デザインマネジメント特論	地域経済政策特論
3	13:10 ~ 14:40	日本建築史特論		認知・感性科学特論		映像デザイン特論		製品デザイン特論	ヒューマニティ特論
4	14:50 ~ 16:20	地域ブランド構築特論			感性価値特論			地域創成デザイン特別セミナーB	連携プロジェクト演習
5	16:30 ~ 18:00	地域環境評価特論							
6	18:10 ~ 19:40	現代芸術特論	人間空間デザイン特講						
			人間情報デザイン特講						
7	19:50 ~ 21:20								



2) カリキュラム

① 授業科目一覧・履修モデル

<博士前期課程>

平成29年度入学生用

科目区分	授業科目の名称	科目ナンバリング	配当年次(時期)	単位数			空間デザイン分野		製品デザイン分野		コンテンツ・メディアデザイン分野		備考
				必修	選択	自由	建築デザイン	環境デザイン	プロダクトデザイン	インタフェースデザイン	コンテンツ制作	メディア展開	
研究科連携科目	国際関係特論	C5B701	1・2 前期		2					△		△	
	少子高齢社会特論	C5B702	1・2 前期		2				△				
	健康福祉政策特論	C5B703	1・2 後期		2		△						
	地域経済政策特論	C5B704	1・2 後期		2			△	△			△	
	ヒューマニティ特論	C5B705	1・2 後期		2						△		
	コミュニケーション特論	C5B706	1・2 前期		2					△	△		
	連携プロジェクト演習	C1B701	1 通年		2		△		△				
	小計(7科目)		-	-	14	-	4	4	4	4	4	4	4単位以上
基本科目	デザイン特論	D1B801	1 前期	2			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	デザイン研究法	D1B802	1 前期		2			△	△	△	△		
	デザインマネジメント特論	D1B803	1 前期		2		△		△		△		
	小計(3科目)		-	2	4	-	4	4	4	4	4	4	4単位以上
専門教育科目	建築計画特論	D5B801	1・2 前期		2		△■						
	建築環境学特論	D5B802	1・2 後期		2		△■						
	建築構造デザイン特論	D5B803	1・2 前期		2		△■						
	日本建築史特論	D5B804	1・2 後期		2		△						
	景観デザイン特論	D5B805	1・2 前期		2			△					
	地域環境評価特論	D5B806	1・2 後期		2			△					
	環境共生デザイン特論	D5B807	1・2 前期		2		△■	△					
	環境マネジメント特論	D5B808	1・2 前期		2			△	△				
	製品造形特論	D5B831	1・2 前期		2				△				
	製品評価特論	D5B832	1・2 後期		2				△	△			
	メカトロニクス特論	D5B833	1・2 前期		2				△	△			
	インタフェースデザイン特論	D5B834	1・2 後期		2					△			
	製品デザイン特論	D5B835	1・2 後期		2				△				
	感性価値特論	D5B836	1・2 後期		2					△			
	認知・感性科学特論	D5B861	1・2 後期		2					△	△		
	インタラクションデザイン特論	D5B862	1・2 前期		2						△		
	形状情報処理特論	D5B863	1・2 前期		2						△		
	映像デザイン特論	D5B864	1・2 後期		2						△	△	
	ビジュアルデザイン特論	D5B865	1・2 前期		2						△	△	
	現代芸術特論	D5B866	1・2 後期		2							△	
	メディアプロデュース特論	D5B867	1・2 前期		2							△	
	地域ブランド構築特論	D5B868	1・2 後期		2				△			△	
	デザイン特別演習	D1B804	1 前・後	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎	
小計(23科目)		-	2	44	-	12	12	12	12	12	12	12単位以上	
実践科目	地域プロジェクト演習	D2B801	2 前期	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎	
	地域創成デザイン特別セミナーA	D5B891	1・2 前期		2							△	
	地域創成デザイン特別セミナーB	D5B892	1・2 後期		2					△	△		
	インターンシップ I	D5B893	1・2 集中		2		△■	△	△				
	インターンシップ II	D5B894	1・2 集中		4		△■						
小計(5科目)		-	2	6	4	8	4	4	4	4	4	4単位以上	
研究修了	特別研究	D5B899	1~2 通年	6	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
小計(1科目)		-	6	-	-	6	6	6	6	6	6	6単位	
合計(39科目)		-	12	68	4	34	30	30	30	30	30		

◎: 必修科目 △: 選択科目

■は一級建築士受験の実務経験1年とみなすために必要な指定科目(8科目・18単位からインターンシップIIを含む16単位以上の履修が必要となります)

※「建築デザイン」履修モデルは一級建築士受験の実務経験1年とみなすために必要な科目の取得を想定しているため、合計単位数が34単位となっています。

平成30年度以降入学生用

科目区分	授業科目の名称	科目ナンバリング	配当年次(時期)	単位数			空間デザイン分野		製品デザイン分野		コンテンツ・メディアデザイン分野		備考
				必修	選択	自由	建築デザイン	環境デザイン	プロダクトデザイン	インタフェースデザイン	コンテンツ制作	メディア展開	
研究科連携科目	国際関係特論	C5C701	1・2 前期		2								
	少子高齢社会特論	C5C702	1・2 前期		2			△	△				
	健康福祉政策特論	C5C703	1・2 後期		2								
	地域経済政策特論	C5C704	1・2 後期		2		△					△	
	ヒューマニティ特論	C5C705	1・2 後期		2								
	コミュニケーション特論	C5C706	1・2 前期		2					△	△		
	連携プロジェクト演習	C1C701	1 通年		2		△	△	△	△	△	△	
小計(7科目)		-	-	14	-	4	4	4	4	4	4	4単位以上	
基本科目	デザイン特論	D1C801	1 前期	2			◎	◎	◎	◎	◎		
	デザイン研究法	D1C802	1 前期		2			△		△	△		
	デザインマネジメント特論	D1C803	1 前期		2		△		△		△		
小計(3科目)		-	2	4	-	4	4	4	4	4	4	4単位以上	
専門教育科目	建築計画特論	D5C801	1・2 前期		2		△■						
	建築環境学特論	D5C802	1・2 後期		2		△■						
	建築構造デザイン特論	D5C803	1・2 前期		2		△■						
	日本建築史特論	D5C804	1・2 後期		2		△						
	景観デザイン特論	D5C805	1・2 前期		2			△					
	地域環境評価特論	D5C806	1・2 後期		2			△					
	環境共生デザイン特論	D5C807	1・2 前期		2		△■	△					
	環境マネジメント特論	D5C808	1・2 前期		2			△	△				
	製品造形特論	D5C831	1・2 前期		2				△				
	製品評価特論	D5C832	1・2 後期		2				△	△			
	メカトロニクス特論	D5C833	1・2 前期		2				△	△			
	インタフェースデザイン特論	D5C834	1・2 後期		2					△			
	製品デザイン特論	D5C835	1・2 後期		2				△				
	感性価値特論	D5C836	1・2 後期		2					△			
	認知・感性科学特論	D5C861	1・2 後期		2					△	△		
	インタラクションデザイン特論	D5C862	1・2 前期		2						△		
	形状情報処理特論	D5C863	1・2 前期		2						△		
	映像デザイン特論	D5C864	1・2 後期		2						△	△	
	ビジュアルデザイン特論	D5C865	1・2 前期		2							△	
	コンピュータショナル・アート特論	D5C866	1・2 後期		2						△		
	現代芸術特論	D5C867	1・2 後期		2							△	
	メディアプロデュース特論	D5C868	1・2 前期		2							△	
	地域ブランド構築特論	D5C869	1・2 後期		2				△			△	
	デザイン特別演習	D1C804	1 前・後	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎	
小計(24科目)		-	2	46	-	12	12	12	12	12	12	12単位以上	
実践科目	地域プロジェクト演習	D2C801	2 前期	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎	
	地域創成デザイン特別セミナーA	D5C891	1・2 前期		2							△	
	地域創成デザイン特別セミナーB	D5C892	1・2 後期		2					△	△		
	インターンシップI	D5C893	1・2 集中		2		△■	△	△				
	インターンシップII	D5C894	1・2 集中		4		△■						
小計(5科目)		-	2	6	4	8	4	4	4	4	4	4単位以上	
修了研究	特別研究	D5C899	1~2 通年	6	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
小計(1科目)		-	6	-	-	6	6	6	6	6	6	6単位	
合計(40科目)		-	12	70	4	34	30	30	30	30	30		

◎: 必修科目 △: 推奨される選択科目  
 ■は一級建築士受験の実務経験1年とみなすために必要な指定科目(8科目・18単位からインターンシップIIを含む16単位以上の履修が必要となります)  
 ※「建築デザイン」履修モデルは一級建築士受験の実務経験1年とみなすために必要な科目の取得を想定しているため、合計単位数が34単位となっています。

< 博士後期課程 >

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基本科目	横断型連携特別演習	1通年	2				○	
	人間空間デザイン研究法	1前期		2		○		
	人間情報デザイン研究法	1前期		2		○		
小計(3科目)		-	2	4	0		-	
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期		2		○		
	人間情報デザイン特講	1後期		2		○		
	博士デザイン特別演習	2前期	2				○	
小計(3科目)		-	2	4	0		-	
研究指導科目	博士特別研究I	1通年	2				○	
	博士特別研究II	2通年	2				○	
	博士特別研究III	3通年	4				○	
小計(3科目)		-	8	0	0		-	
合計(9科目)		-	12	8	0			



② 修了要件  
 <博士前期課程>

科目区分		修了要件	
研究科連携科目		4単位以上	
専門教育科目	基本科目	4単位以上	
	展開科目	空間デザイン分野	12単位以上
		製品デザイン分野	
		コンテンツ・メディアデザイン分野	
実践科目	4単位以上		
修了研究		6単位	
合計		30単位以上	

「研究科連携科目」から4単位以上、「基本科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「展開科目」から12単位以上(必修2単位を含む)、「実践科目」から4単位以上(必修4単位を含む)、「特別研究」を6単位、合計30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文等の審査及び最終試験に合格したものに学位を授与する。

<博士後期課程>

科目区分	修了要件
基本科目	4単位以上
展開科目	4単位以上
研究指導科目	8単位以上
合計	16単位以上

「基本科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「展開科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「研究指導科目」から8単位、合計16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格したものに学位を授与する。

3) 教育活動  
 <博士前期課程>  
 研究科連携科目

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎スーディ神崎和代 城間 祥之 石井 雅博 大野 夏代 ★千葉 逸朗
少子高齢社会論	講義・30時間	1・2年次前期	原 俊彦
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	町田 佳世子
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村 洋 ★大久保 一郎
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	★佐藤 孝一
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	★上西 哲雄
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎城間 祥之 山田 信博 大島 卓 金 秀敬 ◎喜多 歳子 伊東 健太郎 原井 美佳

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



## 専門教育科目

授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員
デザイン特論	講義・30時間	1年次前期	蓮見 孝
デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎矢部 和夫 柿山 浩一郎 椎野 亜紀夫
デザインマネジメント特論	講義・30時間	1年次後期	★近藤 公彦
建築計画特論	講義・30時間	1・2年次前期	山田 信博
建築環境学特論	講義・30時間	1・2年次後期	齊藤 雅也
建築構造デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	★渡邊 和之
日本建築史特論	講義・30時間	1・2年次後期	羽深 久夫
景観デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	椎野 亜紀夫
地域環境評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎矢部 和夫 ★中原 宏
環境共生デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	山田 良
環境マネジメント特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎片山 めぐみ 大島 卓
製品造形特論	講義・30時間	1・2年次前期	★石崎 友紀
製品評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	柿山 浩一郎
メカトロニクス特論	講義・30時間	1・2年次前期	三谷 篤史
インタフェースデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	若林 尚樹
製品デザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	安齋 利典
感性価値特論	講義・30時間	1・2年次後期	金 秀敬
認知・感性科学特論	講義・30時間	1・2年次後期	石井 雅博
インタラクションデザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	細谷 多聞
形状情報処理特論	講義・30時間	1・2年次前期	城間 祥之
映像デザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	松永 康佑
ビジュアルデザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	吉田 和夫
コンピューショナル・アート特論	講義・30時間	1・2年次後期	藤木 淳
現代芸術特論	講義・30時間	1・2年次後期	上遠野 敏
メディアプロデュース特論	講義・30時間	1・2年次前期	★久保 俊哉
地域ブランド構築特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎★内田 純一 ★野口 将輝
デザイン特別演習	演習・30時間	1年次 前期・後期	◎城間 祥之 安齋 利典 石井 雅博 上遠野 敏 齊藤 雅也 羽深 久夫 細谷 多聞 矢部 和夫 若林 尚樹 柿山 浩一郎 椎野 亜紀夫 藤木 淳 三谷 篤史 山田 信博 山田 良 大島 卓 片山 めぐみ 金 秀敬 松永 康祐
地域プロジェクト演習	演習・30時間	2年次前期	◎城間 祥之 石井 雅博 羽深 久夫 若林 尚樹 柿山 浩一郎 藤木 淳 三谷 篤史 片山 めぐみ 松永 康佑
地域創成デザイン特別セミナーA	演習・30時間	1・2年次前期	◎羽深 久夫 齊藤 雅也 山田 良
地域創成デザイン特別セミナーB	演習・30時間	1・2年次後期	◎安齋 利典 城間 祥之



インターンシップ I	実習・90時間	1・2年次集中	◎羽深 久夫 椎野 亜紀夫 片山 めぐみ	齊藤 雅也 山田 信博	矢部 和夫 山田 良
インターンシップ II	実習・180時間	1・2年次集中	◎羽深 久夫 山田 良	齊藤 雅也 片山 めぐみ	山田 信博
特別研究	演習・90時間	1~2年次通年	◎城間 祥之 上遠野 敏 羽深 久夫 柿山 浩一郎 三谷 篤史 金 秀敬	安齋 利典 齊藤 雅也 細谷 多聞 椎野 亜紀夫 山田 信博	石井 雅博 蓮見 孝 矢部 和夫 藤木 淳 山田 良

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

< 博士後期課程 >

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員			
人間空間デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎矢部 和夫 椎野 亜紀夫	石井 雅博	羽深 久夫	
人間情報デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎城間 祥之	石井 雅博	細谷 多聞	
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎齊藤 雅也 矢部 和夫 山田 信博	石井 雅博 柿山 浩一郎	町田 佳世子 藤木 淳	
人間空間デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎羽深 久夫 椎野 亜紀夫	齊藤 雅也 山田 信博	矢部 和夫 山田 良	
人間情報デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎城間 祥之 細谷 多聞	安齋 利典	石井 雅博	
博士デザイン特別演習	演習・30時間	2年次前期	安齋 利典 城間 祥之 矢部 和夫 藤木 淳 山田 良	石井 雅博 羽深 久夫 柿山 浩一郎 三谷 篤史	齊藤 雅也 細谷 多聞 椎野 亜紀夫 山田 信博	
博士特別研究 I	演習・30時間	1年次通年	安齋 利典 城間 祥之 矢部 和夫 藤木 淳 山田 良	石井 雅博 羽深 久夫 柿山 浩一郎 三谷 篤史	齊藤 雅也 細谷 多聞 椎野 亜紀夫 山田 信博	
博士特別研究 II	演習・30時間	2年次通年	安齋 利典 城間 祥之 矢部 和夫 藤木 淳 山田 良	石井 雅博 羽深 久夫 柿山 浩一郎 三谷 篤史	齊藤 雅也 細谷 多聞 椎野 亜紀夫 山田 信博	
博士特別研究 III	演習・60時間	3年次通年	安齋 利典 城間 祥之 矢部 和夫 藤木 淳 山田 良	石井 雅博 羽深 久夫 柿山 浩一郎 三谷 篤史	齊藤 雅也 細谷 多聞 椎野 亜紀夫 山田 信博	

6 看護学研究科

1) 平成30年度時間割

<博士前期課程>

①1年次

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ~ 10:30						
2	10:40 ~ 12:10						
3	13:10 ~ 14:40						
4	14:50 ~ 16:20	看護理論特論	看護コンサル テーション特論	看護研究法特論	寒冷地生活支援 看護学特論 がん看護・緩和 ケア特論	看護専門職教育特論 在宅看護学特論C 小児看護学特論A	小児看護学特論E がん看護学援助 特論 クリティカルケ ア看護学特論 精神看護学特論C
5	16:30 ~ 18:00	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論A 看護技術学特論 I 看護教育・看護 マネジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論A・B 地域看護学特論 母性看護学特論 小児看護学特論B 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論B 看護技術学特論 II 看護教育学特論 看護マネジメント学特論	看護管理学特論	家族看護学特論 小児看護学特論C がん薬物療法看 護学特論 精神看護学特論D	看護倫理学特論	継続教育特論
		急性期看護学特論					
6	18:10 ~ 19:40	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論A 看護技術学特論 I 看護教育・看護 マネジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論A・B 地域看護学特論 母性看護学特論 小児看護学特論B 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論B 看護技術学特論 II 看護教育学特論 看護マネジメント学特論	看護研究法特論	寒冷地生活支援 看護学特論 小児看護学特論C がん看護・緩和 ケア特論	看護専門職教育特論 在宅看護学特論C 小児看護学特論A	小児看護学特論E がん看護学援助 特論 クリティカルケ ア看護学特論 精神看護学特論C
		急性期看護学特論					
7	19:50 ~ 21:20	看護理論特論	看護コンサル テーション特論	看護管理学特論	家族看護学特論 がん薬物療法看 護特論 精神看護学特論D	看護倫理学特論	継続教育特論



木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
				国際関係特論	健康福祉政策特論
				コミュニケーション特論	地域経済政策特論
				少子高齢社会特論	ヒューマニティ特論
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習A 看護技術学演習Ⅰ 看護教育・看護マネジメント学演習			アドバンスト・フィジカルアセスメント論	連携プロジェクト演習	
		フィジカルアセスメント論			
		老年看護学演習 在宅看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 小児看護学演習A 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習	臨床哲学特論 病態生理学特論	臨床薬理学特論 急性期病態管理学特論	がん病態治療特論
	臨床哲学特論 病態生理学特論	臨床薬理学特論 急性期病態管理学特論			
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習A 看護技術学演習Ⅰ 看護教育・看護マネジメント学演習		臨床哲学特論 病態生理学特論	臨床薬理学特論 急性期病態管理学特論		
			アドバンスト・フィジカルアセスメント論		
		フィジカルアセスメント論			

②2年次

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ~ 10:30						
2	10:40 ~ 12:10						
3	13:10 ~ 14:40						
4	14:50 ~ 16:20					小児看護学特論D	
5	16:30 ~ 18:00	老年看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 慢性期看護学特論 看護技術学特論Ⅱ 看護教育学特論 看護マネジメント学特論	在宅看護学特論D 慢性期精神看護学特論	慢性期精神看護学演習	在宅看護学特論E		
		クリティカルケア看護学演習Ⅰ			クリティカルケア看護学演習Ⅱ		
6	18:10 ~ 19:40	老年看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 慢性期看護学特論 看護技術学特論Ⅱ 看護教育学特論 看護マネジメント学特論	在宅看護学特論D 慢性期精神看護学特論	慢性期精神看護学演習	小児看護学特論D		
		クリティカルケア看護学演習Ⅰ	がん看護・緩和ケア演習	がん薬物療法看護演習	クリティカルケア看護学演習Ⅱ		
7	19:50 ~ 21:20					在宅看護学特論E	





木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
				国際関係特論	健康福祉政策特論
				コミュニケーション特論	地域経済政策特論
				少子高齢社会特論	ヒューマニティ特論
老年看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 精神看護学演習B 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習					
			急性期病態管理学特論	小児看護学演習B がん看護学演習Ⅱ	
老年看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 精神看護学演習B 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習			急性期病態管理学特論		

< 博士後期課程 >

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ∩ 10:30						
2	10:40 ∩ 12:10						
3	13:10 ∩ 14:40						
4	14:50 ∩ 16:20			後期特別研究 I II III			
5	16:30 ∩ 18:00			(横断型連携特別演習)			
6	18:10 ∩ 19:40			後期特別研究 I II III			
7	19:50 ∩ 21:20			(横断型連携特別演習)			

		木		金		土	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
	看護学特講					横断型連携特別演習	
	看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習						
	看護学特講						
	看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習						

2) カリキュラム

① 授業科目一覧

<博士前期課程>

平成29年度以前入学生用

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
研究科連携科目	C5A701	国際関係特論	1・2 前		2			○		4単位以上
	C5A702	少子高齢社会特論	1・2 前		2			○		
	C5A703	健康福祉政策特論	1・2 後		2			○		
	C5A704	地域経済政策特論	1・2 後		2			○		
	C5A705	ヒューマニティ特論	1・2 後		2			○		
	C5A706	コミュニケーション特論	1・2 前		2			○		
	C1A701	連携プロジェクト演習	1 通		2				○	
専 門 基 礎 科 目	N1A801	看護理論特論	1 前	2				○		8単位以上
	N1A802	看護研究法特論	1 前	2				○		
	N1A803	看護倫理学特論	1 前		2			○		
	N1A804	看護管理学特論	1 前		2			○		
	N1A805	臨床哲学特論	1 後		2			○		
	N1A806	看護コンサルテーション特論	1 後		2			○		
	N1A807	看護専門職教育特論	1 前		2			○		
	N1A808	継続教育特論	1 後		2			○		
	N1A809	寒冷地生活支援看護学特論	1 後		2			○		
	N1A810	家族看護学特論	1 後		2			○		
専 門 実 践 科 目	N1A821	地域生活看護学特論	1 前		2			○		1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者16単位以上)
	N5A821	老年看護学特論	1・2 後		2			○		
	N5A822	在宅看護学特論	1・2 後		2			○		
	N5A823	地域看護学特論	1・2 後		2			○		
	N1A822	地域生活看護学演習	1 通		2				○	
	N5A824	老年看護学演習	1・2 通		2				○	
	N5A825	在宅看護学演習	1・2 通		2				○	
	N5A826	地域看護学演習	1・2 通		2				○	
	N1A831	母子看護学特論	1 前		2			○		
	N5A831	母性看護学特論	1・2 後		2			○		
	N1A832	小児看護学特論A	1 前		2			○		
	N1A833	小児看護学特論B	1 後		2			○		
	N1A834	小児看護学特論C	1 後		1			○		
	N2A831	小児看護学特論D	2 前		1			○		
	N1A835	母子看護学演習	1 通		2				○	
	N5A832	母性看護学演習	1・2 通		2				○	
	N1A836	小児看護学演習A	1 通		2				○	
	N5A833	小児看護学演習B	1・2 通		2				○	
	N5A834	小児看護学実習 I	1・2 通		4				○	
	N5A835	小児看護学実習 II	1・2 通		2				○	
	N1A841	成人看護学特論	1 前		2			○		
	N5A841	急性期看護学特論	1・2 後		2			○		
	N5A842	慢性期看護学特論	1・2 後		2			○		
	N5A843	がん看護学特論	1・2 後		2			○		
	N5A844	急性期病態管理学特論	1・2 後		2			○		
	N1A842	クリティカルケア看護学特論	1 前		1			○		
	N1A843	がん看護学・緩和ケア特論	1 前		1			○		
	N1A844	がん看護学・緩和ケア援助特論	1 後		1			○		
N1A845	腫瘍学特論	1 前		2			○			
N1A846	病態治療特論	1 後		2			○			
N1A847	成人看護学演習	1 通		2				○		
N5A845	急性期看護学演習	1・2 通		2				○		
N1A848	アドバンスト・フィジカルアセスメント演習	1 前		1				○		
N1A849	クリティカルケア看護学演習	1 通		2				○		
N5A846	慢性期看護学演習	1・2 通		2				○		
N5A847	がん看護学演習 I	1・2 通		2				○		
N2A841	がん看護学演習 II	2 通		2				○		
N5A848	急性期看護学実習	1・2 通		6				○		
N1A850	がん看護学実習 I	1 後		2				○		
N2A842	がん看護学実習 II	2 通		4				○		
専 門 分 野 科 目	N1A861	精神看護学特論 I	1 前		2			○		8単位(専門看護師認定希望者4単位)
	N5A861	精神看護学特論 II	1・2 後		2			○		
	N5A862	精神看護学特論 III	1・2 前		2			○		
	N5A863	精神看護学特論 IV	1・2 前		1			○		
	N1A862	精神看護学特論 V	1 後		2			○		
	N2A861	精神看護学特論 VI	2 前		2			○		
	N1A863	精神看護学演習 I	1 通		2				○	
	N5A864	精神看護学演習 II	1・2 通		2				○	
	N5A865	精神看護学演習 III	1・2 通		2				○	
	N1A864	クリティカル精神看護学演習	1 後		1				○	
	N2A862	リハビリテーション精神看護学演習	2 前		1				○	
	N1A865	精神看護学実習 I	1 後		2				○	
	N2A863	精神看護学実習 II	2 通		4				○	
	専 門 科 目	N1A871	看護技術学特論 I	1 前		2			○	
N5A871		看護技術学特論 II	1・2 後		2			○		
N1A872		看護技術学演習 I	1 通		2				○	
N5A872		看護技術学演習 II	1・2 通		2				○	
N1A881		看護教育・看護マネジメント学特論	1 前		2			○		
N5A881		看護教育学特論	1・2 後		2			○		
N5A882		看護マネジメント学特論	1・2 後		2			○		
N1A882		看護教育・看護マネジメント学演習	1 通		2				○	
N5A883		看護教育学演習	1・2 通		2				○	
N5A884		看護マネジメント学演習	1・2 通		2				○	
研究	N5A891	特別研究	1~2 通		8					8単位(専門看護師認定希望者4単位)
	N5A892	課題研究	1~2 通		4					

平成30年度以降入学生用

科目区分	科目 ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
研究科連携科目	C5B701	国際関係特論	1・2 前		2			○		4単位以上
	C5B702	少子高齢社会特論	1・2 前		2			○		
	C5B703	健康福祉政策特論	1・2 後		2			○		
	C5B704	地域経済政策特論	1・2 後		2			○		
	C5B705	ヒューマノディ特論	1・2 後		2			○		
	C5B706	コミュニケーション特論	1・2 前		2			○		
	C1B701	連携プロジェクト演習	1 通		2				○	
専 門 基 礎 科 目	N1B801	看護理論特論	1 前	2				○		8単位以上 (専門看護師認定希望者14単位以上)
	N1B802	看護研究法特論	1 前	2				○		
	N1B803	看護倫理学特論	1 前		2			○		
	N1B804	看護管理学特論	1 前		2			○		
	N1B805	臨床哲学特論	1 前		2			○		
	N1B806	看護コンサルテーション特論	1 後		2			○		
	N1B807	看護専門職教育特論	1 前		2			○		
	N1B808	継続教育特論	1 後		2			○		
	N1B809	寒冷地生活支援看護学特論	1 後		2			○		
	N1B810	家族看護学特論	1 後		2			○		
	N1B811	フィジカルアセスメント論	1 通		2			○		
	N1B812	病態生理学特論	1 前		2			○		
	N1B813	臨床薬理学特論	1 後		2			○		
専 門 実 践 科 目	N1B821	地域生活看護学特論	1 前		2			○		1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N5B821	老年看護学特論	1・2 後		2			○		
	N1B822	在宅看護学特論A	1 後		1			○		
	N1B823	在宅看護学特論B	1 後		1			○		
	N1B824	在宅看護学特論C	1 前		2			○		
	N2B821	在宅看護学特論D	2 前		2			○		
	N2B822	在宅看護学特論E	2 前		2			○		
	N5B822	地域看護学特論	1・2 後		2			○		
	N1B825	地域生活看護学演習	1 通		2			○		
	N5B823	老年看護学演習	1・2 通		2			○		
	N1B826	在宅看護学演習	1 通		2			○		
	N5B824	地域看護学演習	1・2 通		2			○		
	N1B827	高度在宅看護学実習 I	1 後		2				○	
	N2B823	高度在宅看護学実習 II	2 通		3				○	
	N2B824	高度在宅看護学実習 III	2 通		3				○	
	N2B825	高度在宅看護学実習 IV	2 通		3				○	
	N1B831	母子看護学特論	1 前		2			○		
	N5B831	母性看護学特論	1・2 後		2			○		
	N1B832	小児看護学特論A	1 前		2			○		
	N1B833	小児看護学特論B	1 後		2			○		
	N1B834	小児看護学特論C	1 後		1			○		
	N2B831	小児看護学特論D	2 前		1			○		
	N1B835	小児看護学特論E	1 後		2			○		
	N1B836	母子看護学演習	1 通		2			○		
	N5B832	母性看護学演習	1・2 通		2			○		
N1B837	小児看護学演習A	1 通		2			○			
N5B833	小児看護学演習B	1・2 通		2			○			
N1B838	高度小児看護学実習 I	1 後		2				○		
N2B832	高度小児看護学実習 II	2 通		4				○		
N2B833	高度小児看護学実習 III	2 通		4				○		
専 門 教 育 科 目	N1B841	成人看護学特論	1 前		2			○		1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N1B842	急性期看護学特論	1 通		2			○		
	N5B841	慢性期看護学特論	1・2 後		2			○		
	N1B843	がん看護学特論	1 後		2			○		
	N5B842	急性期病態管理学特論	1・2 後		2			○		
	N1B844	クリティカルケア看護学特論	1 後		2			○		
	N1B845	アドバンスト・フィジカルアセスメント論	1 後		2			○		
	N1B846	がん看護学援助特論	1 後		2			○		
	N1B847	がん薬物療法看護学特論	1 後		2			○		
	N1B848	がん看護・緩和ケア特論	1 後		2			○		
	N1B849	がん病態治療特論	1 後		2			○		
	N1B850	成人看護学演習	1 通		2			○		
	N5B843	急性期看護学演習	1・2 通		2			○		
	N2B841	クリティカルケア看護学演習 I	2 通		2			○		
	N2B842	クリティカルケア看護学演習 II	2 通		2			○		
	N5B844	慢性期看護学演習	1・2 通		2			○		
	N2B843	がん薬物療法看護学演習	2 通		2			○		
	N2B844	がん看護・緩和ケア演習	2 通		2			○		
	N1B851	高度急性期看護学実習 I	1 後		3				○	
	N2B845	高度急性期看護学実習 II	2 通		3				○	
N2B846	高度急性期看護学実習 III	2 通		2				○		
N2B847	高度急性期看護学実習 IV	2 通		2				○		
N1B852	高度がん看護学実習 I	1 後		2				○		
N2B848	高度がん看護学実習 II	2 通		4				○		
N2B849	高度がん看護学実習 III	2 通		4				○		
専 門 教 育 科 目	N1B861	精神看護学特論A	1 前		2			○		1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N1B862	精神看護学特論B	1 後		2			○		
	N1B863	精神看護学特論C	1 後		2			○		
	N1B864	精神看護学特論D	1 後		2			○		
	N2B861	慢性期精神看護学特論	2 前		1			○		
	N1B865	精神看護学演習A	1 通		2			○		
	N2B862	精神看護学演習B	2 通		2			○		
	N2B863	慢性期精神看護学演習	2 後		1			○		
	N1B866	高度精神看護学実習 I	1 後		2				○	
	N1B867	高度精神看護学実習 II	1 後		2				○	
	N2B864	高度精神看護学実習 III	2 通		4				○	
	N2B865	高度精神看護学実習 IV	2 通		4				○	
	N1B871	看護技術学特論 I	1 前		2			○		
	N5B871	看護技術学特論 II	1・2 後		2			○		
	N1B872	看護技術学演習 I	1 通		2			○		
	N5B872	看護技術学演習 II	1・2 通		2			○		
	看護教育・マネジメント学領域	N1B881	看護教育・看護マネジメント学特論	1 前		2			○	
N5B881		看護教育学特論	1・2 後		2			○		
N5B882		看護マネジメント学特論	1・2 後		2			○		
N1B882		看護教育・看護マネジメント学演習	1 通		2			○		
N5B883		看護教育学演習	1・2 通		2			○		
N5B884		看護マネジメント学演習	1・2 通		2			○		
研究	N5B891	特別研究	1~2 通		8			○		8単位 (専門看護師認定希望者4単位)
	N5B89	課題研究	1~2 通		4			○		



< 博士後期課程 >

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	シラバス掲載頁	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
連携科目 博士後期	N1A901	横断型連携特別演習	148	1 通	2				○		2単位
博士後期専門科目	N1A911	看護学特講	150	1 前	2				○		4単位以上
	N1A912	看護技術学特別演習	151	1 通		2			○		
	N1A913	実践看護学特別演習	152	1 通		2			○		
	N1A914	機能看護学特別演習	153	1 通		2			○		
博士後期研究指導科目	N1A921	後期特別研究Ⅰ	156	1 通	2				○		8単位
	N2A921	後期特別研究Ⅱ	160	2 通	2				○		
	N3A921	後期特別研究Ⅲ	164	3 通	4				○		

② 修了要件

< 博士前期課程 >

※修士論文コース

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	20	—	24
専門基礎科目	4	4	—	8
専門科目	—	16	—	16
選択する領域・分野から	—	8	—	8
研究	—	8	—	8
合計	4	26	—	30

※専門看護師コース

(平成29年度以前入学生)

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	24	—	28
専門基礎科目	4	4	—	8
専門科目	—	20	—	20
選択する領域・分野から	—	16	—	16
研究	—	4	—	4
合計	4	30	—	34



(平成30年度以降入学生)

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	36	—	40
専門基礎科目	4	10	—	14
専門科目	—	26	—	26
選択する領域・分野から	—	22	—	22
研究	—	4	—	4
合計	4	42	—	46

&lt;博士後期課程&gt;

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
博士後期連携科目	2	—	—	2
博士後期専門科目	2	2	—	4
博士後期研究指導科目	8	—	—	8
合計	12	2	—	14

## 3) 教育活動

&lt;博士前期課程&gt;

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎★スーディ神崎和代 城間 祥之 石井 雅博 大野 夏代 ★千葉 逸朗
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	原 俊彦
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村 洋 ★大久保 一郎
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	★佐藤 孝一
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	★上西 哲雄
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	町田 佳世子
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎喜多 歳子 伊東 健太郎 原井 美佳 ◎城間 祥之 山田 信博 大島 卓 金 秀敬
看護理論特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 小田 和美 川村 三希子 菅原 美樹 大野 夏代 ★山内 まゆみ
看護研究法特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 菊地 ひろみ 貝谷 敏子
看護倫理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎宮崎 みち子 川村 三希子 古都 昌子
看護管理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎猪股 千代子 ★勝見 真澄
臨床哲学特論	講義・30時間	1年次前期	★尾形 敬次
看護コンサルテーション特論	講義・30時間	1年次後期	◎猪股 千代子 古都 昌子 ★藤野 智子
看護専門職教育特論	講義・30時間	1年次前期	定廣 和香子

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
継続教育特論	講義・30時間	1年次後期	◎古都 昌子 ★舟島 なをみ ★中山 登志子
寒冷地生活支援看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎村松 真澄 ★池田 貴夫 ★前沢 政次 ★鈴木 英樹
家族看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎小田 和美 菊地 ひろみ ★柳原 清子 ★吉川 由希子
フィジカルアセスメント論	講義・30時間	1年次通年	◎菅原 美樹 三上 智子 ★羽賀 将衛 ★石川 幸司 ★牧野 夏子
病態生理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎★小林 正伸 貝谷 敏子 神島 滋子 藤井 瑞恵
臨床薬理学特論	講義・30時間	1年次後期	◎★齊藤 浩司 松浦 和代 川村 三希子 菊地 ひろみ 守村 洋
地域生活看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎菊地 ひろみ 喜多 歳子 村松 真澄
老年看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎村松 真澄 ★樋渡 ひとみ ★大久保 抄織
在宅看護学特論A	講義・15時間	1年次後期	◎菊地 ひろみ ★石崎 剛
在宅看護学特論B	講義・15時間	1年次後期	菊地 ひろみ
在宅看護学特論C	講義・30時間	1年次前期	◎菊地 ひろみ ★鈴木 眞一郎 ★吉崎 秀夫 ★土島 智幸 ★西川 就 ★矢崎 一雄 ★今井 浩平
地域看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	喜多 歳子
地域生活看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎村松 真澄 菊地 ひろみ 喜多 歳子 本田 光 高橋 奈美 ★平原 優美
老年看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎村松 真澄 原井 美佳
在宅看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎菊地 ひろみ 高橋 奈美 ★平原 優美 ★門脇 陸子
地域看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎本田 光 喜多 歳子
高度在宅看護学実習 I	実習・90時間	1年次後期	◎高橋 奈美 菊地 ひろみ
母子看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 宮崎 みち子
母性看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	宮崎 みち子
小児看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	松浦 和代
小児看護学特論B	講義・30時間	1年次後期	松浦 和代
小児看護学特論C	講義・15時間	1年次後期	松浦 和代
小児看護学特論D	講義・15時間	2年次前期	松浦 和代
小児看護学特論E	講義・30時間	1年次後期	◎★川村 信明 松浦 和代 牧田 靖子
母子看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎松浦 和代 宮崎 みち子 渡邊 由加利 三上 智子 ★山内 豊明
母性看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎宮崎 みち子 渡邊 由加利
小児看護学演習A	演習・60時間	1年次通年	◎松浦 和代 三上 智子 牧田 靖子
小児看護学演習B	演習・60時間	1・2年次通年	◎三上 智子 松浦 和代
高度小児看護学実習 I	実習・90時間	1年次後期	◎松浦 和代 三上 智子
成人看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎小田 和美 卯野木 健 川村 三希子

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
急性期看護学特論	講義・30時間	1年次通年	◎菅原 美樹 卯野木 健
慢性期看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	小田 和美
がん看護特論	講義・30時間	1年次後期	川村 三希子
急性期病態管理学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎★七戸 康夫 菅原 美樹 ★佐藤 朝之 ★上村 修二
クリティカルケア看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健
アドバンスト・フィジカルアセスメント論	講義・30時間	1年次後期	◎菅原 美樹 神島 滋子 ★小川 謙 ★木村 禎
がん看護学援助特論	講義・30時間	1年次後期	◎川村 三希子 ★荒尾 晴恵
がん薬物療法看護特論	講義・30時間	1年次後期	◎川村 三希子 小坂 美智代 ★石岡 明子
がん看護・緩和ケア特論	講義・30時間	1年次後期	川村 三希子
がん病態治療特論	講義・30時間	1年次後期	◎★小林 正伸 川村 三希子 ★福原 敬 ★鈴木 恵士郎
成人看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎小田 和美 川村 三希子 貝谷 敏子 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 小坂 美智代 ★山内 豊明
急性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎菅原 美樹 神島 滋子 ★平尾 明美 ★藤野 智子
慢性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎小田 和美 貝谷 敏子 藤井 瑞恵
高度急性期看護学実習 I	実習・135時間	1年次後期	◎菅原 美樹 ★藤野 智子 ★小川 謙
高度がん看護学実習 I	実習・90時間	1年次後期	◎川村 三希子 小坂 美智代
がん看護学演習 II	演習・60時間	2年次通年	◎川村 三希子 小坂 美智代 ★田中 いずみ ★石岡 明子 ★内海 明美
急性期看護学実習	実習・270時間	1・2年次通年	◎菅原 美樹 ★藤野 智子 ★小川 謙
がん看護学実習 I	実習・90時間	1年次後期	◎小坂 美智代 川村 三希子
がん看護学実習 II	実習・180時間	2年次通年	◎川村 三希子 小坂 美智代
精神看護学特論 A	講義・30時間	1年次前期	◎守村 洋 ★山本 勝則
精神看護学特論 B	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋 ★吉野 淳一
精神看護学特論 C	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋 ★齊藤 浩司 ★吉野 淳一
精神看護学特論 D	講義・30時間	1年次後期	◎★山本 勝則 守村 洋
精神看護学演習 A	演習・60時間	1年次通年	◎守村 洋 伊東 健太郎
高度精神看護学実習 I	実習・90時間	1年次後期	◎守村 洋 伊東 健太郎
高度精神看護学実習 II	実習・90時間	1年次後期	◎守村 洋 伊東 健太郎
看護技術学特論 I	講義・30時間	1年次前期	樋之津 淳子
看護技術学特論 II	講義・30時間	1・2年次後期	◎樋之津 淳子 大野 夏代
看護技術学演習 I	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津 淳子 大野 夏代 ★山内 豊明
看護技術学演習 II	演習・60時間	1・2年次通年	◎大野 夏代 樋之津 淳子
看護教育・マネジメント学特論	講義・30時間	1年次前期	◎定廣 和香子 猪股 千代子
看護教育学特論	講義・30時間	1・2年次後期	定廣 和香子





授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
看護マネジメント学特論	講義・30時間	1・2年次後期	猪股 千代子
看護教育・看護マネジメント学演習	演習・60時間	1年次通年	◎定廣 和香子 猪股 千代子 古都 昌子
看護教育学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎定廣 和香子 古都 昌子
看護マネジメント学演習	演習・60時間	1・2年次通年	猪股 千代子
特別研究	演習・240時間	1～2年次通年	◎松浦 和代 猪股 千代子 卯野木 健 小田 和美 川村 三希子 菊地 ひろみ 喜多 歳子 定廣 和香子 中村 恵子 樋之津 淳子 宮崎 みち子 貝谷 敏子 神島 滋子 菅原 美樹 古都 昌子 村松 真澄 守村 洋 大野 夏代 藤井 瑞恵 本田 光 三上 智子 渡邊 由加利 原井 美佳
課題研究	演習・120時間	1～2年次通年	◎松浦 和代 卯野木 健 川村 三希子 中村 恵子 菅原 美樹 守村 洋 小坂 美智代

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師＜博士後期課程＞

< 博士後期課程 >

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎松浦 和代 川村 三希子 菊地 ひろみ 喜多 歳子 定廣 和香子 樋之津 淳子 宮崎 みち子
看護学特講	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 卯野木 健 喜多 歳子 ★真田 弘美 ★木村 純 ★スーディ神崎和代
看護技術学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津 淳子 村松 真澄
実践看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎松浦 和代 卯野木 健 川村 三希子 菊地 ひろみ 宮崎 みち子 村松 真澄 守村 洋
機能看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎定廣 和香子 喜多 歳子
後期特別研究Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津 淳子 川村 三希子 菊地 ひろみ 定廣 和香子 松浦 和代 喜多 歳子 村松 真澄 守村 洋
後期特別研究Ⅱ	演習・60時間	2年次通年	◎樋之津 淳子 川村 三希子 菊地 ひろみ 定廣 和香子 松浦 和代 喜多 歳子 村松 真澄 守村 洋
後期特別研究Ⅲ	演習・120時間	3年次通年	◎樋之津 淳子 中村 恵子 川村 三希子 菊地 ひろみ 定廣 和香子 松浦 和代 喜多 歳子 村松 真澄 守村 洋

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



## 7 助産学専攻科

## 1) 平成30年度時間割

## ① 前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ～ 10:30	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
2	10:40 ～ 12:10	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
3	13:10 ～ 14:40	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論		助産管理論	
4	14:50 ～ 16:20	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論			
5	16:30 ～ 18:00			地域母子保健論							

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。

## ② 後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ～ 10:30	助産学演習									
2	10:40 ～ 12:10	助産学演習									
3	13:10 ～ 14:40	助産学課題研究									
4	14:50 ～ 16:20	助産学課題研究									
5	16:30 ～ 18:00										

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。

## 2) カリキュラム

## ① 授業科目一覧

区分	授業科目の名称	授業形態	単位数 (全科目：必修)
基礎助産学	助産学総論	講義	2
	周産期医学論	講義	2
	乳幼児支援論	講義	2
	妊娠期助産診断・技術学	演習	1
	分娩期助産診断・技術学	演習	2
	産褥期助産診断・技術学	演習	1
実践助産学	助産学フィールド演習	演習	1
	周産期ハイリスク援助論	演習	1
	地域母子保健論	講義	1
	助産管理論	講義	1
	助産学実習Ⅰ	実習	3
	助産学実習Ⅱ	実習	3
	助産学実習Ⅲ	実習	3
	助産学実習Ⅳ	実習	2
	助産学実習Ⅴ	実習	1
統合助産学	助産学演習	演習	2
	助産学課題研究	演習	2
合計			30

## ② 修了要件

30単位（全科目必修）

## 3) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
助産学総論	講義・30時間	前期	◎宮崎 みち子 渡邊 由加利 山本 真由美 森川 由紀
周産期医学論	講義・30時間	前期	◎山本 真由美 渡邊 由加利 森川 由紀 ★高野 良子 ★唯野 貢司 ★西 基 ★森川 守 ★渡利 道子 ★津村 宣彦
乳幼児支援論	講義・30時間	前期	◎森川 由紀 渡邊 由加利 ★小林 正樹 ★渡邊 大地
妊娠期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎渡邊 由加利 石引 かずみ
分娩期助産診断・技術学	演習・60時間	前期	◎森川 由紀 渡邊 由加利 山本 真由美 石引 かずみ ★森川 守
産褥期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎山本 真由美 森川 由紀



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
助産学フィールド演習	演習・30時間	前期	◎石引 かずみ
周産期ハイリスク援助論	演習・30時間	前期	◎★平山 恵美 ★荒木 英司 ★鈴木 伸和 ★紅粉 睦男 ★佐野 敬夫 ★野呂 歩 ★塩野 展子 ★山田 俊 ★石田 桐代 ★城戸 真紗美
地域母子保健論	講義・15時間	前期	◎渡邊 由加利 大野 夏代 ★阿部 位江子
助産管理論	講義・15時間	前期	◎宮崎 みち子 ★水野 栄子 ★宮下 美代子 ★加藤 葉子
助産学実習Ⅰ	実習・135時間	通年	◎渡邊 由加利 山本 真由美 森川 由紀 石引 かずみ 大友 舞
助産学実習Ⅱ	実習・135時間	通年	◎森川 由紀 渡邊 由加利 山本 真由美 石引 かずみ 大友 舞
助産学実習Ⅲ	実習・135時間	通年	◎石引 かずみ 渡邊 由加利 山本 真由美 森川 由紀 大友 舞
助産学実習Ⅳ	実習・90時間	後期	◎渡邊 由加利 山本 真由美 森川 由紀 石引 かずみ 大友 舞
助産学実習Ⅴ	実習・45時間	後期	◎山本 真由美 渡邊 由加利 森川 由紀 石引 かずみ 大友 舞
助産学演習	演習・60時間	通年	◎渡邊 由加利 宮崎 みち子 山本 真由美 森川 由紀 石引 かずみ 羽深 久夫 金子 晋也 ★渡利 道子 ★森川 守
助産学課題研究	演習・60時間	通年	◎渡邊 由加利 宮崎 みち子 森川 由紀

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

#### 4) 実習概要

(単位：名)

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
助産学実習	平成30年6月25日～平成31年3月7日	医療機関	965
	平成30年9月10日～11月16日	母子健康センター	20

## 8 デザインと看護の連携教育

「デザイン」・「看護」という、異なる分野の学生たちが、共に学ぶことが札幌市立大学の特色である。常識にとらわれない多彩なカリキュラムと自由な雰囲気での授業で、地域社会に根ざした豊かな人間性と柔軟な感性を育む。

1年次前期「スタートアップ演習」（共通教育科目）では、「デザインと看護の連携」をテーマに、大講義室での合同講義や少人数編成によるグループ活動、地域調査を通じ、主体的に勉学・研究を進めるための基礎的な学習方法や課題解決の手法などを学ぶ。また、調査・分析プロジェクトを通じ、地域社会に対する関心や貢献の姿勢を育てる。

### 平成30年度（2018年度）「スタートアップ演習」

テーマ	チーム名
まこまないで、こまらない！！～ふきジャムおじさんの防菜教室～	あんどーナツもらったさあ
過保護な公園	はい、バター
南区すごろくバスツアー～おいしく・楽しく・南区～	レペゼン南区
とびだせ！おいしい真駒内	SIROMIZAKANA
幼稚園の園庭について	園庭を真剣に考える会
病院食に幸せを	ボン・ボヌール
My 食生活 is bad	シュークリーム同好会
真駒内で遊ばない？～「ツマラナイ公園」なんて言わせない～	木曜日
おいでよsuneoの森～ハッピーパークデザイナー～	Suneo♡
UDS～ユニバーサル・デザイン・ステーション～	4次元ポケット

2年次前期「学部連携基礎論」（専門教育科目）では、札幌市の各地域の特徴と課題をそれぞれの専門的視点から分析し、課題発見のプロセスや、相互の専門性や異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を学び、3年次の学部連携演習に備える。

授業の前半では、地域についての基礎知識を学ぶ他、交換授業においてデザイン学部・看護学部の学生がお互いの学問領域の基礎や実践方法など相互の専門性を理解する。後半では、札幌市南区の各地域について特徴や課題把握、課題解決方法をグループごとに討議し、成果発表を行う。

3年次後期「学部連携演習」（専門教育科目）では、スタートアップ演習から2年を経て、基本的な専門教育の上に、相互の専門性を尊重し合い、それぞれがデザイン・看護の専門家として積極的に取り組む姿勢を身につける。両学部生を少人数グループに編成し、デザイン・看護相互に関わりのあるテーマや課題を、札幌市南区の地域に見出し、相互の学生が共同・協力しながら、課題発見・解決に取り組む。

## 平成30年度（2018年度）「学部連携演習」

地区	テーマ	チーム名
真駒内	真駒内地区にぎわい通り計画	stars atranpicA
	みなみ区のみどり区	stars atranpicB
芸術の森	Therapeutic walk in the Forest	レッツじもていー
	イチコレ～歩く・集める・近くなる おいでよ札幌市立大学	CHOCOLATES AND PUMPKINS
澄川	澄川にひとりで住む学生が、安心して暮らせるための非常用持出袋の提案	やさしい麦茶
藻岩下	藻岩下防災教育	コメダ
藻岩	みんなで作ろう防災紙しばい～世代間交流の創出～	KMC@M
南沢	<small>ラベックス</small> Lavex～ラベンダーセラピー推進運動～	いかたこ
石山	学部連携報告書～石山地区2018～	with I
藤野	こどもびじゅつかん	子ども
	藤野の人材を生かしたイベントの提案～世代間交流の場として～	しかうちたい
簾舞	すまいの灯り～簾舞を灯す“あかり”の提案～	Mr.&Miss.簾舞
定山溪	四季と食と cappato かまくらと～隠れた魅力で定山溪を活性化～	俺のプレイリスト
	脱・温泉のまち	KAPPI



### III 研究活動

#### 1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
中島 秀之	看護とデザインとAIの融合
細谷 多聞	視覚的環境情報の電子化とその活用に関する研究
石井 雅博	視覚認知と運動制御に関する研究
上遠野 敏	現代美術創作研究 同時代の美術研究 日本の美意識研究
蓮見 孝	ウェルネスに着目したアート&デザインによる地域創生
安齋 利典	HCD（人間中心設計）とデザインマネジメント・デザインプロセスの応用に関する研究 基礎造形に関する研究 観察を中心としたデザインの初期教育の研究
齊藤 雅也	脳科学の知見に基づくヒトの想像温度の特性
城間 祥之	テキストマイニング分析手法による潜在知識抽出に関する研究
羽深 久夫	北海道における歴史的建造物の保存・再生・活用 米国・東欧・北欧及び東アジア（中国・韓国・台湾）における木造建築の保存・再生・活用 日本および世界における医療施設・福祉施設の調査 世界の高等教育機関における建築教育調査と相互交流
町田 佳世子	定性的データに対する定量的解析の検討
矢部 和夫	地域の湿原やその他の生態系における生物多様性の保全・再生と創出に関する研究
若林 尚樹	視覚的対話における主観的印象評価の研究
柿山 浩一郎	3Dプリンタを用いた設計図作図手法教育の為の補助ツールの検討
椎野 亜紀夫	GISを用いた文化的景観構成要素の空間データベース化
武田 亘明	クリエイティブ人材育成のための実践的学びのデザイン
張 浦華	セラミック素材を用いたユニバーサル生活道具の提案
藤木 淳	新規的質感として高速回転鏡モジュールの構成による彫刻作品への展開
丸山 洋平	人口移動の経験と生きづらさとの関連性
松井 美穂	アメリカ南部文学研究、アメリカ女性文学研究
三谷 篤史	口腔ケアシミュレータの改良および実験
森 朋子	被災した文化遺産地域の復興に係る計画手法に関する研究
山田 信博	縮小都市における公共施設の再整備に関する研究
山田 良	風景と公共空間のデザイン
石田 勝也	サウンドアンドビジュアルを使用した空間的創造性の構築
大島 卓	歴史的農畜産業施設の空間特性及び形成過程の解明
大淵 一博	タブレット型端末を活用した看護OSCE 運営・評価支援システムの運用と検証
片山 めぐみ	社会福祉分野におけるコミュニティデザインの役割
金 秀敬	バイアスが知覚情報評価に及ぼす「干渉」に関する研究
小宮 加容子	誰もが一緒に楽しむことができるユニバーサルな遊び場、道具のデザインに関する研究



教員名	研究課題
須之内 元洋	持続的な地域文化資源活用のための大学デジタルアーカイブ基盤構築にむけたリサーチと制度設計
福田 大年	身の回りのモノ・コト・ヒトとの相互作用による協創の場づくりを促進させるための手技法の構築に関する基礎的研究
松永 康佑	正二十面体を用いた色合わせ立体パズルゲーム
金子 晋也	北海道沿岸部の木造建築に関する研究
田島 悠史	新しい映像メディアを用いた地域におけるメディアアート作品の制作と展示
矢久保 空遥	「柔らかさ」をもたらす聴覚刺激の定量化

## 看護学部

教員名	研究課題
樋之津 淳子	大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果
松浦 和代	モンゴル国における先天性股関節脱臼ハイリスク群への育児指導とその評価
川村 三希子	在宅療養中の高齢がん患者のがん疼痛の体験と方略
中村 恵子	学院における高度実践看護に関する研究（継続） 看護コンソーシアム構築に関する研究
宮崎 みち子	性暴力被害女性に対する健康保護
猪股 千代子	自然治癒力を惹起させる日本型健康増進コミュニティネットワークの設計に関する研究
卯野木 健	集中治療室における身体拘束の実態とその要因に関する検討
小田 和美	慢性期看護に携わる熟練看護師の療養支援の実践知の可視化に関する研究（継続）
菊地 ひろみ	在宅看護分野における新人看護師教育体制づくりの取り組み
喜多 歳子	貧困世帯で生活する乳幼児の発達成長を支える保健師活動に関する質的研究
定廣 和香子	実習安全に向けたFDプログラムの開発
大野 夏代	マッサージなど触れることにより患者の力を引き出す看護技術や統合医療に関する研究 国際的活動な人材育成に関する研究
貝谷 敏子	介護老人福祉施設における褥瘡管理の実態とケアの質調査
神島 滋子	リハビリテーション領域における栄養評価の現状と課題
菅原 美樹	クリティカルケア看護専門看護師の直接ケアコンピテンシーに関する研究
藤井 瑞恵	看護コンソーシアム構築を目指した大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の実施と効果検証
古都 昌子	看護学生および看護職のキャリア発達支援に関連した研究
本田 光	乳幼児を持つ母親の地域との関係性構築支援のための尺度開発
三上 智子	広域医療圏における新生児集中ケア認定看護師間のネットワーク構築に関する意識調査 第2報
村松 真澄	地域包括ケアの中での学生のボランティア活動での学生の学びに関する基礎調査
守村 洋	メンタルヘルスに関する研究（主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究）
渡邊 由加利	妊娠期にある女性のwell-being測定尺度の開発 助産学OSCEの評価と課題
伊東 健太郎	精神看護学シミュレーション教育の構築に向けて-看護学生が模擬患者から受けたフィードバックから-
工藤 京子	患者交流会に参加することでの効果について
小坂 美智代	外来がん治療を受ける患者のセルフマネジメントを支える看護実践





教員名	研究課題
櫻井 繭子	産業保健活動の連携システム構築に関する研究
高橋 奈美	ALS患者の病気の発症と進行が家族の生活にもたらす影響
武富 貴久子	臨地実習における学習環境と指導体制に関する研究 エビデンスに基づく看護実践（EBN）導入および実践に向けた教育・管理モデル 医療職者が健康的に働き続けられる職場環境に関する研究
原井 美佳	寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発 地域の健康高齢者を対象とした老年看護学臨地実習の評価
檜山 明子	転倒予防に向けた看護実践に関する研究
森川 由紀	看護コンソーシアムの構築に向けた中堅看護師のキャリア教育支援
矢野 祐美子	中小規模病院の看護管理者のネットワーク
山本 真由美	混合病棟における周産期の安全と質保証を担保するための助産師と看護師の協働
石引 かずみ	助産学専攻科におけるプロジェクト学習の効果
柏倉 大作	主観的チームワーク調査票日本語版の妥当性の検証 Webアプリを用いた双方向授業の実践能力への影響
近藤 圭子	在宅高齢者のQOLと精神的健康に関する研究
田仲 里江	子どもの貧困対策における保健師活動の体系化に関する研究
牧田 靖子	新生児のストレスに対する匂いの影響
御厩 美登里	訪問看護業務中の交通事故の実態に関する調査
大友 舞	妊娠初期の女性の口腔保健行動とつわりとの関連
鬼塚 美玲	母親役割を持つ看護師における看護の専門性を発揮できる職場環境の評価
渋谷 友紀	北海道の看護師養成所における看護研究の教育に対する教員の意識
高橋 葉子	NICUに勤務する看護職の看護技術について
中田 亜由美	我が国の地域高齢者相互の健康支援の現状
野呂田美菜子	精神看護学シミュレーション教育を受けた看護学生の感情変化について

## 2 学内公募研究課題一覧

### 学術奨励研究

教員名	研究課題
藤木 淳	視線距離に応じて表面模様が変化する立体表現手法の基礎研究
丸山 洋平	親子同居傾向の実質的地域差を明らかにするための人口地理学的研究
福田 大年	災害地域の復興広報活動におけるデザイン資源活用の支援の模索
田島 悠史	人口減少社会における、カルチャーアントレプレナーの実証研究
工藤 京子	寒冷地仕様の仮設住宅における音環境の基礎的研究

### 共同研究

教員名	研究課題
◎三谷 篤史、原井 美佳	歩行時の振動計測に基づく寒冷地居住者の歩行特性検証
◎山田 信博	集約化計画団地における地域活動の支援方法検討に関する研究
◎山田 良	北方圏寒冷地における屋外休憩所のデザインに関する基礎的研究
◎石田 勝也、須之内 元洋	異言語を使用する学生間における相互交流を促すワークショップの最適性の研究
◎金子 晋也、矢部 和夫 椎野 亜紀夫、山田 信博	札幌市立大学芸術の森キャンパスの地域特性からみたキャンパス整備計画と教育プログラムの開発に関する研究
◎矢久保 空遥	訪問看護で注射器等を安全に廃棄できる携帯用医療廃棄物容器の開発
◎定廣 和香子、山田 良	空間インスタレーションによるArt in Hospital 《風の家》-効果指標の探求-
◎原井 美佳、齊藤 雅也 近藤 圭子	寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発

◎印：代表者

### 田村ICT基金

教員名	研究課題
◎石井 雅博、町田 佳世子	ロボットに対する話しかけやすさを向上するノンバーバルデザイン

◎印：代表者

### 採択状況

学術奨励研究		共同研究		田村ICT基金		合計	
応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
5	5	8	8	3	1	16	14



### 3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況

科学研究費助成事業（科研費）

研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
定廣 和香子	学生による医療事故防止に向けた実習安全FD展開モデルの開発 ※期間延長分	基盤研究（C）	0
本田 光	乳幼児を持つ母親の地域との関係性構築支援のための尺度開発	若手研究（B）	650,000
城間 祥之	テキストマイニング分析手法による「地域創生デザイン」志向潜在知識抽出に関する研究	基盤研究（C）	1,560,000
町田 佳世子	専門家による知の伝達・双方向的な解説手法の確立と検証	基盤研究（C）	910,000
蓮見 孝	「拡張キャンパス型地域連携」による過疎市町村の自律的創生デザイン研究	基盤研究（A）	4,550,000
椎野 亜紀夫	三世代調査による時系列自然遊び・自然資源GISデータベース構築と環境教材の開発	基盤研究（C）	1,170,000
藤木 淳	非現実的な実写映像生成のための方法論の研究	若手研究（A）	4,160,000
矢部 和夫	農地からの養分・塩類負荷がボグのミズゴケ類の生育に及ぼす影響の解析	基盤研究（C）	1,170,000
山本 真由美	看護実績能力を向上させるための教材開発と評価・装着型産褥子宮モデル	基盤研究（C）	650,000
貝谷 敏子	介護保険施設における効率性の高い褥瘡管理体制の構築と評価	基盤研究（C）	2,470,000
菅原 美樹	クリティカルケア看護における専門看護師の直接的ケアコンピテンシーと到達度	基盤研究（C）	650,000
松浦 和代	モンゴル国における先天性股関節脱臼ハイリスク群への育児指導とその評価	基盤研究（C）	650,000
松永 康佑	顔の三次元データ活用のための顔認識手法の研究	基盤研究（C）	1,170,000
福田 大年	協創促進手法「クルクルスケッチ」のプロセスのデジタル化とその応用に関する研究	基盤研究（C）	1,040,000
若林 尚樹	体験の共有のための図的表現による視覚的対話手法の開発	基盤研究（C）	1,430,000
村松 真澄	高齢者の口腔看護データベースシステムの開発に関する基礎研究	基盤研究（B）	4,290,000
原井 美佳	後期高齢者の女性の尿失禁リスク要因解明と対処行動促進に関する研究	基盤研究（C）	780,000
古都 昌子	看護学実習環境を標準化するための基準作成と検証	基盤研究（C）	1,300,000
工藤 京子	北海道の中高層住宅で暮らす避難行動要支援者の安全な在宅避難生活システムの確立	基盤研究（C）	780,000
小坂 美智代	経口抗がん薬治療を受ける外来患者のセルフマネジメントを支える外来看護モデルの検討	基盤研究（C）	1,040,000
川村 三希子	認知症を伴う高齢がん患者の疼痛マネジメント教育プログラム・看護師用の開発	基盤研究（C）	910,000
菊地 ひろみ	医療依存度の高い在宅療養者の生活再構築におけるレジリエンスの概念化と看護支援	基盤研究（C）	1,430,000
喜多 歳子	子どもの貧困対策における保健師活動の体系化に関する質的研究	基盤研究（C）	2,990,000
中田 亜由美	傾聴・聞き書きによる高齢者相互の健康支援基盤構築に関するアクションリサーチ	若手研究（B）	650,000



研究代表者	研究課題	研究種目	金額 (円)
金子 晋也	北海道沿岸部の近代木造建築に関する研究	基盤研究 (C)	1,820,000
三谷 篤史	看護基礎技術教育のための食事介護シミュレーションモデルの開発	基盤研究 (B)	5,590,000
檜山 明子	転倒予防を目的とした看護師用身体認識誤差測定法の開発	基盤研究 (C)	1,040,000
定廣 和香子	看護学教育のための「FD研修過程評価スケール」の開発と有効性検証	基盤研究 (C)	650,000
三上 智子	小児看護OSCEの体系化に向けたプロジェクトとネットワークの再構築	基盤研究 (C)	1,300,000
須之内 元洋	多様な環境音のためのマルチスケールフラクタル次元音響特徴量の開発と応用手法の確立	基盤研究 (C)	2,860,000
武富 貴久子	EBN実践に向けた教育・学習モデルの開発：理論・実践ギャップの概念構造に着目して	若手研究	1,430,000
大島 卓	「生活表現」としての農畜産業の景観価値解明と持続可能性	若手研究	910,000

※課題番号順

**受託研究費**

研究代表者	研究課題	委託者	金額 (円)
齊藤 雅也	木造オフィスのクリマデザインに関する研究	(株)遠藤建築アトリエ	350,000
齊藤 雅也	布製天井による放射併用空調システムの空調効果に関する研究	(株)山下設計	500,000
矢部 和夫	「動物園の森」の群落モニタリング調査に基づく植生管理指針の作成	札幌市 (環境局)	300,000
矢部 和夫	キウシト湿原保全基礎研究	登別市	200,000
椎野 亜紀夫	災害時の都市公園の生活支援機能に関する実態調査	札幌市 (建設局)	22,000
石田 勝也	新ゾウ舎およびホッキョクグマ館の各展示技術の効果に関する研究	札幌市 (環境局)	600,000
大島 卓	北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究	札幌市 (環境局)	600,000

**共同研究費**

研究代表者	研究課題	委託者	金額 (円)
山田 信博	非開示	共和コンクリート工業(株)	非開示

**4 寄附金の受入状況**

教員名	寄附目的	寄附元	金額 (円)
矢部 和夫	平成30年度 美々川自然再生に関する調査研究「ウトナイ湖北西岸における湿生草原の再生手法検討」に対する研究助成	(株)ドーコン	800,000
山田 良	山田良准教授の教育研究活動に活用	北海鋼機(株)	50,000
貝谷 敏子	北海道内における看護ケア向上のための教育及び研究、札幌市立大学が行う教育研究セミナー等の主催に活用する	第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会	2,000,000

## 5 その他研究助成

教員名	研究課題	助成元	金額 (円)
藤木 淳	外部電源不要・不特定交換型ソーシャル音楽システムの制作	(公財)中山隼雄科学技術文化財団 助成研究 (B)	700,000
原井 美佳	北海道の過疎地診療所におけるプライマリ・ケアの課題についての質的研究	(公財)在宅医療助成勇美記念財団	815,000

## 6 海外出張記録

期間	教員名	目的国	目的
平成30年4月1日 ～2日	山田 良	フィンランド	研究打ち合わせ、およびパビリオン（東屋）事例調査と空間デザイン作品視察
平成30年4月11日 ～25日	羽深 久夫	イタリア	イタリアの歴史的建造物の保存活用の実態調査
平成30年4月30日 ～5月3日	松浦 和代	モンゴル	健康番組制作
平成30年5月22日 ～28日	川村 三希子	スイス	ヨーロッパ緩和医療学会
平成30年6月2日 ～8日	定廣 和香子	イギリス	STTI European Conference Oral presentation
平成30年7月14日 ～18日	大野 夏代	オーストラリア	21st World Nursing Education Conference
平成30年7月22日 ～25日	村松 真澄	シンガポール	6th annual Worldwide Nursing Conference (2018WNC)
平成30年7月22日 ～25日	原井 美佳	シンガポール	Worldwide Nursing (WNC) Conference参加、演題発表
平成30年7月25日 ～29日	中島 秀之	アメリカ合衆国	町田副市長ポートランド訪問 同行
平成30年7月27日 ～31日	須之内 元洋	台湾	東海岸大地芸術節 視察、建築の日本展 視察、イン・トランジション展 視察
平成30年8月2日 ～11日	松浦 和代	モンゴル	研究活動
平成30年8月6日 ～11日	牧田 靖子	モンゴル	研究活動（松浦教授同行）
平成30年8月26日 ～9月2日	細谷 多聞	台湾	台日デザインワークショップと文化交流活動 引率
平成30年8月26日 ～9月2日	張 浦華	台湾	台日デザインワークショップと文化交流活動 引率
平成30年8月27日 ～9月1日	原井 美佳	アメリカ合衆国	ICS 2018 (International Continence Society) 参加、演題発表、病院視察
平成30年8月28日 ～9月1日	中島 秀之	中華人民共和国	「PRICAI 2018」 (AI国際会議)
平成30年9月6日 ～10日	檜山 明子	スイス	7th World Congress of Clinical Safety (7WCCS) 参加

期間	教員名	目的国	目的
平成30年9月6日 ～12日	須之内 元洋	アメリカ合衆国	SCU-PNCA国際交流ワークショップ
平成30年9月11日 ～20日	定廣 和香子	フィンランド	共同研究打ち合わせ 資料収集
平成30年9月11日 ～15日	本田 光	マレーシア	アジアパシフィック公衆衛生学会 (APACPH) において研究成果の発表
平成30年9月12日 ～18日	齊藤 雅也	ベトナム	ベトナムの農村建築の温熱環境調査
平成30年9月23日 ～29日	石田 勝也	アメリカ合衆国	共同研究用映像撮影
平成30年9月23日 ～29日	須之内 元洋	アメリカ合衆国	SCU-PNCA国際交流ワークショップ
平成30年10月24日 ～30日	金 秀敬	フランス	国際会議IHSED参加
平成30年11月13日 ～19日	羽深 久夫	ロシア連邦	国際文化フォーラム参加と住宅調査
平成30年11月21日 ～25日	三谷 篤史	ベトナム	ロボット関連施設での研究紹介および学会参加 (GTSD2018)
平成30年12月9日 ～13日	齊藤 雅也	中華人民共和国	PLEA2018国際会議
平成31年1月16日 ～19日	近藤 圭子	シンガポール	22th EAST ASIAN FORUM OF NURSING SCHOLARS発表のため
平成31年1月16日 ～19日	菅原 美樹	シンガポール	第22回東アジア看護学研究者フォーラム (EAFONS 2019) 参加
平成31年1月16日 ～19日	中村 恵子	シンガポール	1/17～18 第22回東アジア看護学研究者フォーラム (EAFONS 2019) 参加
平成31年2月9日 ～17日	張 浦華	スリランカ	展覧会見学、ANBD (アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン) 2019 コロンボ特別展 出席
平成31年2月17日 ～20日	森 朋子	大韓民国	アジア文化的景観連合 国際ワークショップ
平成31年2月27日 ～3月6日	金 秀敬	ロシア連邦	国際学会 (International Conference on Design Principles & Practices) 参加
平成31年3月4日 ～9日	村松 真澄	アメリカ合衆国	第8回ハワイ国際交流セミナー&視察研修
平成31年3月6日 ～10日	須之内 元洋	中華人民共和国	上海ビエンナーレ視察
平成31年3月20日 ～4月1日	羽深 久夫	イタリア	イタリアルネッサンス期の歴史的建造物の調査
平成31年3月21日 ～26日	中島 秀之	中華人民共和国	清華大学美術学院 学長訪問・研究交流
平成31年3月21日 ～26日	張 浦華	中華人民共和国	清華大学美術学院 学長訪問・研究交流
平成31年3月21日 ～26日	山田 良	フィンランド	屋外休憩所のデザインに関する調査
平成31年3月22日 ～29日	藤井 瑞恵	フィンランド	口腔ケア、高齢者看護の視察



期間	教員名	目的国	目的
平成31年3月22日 ～27日	三谷 篤史	フィンランド	高齢者福祉関係の視察およびシミュレーション教育関連の視察
平成31年3月22日 ～29日	村松 真澄	フィンランド	高齢者施設で実施されている口腔ケアに関する実際についての情報収集



## IV 社会活動

### 1 地域貢献諸活動

#### 1) 受託研究一覧

研究課題	期間	概要	委託者
木造オフィスのクリマデザインに関する研究	平成30年8月8日～ 平成31年2月28日	木造オフィス建築を対象に、ヒートスポット・クールスポット、微気流によって居住者に心地よさをもたらす室内熱環境の計画手法「クリマデザイン」を検討し、最小限の設備機器の容量を設定して室内気候を予測する手法を確立した。	㈱遠藤建築アトリエ
「動物園の森」の群落モニタリング調査に基づく植生管理指針の作成	平成30年8月14日～ 平成31年2月28日	10年たった動物園の森（円山動物園）の植物群落の軌跡と群落管理の履歴を解析した。これまでの植生管理により群落再生の目標の達成度を検証し、今後の群落管理の方法と方向性を検討した。	札幌市 （環境局）
新ゾウ舎およびホッキョクグマ館の各展示技術の効果に関する研究	平成30年8月14日～ 平成31年2月28日	円山動物園の新ゾウ舎の展示方法に関する技術的考察および観覧者の心理効果を探ること、また、ホッキョクグマ館での展示に関しての心理効果の検証を目的とし、以下を実施した。 ・来園者へのホッキョクグマ館の展示に関する意識調査 ・新ゾウ舎の展示方法への技術的検討と記録 ・来園者への新ゾウ舎展示提案に関する意識調査も計画していたが、施設オープン時期変更に合わせて実施を延期した。	札幌市 （環境局）
北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究	平成30年8月14日～ 平成31年2月28日	円山動物園内の北海道産動物の生息・飼育・展示環境「北海道ゾーン（仮称）」整備に向けて、以下を実施した。 ・整備予定地・周辺環境の季節・経年変化を見越した景観要素の把握のための実地調査と記録 ・飼育動物種の確認、飼育必要スペースおよび飼育作業内容の確認 ・実地調査に基づく生息・飼育・展示環境のサイトプラン提示	札幌市 （環境局）
キウシト湿原保全基礎研究	平成30年10月16日～ 平成31年3月8日	「キウシト湿原」について、ミズゴケ群落の地剥ぎによる回復実験区を設置して継続モニタリングを行うことを目的とし、実験デザインの作成、実験区の設定、および地剥ぎ前の群落の記録を行った。	登別市
布製天井による放射併用空調システムの空調効果に関する研究	平成30年10月16日～ 平成31年2月28日	布製天井を用いた放射併用空調システムについて、実験支援とそのデータに基づく実空間モデルの数値解析、計画手法の提案を行った。	㈱山下設計
災害時の都市公園の生活支援機能に関する実態調査	平成30年12月17日～ 平成31年1月31日	2018年9月6日北海道胆振東部地震により道内全域で大規模停電が起きた際、停電にともなう断水で一部の公園の水飲み台が給水所として活用され、公園トイレも多く利用された。本調査においてはGISにより市内全域の都市公園の水道施設利用実態を調査し、災害時の公園利用の実態把握を行った。	札幌市 （建設局）



## 2) 共同研究（学外との連携）一覧

事業名	期間	概要	担当教員	共同研究者
1件実施（詳細は非公表）				

## 3) 受託事業一覧

事業名	期間	概要	担当教員	共同研究者
該当なし				

## 4) 地域連携研究センターへの協力依頼一覧

事業名	依頼元	担当教員
ゴム素材の北海道土産品（おじさんハンコ）の開発	(株)アドバンス・フーズ	矢久保 空遥
地域包括支援における住民連携のまちづくり	北広島市にし高齢者支援センター	片山 めぐみ
三吉神社例大祭	札幌大通まちづくり(株)	上遠野 敏
北海道JCフォーラム2018	(公社)日本青年会議所北海道地区協議会 HOKKAIDOブランド確立委員会	石田 勝也 須之内 元洋
南区の魅力をPRする啓発品製作事業	札幌市（南区）	大淵 一博
ユニバーサル製品開発	(一社)旭川ウェルビーイング・コン ソーシアム	安齋 利典 張 浦華 小宮 加容子
北海道陶芸会50周年記念事業への貴大学学生のボラン ティアとしての協力依頼	北海道陶芸会	張 浦華
厚真町企画デザインセミナー	厚真町	安齋 利典 福田 大年
インバウンド向け自動販売機デザイン制作	北海道ココ・コーラボトリング(株)	大淵 一博
もしも北海道・日本のお祝い文化継承	MC-CLUB	村松 真澄 三谷 篤史
南区の魅力をPRする啓発製作事業	札幌市（南区）	大淵 一博
円山動物園の印象マップによる観覧者の行動分析	札幌市（環境局）	若林 尚樹
円山動物園来園者の行動分析をもとにした情報提供につ いて	札幌市（環境局）	若林 尚樹
あそび道具体験会	NPO法人さっぽろAMスポーツクラブ 子どもの体験活動の場Coミドリ	福田 大年
SAPPRO Flower Carpet 2018（サッポロフラワーカー ペット2018）	サッポロフラワーカーペット実行委 員会	上遠野 敏
建立する碑の名称は目下募集中（「嗚呼望郷樺太」）	(一社)全国樺太連盟	上遠野 敏
道産鮮魚の新しいレトルト加工技術のネーミング&ロゴ マーク開発プロジェクト	(地独)北海道立総合研究機構	武田 亘明



事業名	依頼元	担当教員
南区オリジナルうちわの制作事業	札幌市（南区）	大淵 一博
ライフスタイル事業創出プロジェクトにおけるリサーチおよびサービスプロトタイプングの協力	(株)アイ・エム・ジェイ	福田 大年
札幌市グリーティングカード作成事業	札幌市（総務局）	大淵 一博
シティプロモート事業におけるロゴ・キャッチコピーデザイン	(株)アサツディ・ケイ	矢久保 空遥
札幌市グリーティングカード作成事業	札幌市（総務局）	大淵 一博
シティプロモート事業におけるロゴ・キャッチコピーデザイン	(株)アサツディ・ケイ	矢久保 空遥
もりの仲間のさわやかクラブ	芸術の森地区社会福祉協議会	三上 智子 村松 真澄 三谷 篤史 武富 貴久子 山本 真由美
第11回すみかわ健康フェア	澄川地区社会福祉協議会	近藤 圭子 中原 宏
みんなでみに区る 健康まつり2018	札幌市（南区）	村松 真澄 桜井 繭子
藻岩地区健康づくりふれあい交流会	藻岩地区社会福祉協議会	三上 智子 武富 貴久子
メニュー表のイラスト制作	(株)アドバンス・フーズ	福田 大年
手造通(てあるとお)プロジェクト2018	札幌市（西区）	山田 良
もいわ自由学校・「走れ！ロボットカー！」	札幌市もいわ地区センター	三谷 篤史
けんこうフェスタ 2018 in ちゅうおう	札幌市（中央区）	柏倉 大作 丸山 洋平
ZEB/ZEH時代のライフスタイル研究	三菱電機(株)デザイン研究所	安齋 利典 柿山 浩一郎 金 秀敬
未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業「みなみ・こそだてフェスタ！」	札幌市（南区）	若林 尚樹 大島 卓 小宮 加容子
No Maps 2018 Conference 札幌の学生VS東京メーカー	(社)Web広告研究会 イノベーション委員会	安齋 利典 若林 尚樹
第24回芸術の森地区文化祭（ポスター協力）	芸術の森地区連合会	羽深 久夫
第24回芸術の森地区文化祭（出展協力）	芸術の森地区連合会	羽深 久夫
秋の清掃・防災講演会・炊き出し同時開催事業	川沿北町内会	村松 真澄 大島 卓
とち帯広の地域資源を発掘し磨く新商品・新サービス開発事業	帯広地域雇用創出促進協議会	矢久保 空遥
南区学生まちナカアートプロジェクトinまこまない・ベース	札幌市（南区）	上遠野 敏
『厚別区誕生30周年』記念ロゴマーク募集	札幌市（厚別区）	大島 卓
JR琴似駅直結 空中歩廊 ウォーラーアートプロジェクト	(株)コーポレーション・ミヤ	柿山 浩一郎



事業名	依頼元	担当教員
広報さっぽろ南区版表紙デザイン事業	札幌市（南区）	大淵 一博
健康エージェントのキャラクタデザイン、アニメーション作成	(株)なごみテクノロジー	柿山 浩一郎
南区の魅力をPRする啓発製作事業	札幌市（南区）	大淵 一博
冬の「雪あかり」イベントPRチラシ製作事業	札幌市（南区）	大淵 一博
自主事業マーケティングの支援・助言	(-社)さっぽろ健康スポーツ財団	丸山 洋平 福田 大年
イラストデザインの制作	(-社)さっぽろ健康スポーツ財団	福田 大年
土屋グループ50周年記念 ショップデザインコンペ	(株)土屋ホームトピア	上遠野 敏
SORAこそだてフェスティバル2018	札幌コンベンションセンター	小宮 加容子
自然エネルギー利用において直流給電システムエコノミールの稼働状態を表示するパネルデザイン改善に向けた検討	シオン電機(株)	須之内 元洋
赤井川村生活支援体制整備事業にかかる協議体愛称ロゴ及び情報紙タイトルロゴのデザイン募集事業	(-社)Wellbe Desig	大淵 一博
「さっぽろ連携中枢都市圏」ロゴマーク作成	札幌市（まちづくり政策局）	大島 卓
札幌市版アライマークのデザイン作成	札幌市（市民文化局）	武田 亘明
厚真町復興PR事業	厚真町	安齋 利典 福田 大年
お土産菓子製品のパッケージデザイン作成事業	(福)白老宏友会	大淵 一博
オーラルケア啓発学習プログラムの開発・効果検証・評価の協力	(公財)ライオン歯科衛生研究所	福田 大年
地域アートプロデュース	札幌溪仁会リハビリテーション病院	山田 良

## 5) 高大連携

## ① デザイン学部 第12回高大連携公開講座

開催日	高校名	受講生徒数	テーマ・科目名	担当教員
平成30年9月16日	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌開成中等教育学校	32名	「折り紙建築」のポストカード制作	片山 めぐみ

## ② 看護学部 高大連携講座

開催日・期間	高校名	受講生徒数	テーマ・科目名	担当教員
平成30年4月9日～ 平成31年1月31日	市立札幌新川高等学校 市立札幌旭丘高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌開成中等教育学校 市立札幌啓北商業高等学校	7名	看護学原論 (講義・15時間)	◎定廣 和香子 猪股 千代子
		5名	地域保健学概論 (講義・15時間)	◎喜多 歳子 本田 光
		7名	人間発達援助論 (演習・30時間)	◎小田 和美 松浦 和代 宮崎 みち子 村松 真澄 守村 洋
		7名	チーム医療論 (講義・15時間)	◎矢野 祐美子 猪股 千代子
		7名	国際看護学 (講義・15時間)	◎大野 夏代

◎印：科目責任者（オムニバス形式などの場合）

## ③ 看護学部 模擬授業

開催日・期間	高校名	受講生徒数	テーマ・科目名	担当教員
平成30年9月17日	市立札幌新川高等学校 市立札幌旭丘高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌開成中等教育学校 市立札幌大通高等学校	94名	社会と看護：すべての人々の健康を目指して	喜多 歳子
			生活習慣病の動向と対策	小田 和美

## 6) 高校出前講義

## デザイン学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
平成30年8月28日	北海道旭川北高等学校	地域の居場所をデザインする	片山 めぐみ
平成30年11月6日	市立札幌旭丘高等学校	メディアのデザイン	須之内 元洋
平成30年11月7日	市立札幌新川高等学校	世界遺産と都市デザイン	森 朋子



平成30年11月7日	市立札幌清田高等学校	風景？景観？ランドスケープ？	大島 卓
平成30年11月16日	苫小牧東高等学校	デザインを学問として学ぶと、◎◎な人材になれます。	柿山 浩一郎
平成30年11月29日、12月6日、13日、20日	北海道札幌手稲高等学校	インタラクシオンデザイン～ヒトとモノとの相互作用のデザイン～	石井 雅博

## 看護学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
平成30年6月20日	北海道札幌厚別高等学校	妊娠中の女性と家族の特性と支援	渡邊 由加利
平成30年7月13日	北海道室蘭清水丘高等学校	看護学を学ぶとは・ －看護職として学び・育つ－	古都 昌子
平成30年8月31日	市立札幌新川高等学校	家庭看護・医療	喜多 歳子
平成30年10月26日	市立札幌藻岩高等学校	公衆衛生看護学 地域の看護職：保健師の活動	櫻井 繭子
平成30年11月7日	市立札幌新川高等学校	メンタルヘルスのススメ	守村 洋

## 7) その他の地域貢献諸活動

## デザイン学部

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
細谷 多聞	評議委員	さっぽろ産業振興財団		
	コンテンツ活用促進事業補助金審査委員会 審査委員	さっぽろ産業振興財団		
上遠野 敏	炭鉱の記憶推進事業団運営委員	NPO炭鉱の記憶推進事業団		平成30年4月 ～平成31年3月
	レトロスペース坂会館の継続支援や講演会などの世話人	レトロスペース応援隊		平成30年4月 ～平成31年3月
齊藤 雅也	オレンジリビングベースのクリマデザイン (2017年度の報告会)	オレンジホームケアクリニック		平成30年7月7日
	「ほろかない いきいき健康塾」講座 講師 (住まいの熱環境)	幌加内町 (保健福祉課)	5名	平成30年10月21日
城間 祥之	理事として、IT事業の普及事業等の選定・決定	NPO法人「札幌ITフロント」		平成30年6月29日
町田佳世子	ダイバーシティ実現をテーマとした全国大会の運営に札幌クラブ広報委員長として参加	認定NPO法人日本BPW連合会/B P W札幌クラブ		平成30年5月26日
	共生社会実現への取組に関する講演会企画・運営	BPW札幌クラブ		平成30年9月18日
矢部 和夫	湿原再生のアドバイザーとしての役割	NPOフラット南幌		
	道内の自然を守る活動 (常務理事)	NPO北海道自然保護協会		
	湿原植生のアドバイザーとしての役割	NPOキウシト湿原の会		
	陶芸を中心とする物づくり体験、自然体験や食育に関する事業を行う (理事)	(榊)風の村学舎		



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
若林 尚樹	みなみ・こそだてフェスタ	札幌市（南区保健福祉部健康・子ども課）	6名	平成30年9月29日
	提案発表・展示会「円山動物園を楽しむ〇〇の提案」	札幌市円山動物園	9名	平成31年1月25日
武田 亘明	web・ドメイン・サーバ管理、運営・外部対応などに関する活動	情報と教育フォーラム「オンコの木」		平成30年4月 ～平成31年3月
	web・ドメイン・サーバ管理、運営・外部対応などに関する活動	ハイパー風土記札幌InterCityOroppas運営委員会		平成30年4月 ～平成31年3月
	web・ドメイン・サーバ管理、運営・外部対応などに関する活動	ネットワークコミュニティフォーラム事務局		平成30年4月 ～平成31年3月
	理事。会運営に関する活動	北海道高齢者ハートフル共同住宅・地域ケア協議会		平成30年4月 ～平成31年3月
	代表。障害者就労支援、人材育成支援およびメディア戦略検討プロジェクト等の主催	北海道企画デザイン研究会	4名	平成30年4月 ～平成31年3月
張 浦華	芸術の森美術館で行なわれた北海道陶芸会の50周年記念展に本学の学生をアートポール作品の製作、展示設置を指導した。	北海道陶芸会		平成30年6月20日
	陶芸教室 講師	家庭教育学級まま〜ず		平成30年9月12日
藤木 淳	お父さん委員による二条小学校運営サポート	札幌市立二条小学校		平成30年4月 ～平成31年3月
	CG-ARTS主催学生CGコンテンツ評価員	CG-ARTS		平成30年4月 ～平成31年3月
丸山 洋平	けんこうフェスタに札幌市立大学として出展「居住と食から健康を考える」	札幌市（中央区）	2名	平成30年9月29日
三谷 篤史	もいわ自由学校としてメカトロ教室「ロボットカーを走らせよう」を実施	藻岩地区センター		平成30年7月28日
	道内学生ロボコン「ロボット・トライアスロン」の実施・運営	ロボット・トライアスロン運営委員会	4名	平成30年9月30日
大島 卓	みなみ・こそだてフェスタ	札幌市（南区保健福祉部健康・子ども課）	6名	平成30年9月29日
	町内会主催の防災イベントへの参加協力	川沿北町内会	10名	平成30年10月14日
大淵 一博	南区PRグッズ（うちわ・トートバッグ・バッグハンガー）／雪あかりイベントチラシ制作	札幌市（南区）		平成31年3月
片山めぐみ	団体発足および活動支援	札幌藤野多世代交流ラボWAO!		
小宮加容子	協力依頼：ユニバーサルデザイン製品の提案	一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム	15名	平成30年4月6日 ～平成31年3月6日
	協力依頼：SORAこそだてフェスティバル2018における遊びの実施	札幌コンベンションセンター		平成30年12月6日 ～15日
須之内元洋	団体実施ワークショップの告知・推薦など	SMF 札幌メディアアートフォーラム		
金子 晋也	COC事業の報告会、今後の活動に関する提言など	COCまちの先生		



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
矢久保空遥	クレイモデルセミナー	札幌市立大学同窓会理事	20名程度	平成30年8月22日
	ロボットトライアスロンの運営	ロボットトライアスロン運営委員会	50名程度	平成30年9月30日

## 看護学部

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
川村三希子	街なかちえのわカフェ がんの暮らしと知恵いろいろ	NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会		平成30年7月
	リンパ浮腫研修会	NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会		平成30年9月
猪股千代子	難病患者と家族のための統合医療ケア	ハマナス音楽&看護療法研究会		平成30年5月18日、6月27日、10月26日、11月30日、平成31年2月8日
	全人的健康と統合医療ケアの理論と実践法の学習	北海道統合医療研究会		平成30年6月24日、10月21日、12月2日、平成31年3月10日
菊地ひろみ	幹事	札幌ホスピス緩和ケアネットワーク		平成30年4月～平成31年3月
	そうえん健康茶話会講師	桑園交流ネットワーク		平成30年11月
	ご近所先生講師	桑園交流ネットワーク		平成31年2月
大野 夏代	看護師によるマッサージボランティア活動	手稲溪仁会病院ボランティア		平成30年4月20日、27日、5月11日、18日、6月15日、29日、9月21日、10月5日、26日、11月9日、12月7日、21日
	医療通訳養成研修講師、医療通訳実務	(株)エスニコ		平成30年10月13日、27日、12月8日、15日、平成31年3月30日
貝谷 敏子	長期療養を目的とした施設におけるリハビリテーションの在り方等に関する調査研究事業	みずほ情報総研 厚労科研事業		平成30年8月2日
	外部倫理審査委員	倫理審査委員会 札幌医科大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究審査委員会委員		平成31年1月15日
神島 滋子	脳と認知症～予防と介護・介護者の視点	札幌市社会福祉協議会		平成30年12月25日
	出版予定冊子の監修	脳外傷友の会コロポックル		



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
本田 光	ボランティアとして協力	まちの健康応援室 地域連携研究センター		平成30年4月 ～平成31年2月
	出張まちの健康応援室ボランティア (実証実験あけぼのテラス)	あけぼの団地らしい未来 の暮らしをつくるプロ ジェクト	2名	平成30年9月30日
	地下歩行空間にて、子ども虐待予防の啓 発普及活動	オレンジリボン運動 広報室	5名	平成30年10月21日
三上 智子	もいわ地区健康ふれあい交流会	もいわ地区自治体		
	札幌市民を対象に健康測定、健康相談を 行う。	札幌市立大学地域連携課 まちの健康応援室		月に1～2回程度参 加
村松 真澄	そうえん健康茶話会	桑園交流ネットワーク (桑園医療プロジェクト)	のべ10名	平成30年4月14日、 6月9日、8月4日、 10月13日、平成31 年2月2日
	ホサナ小規模看護多機能での小学生の看 護体験	ホサナ小規模看護多機能	3名	平成30年7月31日
	まこまるや大学祭でイベントを開催し、 参加者から聞き取りをして冊子「何でも わかるお赤飯ハンドブック」を作製した	もしも北海道・日本のお 祝い文化継承	10名	平成30年8月11日他
	オーラルフレイルのパネル展示や粘膜ケ アの体験を実施した。	芸森地区社協他 森の仲間のいきいきくらぶ	10名	平成30年8月29日
	第9回の準備をしたが北海道胆振東部地 震のため直前に中止になった。	ミニ大通りお散歩祭り	20名	平成30年9月9日
	地域歯科医師会とコラボで粘膜ケアの体 験を実施した。	南区健康祭り	15名	平成30年9月26日
	町内会事業のボランティア	川沿北町内会 空の清掃・防災講演会・ 炊き出し同時開催事業	16名	平成30年10月14日
	サンカレッジにて「口腔の健康」講和	特別養護老人ホームサン グレイス		平成30年10月19日
渡邊由加利	性暴力被害者支援センター北海道 運営 委員	NPO法人ゆいねと北海道		
伊東健太郎	札幌市民を対象に、血圧測定、体組成測定 などを行う。また、心の相談、健康相談を 行う	札幌市立大学地域連携課 まちの健康応援室		平成30年7月、9 月、10月、平成31 年2月、3月
	精神に障害をもつ当事者同士が当事者研 究を行い交流するための支援	北海道当事者研究ネット ワーク		平成30年4月、5 月、6月、7月、8月
工藤 京子	幹事として役員会出席、医療講演会の企 画と運営、会報誌発行の補助	北海道低肺の会（患者団 体）		平成30年9月24日
	胆振東部地震の被災地の避難所や仮設住 宅で足湯と手もみケアを実施（23回）	北海道足湯隊	8名	平成30年9月29日、 30日、10月13日、 21日、23日、11月 3日、18日、23日、 25日、12月7日、8 日、平成31年1月12 日、20日、21日、 17日、23日、3月2 日、3日、7日、17 日、28日、31日
	被災地のお寺や住民の家でパステルア ート講座を企画・開催した（3回）	北海道足湯隊 パステルアート講座		





教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
櫻井 繭子	まこまないキャンパス 健康応援室での健康相談	まちの健康応援室	2名	平成30年8月 ～平成31年3月
	「みんなで見に区る健康まつり」の骨密度測定、健康相談	南区保健福祉部 南区健康まつり実行委員会	3名	平成30年9月26日
	チカホイベントにてオレンジリボン運動（児童虐待啓発）ティッシュの作成・配布	札幌市立大学	3名	平成30年10月21日
武富貴久子	もりの仲間のさわやか健康祭り2018への参加	芸術の森地区社会福祉協議会	3名	平成30年8月29日
	きて！みて！まこまる2018への参加	まこまる運営協議会		平成30年10月13日
原井 美佳	北海道胆振東部地震の被災者の足湯	北海道足湯隊		平成30年10月23日
森川 由紀	健康相談	COCまちの健康応援室		
	冬の乳幼児の感染症予防と対策の講和	まこまる育児講和		
矢野祐美子	北海道胆振東部地震後の被災地における足湯	北海道足湯隊		平成30年11月3日、 23日、平成31年2月 17日
山本真由美	助産師、看護師として対象者の健康相談	まちの健康応援室		
	学生とともに骨密度測定、足指力測定	芸術の森地区社会福祉協議会	2名	平成30年8月29日
柏倉 大作	けんこうフェスタin ちゅうおうに「居住と食から健康を考える」を出展	札幌市中央区保健福祉部		
近藤 圭子	桑園地区の地域行事への学生ボランティア協力の引率・支援（大縄跳び大会）	桑園地区青少年育成委員会 桑園まちづくりセンター	4名	平成30年8月
	桑園地区の地域行事への学生ボランティア協力の引率・支援（大運動会）	桑園地区連合町内会 桑園まちづくりセンター	6名	平成30年9月
	児童虐待予防に関する啓発活動	オレンジリボン運動事務局 オレンジリボンプロジェクト	3名	平成30年10月
	「第11回すみかわ健康フェア」の健康チェック	澄川地区連合会 澄川地区社会福祉協議会		平成30年10月3日
田仲 里江	桑園地区の地域行事への学生ボランティア協力の引率・支援（文化祭）	桑園地区文化祭 桑園ボランティア	5名	平成30年10月21日
	北海道胆振東部地震の被災者に対する支援	厚真町立中央小学校 北海道足湯隊（札幌市立 大学学生・教員有志）		平成30年10月23日
	桑園地区の地域行事への学生ボランティア協力の引率・支援（餅つき大会）	桑園地区連合町内会 桑園まちづくりセンター	10名	平成30年12月15日
牧田 靖子	訪問者の体脂肪組成、骨密度、握力、足趾力、血圧測定など	まちの健康応援室	3名	平成30年9月25日 ～毎月1回程度
鬼塚 美玲	看護師の日（月1回×12回）	まこまるまちの相談室		



## 8) マスメディアへの掲載

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
上遠野 敏	炭鉱遺産を生かす ガイダンス施設誕生 中 休眠機材に新たな息吹	北海道新聞	平成30年7月11日
	炭鉱遺産 アートで飾る 赤平 札幌市立大学 教授らが21点	北海道新聞	平成30年9月9日
	炭鉱の記憶を掘り起こし新たな物語を紡ぐ 赤 平アートプロジェクト2018	HO[ほ]11月号VOL.132	平成30年9月22日
安齋 利典	AIRDO 就航10周年「叶える翼」ステッカー記 事	北海道新聞	平成30年12月18日
	AIRDO 就航10周年「叶える翼」ステッカー記 事	AIRDO機内誌	平成30年4月、6月、8 月、10月
	AIRDO 就航10周年「叶える翼」ステッカー配 布時期(6~12月)機内放送	AIRDO機内放送	平成30年6~12月
	地域に貢献するAIRDOへのメッセージ	AIRDO総合レポート2018, p.22	平成30年
	AIRDO 就航10周年「叶える翼」ステッカー記 事	螢雪時代2018, p.165	平成30年
	厚真町特産品のイラストでテープ試作 ふるさと納税返礼品の段ボール梱包に利用	苫小牧民報電子版	平成30年4月3日
齊藤 雅也	住宅、店舗の完成イメージ図*「建築パース」 手描きで説得力*立体的「まるで絵画」*デザ イナーら作品展も	北海道新聞	平成30年10月5日
	北方文化圏における建築の普遍性と多様性：座 談会 設計・施工・研究のエコシステム	建築雑誌11月号	平成30年11月
	新施設「ゾウ舎」が完成しました！	札幌市円山動物園ウェブサ イト	平成31年3月12日
若林 尚樹	株式会社AIRDO機内誌rapora	雑誌	平成30年4月、6月、8 月、10月、12月号
	株式会社統合レポート2018	アニュアルレポート	平成30年9月
	螢雪時代キャンパスNews	月刊誌	平成30年7月14日
張 浦華	見出し「米ポートランドの作品も*札幌*北海 道陶芸会が50周年展」	北海道新聞 (夕刊)	平成30年6月27日
	ANBDスリランカ特別展賞受賞について、スリ ランカ国営TVインタビューを受けた	スリランカ国営TV	
藤木 淳	デザイナーおよび作品の紹介	デザイナーズFILE 2019へ の掲載	
	アルスエレクトロニカ イン ザ ナレッジキャピ タル「PLAYWARE アルゴリズムでつくる遊び 展」に関する報道	WEB記事： <a href="https://hillslife.jp/culture/2019/03/18/jun-fujiki-algorithm/">https://hillslife.jp/culture/2019/03/18/jun-fujiki-algorithm/</a>	



教員名	内容	掲載媒体	掲載日
三谷 篤史	「耳より」コーナーでロボット競技会「WRO2018札幌予選会」紹介記事	読売新聞	平成30年8月10日
	デザイン総合実習で取り組んだイノベーション創出プロジェクトキックオフ紹介記事	北海道新聞	平成30年10月11日
	アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2018～北海道地区大会～	NHK総合1・札幌10:05～11:00	平成30年11月23日
	デザイン総合実習で取り組んだイノベーション創出プロジェクト中間発表会紹介記事	北海道新聞	平成30年12月4日
	デザイン総合実習で取り組んだイノベーション創出プロジェクト最終発表会紹介記事	北海道新聞	平成31年2月4日
山田 良	関口雄揮記念美術館でのゼミ作品展による地域貢献	北海道新聞	
	17 m3 Pavilion	ARTWORT, Italy	
石田 勝也	札幌垂氷まつり	読売新聞	平成31年2月3日
大淵 一博	南区まちなかアート展	広報さっぽろ	平成30年10月号南区版
	ピンクリボン活動啓発品制作	毎日新聞・函館新聞・Poroco	毎日：平成30年9月12日、函館：平成30年9月14日、Poroco:10月号
	インバウンド向け自販機デザイン	毎日新聞・財界さっぽろ・さっぽろ10区・コカコーラプレスリリース	毎日：平成30年10月31日、財界：12月号、10区：平成30年11月6日、コカ：平成30年10月22日
	赤井川村生活支援体制整備事業ロゴデザイン	赤井川村地域支え合い情報誌 いろいろ	創刊号平成30年12月
	広報さっぽろ南区版ヘッダデザイン	広報さっぽろ	平成30年4月号、平成31年1月～3月号
	おばけのハロウィンパーティー in TSUTAYA	TSUTAYA美しが丘 Webサイト	平成30年10月18日
片山めぐみ	こだま（安平町ガイドマップ）	北海道新聞	平成30年4月21日
	観光マップ完成、大学生の感性生かす	室蘭民報	平成30年4月23日
	地域の魅力 手にとって 町が大学生と連携	北海道新聞	平成30年4月23日
	にぎわい拠点 真駒内に 駅前再整備、検討委が初会合	北海道新聞	平成30年8月22日
	札幌人物図鑑	J:COMチャンネル札幌	平成31年2月18日
小宮加容子	ひとあし早くクリスマス「プレゼント届けた」	北海道新聞朝刊	平成30年12月16日
	三角山放送局「飛び出せ車いす（第一火曜日、12:00～13:00）」番組担当	三角山放送局	毎月第一火曜日



教員名	内容	掲載媒体	掲載日
福田 大年	厚真特産イラストで荷造り用テープ試作 町民発案、商品化目指す	毎日新聞	平成30年5月23日
	厚真愛する心 一つに キャッチフレーズ「ATSUMA LOVERS」町がシンボルマーク イベントや広報に活用	北海道新聞	平成31年1月10日
	支援感謝 デジタル広告 厚真町、札幌駅地下街で発信	北海道新聞	平成31年1月17日
	【seeds 新しい体験型コンテンツ】アイディエーションとプロトタイピングを両立した体験型コンテンツ開発アプリ	産学連携情報	平成31年2月25日
	【新しい体験型コンテンツ】アイディエーションとプロトタイピングを両立した体験型コンテンツ開発アプリ	イノベーションズアイ	平成31年2月25日
金子 晋也	北海道新幹線駅舎に関する取材	HBC	平成30年7月17日
矢久保空遥	おじさんハンコに関する取り組み	NHK	
	おじさんハンコに関する取り組み	HBC	
	おじさんハンコに関する取り組み	STV	
	おじさんハンコに関する取り組み	TVh	
	おじさんハンコに関する取り組み	HTB	
	おじさんハンコに関する取り組み	UHB	

## 看護学部

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
松浦 和代	(テレビ健康番組) お母さんの幸せ 発育性股関節形成不全の予防ケア	モンゴル国C1TV (30分)	平成30年6月1日
	(テレビ健康番組) 発育性股関節形成不全の予防	モンゴル国HTV (22分)	平成30年8月1日
	(テレビ報道) 発育性股関節形成不全の予防 看護師研修会開催	モンゴル国ザブハンTV	平成30年8月8日
	(取材対象：自己点検・評価委員会) 大学基準協会 会員大学の特色ある取り組み 札幌市立大学 デザインと看護の有機的な連携教育を支える教職協働の試み	じゅあ、No.61	平成30年9月30日
	(新聞報道) ひと2018 モンゴルで乳児の脱臼予防法を広める	北海道新聞社	平成30年12月8日
猪股千代子	トークショー&ミニ体験 「医療現場に広がるヨガの力」当日の流れ	北海道新聞社	平成31年3月9日
伊東健太郎	ケアする人こそやってみよう 当事者研究	医学書院 精神看護	平成30年5月15日



## 2 公開講座開催実績

### 1) 札幌市立大学主催

開催日	タイトル	講師・企画	受講者数(名)
平成30年4月21日	AI入門 ～私たちの暮らしはどう変わるのだろうか?～	中島 秀之 (デザイン学部 教授)	61
平成30年4月28日	まちの健康応援室ミニ出張講座①	山本 真由美 (看護学部 講師)	7
平成30年4月30日	ロボットづくり講習会①	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	18
平成30年5月20日	ロボットづくり講習会②	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	18
平成30年6月9日	訪問看護スキルアップ講座2018①	菊地 ひろみ (看護学部 教授) 鈴木 真一郎 (医療法人社団 鈴木内科 循環器クリニック 理事長)	61
平成30年6月9日	まちの健康応援室ミニ出張講座②	三上 智子 (看護学部 准教授)	2
平成30年6月17日	ロボットづくり講習会③	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	15
平成30年6月30日	メカトロ教室「走れ! ロボットカー!」	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	28
平成30年7月3日	最先端研究者が語る人工知能の現状 -何ができて、何ができないのか	中島 秀之 (デザイン学部 教授) 松尾 豊 (東京大学 特任准教授) 松原 仁 (公立はこだて未来大学 教授)	181
平成30年7月5日	看護師のための英会話研修 (初級) ～外国人患者さんと英語で話してみよう	大野 夏代 (看護学部 准教授) シルベスター 典子 (北海道大野記念 病院 看護師) 大野 修 (桑の実会) 尾田 マリナ (姿勢改善工房・店長)	13
平成30年7月14日	まちの小さな音楽会	武田 亘明 (デザイン学部 准教授) 上村 理恵、奥村 香織、安東 智子	84
平成30年7月21日	昆虫のデザイン	酒井 正幸 (デザイン学部 名誉教 授)	12
平成30年7月22日	ロボットづくり講習会④	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	12
平成30年7月29日	Connekid! in そらのガーデン2018 「ぴちゃ、ぼちゃ、ざぶん?」	小宮 加容子 (デザイン学部 講師)	144
平成30年8月4日	ロボットづくり講習会⑤	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	29
平成30年8月5日	ロボットづくり講習会⑥	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	29
平成30年8月7日	まちの健康応援室ミニ出張講座③	渡邊 由加利 (看護学部 准教授)	6
平成30年8月9日 ～11日	ロボットづくり講習会⑦	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	20
平成30年9月29日	「夢見る研究フィールドのこぼれ話」①	羽深 久夫 (デザイン学部 教授)	31
平成30年9月30日	ロボットづくり講習会⑦	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	11
平成30年9月30日	ロボットづくり講習会⑦	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	11
平成30年10月6日	「夢見る研究フィールドのこぼれ話」②	若林 尚樹 (デザイン学部 教授)	22
平成30年10月13日	まちの小さな音楽会	武田 亘明 (デザイン学部 准教授) 上村 理恵、奥村 香織、オカリナ サークル「赤とんぼ」	84
平成30年10月13日	子育ての主役はだれ? ～子育てにやさしい地域のかたち～	本田 光 (看護学部 准教授)	11



開催日	タイトル	講師・企画	受講者数(名)
平成30年10月13日	人口減少社会の家族変動 ～札幌市の将来像は？～	丸山 洋平 (デザイン学部 准教授)	7
平成30年10月18日	まちの健康応援室ミニ出張講座④	森川 由紀 (看護学部 講師)	6
平成30年10月20日	ロボットづくり講習会⑧	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	4
平成30年10月20日	ロボットづくり講習会⑧	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	4
平成30年10月28日	ロボットづくり講習会⑨	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	13
平成30年11月2日	より豊かな社会を築く最新テクノロジー ～AIの民主化を推進する～	中島 秀之 (デザイン学部 教授) 榊原 彰 (日本マイクロソフト(株) CTO)	152
平成30年11月3日	「夢見る研究フィールドのこぼれ話」④	石井 雅博 (デザイン学部 教授)	16
平成30年11月4日	ロボットづくり講習会⑩	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	10
平成30年11月10日	訪問看護スキルアップ講座2018	高橋 奈美 (看護学部 講師)	53
平成30年11月17日	ロボットづくり講習会⑪	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	9
平成30年11月18日	ロボットづくり講習会⑫	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	12
平成30年11月18日	「夢見る研究フィールドのこぼれ話」⑤	上遠野 敏 (デザイン学部 教授)	34
平成30年12月4日	ナースだって癒されたい ～自分を大切に作る心のケア体験研修～	猪股 千代子 (看護学部 教授) 大野 夏代 (看護学部 准教授) 鬼塚 美玲 (看護学部 助手) 大瀧 真美 (桑園メンタルクリニック 看護師 ヨーガ療法士) 吉武 ゆり (日本統合医療学会会員 日本ヨガ療法学会認定ヨガ療法士)	23
平成30年12月21日	まちの健康応援室ミニ出張講座⑤	山本 真由美 (看護学部 講師)	9
平成30年12月22日	まちの小さな音楽会③	武田 亘明 (デザイン学部 准教授) 上村 理恵、奥村 香織、前川 早恵美	79
平成31年2月9日	パリの街とデザイン (その3)	安齋 利典 (デザイン学部 教授)	25
平成30年2月13日	まちの健康応援室ミニ出張講座⑥	大友 舞 (看護学部 助手)	9
平成31年2月16日	まちの小さな音楽会④	武田 亘明 (デザイン学部 准教授) 渋谷 環、皆川 勝美	80
平成31年2月22日	将来人口推計をどう行い、どう使うか	丸山 洋平 (デザイン学部 准教授)	27
平成31年2月23日	クリエイティブコーディングスクール2019①	石田 勝也 (デザイン学部 講師) 田島 悠史 (デザイン学部 助教) 吉岡 純希 (看護師、メディカルデザ インエンジニア)	7
平成31年2月24日	ロボットづくり講習会⑬	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	6
平成31年3月2日	クリエイティブコーディングスクール2019②	石田 勝也 (デザイン学部 講師) 田島 悠史 (デザイン学部 助教) 松波 直秀 (antymark.llc.代表)	6
平成31年3月16日	災害を考える／災害から考える	福田 大年 (デザイン学部 講師) 工藤 京子 (看護学部 講師) 大坪 秀幸 (厚真町 理事) 長瀧 夢子 (厚真町まちづくり推進課 企画調整グループ 主任)	162
平成31年3月17日	ロボットづくり講習会⑭	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	7



開催日	タイトル	講師・企画	受講者数(名)
平成31年3月17日	ロボットづくり講習会⑮	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	5
平成31年3月17日	ロボットづくり講習会⑯	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	4
平成31年3月23日	真駒内、そこに何があった？	金子 晋也 (デザイン学部 助教) 田中 亮平 (街歩きで札幌を知る会代表)	87

## 2) 共催講座：「さっぽろ市民カレッジ」連携講座

開催日	タイトル	講師・企画	受講者数(名)
平成30年6月19日	札幌市の文化財建造物をたどる<夏> ～春の円山公園を探索しよう～明治時代初期に作られた公園～	羽深 久夫 (デザイン学部 教授) 松岡 洋一 (札幌市市民文化局文化部文化財課文化財 保護指導員)	27
平成30年6月26日	札幌市の文化財建造物をたどる<夏> ～春の円山公園を探索しよう～明治時代初期に作られた公園～	羽深 久夫 (デザイン学部 教授) 松岡 洋一 (札幌市市民文化局文化部文化財課文化財 保護指導員)	17
平成30年9月4日	札幌の文化財建造物をたどる<秋>～大通公園の今むかし～	羽深 久夫 (デザイン学部 教授) 松岡 洋一 (札幌市市民文化局文化部文化財課文化財 保護指導員)	27
平成31年2月19日	実践者から学ぶ！障がいを持つ子どものためにできること	羽深 久夫 (デザイン学部 教授) 勝見 馥 (社会福祉法人藻岩この実会ほっと相談センター管理者)	8
平成31年2月26日	札幌の文化財建造物探訪<冬> ～真宗大谷派(東本願寺)札幌別院～	羽深 久夫 (デザイン学部 教授) 松岡 洋一 (札幌市市民文化局文化部文化財課文化財 保護指導員)	43
平成31年3月5日	札幌の文化財建造物探訪<冬> ～真宗大谷派(東本願寺)札幌別院～	羽深 久夫 (デザイン学部 教授) 松岡 洋一 (札幌市市民文化局文化部文化財課文化財 保護指導員)	43

## 3) 共催講座：「知活(ちいき)ゼミナール」

開催日	タイトル	講師・企画	受講者数(名)
平成30年10月13日	札幌市立大学・道総研共同セミナー 『知(ち)活(いき)ゼミナール2018』 「その健康情報大丈夫？ - かしこいサプリメントの選び方 -」(喜多) 「発酵食品と健康 ～乳酸菌の優れた力とは！？～」(八十川)	喜多 歳子 (看護学部 教授) 八十川 大輔 (道総研 食品加工研究センター 研究主幹)	58



## 3 国・自治体審議会等への就任状況

デザイン学部

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
中島 秀之	札幌国際芸術祭実行委員会／副会長	札幌国際芸術祭実行委員会
	公立大学法人会津大学参与会／参与	公立大学法人会津大学
	(公財) 本田財団／理事	(公財) 本田財団
	札幌AIラボ／顧問 (エグゼクティブ・アドバイザー)	(一財) さっぽろ産業振興財団
	ポスト「京」重点課題推進ワーキンググループ萌芽的課題サブワーキンググループ委員／委員	文部科学省 (研究振興局)
	「業務車両オペレータの安心・安全な労働環境実現のための総合バイタル情報解析システムの研究開発」推進委員会／アドバイザー	北海道科学技術総合振興センター (ノーステック財団)
	「科学技術の中長期的発展と将来社会像に関する調査」における「ICT・アナリティクス・サービス分科会」委員会／委員	(公社) 未来工学研究所
	日本学術会議連携会員／委員	日本学術会議事務局
	人工知能に関する技術調査とビッグデータへの応用研究への助言／客員研究員	国立研究開発法人理化学研究所
	公立大学法人宮城大学評価委員会／委員	宮城県
	未来社会創造事業研究開発鶴遠泳会議／委員	国立研究開発法人科学技術振興機構
	データ流通環境整備検討会オープンデータワーキンググループ構成員／委員	内閣官房情報通信技術総合戦略室
	本田賞選考委員会／委員	(公財) 本田財団
	AI白書編集委員会／委員	(公財) 情報処理推進
	未踏事業審査委員会／委員	(公財) 情報処理推進
	未来AI研究センター／顧問	公立大学法人はこだて未来大学
	「次世代人工知能・ロボット中核技術開発」H30採択委員会／委員	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発 (NEDO)
	IoT新時代の未来づくり検討委員会／委員	総務省
	特定非営利活動法人産学連携推進機構／理事	(公財) 産学連携推進機構
	「石黒共生ヒューマンロボットインタラクションプロジェクト」事後評価委員／委員	国立研究開発法人科学技術振興機構
「環境分野へ最新の情報技術の適用に関する検討会」に係る委員会／委員	みずほ情報総研(株)	
(株)未来シェア役員／取締役	(株)未来シェア	
細谷 多聞	「札幌スタイル認証審査委員会」／委員	札幌市 (経済観光局)
	札幌スタイルブランドマネジメント委員会／委員	札幌市 (経済観光局)
	「札幌スタイル認証製品カタログ2019原稿制作業務」企画競争実施委員会／委員	札幌市 (経済観光局)
	平成30年度コンテンツ活用促進事業費補助金審査委員会／委員	(一社) さっぽろ産業振興財団
城間 祥之	「基幹系-住民記録等システム運用保守業務」の落札者決定基準の決定に係る学識経験者への意見聴取／アドバイザー	札幌市 (総務局)





教員名	名称/役職	自治体名・主催団体名
城間 祥之	IT産業海外展開支援事業ローカライズ支援補助金審査会/委員	札幌市（経済観光局）
上遠野 敏	札幌市屋外広告物審議会/委員	札幌市（建設局）
	そらち『炭鉱（やま）の記憶』で地域づくり推進会議/委員	北海道空知総合振興局
	「アートボックス2019」審査委員会/委員	さっぽろ駅総合開発株
	2018八剣山ワイン・ラベルデザインコンペティション/審査員	2018八剣山ワイン・ラベルデザインコンペティション実行委員会
蓮見 孝	企画競争実施委員会兼受称候補案選定委員会/委員	札幌市（市民文化局）
	地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COCプラス）「茨城と向き合い茨木に根差さし、未来を育む地域協創人材養成事業」アドバイザーボード委員会/委員	茨城大学
	30つくば市地域拠点活力共創マネジメント事業推進業務委託公募型プロポーザル企画提案審査委員会/委員	つくば市（都市計画部）
齊藤 雅也	BIS認定事業に係る試験講習委員会/委員	(社)北海道建築技術協会
	平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（木材利用による業務用施設の断熱性能効果検証事業）に係る審査委員会/委員	(公財)北海道環境財団
	熱環境運営委員会・バイオクライマティックデザイン小委員会・環境ライフスタイル普及小委員会/委員	(社)日本建築学会
	中高層建築物紛争調整委員会/委員	札幌市（都市局）
	NPO法人パッシブシステム研究会/顧問	NPO法人パッシブシステム研究会
羽深 久夫	「（仮称）札幌市歴史的資産保存活用推進方針検討委員会」/委員	札幌市（市民文化局）
	平成30年度北海道赤レンガ建築賞審査委員会/委員	北海道
	社会福祉法人藻岩この実会/理事	(社)藻岩この実会
	平成30年度札幌市保養センター駒岡運営協議会/委員	(社)札幌市社会福祉協議会札幌市保養センター駒岡
	厚真町都市計画審議会専門委員/委員	厚真町（まちづくり推進課）
	北海道建築審査会委員/委員	北海道
	芸術の森地区文化祭実行委員会/委員	芸術の森地区連合会
	札幌市芸術文化財団芸術の森事業部美術館専門委員会/委員	(公財)札幌市芸術文化財団
	「札幌市歴史文化基本構想策定委員会」/委員	札幌市（市民文化局）
	北海道文化財保護審議会/委員	北海道教育委員会
	「喜茂別町民間賃貸住宅建設促進事業公募型プロポーザル選定委員会/委員	喜茂別町（総務課企画室）
	札幌芸術の森運営協議会/委員	(公財)札幌市芸術文化財団
	「北海道史編さん委員会」/委員	北海道
	北海道建設部建築局総合評価検討会/委員	北海道
上ノ国町史編さん事業に係る上ノ国八幡宮本殿の調査/調査員	上ノ国町教育委員教育長	
町田 佳世子	北海道立近代美術館協議会/委員	北海道立近代美術館



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
矢部 和夫	成東・東金食虫植物群落保護検討委員会作業部会／委員	成東・東金食虫植物群落保護検討委員会
	「石狩川下流幌向地区自然再生調査検討業務」／アドバイザー	(株)ドーコン
	札幌芸術の森運営協議会／委員	(公財)札幌市芸術文化財団
	平成30年度再生可能エネルギー導入検討に向けた植生調査植生図作成委託業務に係る北海道ブロック調査会議検討委員／委員	(株)地域環境計画
	美々川自然再生技術検討委員会アクションプログラムワーキンググループ／委員	北海道
	美々川環境整備事業にかかる美々川及びウトナイ湖周辺の環境変化要因とその対策についての助言／専門員	北海道
	「平成30年度環境に配慮した再生可能エネルギー導入検討に向けた植生調査植生図作成委託業務（北海道ブロック2）」のうち、植生図作成業務に係る北海道ブロック調査会議／委員	(株)エコニクス
	タンチョウも住めるまちづくり検討協議会／委員	(公財)日本生態系協会
	美瑛市宮島沼の水環境の保全と再生に関する検討会議／委員	美瑛市
山田 良	「500m美術館専門委員会」／委員	札幌市（市民文化局）
	「第3回手造通クラフト作品コンテスト」／審査委員長	札幌市（西区役所地域振興課）
若林 尚樹	教育推進委員会／委員長・協会委員	(公財)画像情報教育振興協会
	戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）専門委員／委員	総務省
張 浦華	北海道陶芸会50周年記念事業実行委員会／委員	北海道陶芸会
椎野 亜紀夫	札幌市都市計画審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	岩見沢市都市計画審議会／委員	岩見沢市（建設部都市計画課）
	北海道土地利用審査会／委員	北海道
	北海道国土利用計画審議会／委員	北海道
	札幌市の設置する都市公園の指定管理者選定に伴う選定委員会／委員	札幌市（建設局）
	北海道広域緑地計画見直しに関する懇談会／委員	北海道
高井 真希子	北広島市都市公園の基準等に関する懇談会／委員	北広島市（企画財政部）
	札幌市土地利用審査会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
武田 亘明	いじめ問題調査委員会／委員	当別町教育委員会
	小中一貫教育推進懇談会／アドバイザー	当別町教育委員会
	第14期北海道生涯学習審議会／委員	北海道教育委員会
	一体型義務教育学校建設検討委員会／アドバイザー	当別町教育委員会
丸山 洋平	人口移動調査研究プロジェクト委員会／委員	国立社会保障・人口問題研究所
	「高浜町の人口動態分析と将来人口推計」業務／研究員	公立大学法人福井県大学
	「神奈川県人口推計・分析共同研究会」／研究員	(一社)政策人口研究所
三谷 篤史	平成30年度厚生労働省委託事業（日本作業療法士協会受託）北海道介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会／委員	(一社)日本作業療法士協会



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
森 朋子	国指定史跡越中五箇山相倉集落及び越中五箇山菅沼集落にかかる保存活用計画策定委員会／委員	南砺市（ブランド戦略部）
	「歴史的集落の復興に向けた調査及び検討業務」／研究員	神戸芸術工科大学
山田 信博	平成30年度地域活動の場整備支援事業審査委員会／委員	札幌市（市民文化局）
	札幌市広告／アドバイザー	札幌市（建設局）
石田 勝也	札幌市文化芸術基本計画検討委員会／委員	札幌市（市民文化局）
	SIAFラボのプロジェクト／ディレクター	札幌国際芸術祭実行委員会
片山 めぐみ	札幌市開発審査会／委員	札幌市（都市局）
	平成30年度町内会加入促進啓発事業企画競争実施委員会／委員	札幌市（市民文化局）
	平成30年度地域活動の場整備支援事業審査委員会／委員	札幌市（市民文化局）
	札幌市緑の審議会／委員	札幌市（建設局）
	札幌市都市計画審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	安平町未来創生委員会／アドバイザー	安平町（企画財政課）
	大通東2丁目の土地利用に係る公募プロポーザル選定委員会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	札幌市動物愛護管理推進協議会／委員	札幌市（保健福祉局）
	石狩市空家等対策協議会／委員	石狩市（建設水道部）
	札幌市景観審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	「平成30年度女性の多様な働き方支援窓口運営事業ここシェルジュSAPPORO運営業務」規格競争実施委員会／委員	札幌市（経済観光局）
	「札幌エルプラザ公共4施設4階多目的フリースペース等に係るデザイン及びレイアウト業務」規格競争実施委員会／委員	札幌市（経済観光局）
	真駒内駅前地区まちづくり検討委員会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	北5西1・西2地区基本構想に係る有識者会議／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	北海道住宅対策審議会／委員	北海道
小宮 加容子	平成30年度厚生労働省委託事業（日本作業療法士協会受託）北海道介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会／委員	(社)日本作業療法士協会
福田 大年	札幌スタイルブランドマネジメント委員会／委員	札幌市（経済観光局）
	札幌スタイル認証審査委員会／委員	札幌市（経済観光局）
	食のまち・さっぽろフェストinチ・カ・ホ2019企画運営業務に係る企画競争実施委員会／委員	札幌市（保健所）
	とくとく検診PRポスターの図案選考委員会／委員	札幌市（保健福祉局）
	P検リニューアル／アドバイザー	㈱ベネッセコーポレーション
須之内 元洋	SIAFラボ／アドバイザー（テクニカル・フェロー）	札幌国際芸術祭実行委員会

看護学部

教員名	名称/役職	自治体名・主催団体名
樋之津 淳子	北海道看護協会継続教育のあり方検討委員会/委員	(公)北海道看護協会
松浦 和代	札幌市都市計画審議会/委員	札幌まちづくり政策局都市計画部都市計画課
	林業成長産業化総合対策補助金(木材需要の創出・輸出力強化対策、民間部門主導の木造公共建築物等整備推進事業のうち各業界分野における民間部門主導の木造公共建築物等整備推進)「医療・福祉施設木材利用促進検討委員会」/委員	(一)木を活かす建築推進協議会
川村 三希子	(株)日本ホスピス緩和ケア協会 看護師教育支援委員会/SPACE-Nワーキンググループメンバー	(株)日本ホスピス緩和ケア協会
	「ELNEC-J高齢者プログラム研修会」/委員	(公)北海道看護協会
	「ELNEC-J高齢者プログラム研修会」/ファシリテーター	(公)北海道看護協会
	「エンド・オブ・ライフ・ケア(ELNEC-J)研修会」/運営委員	(公)北海道看護協会
	「エンド・オブ・ライフ・ケア(ELNEC-J)研修会」/講師、ファシリテーター及び実施責任者	(公)北海道看護協会
	北海道地区FD・SD推進協議会/監事	北海道地区FD・SD推進協議会
中村 恵子	札幌市救急業務検討委員会/委員	札幌市(消防局)
	専門看護師認定委員会/委員	(公)日本看護協会
	プロトコール専門委員会/委員	札幌市(保健福祉局)
猪股 千代子	北海道地区FD・SD推進協議会/監事	北海道地区FD・SD推進協議会
喜多 歳子	北海道建築審査会/委員	北海道
	科学研究費委員会/専門委員	(独)日本学術振興会
貝谷 敏子	ヒトゲノム・遺伝子解析研究審査委員会/委員	札幌医科大学
	長期療養を目的とした施設におけるリハビリテーションの在り方等に関する調査検討委員会/委員	みずほ情報総研(株)
	Urology Today Vol,25 No,4の原稿/執筆・監修	アステラス製薬(株)営業本部
菅原 美樹	認定看護師認定実行委員会(救急看護)/委員	(公)日本看護協会
	認定看護分野統合に向けた検討ワーキンググループ/委員	(公)日本看護協会
	認定看護分野基準カリキュラム検討ワーキンググループ/委員	(公)日本看護協会
村松 真澄	旭川口腔ケア普及研究会/幹事	上川中部地域歯科保健推進協議会
守村 洋	札幌市社会福祉総合センター管理運営委員会/委員	(福)札幌市社会福祉協議会
	札幌市社会福祉協議会権利擁護審査会/委員	(福)札幌市社会福祉協議会
	北海道精神医療審査会/委員	北海道
	北海道精神保健協会/機関紙編集委員	北海道精神保健協会
	札幌市自殺対策実務担当者意見交換会/委員	札幌市精神保健福祉センター
渡邊 由加利	桶谷式母乳育児推進協会本部セミナーにおける北海道ブロック看護研究発表アドバイザー	(一)桶谷式母乳育児推進協会
	研究「産後うつとソーシャルサポートの関係」/アドバイザー	(医)プリモウイメンズクリニック



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
高橋 奈美	日本専門看護師協議会／編集委員	日本専門看護師協議会
山本 真由美	北海道看護協会札幌第1支部／助産師職能委員	(公社)北海道看護協会



## 4 専門職支援・セミナー講師等

## 1) 専門職支援

## ① 認定看護管理者教育課程サードレベル

平成30年度受講者18名（修了者17名）

開催期間	教科目/時間	単元	講義・演習・実習(時間数)	講師	
第Ⅰ期(12日間) 平成30年8月21日 ～9月5日	保健医療福祉政策論/33時間	1.社会保障の概念	講義(3)	★柏 浩文	
		2.諸外国の保健医療福祉	講義(3)	★スーディ神崎 和代	
		3.保健医療福祉政策	講義(6)	★伊藤 智	
		4.看護制度・政策	講義(6)	★齋藤 訓子	
		5.制度・政策に影響を及ぼす看護管理者	講義(3)	★齋藤 訓子	
		6.保健医療福祉政策演習	演習(9)	★北村 和宏 ★工藤 昭子 ★須田 倫子 ★坂上 真弓 ★仁木 恵美子 ★本間 美恵 猪股 千代子 古都 昌子	
		7.小論文プレゼンテーション	演習(3)	中村 恵子 猪股 千代子 古都 昌子	
	第Ⅱ期(14日間) 平成30年10月30日 ～11月16日	保健医療福祉組織論/30時間	1.保健医療福祉サービスのマーケティング	講義(6)	★松下 博宣
			2.組織デザイン論	講義(6)	★永池 京子
			3.ヘルスケアサービスの創造	講義(6)	★スーディ神崎 和代 ★砂山 圭子
	第Ⅲ期(12日間) 平成31年1月8日 ～24日	保健医療福祉組織論/30時間	4.保健医療福祉組織論統括演習	演習(12)	★勝見 真澄 ★小澄 悦子 ★高橋 久美子 ★執賀 愛子 ★土井 正子 ★中村 敦子 猪股 千代子 古都 昌子
			1.医療福祉と経済論	講義(6)	★高橋 泰
			2.医療福祉経営	講義(6)	★工藤 高
			3.財務管理	講義(6)	★渡邊 寧子
4.経営分析			講義(6)	★富永 誠	
5.ヘルスケアサービスの経営と質管理・経済性			講義(9)	★宮城 領子 ★児玉 真利子 ★須田 倫子	
6.看護経営の今後のあり方			講義(6)	★齋竹 一子 ★深澤 優子	
経営管理論/60時間	7.労務管理	講義(6)	★和田 昌代 ★櫛引 久丸		



第Ⅰ期（12日間） 平成30年8月21日 ～9月5日  第Ⅱ期（14日間） 平成30年10月30日 ～11月16日  第Ⅲ期（12日間） 平成31年1月8日 ～24日	経営管理論/60時間	8.人材フローのマネジメント	講義（3）	★樋口 春美
		9.危機管理	講義（3）	★加藤 久美子
		10.経営管理論演習	演習（9）	★佐藤 ひとみ ★田所 亮一 ★田中 いずみ ★中野 和美 ★萩原 直美 ★樋渡 ひとみ 猪股 千代子 古都 昌子
	看護経営者論/51時間	1.経営者論	講義（6）	中村 恵子
		2.管理者の倫理的意思決定	講義（6）	★近藤 とさえ 中村 恵子
		3.看護事業の開発と起業	講義（6）	★鈴木 英樹 ★原田 典子
		4.実習	実習（27）	猪股 千代子 古都 昌子
		5.特別講義	演習（6）	中島 秀之
	統合演習/15時間	1.統合演習	演習（15）	★伊藤 リカ ★加藤 久美子 ★近藤 とさえ ★齋藤 香奈恵 ★渋谷 洋子 ★中山 日登美 ★的場 由紀子 ★山谷 敦子 猪股 千代子 古都 昌子

★印：非常勤講師等



## 2) セミナー講師等

## ① デザイン学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
中島 秀之	平成30年5月11日	「AIとシンギュラリティ」／講師	(一社)日本オプトメカトロニクス協会
	平成30年5月16日	21世紀の医療保障制度を考える会／講師	21世紀の医療保障制度を考える会
	平成30年7月12日	「ブロードバンド・ユビキタス調査会」／講師	(一社)電気通信協会
	平成30年7月13日	トヨタ技術会「技術者の1日」／講師	トヨタ技術会
	平成30年7月20日	「エグゼクティブ マネジメントプログラム」(SCSK(株)リーダー育成研修)／講師	(株)不識庵
	平成30年7月31日	「経団連フォーラム21」7月講座講演／講師	(一社)経団連事業サービス
	平成30年8月11日・12日	2018年度科学セミナー／講師	日本物理学会
	平成30年8月24日	(株)アックス セミナー／講師	(株)アックス
	平成30年9月7日	「次世代産業フォーラムin KOBE (AI編)」／講師	神戸商工会議所
	平成30年9月12日	Sapporo AI Lab講演／講師	(財)さっぽろ産業振興財団
	平成30年10月7日	第22回日本統合医療学会学術大会における講演／講師	第22回日本統合医療学会学術大会
	平成30年10月18日	自治労「AIと自治体行政」研究会講演／講師	全日本自治団体労働組合
	平成30年10月20日	中小企業立国の会 立国フォーラムにおける講演／講師	中小企業立国の会
	平成30年10月23日	ファーストコールカンパニー (FCC) トップ会沖縄／講師	(株)タナベ経営 沖縄支社
	平成30年11月6日	札幌市立病院院内講演／講師	札幌市病院事業管理者(市立札幌病院長)
	平成30年11月9日	産研テクノサロンスペシャル1の講演／講師	国立大学法人大阪大学産業科学研究所
	平成30年11月20日	年次大会全大会での基調講演／講師	(一社)大学ICT推進協議会
	平成30年12月6日	ViEW2018特別講演／講師	(公社)精密工学会
	平成30年12月18日	国民の安全を守るプロとして教育訓練を積む幹部警察官に対し、自由な内容、演題での特別講演／講師	警察大学
	平成31年1月14日	Singularity U Kyoto Chapter/講師	Impact Hub Kyoto
平成31年1月17日	平成30年度北海道地区幹部行政官セミナー/講師	人事院北海道事務局	
平成31年1月28日	札幌日経懇話会での講演／講師	日本経済新聞社札幌支社	
平成31年3月5日	「深層学習の先にあるもの一記号推論との融合を目指して」第2回講演／講師	東京大学大学院情報理工学系研究科	
平成31年3月20日	ひろしまIT融合フォーラム「特別講演会並びにIT融合研究会成果発表会」講演／講師	ひろしまIT融合フォーラム	





教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
蓮見 孝	平成30年9月28日	「社会福祉施設になぜアートが必要なのか(仮)」／講師	(一社)全国軽費老人ホーム協議会
	平成30年10月8日	第22回日本統合医療学会学術大会における講演／講師	(一社)全国軽費老人ホーム協議会
安齋 利典	平成30年12月27日	ユニバーサルデザインセミナー／講師	(一社)旭川ウェルビーイング・コンソーシアム
齊藤 雅也	平成30年12月18日	平成30年度北海道旭川西高等学校「SS特別講座」／講師	北海道旭川西高等学校
羽深 久夫	平成30年6月12日、9月4日、9月11日、平成31年2月26日、3月5日	「さっぽろ市民カレッジ講座」／コーディネーター	札幌市生涯学習センター
	平成30年6月26日	「さっぽろ市民カレッジ2018春・夏期講座」／コーディネーター	札幌市生涯学習センター
	平成31年2月19日	「さっぽろ市民カレッジ2019冬期講座」／コーディネーター	札幌市生涯学習センター
	平成31年2月26日、3月5日	「さっぽろ市民カレッジ2019冬期講座」／コーディネーター及び講師	札幌市生涯学習センター
矢部 和夫	平成30年6月17日	観察会「ひらおか春の湿生植物観察ツアー」／講師	(公財)札幌市公園緑化協会
	平成30年6月18日	「円山地区の外來種問題」／講師	札幌市立宮の森中学校
山田 良	平成30年10月20日	景観まちづくり塾「歴史とアートと景観まちづくり」／講師	(一社)北海道建築士会
若林 尚樹	平成31年2月7日	ユニバーサルデザイン講座／講師	(一社)旭川ウェルビーイング・コンソーシアム
張 浦華	平成30年9月20日	陶芸教室／講師	家庭教育学級ままへず
武田 亘明	平成30年8月3日	平成30年度北海道高等学校産業教育実技講座／講師	北海道教育庁学校教育局
丸山 洋平	平成30年11月16日	新宿人口・世帯推計に関する調査／アドバイザー	新宿区新宿自治創造研究所
	平成30年12月21日	平成30年度神奈川県地域人口研究会／講師	神奈川県
三谷 篤史	平成30年10月27日～28日	アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2018北海道地区大会／審判員	全国高等専門学校ロボットコンテスト2018北海道地区大会
藤木 淳	平成30年4月7日	シカクノフシギトークイベント／講師	三菱みなとみらい技術館
	平成31年1月14日～18日	企画展「アルスエレクトロニカ イン ザナレッジキャピタル vol.9 PLAYWAREアルゴリズムでつくる遊び展」／講師	アルスエレクトロニカ
片山 めぐみ	平成30年10月20日	地域で健康でいきがいを持ち、アクティブに暮らす住民を増やすことを目的とした研修会「アクティブな暮らしのはじめ方」講演／講師	(株)北海道二十一世紀総合研究所
	平成31年2月16日	地域で健康でいきがいを持ち、アクティブに暮らす住民を増やすことを目的とした研修会「ゆるわく！地域生活のススメ」講演／講師	(株)北海道二十一世紀総合研究所
福田 大年	平成30年8月28日	平成30年度後志教育研修センター研修講座／講師	後志教育研修センター



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
福田 大年	平成31年2月5日	食品企業向けパッケージデザインセミナー／講師	旭川食品産業支援センター
	平成31年2月16日	勉強会「OthloEvent」UXデザイン講座／講師	㈱アクアリング

## ② 看護学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
松浦 和代	平成30年6月12日 平成30年6月14日	札幌医科大学附属病院 実地指導者研修の講師	北海道公立大学法人札幌医科大学附属病院
川村 三希子	平成30年7月28日 平成30年7月29日	「ELNEC-J高齢者プログラム研修会」ファシリテーター	(公)北海道看護協会
	平成30年8月23日 平成30年8月24日	「エンド・オブ・ライフ・ケア (ELNEC-J) 研修会」講師、ファシリテーター及び実施責任者	(公)北海道看護協会
中村 恵子	平成30年12月8日	北海道看護協会 苫小牧支部医療安全ワークショップの講師	(公)北海道看護協会 苫小牧支部
卯野木 健	平成30年6月30日	日本集中治療医学会第2回関東甲信越支部学術集会の講師	ファイザー(株) 日本集中治療医学会第2回関東甲信越支部学術集会
	平成30年7月7日	「第10回JSEPTIC看護部会セミナー」の講師及び運営幹事	(協)日本集中治療教育研究会
	平成30年8月24日 平成31年2月15日	平成30年度筑波大学附属病院看護師特定行為研修の講師	筑波大学附属病院
	平成30年9月28日	平成30年度集中ケア認定看護師教育課程の講師	杏林大学医学部付属病院
	平成30年12月1日 平成30年12月13日 平成31年1月	WEBセミナー 早期離床を目指すクリティカルケア PICS/ICU-AW対策の講師	メディバンクス(株)
	平成30年12月15日	「第13回JSEPTIC看護部会セミナー」の講師	(協)日本集中治療教育研究会
菊地 ひろみ	平成30年5月30日 平成30年7月1日～ 平成31年3月31日	院内看護職員研修「看護研究」に係る看護研究導入講義の講師及び看護研究導入指導	JA北海道厚生連札幌厚生病院
	平成31年2月22日	平成30年度雇用管理改善推進事業 経験交流会の講師	(公)介護労働安定センター北海道支部
喜多 歳子	平成30年9月29日	「日本・フィンランドにおける第三年代」セミナーの講師	北海道フィンランド協会
	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	環境健康科学研究教育センターの招へい教員	環境健康科学研究教育センター
定廣 和香子	平成30年6月12日 平成30年6月19日 平成30年6月19日 平成30年7月10日	平成30年度北海道専任教員養成講習会の講師「看護論」	(公)北海道看護協会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
神島 滋子	平成30年4月1日～平成31年3月31日 (月1～2回)	北海道済生会小樽病院看護部の看護指導講師	(社)恩賜財団済生会支部北海道済生会小樽病院
	平成30年4月21日	平成30年度北海道女性医師の会総会講演会の講師	北海道女性医師の会
	平成30年7月4日	平成30年度看護職員研修「看護研究 量的講義」の講師	市立札幌病院
	平成30年8月4日	看護師新人研修の講師	日本脳神経看護研究学会北海道部会
	平成30年12月25日	「わたしの生き方・逝き方セミナー終活2018」セミナーの講師	(社)札幌市社会福祉協議会
藤井 瑞穂	平成30年7月1日～平成31年3月31日	院内看護職員研修「看護研究」に係る看護研究導入指導	JA北海道厚生連札幌厚生病院
古都 昌子	平成30年5月1日	平成30年度看護職員研修「臨床指導者研修」の講師	市立札幌病院
	平成30年6月～9月 期間内で5回	「平成30年度北海道専任教員養成講習会」演習担当講師	(社)北海道看護協会
	平成30年10月25日	斗南病院看護管理者研修会の講師	国家公務員共済組合連合会斗南病院
	平成30年10月27日	全国国立病院看護部長協議会北海道東北支部北海道地区研修会の講師	全国国立病院看護部長協議会
	平成30年11月5日	帯広病院看護職員研修「継続教育の企画」「看護研究」の講師	北海道社会事業協会帯広病院
本田 光	平成31年2月9日	平成30年度(社)日本看護研究学会北海道地方会特別講演会の講師	日本看護研究学会北海道地方会
三上 智子	平成30年7月17日	健康講話の講師「高校生としての性への対応について」	市立札幌平岸高等学校
村松 真澄	平成30年4月28日	一般口演5「口腔ケアの標準化」	第15回日本口腔ケア学会総会・学術大会
	平成30年5月19日	第67回日本口腔衛生学会・総会の講師	第67回日本口腔衛生学会
	平成30年6月18日	平成30年度第2期桑園交流大学第5講座の講師「お口の健康のために」	桑園交流ネットワーク
	平成30年6月30日	浅香山病院院内研修会の講師 平成30年度トピックス研修会	(公財)浅香山病院
	平成30年7月11日	施設内研修の講師「食支援困難症例のケア」	(社)札幌明啓院 特別養護老人ホームフローラルさつなえ
	平成30年8月5日	口腔ケアと歯科口腔機能管理による連携研修会の講師	(社)山梨県歯科医師会
	平成30年7月29日 平成30年8月25日	「日本口腔看護研究会 北海道 口腔ケア実践セミナーin札幌」の講師	日本口腔看護研究会
	平成30年8月30日	地域介護関係職員の医療に関する知識を深めることを目的とした研修の講師	(社)大悲会
	平成30年10月19日	講演会「口腔ケアの重要性」～誤嚥性肺炎との関係性～講師	(社)愛全会 高齢者総合福祉施設サン・グレイス



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
守村 洋	平成30年5月17日	平成30年度「生活支援員登録に向けた研修・説明会」の講師	(社)札幌市社会福祉協議会
	平成30年8月2日	平成30年度札幌市教育センター専門研修(教養研修)の講師	札幌市教育委員会
	平成30年8月10日	「精神科訪問看護基本療養指導に係る研修 研修会」の講師	(公)北海道看護協会
	平成30年8月22日	平成30年度札幌市学校経営研修の講師	札幌市教育委員会
	平成30年9月25日	平成30年度 日常生活自立支援事業「生活支援員現任者研修会」の講師	(社)札幌市社会福祉協議会
	平成30年11月1日	平成30年度札幌市市民後見人養成研修の講師	(社)札幌市社会福祉協議会
	平成30年12月3日 平成31年3月4日	平成30年度「生活支援員登録に向けた研修・説明会」の講師	(社)札幌市社会福祉協議会
	平成30年12月13日	啓明中学校区 青少年健全育成推進会主催 講演会	札幌市立啓明中学校
	平成31年2月20日	札幌市中央区保健福祉課「自立支援協議会中央区地域部会との協働による地域密着型自殺対策事業」における自殺対策勉強会への講師	(株)石塚計画デザイン事務所
武富 貴久子	平成30年6月22日 平成31年2月22日 全8回	看護研究指導と看護研究研修会の講師「看護研究の実際」	砂川市立病院
	平成30年10月6日	標準模擬患者指導教員	北海道大学医学研究院
	平成30年11月30日	看護研究グループへのアドバイス	町立中標津病院
野呂田美菜子	平成31年2月20日	札幌市中央区保健福祉課「自立支援協議会中央区地域部会との協働による地域密着型自殺対策事業」における自殺対策勉強会への講師	(株)石塚計画デザイン事務所
檜山 明子	平成30年2月から 3月のうち1日間1 時間程度	いとう整形外科病院看護職学習会の講師	いとう整形外科病院
矢野 祐美子	平成31年1月29日	苫小牧市立病院「実習指導者研修Ⅰ・プリセプター研修Ⅰ」の講師	苫小牧市立病院
山本 真由美	平成31年2月16日	平成30年度看護研究発表会・2019年度札幌第1支部大会への出席	北海道看護協会 札幌第1支部
鬼塚 美玲	平成30年7月1日～ 平成31年3月31日	院内看護職員研修「看護研究」に係る看護研究導入指導	JA北海道厚生連札幌厚生病院
	平成30年8月～ 平成31年3月	特別養護老人ホームへいわの郷施設内研修会の講師「特別養護老人ホームにおける職員の組織化」	(社)博栄会特別養護老人ホームへいわの郷
牧田 靖子	平成30年10月24日	講座「子どものケガの初期対応」の講師	まなびデザイン

## 5 国際交流実績

年月日	内容	
平成30年4月19日	報告	スタートアップ演習での国際交流事業報告会を実施
平成30年6月6日	受入	ラップランド大学の国際交流担当者1名が交流促進のため来学
平成30年7月25日 ～28日	派遣	アメリカ・ポートランドへの札幌市訪問団に中島学長が同行
平成30年8月27日 ～28日	受入	台中科技大学の教員3名、康寧大学の教員3名が学内研究交流会を視察
平成30年8月1日	その他	ラップランド大学との共同で遠隔システムを活用した教育プログラムを設定し、フィンランド教育行政機関が公募した補助金プログラムに応募。不採択だったが、継続して、共同で教育プログラムを検討
平成30年8月26日 ～9月2日	派遣	華梵大学主催台日デザインワークショップに教員2名、学生12名を派遣
平成30年9月13日	その他	台中科技大学から中島学長に宛てた北海道胆振東部地震のお見舞いメールを受信
平成30年9月5日	受入	台湾芸術大学の教員2名、学生4名が大学見学のため来学
平成30年9月15日 ～23日	受入	本学で開催した国際交流ワークショップにPacific Northwest Collage of Art[PNCA]からの教員1名、学生8名を受入
平成30年9月23日 ～29日	派遣	Pacific Northwest Collage of Art[PNCA]で開催した国際交流ワークショップに教員2名、学生7名を派遣
平成30年9月29日	その他	北海道フィンランド協会共催「日本とフィンランドにおける第三年代～日本フィンランドのオンラインセミナー～」に本学教員1名、ラップランド大学教員1名が参加
平成30年10月18日 ～24日	受入	承德医学院の教員1名、学生7名を学生交流プログラムに受入
平成30年12月10日	協定	台中科技大学と本学との学術交流協定締結のため、台中科技大学学長及び関係者5名が来学
平成31年1月22日	受入	中国・同済大学他の教員17名、学生5名、民間事業者9名、通訳1名が施設見学で来学
平成31年2月4日	その他	ラップランド大学の教員と学生がさっぽろ雪まつりに合わせて用意した雪と氷の造形作品の制作に、学生2名及びラップランド大学からの特別聴講学生1名が協力
平成31年3月20日 ～26日	その他	ラップランド大学、ラップランド応用科学大学、ロヴァニエミ市近郊の口腔ケアや高齢者に係わる施設、病院を教員3名が訪問
平成31年3月21日 ～29日	派遣	清華大学美術学院に国際交流推進を目的として学長及び教員1名を派遣
平成29年10月	受入	華梵大学から特別聴講学生2名を1年間受入（平成30年9月まで）
平成30年10月	受入	ラップランド大学から札幌大学に留学中の留学生1名を特別聴講学生として1年間受入（令和元年9月まで）

## 6 サテライトキャンパスの利用状況

利用目的	利用件数
セミナー	29
会議	※内訳 会議（学内者のみ）30 産学連携・会議（学外者を含む）52 82
学会	149
その他	0
合計	260

## V キャリア支援活動

### 1 デザイン学部

#### 1) 概要

デザイン学部の学生を対象としたキャリア支援の取り組みを図る目的で、デザイン学部キャリア支援委員会が設置されている。本委員会は、定例会議（毎月1回程度）において学生の支援方法及び企業へのPR・求人開拓活動などを協議し、キャリアガイダンスやコース毎の独自企画と連携した取組も行っている。

また、キャリア支援室を設置し、常勤のキャリアカウンセラーによる、学生個々の志望に応じた就職相談体制を構築している。さらに、キャリア教育として、キャリアデザイン、インターンシップなどの授業科目を設けている。活動実績の詳細については下記のとおりである。

学部4年次生への支援 研究科博士前期課程2年次生への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導（就職相談、面接・履歴書・ES対策など）（平成30年4月～）</li> <li>・学内企業説明会（随時）</li> <li>・求人情報の提供（随時）</li> </ul>
学部3年次生への支援 研究科博士前期課程1年次生への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアガイダンス（平成30年4月～7月）</li> <li>・デザイン学部専門教育科目「キャリアデザイン」（平成30年9月～平成31年1月）</li> <li>・就職活動ハンドブックの配布（平成30年4月）</li> <li>・進路希望調査（平成30年10月）</li> <li>・ビジネスEXPOへの参加（平成30年11月）</li> <li>・学内業界セミナー（平成30年10月～平成31年3月）</li> <li>・求人情報の提供（随時）</li> <li>・インターンシップ・企業実習情報の提供（随時）</li> </ul>
学部2・3年次生への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケッチ講習会（平成30年11月）</li> <li>・ワークショップ型インターンシップ体験（平成30年12月）</li> </ul>
後援会からの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬面接（平成30年4月、平成31年1月～2月）</li> <li>・エントリーシート個別相談会（平成30年11月）</li> <li>・履歴書用証明写真撮影補助（平成30年11月～）</li> </ul>

#### 2) 支援体制

デザイン学部のキャリア支援は、本委員会の委員、2コース（旧カリキュラムにおいては4コース）のゼミ担当教員及び事務局（学生課キャリア支援担当、就職相談員）が行っている。主な役割分担として、事業の企画・運営は本委員会の委員が、就職先の開拓は全教員及びキャリア支援担当が、学生相談のうち専門分野に関わることはキャリア支援室の就職相談員及びキャリア支援担当がそれぞれ行っている。

3) 就職・進学結果  
(10期生) 平成31年3月卒業生

就職先	<p>■農業 農事組合法人銀の鴨</p>
	<p>■建設業 (株)一条工務店/デザインルーツ(株)/バンセイ(株)/(株)北海道シミズ/北海道セキスイハイム(株)/(株)ロゴスホーム</p>
	<p>■製造業 アイリスオーヤマ(株)/石屋製菓(株)/(有)中村鞆製作所/パナソニック(株)/ピープル(株)/(株)平塚建具製作所/六花亭製菓(株)</p>
	<p>■情報通信業 (放送・ゲームソフト・インターネット関連・映像制作等) (株)インテリジェントシステムズ/(株)エヌ・ティ・ティ・データ北海道/(株)エルロイ/クリナップソリューション(株)/(株)ジャパンテクニカルソフトウェア(株)商藝舎/(株)ティー・シー・ピー/(株)テレ・マーカール/トランスコスモス(株)/(株)ナディア/(株)北海道新聞社/起業 (アプリ制作)</p>
	<p>■運輸業 北海道西濃運輸(株)/三菱電機ロジスティクス(株)</p>
	<p>■卸売業・小売業 (株)ガモウ北海道/(株)キャンディハウス札幌/(株)キャンディハウス横浜/(株)ぱあとわん/(株)ビックカメラ/(株)レブレゼント</p>
	<p>■金融・保険業 第一生命保険(株)/北栄保険サービス(株)</p>
	<p>■専門・技術サービス業 (デザイン業・広告業等) アド・バリュー(株)/(株)サッポロッカ/(株)ソルトワークス/ダイヤモンドヘッド(株)/(株)丹青ディスプレイ札幌オフィス/(株)トップクリエーション/(株)北海道博報堂/(株)メンバーズ</p>
	<p>■飲食サービス業 (株)三ツ星レストランシステム</p>
	<p>■生活・娯楽業 (株)ネルケプランニング</p>
	<p>■教育・学習支援業 国立大学法人等職員 (北海道大学・建築)</p>
	<p>■その他のサービス業 (株)エコミック/(株)クレオテック/(公財)札幌市芸術文化財団</p>
	<p>■公務 札幌市役所 (技術職：建築)</p>
進学先	札幌市立大学大学院/東京工業大学大学院/札幌ビューティーアート専門学校/北海道理容美容専門学校

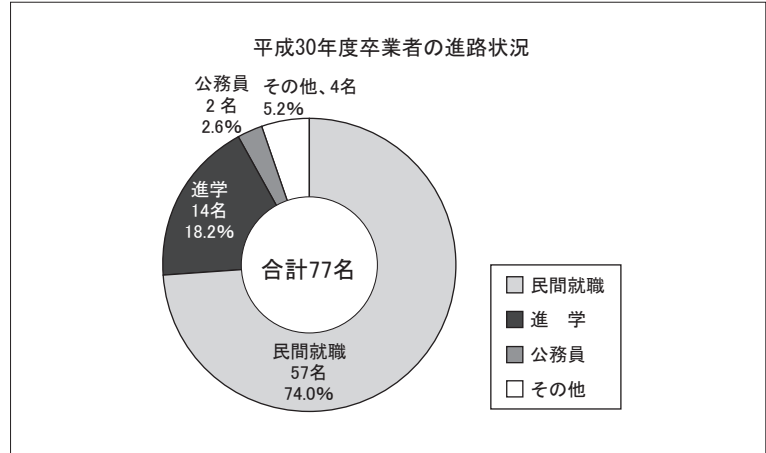




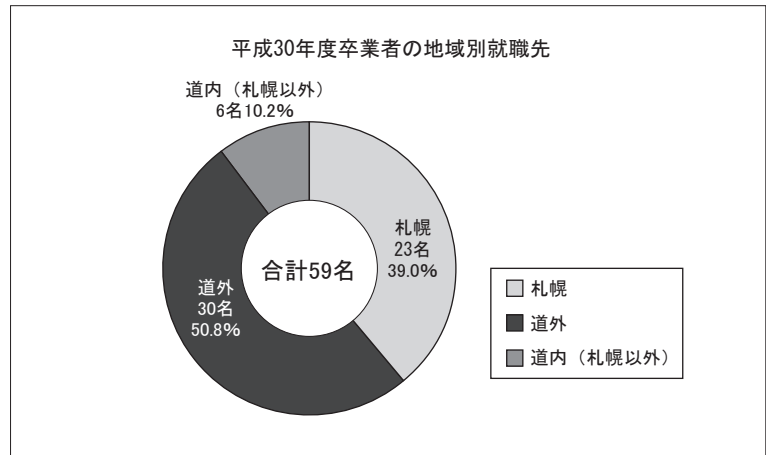
(10期生)

1.札幌市立大学デザイン学部 平成30年度卒業生 就職状況 (令和元年7月1日現在)

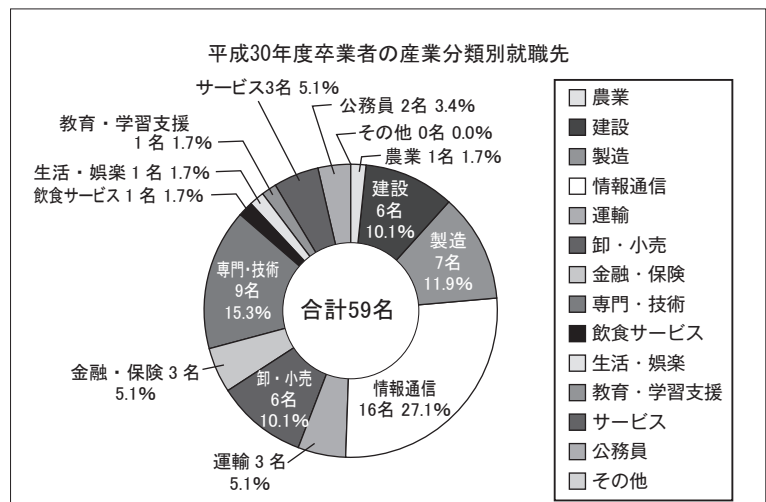
進路状況	人数(名)	割合(%)
民間就職	57	74.0
進学	14	18.2
公務員	2	2.6
その他	4	5.2
合計	77	—



地域別就職先	人数(名)	割合(%)
札幌	23	39.0
道外	30	50.8
道内 (札幌以外)	6	10.2
合計	59	—



産業分類	人数(名)	割合(%)
農業	1	1.7
建設	6	10.1
製造	7	11.9
情報通信	16	27.1
運輸	3	5.1
卸・小売	6	10.1
金融・保険	3	5.1
専門・技術	9	15.3
飲食サービス	1	1.7
生活・娯楽	1	1.7
教育・学習支援	1	1.7
サービス	3	5.1
公務員	2	3.4
その他	0	0.0
合計	59	—



2.内定先の内訳（市内22社24名、道内6社6名、道外27社29名）

コース	道内企業（札幌市内含む）		道外企業
空間	市内	札幌市〔公務：建築職〕 札幌市〔公務：建築職〕 ㈱北海道シミズ〔建設：デザイナー〕 北海道セキスイハイム㈱〔建設：営業職〕 国立大学法人等職員（北海道大学・建築） 〔教育・学習支援：建築職〕	㈱一条工務店〔建設：設計職〕 ㈱カンディハウス横浜〔卸・小売：営業職〕 農事組合法人銀の鴨〔農業：生産〕 トランスコスモス㈱〔情報通信：設計職〕 バンセイ㈱〔建設：設計職〕 三菱電機ロジスティクス㈱〔運輸：総合職〕 三菱電機ロジスティクス㈱〔運輸：総合職〕
	道内	㈱平塚建具製作所〔製造：総合職〕 ㈱三ツ星レストランシステム 〔飲食・宿泊：デザイナー〕 ㈱ロゴスホーム〔建設：設計職〕	
製品	市内	石屋製菓㈱〔製造：総合職〕 ㈱エコミック〔サービス：総合職〕 ㈱カンディハウス横浜〔卸・小売：営業職〕 ㈱ジャパンテクニカルソフトウェア 〔情報通信：SE〕 ㈱北海道博報堂〔専門・技術：プロモーション職〕	アイリスオーヤマ㈱〔製造：開発職〕 デザインルーツ㈱〔建設：デザイナー〕 トランスコスモス㈱〔情報通信：Webデザイナー〕 ㈱中村鞆製作所〔製造：デザイナー〕 ピープル㈱〔製造：デザイナー〕 ㈱レプレゼント〔卸・小売：デザイナー〕
	道内		
コンテンツ	市内	アド・バリュー㈱〔専門・技術：デザイナー〕 ㈱ジャパンテクニカルソフトウェア 〔情報通信：SE〕 丹青ディスプレイ㈱札幌支店 〔専門・技術：総合職〕 ㈱トップ・クリエーション〔情報通信：制作職〕 北栄保険サービス㈱〔金融・保険：総合職〕 北海道西濃運輸㈱〔運輸：総合職〕	㈱インテリジェントシステムズ 〔情報通信：デザイナー〕 ㈱エルロイ〔情報通信：映像編集職〕 クリナップソリューション㈱〔情報通信：SE〕 ㈱クレオテック〔サービス：総合職〕 ダイヤモンドヘッド㈱〔情報通信：デザイナー〕 トランスコスモス㈱〔情報通信：デザイナー〕 ㈱ばあとわん 〔卸・小売：グラフィックデザイナー〕
	道内		パナソニック㈱〔製造：事務職〕 ㈱メンバーズ〔情報通信：デザイナー〕 起業〔情報通信：デザイナー〕
メディア	市内	㈱エヌ・ティ・ティ・データ北海道 〔情報通信：SE〕 ㈱ガモウ北海道〔卸・小売：総合職〕 （公財）札幌市芸術文化財団〔サービス：事務職〕 ㈱ソルトワークス〔専門・技術：デザイナー〕 ㈱ソルトワークス〔専門・技術：デザイナー〕 ㈱ティー・シー・ピー〔情報通信：デザイナー〕 ㈱テレ・マーカ―〔情報通信：総合職〕 ㈱北海道新聞社〔情報通信：総合職〕	第一生命保険㈱〔金融・保険：基幹職〕 第一生命保険㈱〔金融・保険：基幹職〕 トランスコスモス㈱〔情報通信：機械設計職〕 ㈱ナディア〔情報通信：ディレクター〕 ㈱ネルケブランニング〔生活・娯楽：総合職〕 ㈱ビックカメラ〔卸・小売：総合職〕
	道内	㈱サッポロッカ 〔専門・技術：グラフィックデザイナー〕 ㈱商藝舎〔情報通信：デザイナー〕 六花亭製菓㈱〔製造：総合職〕	
小計	28社 30名		27社 29名
合計	55社 59名		



## 3.進学状況（大学院12名、その他2名）

コース	進学先	
空間	大学院	札幌市立大学大学院 7名、東京工業大学大学院 1名
	研究生	
	その他	
製品	大学院	札幌市立大学大学院 1名
	研究生	
	その他	
コンテンツ	大学院	札幌市立大学大学院 2名
	研究生	
	その他	北海道理容美容専門学校 1名
メディア	大学院	札幌市立大学大学院 1名
	研究生	
	その他	札幌ビューティーアート専門学校 1名
合計		大学院 12    研究生 0    その他 2

## 2 看護学部（助産学専攻科含む）

### 1) 概要

看護学部キャリア支援委員会は、学生の進路相談や就職活動、国家試験への支援だけでなく、就職後の支援も視野に入れ、学生を支援する体制を整えている。

看護学部における支援体制には、①進路相談、②就職活動支援、③国家資格試験対策、④卒業後のキャリア支援の4つの取組を軸に、次のような活動の企画・運営を行っている。①看護学部キャリア支援相談室の管理・運営、②進路希望調査の実施、③看護学部キャリア支援・進路活動ガイダンスの実施、④各種就職・進学説明会の開催、⑤国家試験自主ゼミの組織化、⑥国家試験受験に向けたガイダンスの実施。

学生のニーズ調査に基づき、経験豊富な看護管理者を模擬面接官として招聘した「模擬面接プログラム」を追加実施し、参加学生から好評価を得ている。

また、卒業生を対象としたシャトル研修を実施し、卒後のキャリア支援を行った。

これらの活動が学生のニーズに合う内容であること及び学生の将来に有用な指針を示すものであることを念頭に、進路希望調査の結果など学生の声を重視し、計画立案に反映させながら支援を行っている。

### 2) 支援体制

看護学部キャリア支援委員9名により、次の表のとおり年間活動計画及び進路相談などを行った。また、学生による国家試験対策自主ゼミグループを組織し、自主ゼミリーダー会議を定期的に開催した。

月	4年次生、助産学専攻科生	3年次生
4月	前期ガイダンス	
	キャリアハンドブック配布（専攻科生） 進路希望調査	キャリアハンドブック配布（編入生）
5月	模擬面接①②③④⑤	
6月	模試①（看護師）	
7月		
8月	再学修セミナー（5回）	
9月	後期ガイダンス	
	模試②（保健師）	進路活動ガイダンス
10月	模試③（看護師） 模試④（助産師） シャトル研修（札幌、卒業生（卒後6ヶ月））	国家試験対策自主ゼミ結成
	11月	模試⑤（保健師） 国家試験説明会
12月		
1月	模試⑥（看護師） 模試⑦（助産師） 模試⑧（保健師）	進路希望調査
2月	国家試験受験事前説明会 スキルアップトレーニング	特別講義（就職活動準備） 学内キャリア説明会 低学年用国家試験模試
3月	特別講義（労務支援） 卒業・修了前ガイダンス	



3) 就職・進学結果

① 進路状況

(単位：名)

	卒業者数	就職希望者数 (a)	進学者数	就職者数 (b)	内定率 (%) (b/a)
看護学部	92	84	8	84	100.0
助産学専攻科	11	11	0	11	100.0

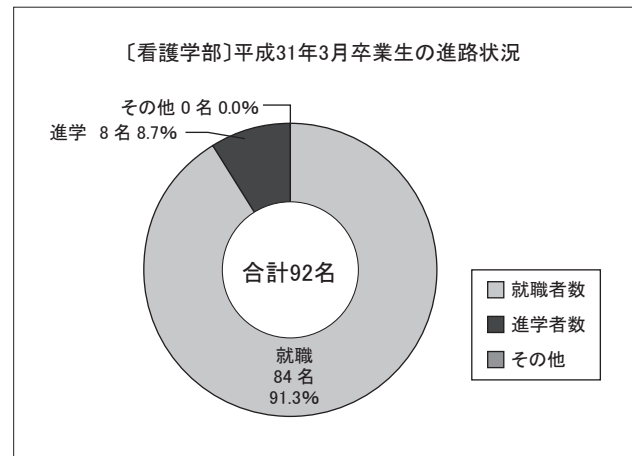
② 就職者の職種

(単位：名)

看護師	75
保健師	6
助産師	11
その他	3
合計	95

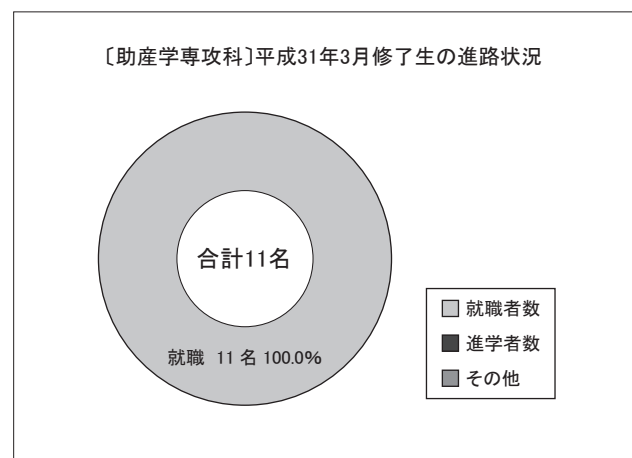
平成31年3月卒業生・修了生  
看護学部

進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	84	91.3
進学	8	8.7
その他	0	0.0
合計	92	—



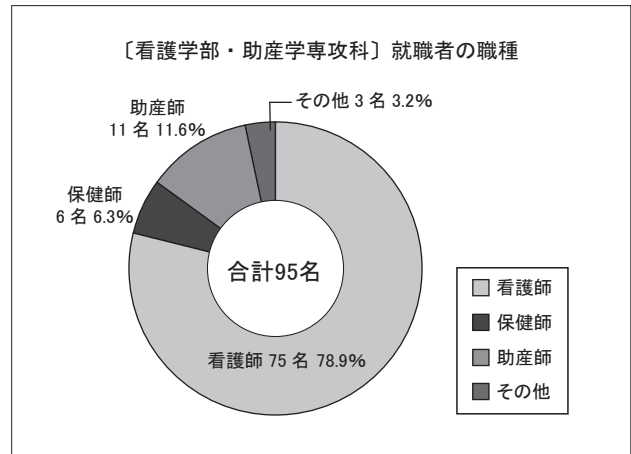
助産学専攻科

進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	11	100.0
進学	0	0.0
その他	0	0.0
合計	11	—



看護学部・助産学専攻科

産業分類	人数(名)	割合(%)
看護師	75	78.9
保健師	6	6.3
助産師	11	11.6
その他	3	3.2
合計	95	—



4) 国家試験の結果

(単位：名)

	出願者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)
看護師	84	84	81	96.4
保健師	26	26	24	92.3
助産師	11	11	11	100.0

### 3 デザイン研究科

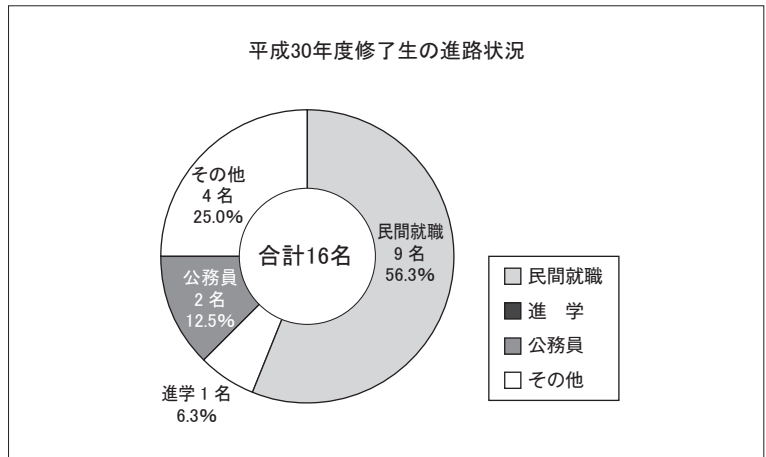
#### 1) 就職・進学結果

(8期生) 博士前期課程 平成30年度修了生

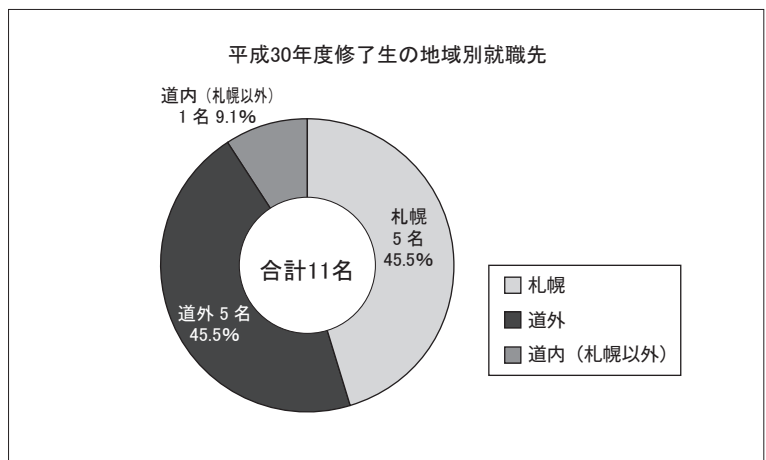
就 職 先	■建設業 株式会社ナカヤマアーキテクト/住友林業株式会社/株式会社スペース/東洋熱工業株式会社/株式会社北海道日建設計
	■製造業 クリナップ株式会社/三菱電機株式会社
	■情報通信業 SCSK北海道株式会社
	■卸・小売 株式会社オルゴール堂
	■公務 札幌市（事務職）、北海道（技術職：建築）

(8期生) デザイン研究科博士前期課程 平成30年度修了者 就職状況

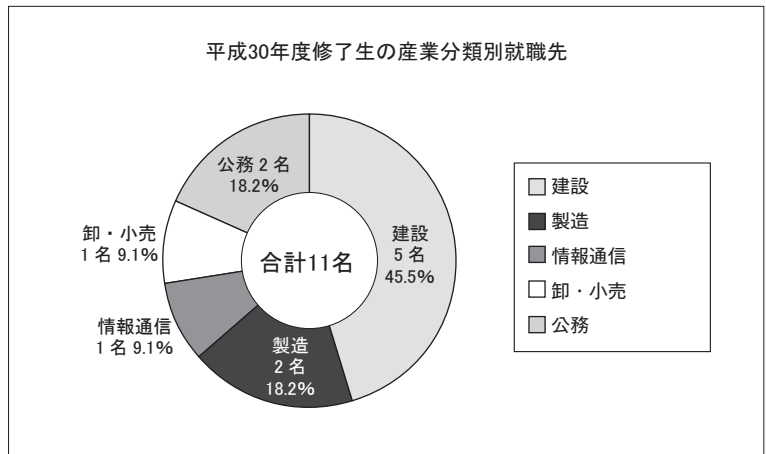
進路状況	人数(名)	割合(%)
民間就職	9	56.3
進学	1	6.3
公務員	2	12.5
その他	4	25.0
合計	16	—



地域別就職先	人数(名)	割合(%)
札幌	5	45.5
道外	5	45.5
道内 (札幌以外)	1	9.1
合計	11	—



産業分類	人数(名)	割合(%)
建設	5	45.5
製造	2	18.2
情報通信	1	9.1
卸・小売	1	9.1
公務	2	18.2
合計	11	—





## 2) 進路決定状況概要

## 1.進路状況

(8期生) 博士前期課程 平成30年度修了者

(単位:名)

	修了生数①	1. 就職希望		就職者(起業含)※1		2. 進学希望		3. その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤※3	⑥※2
人数	16	11	2	11	2	1	1	4
割合	100.0%	68.8%	18.2%	100.0%	18.2%	6.3%	0.0%	25.0%
	①÷①	②÷①		③÷②		④÷①	⑤÷④	⑥÷①

(備考)

※1: 就職希望者に対する就職者の割合

※2: 就職希望・進学希望以外の者(社会人学生、アルバイト・公務員浪人、将来的な就職に関する進路選択をしたもの等)

※3: 進学希望者に対する進学先決定者の割合

## 2.内定先の内訳(市内5社5名、道内1社1名、道外5社5名)

コース	道内企業(札幌市内含む)		道外企業
デザイン専攻	市内	(株)nAナカヤマアーキテクト [建設:設計職] SCSK北海道(株)[情報通信:SE] 札幌市[公務:事務職] 北海道[公務:建築職] (株)北海道日建設計[建設設備設計]	クリナップ(株)[製造:デザイナー] 住友林業(株)[建設:設計職] (株)スペース[建設:設計職] 東洋熱工業(株)[建設:設備設計] 三菱電機(株)[製造:デザイナー]
	道内	(株)オルゴール堂[卸・小売:総合職]	
小計	6社 6名		5社 5名
合計	11社 11名		

## 3. 進学状況(大学院1名)

課程	進学先		小計(名)
デザイン研究科博士前期課程	大学院	札幌市立大学大学院 1名	1
	研究生		0
	その他		0
合計	大学院博士後期課程 1名 研究生 0名 その他 0名		1



## VI 平成31年度入学者選抜結果

### 1 デザイン学部・看護学部

#### 1) 入学者選抜要項

##### ① アドミッションポリシー

#### <教育研究の理念>

本学は、デザイン学と看護学を教育研究の対象とします。デザイン学と看護学は、いずれも人間を対象とした学問領域であることから、両者に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、一人の人間から社会全体までを対象に、安全で快適な暮らしを創造できる幅広い教養と豊かな人間性を有する職業人を育成します。市民の負託にこたえ、「市民に開かれた大学」「市民の力になる大学」「市民が誇れる大学」という三つの視点を掲げて、地域貢献という使命を果たしていくため、時代の要請に柔軟に対応しながら質の高い教育研究を追求します。

#### <教育研究の特長>

デザイン学と看護学それぞれの専門性を極める教育を行うとともに、幅広くデザインと看護の連携を目指します。また、市民、産業界、公的機関などと連携することにより、幅広いネットワークを持った大学とし、地域課題等に対応した教育研究を積極的に展開します。

#### <デザイン学部の求める学生像>

- 1 人間尊重・人間重視の姿勢を持ち、デザインを通して社会に貢献しようとする姿勢を持った人
- 2 豊かな感性と見識を持って、主体的かつ協同して未来のデザインを創造することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域活性化のリーダーとして文化・産業の発展に寄与する意志を持った人

このため、入学者には、日ごろから、人間及びその生活を豊かにするデザインに興味・関心を持ち、地域社会が抱える課題の発見や解決に向けて、日々の学習の中で幅広い基礎学力・思考力・発想力を身につけるとともに、多くの人々と協働するためのコミュニケーション能力を備え、新しい分野に挑戦し、学ぶ意欲があることが求められます。

また、高等学校における次のような学習が必要になります。「国語」・「英語」で基本的な読解力とコミュニケーション力を身につけること。「数学」・「理科」で理論的な思考力や、自然科学に対する教養を身につけること。「社会」で人間と社会の諸問題に関心を持つこと。「芸術（美術・音楽等）」や課外活動等で、美や文化を理解する感性を育むこと。

入学試験では、高等学校の主要科目をバランスよく学修しているか、読解力、表現力、感性、実社会への興味関心などを有しているかを基準に選抜します。

#### <看護学部の求める学生像>

- 1 人々の健康・心・暮らしに関心を持ち、生命の尊厳を理解しようとする姿勢を持った人
- 2 豊かな感性と探究心を持って、柔軟に物事を考え、自主的に学修できる人
- 3 他者と協調し、信頼関係を築くことができ、積極的に地域に貢献する意志を備えた人

そのためには、高等学校における国語、英語、数学、理科などの基礎的な学力、及び課外活動等によって培われた協調性や責任感のある人を求めています。



## ② 平成31年度入学者選抜概要

入学定員・募集人員

(単位：名)

学部・学科名	入学定員	募集人員				
		一般選抜		特別選抜		
		前期日程	後期日程	推薦入学	社会人	私費外国人留学生
デザイン学部 デザイン学科	85	59	14	12	若干名	若干名
看護学部 看護学科	80	48	—	32	若干名	—

## 選抜日程

選抜区分		出願期間	試験日	合格発表等
特別選抜	推薦入学 社会人	平成30年11月1日～6日	平成30年11月24日	平成30年12月10日 【入学手続期間】 平成30年12月10日～17日
	私費外国人留学生 (※)	平成31年1月28日 ～2月6日	平成31年2月25日	平成31年3月8日 【入学手続期間】 平成31年3月8日～15日
一般選抜	前期日程	平成31年1月28日 ～2月6日	平成31年2月25日	平成31年3月8日 【入学手続期間】 平成31年3月8日～15日
	後期日程 (※)	平成31年1月28日 ～2月6日	平成31年3月12日	平成31年3月20日 【入学手続期間】 平成31年3月20日～27日

(※) は、デザイン学部のみ実施

## 試験会場

学部・学科名	試験会場
デザイン学部デザイン学科	芸術の森キャンパス
看護学部看護学科	桑園キャンパス



## 選抜方法

選抜区分		学部・学科名	選抜方法
特別選抜	推薦入学	デザイン学部 デザイン学科	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」（いずれかを選択）、面接及び調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
		看護学部 看護学科	小論文（看護を学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力を見る。）、面接及び調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	社会人	デザイン学部 デザイン学科	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」（いずれかを選択）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
		看護学部 看護学科	総合問題（国語、英語、自然科学、論述）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	私費外国人留学生	デザイン学部 デザイン学科	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」（いずれかを選択）、面接、日本留学試験及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
一般選抜	デザイン学部 デザイン学科	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力検査等の成績並びに調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。	
	看護学部 看護学科		

## 一般選抜試験の大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目

学部・学科名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等
		教科	科目名等	科目名等
デザイン学部 デザイン学科	前期日程	国語	「国」（古文・漢文を含む。）	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」のいずれかを選択
		地歴公民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」「現社」「倫理」「政・経」「倫理、政・経」から1科目	
		数学	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」の2科目	
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目	
		外国語	「英」（筆記及びリスニング）	
	後期日程	国語	「国」（古文・漢文を含む。）	
		数学	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」の2科目	
看護学部 看護学科	前期日程	国語	「国」（古文・漢文を含む。）	面接
		数学	「数Ⅰ・数A」	
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目	
		外国語	「英」（筆記及びリスニング）	



## 注1) 【デザイン学部（前期日程）】

- ・ 地歴・公民について、2科目選択した場合は、第1解答科目を合否判定に利用します。
- ・ 理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）と「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）を選択した場合には、「基礎を付した科目」の得点を利用します。  
「基礎を付していない科目」のみを選択した場合は、1科目の得点（100点満点）（2科目選択した場合は第1解答科目の得点）を利用します。

## 注2) 【看護学部（前期日程）】

- ・ 理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）2科目を選択せずに、「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）2科目を選択した場合には、「基礎を付した科目」2科目のかわりに「基礎を付していない科目」2科目の合計得点（200点満点）を利用します。

## 注3) 【全試験区分共通】

- ・ 外国語について、「英語」の筆記及びリスニングの合計得点を利用します。いずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格はありません。ただし、大学入試センター試験の受験上の配慮において、リスニングを免除された者を除きます。

## ③ 平成31年度3年次編入学者選抜概要

## 募集人員

(単位：名)

学部・学科名等	募集人員
デザイン学部デザイン学科	10
看護学部看護学科	10

## 選抜日程・試験会場

学部・学科名	出願期間	試験日	試験会場	合格発表
デザイン学部 デザイン学科	平成30年6月22日 ～29日	平成30年7月21日	芸術の森キャンパス	平成30年8月2日
看護学部 看護学科	平成30年8月1日 ～7日	平成30年9月1日	桑園キャンパス	平成30年9月18日

## 選抜方法

学部・学科名	選抜方法
デザイン学部 デザイン学科	入学者の選抜は、本学が実施する小論文（課題解決型の論述問題）、英語、面接・試問及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学部 看護学科	入学者の選抜は、本学が実施する論述試験、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。



## 2) 選抜状況

## ① 入学者選抜状況

## a. 選抜・入学状況

## デザイン学部

(単位：名)

選抜区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	前期日程	59	132	131	62	59
	後期日程	14	137	68	16	13
特別選抜	推薦入学	12	37	37	13	13
	社会人	若干名	1	1	0	0
	私費外国人留学生	若干名	1	1	0	0

## 看護学部

(単位：名)

選抜区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	前期日程	48	120	119	48	48
特別選抜	推薦入学	32	84	84	32	32
	社会人	若干名	14	13	3	3

## b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	85	42	33	10	21	64
看護学部	83	38	35	10	6	77
合計	168	80	68	20	27	141

## ② 編入学者選抜状況

## a. 選抜・入学状況

(単位：名)

学部		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
デザイン学部	人間空間デザイン	10	7	7	4	4
	人間情報デザイン		7	7	5	3
	計	10	14	14	9	7
看護学部		10	16	15	6	6



## b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	7	2	2	3	2	5
看護学部	6	2	1	3	2	4
合計	13	4	3	6	4	9



## 2 デザイン研究科・看護学研究科

### 1) 博士前期課程

#### i 入学者選抜要項

##### ① アドミッションポリシー

#### 【デザイン研究科博士前期課程】

本課程は、地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業・芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜デザイン研究科博士前期課程の求める学生像＞

- 1 デザインに関する基礎知識を備え、豊かな感性と深い見識を持ち、人間重視の視点からデザインの発展に寄与できる人
- 2 各種のデザインを統合し、先導的なプロジェクトを主体的・戦略的に展開することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域を創成していくリーダーとして文化・産業の発展に貢献する意思を持った人

#### 【看護学研究科】

本課程では、広い視野に立って看護学の基盤を学修した個々人の専門性及び学識を深めつつ、看護学の発展、様々な形態での看護の実践及び幅広く地域社会に貢献できる高度で専門的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜看護学研究科博士前期課程が求める学生像＞

- 1 看護学の基礎知識と総合的な学力を有し、豊かな人間性と高い探究心を持って、自主的・意欲的に看護実践の向上に寄与できる人
- 2 柔軟で論理的な思考を持って保健・医療・福祉の諸問題に積極的に取り組み、問題解決に向けた研究を遂行できる人
- 3 高い倫理観を有し、地域社会や国際社会に貢献する意志と責任感を持った人

##### ② 平成31年度入学者選抜概要

募集人員

(単位：名)

研究科・専攻名	推薦選抜	一般選抜	特別選抜 (社会人)	特別選抜 (私費外国人留学生)
デザイン研究科 デザイン専攻	9	9	若干名	若干名
看護学研究科 看護学専攻	18 (一般選抜、特別選抜を含む)			

※デザイン研究科の特別選抜（社会人・私費外国人留学生）の若干名は推薦選抜及び一般選抜の合計18名を含む。





## 選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	平成30年6月22日 ～29日	平成30年7月21日	平成30年8月2日 【入学手続期間】 平成30年8月2日～8日
	一般選抜	平成30年8月24日 ～31日	平成30年9月22日	平成30年10月9日 【入学手続期間】 平成30年10月9日～16日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	平成31年2月1日 ～8日	平成31年3月2日	平成31年3月13日 【入学手続期間】 平成31年3月13日～20日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	平成30年8月14日 ～20日	平成30年9月22日	平成30年10月9日 【入学手続期間】 平成30年10月9日～16日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	平成31年1月4日 ～10日	平成31年2月2日	平成31年2月19日 【入学手続期間】 平成31年2月19日～26日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			

## 試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス

## 選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	本学大学院が実施する面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	一般選抜	本学大学院が実施する学力検査（専門科目の筆記試験）、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。 ※英語はTOEICのスコアにより評価する。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	本学大学院が実施する学力検査（専門科目の筆記試験）、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	本学大学院が実施する筆記試験（英語、専門科目）、面接（口頭試問含む）及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	



## ii 選抜状況

## ① 入学者選抜状況

## a. 選抜・入学状況

## デザイン研究科【第1次・第2次募集合計】

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦選抜	9	4	4	4	4
一般選抜	9	9	9	9	9
特別選抜（社会人）	若干名	1	1	1	1
特別選抜 （私費外国人留学生）	若干名	18	17	7	7

## 看護学研究科【第1次・第2次募集合計】

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	18	9	8	6	6
特別選抜（社会人・私費外国人留学生）					

## b. 入学者の内訳

(単位：名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	21	18	1	2	12	9
看護学研究科	6	4	0	2	3	3
合計	27	22	1	4	15	12

## 2) 博士後期課程

## i 入学者選抜要項

## ① アドミッションポリシー

## 【デザイン研究科博士後期課程】

## ＜教育研究の理念＞

本課程は、人間重視を根幹とした高度な教育・研究を実践し、「知と創造の拠点」として地域からの負託に応え、高度の専門知識・技術を基盤に地域社会の発展に寄与します。さらに、高度で先進的な教育・研究の中核機関として機能し、新たな理論構築や技術開発に独創的に取り組み、新たな社会価値の創造を図ることが教育研究の理念です。

## ＜教育研究の目的＞

本課程は、地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から幅広く発見するとともに、高度な教育・研究の成果を通じて、その解決策を見出し、より豊かな人間生活や地域社会の実現に貢献できる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するため、本課程が求める学生像は次のとおりです。

## ＜デザイン研究科博士後期課程の求める学生像＞

- 柔軟な思考と独創的な視点に立って地域課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した研究を遂行できる人
- 豊かな感性と深い見識を持ち、高度な教育・研究による成果をもとにデザインの発展に



貢献しようとする意識を有する人

- 3 既成の概念にとらわれず、自立して独自のデザイン理論構築や技術開発に取り組み、新たな社会価値の創造を目指す意欲と実行力を有する人

#### 【看護学研究科博士後期課程】

本課程では、高度な学識と豊かな実践経験を基礎に様々な看護現象の分析や評価を行い、その研究成果をもとに将来を見据えた看護の枠組みを再構築し、システム開発などを行うことができる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜看護学研究科博士後期課程が求める学生像＞

- 1 柔軟な思考と独創的な視点に立って、看護を軸とした諸課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した教育・研究を遂行できる人
- 2 保健医療福祉分野における新たな理論構築や技術開発等を通じて、より質の高い看護サービスのあり方を探求する意欲を有する人
- 3 卓越した看護知識と高い倫理観に基づく実践能力を有し、教育・管理能力の研鑽に励み、将来を見据えた保健医療福祉分野の指導者となりうる人

#### ② 平成31年度入学者選抜概要

募集人員 (単位：名)

研究科・専攻名	一般選抜
デザイン研究科 デザイン専攻	3
看護学研究科 看護学専攻	3

選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	平成31年2月1日 ～8日	平成31年3月2日	平成31年3月13日 【入学手続期間】 平成31年3月13日～20日
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	平成31年1月4日 ～10日	平成31年2月2日	平成31年2月19日 【入学手続期間】 平成31年2月19日～26日

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス



## 選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	本学大学院が実施する面接（研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	本学大学院が実施する筆記試験（英語）、面接（研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

## ii 選抜状況

## ① 入学者選抜状況

## a. 選抜・入学状況

## デザイン研究科

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	4	4	2	2

## 看護学研究科

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	7	7	4	4

## b. 入学者の内訳

(単位：名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	2	0	2	0	2	0
看護学研究科	4	3	0	1	2	2
合計	6	3	2	1	4	2

## 3 助産学専攻科

## 1) 入学者選抜要項

## ① アドミッションポリシー

本専攻科は、看護学を基盤に、助産に関する幅広く高度な知識と正確な技術を育み、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目的としています。

これらの目的を達成するために、本専攻科が求める学生像は次のとおりです。

## ＜助産学専攻科が求める学生像＞

- 1 「生命の誕生」に、責任を持って真摯に向き合える誠実で優しい人
- 2 看護学を基盤に、倫理観を持ち、主体的に「助産学」を積み重ねることができる人
- 3 広い視野で現代社会をとらえ、母子保健を取り巻くさまざまな課題の解決を追求できる人



## ② 平成31年度入学者選抜概要

募集人員 (単位：名)

専攻科名	募集人員
助産学専攻科	10

## 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表等
平成30年8月1日 ～7日	平成30年9月1日	平成30年9月18日 【入学手続期間】 平成30年9月18日～25日

## 試験会場

専攻科名	試験会場
助産学専攻科	桑園キャンパス

## 選抜方法

専攻科名	選抜方法
助産学専攻科	入学者の選抜は、本学専攻科が実施する筆記試験（専門科目（看護学一般）、小論文）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

## 2) 選抜状況

a. 選抜・入学状況 (単位：名)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
10	43	43	12	10

b. 入学者の内訳 (単位：名)

入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
	道内		道外	男	女
	札幌市内	札幌市外			
10	7	2	1	—	10



## VI 附属図書館

### 1 概要

#### 1) 施設規模

芸術の森キャンパス図書館 延べ床面積／1,500㎡

桑園キャンパス図書館 延べ床面積／500㎡

#### 2) 図書・雑誌・視聴覚資料・電子ジャーナル所蔵数

(平成31年3月31日現在)

図書館の名称	図書の冊数				雑誌の種数		
	和書	洋書	視聴覚資料	計	和雑誌	洋雑誌	電子 ジャーナル
芸術の森 キャンパス図書館	73,149	9,665	3,494	86,308	389	57	1
桑園 キャンパス図書館	40,505	1,889	1,266	43,660	423	9	14
合計	113,654	11,554	4,760	129,968	812	66	15

#### 3) 平成30年度年間受入状況

区分		和	洋	計	
芸術の森 キャンパス 図書館	図書 (冊)	購入	1,489	121	1,610
		寄贈	407	22	429
		計	1,896	143	2,039
	雑誌 (種)	購入	30	3	33
		寄贈	48	0	48
		計	78	3	81
桑園 キャンパス 図書館	図書 (冊)	購入	1,207	32	1,239
		寄贈	73	0	73
		計	1,280	32	1,312
	雑誌 (種)	購入	71	4	75
		寄贈	81	1	82
		計	152	5	157



## 2 利用状況

### 1) 開館時間・休館日

開館時間	平 日：午前9時～午後10時 土曜日：午前10時～午後4時 大学の長期休業期間中：午前9時～午後5時（平日）
休館日	日曜・祝日・年末年始

### 2) 利用資格

18歳以上の方

### 3) 貸出冊数・期間

利用者	貸出冊数	貸出期間
学部生・大学院生・専攻科生 (科目等履修生・研究生を含む)	10冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間
教職員	無制限	図書：2ヶ月間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間
市民等学外者	3冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可）

### 4) 年間利用者数・貸出冊数等

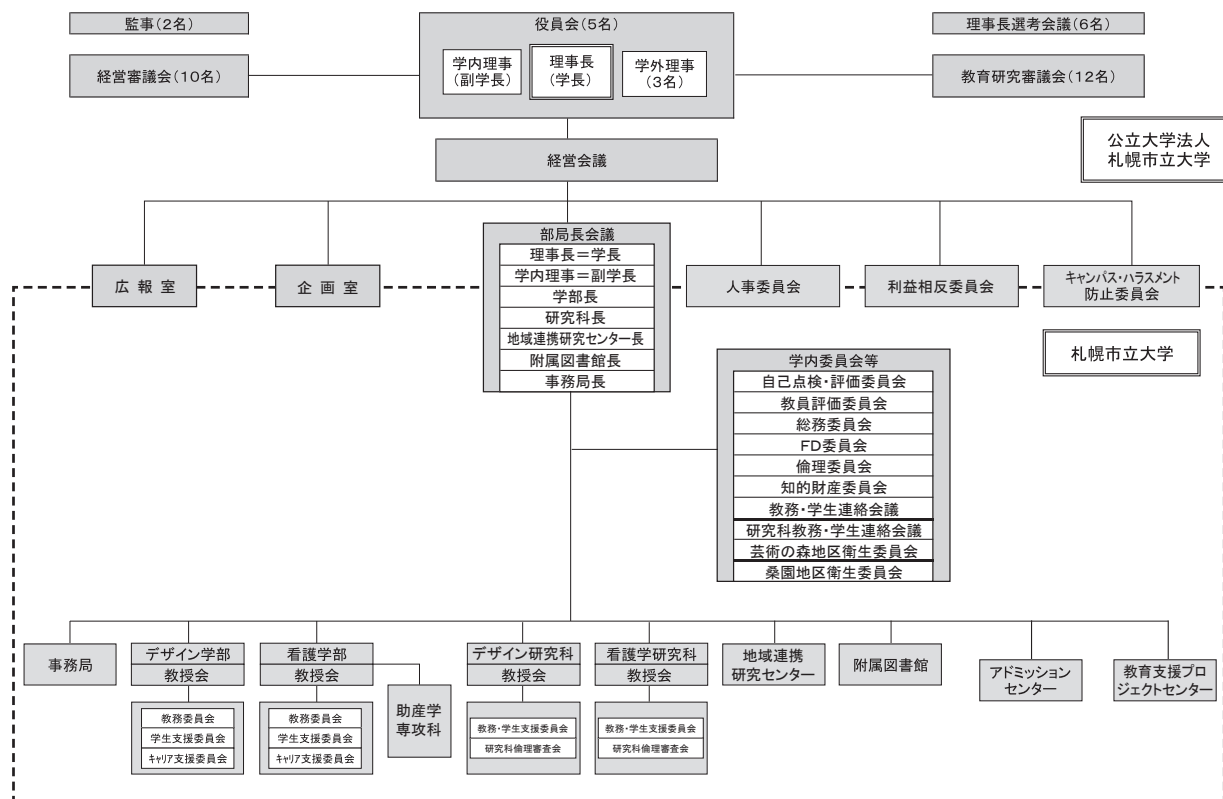
図書館の 名称	利用者	開館 日数	入館 者数	貸出 人数	貸出 冊数	ILL件数	
						受付	依頼
芸術の森 キャンパス図書館	学生・ 教職員	269	9,605	2,805	6,199	21	79
	市民等 学外者	269	1,435	479	1,117	-	-
桑 園 キャンパス図書館	学生・ 教職員	270	21,875	5,247	12,264	277	753
	市民等 学外者	270	1,642	476	1,070	-	-
合計		—	34,557	9,007	20,650	298	832

ILL：Inter-Library Loan（相互貸借）



## VIII 法人・学内運営の概要

### 1 平成30(2018)年度公立大学法人札幌市立大学 組織図



### 2 役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第1回	(1) 業務方法書の改正について (2) 教員の任期制の改正について	(1) 平成29年度事業報告及び決算について (2) 平成29事業年度に係る業務及び第二期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告について (3) 関係規程の改正等について (4) 公立大学法人札幌市立大学名誉教授称号授与について (5) デザイン学部入学者選抜試験の変更について	(1) 業務方法書の改正について (2) 教員の任期制の改正について





回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第2回	(1) 平成29年度事業報告及び決算について (2) 平成29事業年度に係る業務及び第二期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告について (3) 関係規程の改正等について (4) デザイン学部入学者選抜試験の変更について	(1) 関係規程の改正等について (2) デザイン学部入学者選抜試験の変更について (3) 看護学部入学定員変更及び入学者選抜試験の変更について (4) 教員の再任について	(1) 平成29年度事業報告及び決算について (2) 平成29事業年度に係る業務及び第二期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告について (3) 関係規程の改正等について
第3回	(1) 平成31年度予算編成方針について (2) 関係規程の改正等について (3) デザイン学部入学者選抜試験の変更について (4) 看護学部入学定員変更及び入学者選抜試験の変更について	(1) 公立大学法人札幌市立大学再入学に関する規則の改正について (2) デザイン研究科博士前期課程カリキュラムポリシーの改正について (3) 公立大学法人札幌市立大学履修等に関する規則の改正について	(1) 平成31年度予算編成方針について (2) 関係規程の改正等について (3) デザイン学部入学者選抜試験の変更について (4) 看護学部入学定員変更及び入学者選抜試験の変更について
第4回	(1) 2019年度計画及び予算について (2) 規則等の改正について	(1) 2019年度計画及び予算について (2) 規則等の改正について (3) 看護学部入学者選抜試験の変更について	(1) 2019年度計画及び予算について

### 3 役員会及び審議会委員名簿（平成30年4月1日現在）

#### 1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	学長
理事（常勤）	樋之津 淳子	副学長
理事（非常勤）	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事（非常勤）	山岸 正美	株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ 取締役会長
理事（非常勤）	橋本 道政	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
監事（非常勤）	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	谷口 雅子	谷口雅子公認会計士事務所（札幌市任命）

#### 2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	
理事	樋之津 淳子	
理事	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事	橋本 道政	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
事務局長	川上 佳津仁	



学外委員	酒井 裕司	一般財団法人さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	花井 秀勝	フュージョン株式会社 代表取締役会長
学外委員	廣田 恭一	札幌商工会議所 専務理事
学外委員	町野 和夫	北海道大学大学院経済学研究院 教授
学外委員	丸山 知子	学校法人札幌青葉学園北海道看護専門学校 校長

### 3) 教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
学 長	中島 秀之	
理 事	樋之津 淳子	
理 事	山岸 正美	株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ 取締役会長
デザイン学部長	細谷 多聞	
看護学部長	松浦 和代	
デザイン研究科長	石井 雅博	
附属研究所長	上遠野 敏	
附属図書館長	川村 三希子	
事務局 長	川上 佳津仁	
学 外 委 員	池田 官司	札幌市教育委員会委員
学 外 委 員	石垣 靖子	北海道医療大学 名誉教授
学 外 委 員	上田 順子	公益社団法人北海道看護協会 会長

## 4 経営会議

平成30年度は12回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

## 5 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月5日	(1) 平成33年度（2021年度）入試以降の札幌市立大学デザイン学部入学者選抜試験について
第2回	4月11日	なし
第3回	5月2日	(1) 次世代アントレプレナー育成事業に関する教育連携協定書の締結について (2) 平成33年度（2021年度）入試以降の札幌市立大学デザイン学部入学者選抜試験について
第4回	6月11日	(1) 次世代アントレプレナー育成事業関連科目に関する教育連携協定書の締結について (2) 厚真町との包括連携協定書の締結について (3) 札幌市立大学と公立はこだて未来大学との学術交流協定の締結について (4) 規則等の改正について (5) 平成29年度決算について (6) 平成29年度計画・第二期中期目標期間の実績報告に係る自己点検・評価結果について



回数	開催日	議題
第5回	7月4日	(1) 反社会的勢力に対する基本方針（案）について
第6回	9月5日	(1) 平成33年度（2021年度）以降の看護学部入学者選抜試験の変更概要について
第7回	10月3日	(1) 規則の改正について ①再入学に関する規則 ②大学院デザイン研究科長期履修学生規則 (2) デザイン学部入学者選抜試験の変更について
第8回	11月7日	(1) 再入学に関する規則の改正について (2) 国立台中科技大学（台湾）との国際交流協定調印について (3) 風水害・台風・土砂災害対応マニュアルの策定について
第9回	12月5日	(1) デザイン研究科博士前期課程カリキュラムポリシーの改正について (2) 2019年度入学式及び卒業式・修了式の日程について
第10回	1月9日	なし
第11回	2月6日	(1) 公立大学法人札幌市立大学履修等に関する規則の改正について
第12回	3月6日	(1) 大学院デザイン研究科履修等に関する規則の改正について (2) 看護学部入学者選抜試験の変更について (3) 学生表彰規程の改正について (4) 旅費規程の改正について (5) 基幹ネットワークシステムの更新について (6) 平成31年度計画について

## 6 企画室

企画室は、全学ポリシーの策定に関すること、教育改革に関することについて企画・立案し、経営会議へ提案する組織である。平成30年度については検討事案が発生しなかったことから、会議の開催はなかった。

## 7 広報室

広報室は、主に広報戦略の推進に関する事項等を所管している。平成30年度は10回の会議を開催した。

主な活動として、2019年度版大学パンフレットの発行及び2020年度版大学パンフレットの検討・制作のほか、大学公式ウェブサイトの管理・更新を行った。また、北海道新聞への広告掲載や札幌駅前通地下歩行空間札幌駅側イベントスペースにおける大学紹介を目的とした「札幌市立大学展・D×N：デザインと看護」の開催等のメディア展開を行った。

## 8 教授会

### 1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、平成30年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

### 2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、平成30年度に臨時教授会1回を含む13回開催し、教育課程の編成、学生の入



学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

教授会終了後には、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

### 3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、平成30年度に14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、デザイン研究科博士後期課程に関する事項について審議するため、博士後期課程会議（研究科教授会代議員会）を8回開催した。

### 4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、平成30年度に臨時教授会2回を含む14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

## 9 地域連携研究センター

運営会議（計11回）の開催に加え、地域・産学連携部門、国際交流部門、まこまないキャンパス班の3セクションに構成員を配置し、公開講座、地域貢献事業、産学連携事業、国際交流活動、知的財産管理、研究活動推進に関する活動、まこまないキャンパスに係わる事業を実施した。主な活動内容は以下のとおりである。

なお、平成29年度まで地域連携研究センターに位置付けられていた紀要編集委員会は、平成30年度から図書館運営会議の所管となった。ただし、年度を越えて編集過程にあった第12巻については、平成29年度の紀要編集委員会が引き続き平成30年7月発刊まで業務を継続した。

また、中島学長の着任を契機として公立はこだて未来大学と学術交流協定を調印した。

### <公開講座>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした22コース51コマの講座を、延べ1,643名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として7コマ165名が受講した。さらに、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活ゼミナール」を開催。「食と健康」をテーマとしたセミナーを58名が受講した。

また、公開講座の体系として設定している大項目「一般市民向け」「専門職向け」、中項目「デザイン分野」「看護分野」「学際分野」、小項目「デザイン学部4コース」「看護学部9領域」「共通教育」における実施状況を把握しながら企画運営を行った。

### <地域・産学連携>

地域からの協力要請に対して、教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動への協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学官金連携のきっかけを探るために、「ものづくりテクノフェア」、「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、SCU産学官金研究交流会の開催や、北海道立総合研究機構への視察交流会を開催し、更なるネットワークづくりを図った。

### <国際交流>

国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、下記の通り推進した。

#### 「学生の国際化」

華梵大学で主催された日台デザイン合同ワークショップに本学学生12名ならびに教員2名が参加した。このワークショップには台中科技大学、雲林科技大学の学生も参加しており、有益な交流が図ら



れた。また、承德医学院からは看護学部において院生を含む7名の学生、教員1名を受け入れた。さらに、華梵大学からは平成29年度からの特別聴講学生2名を引き続き9月まで受入れた。ラップランド大学からは平成30年10月から1年間の予定で特別聴講学生の受入れを行った。

この他デザイン学部の学生とアメリカポートランド市にあるPacific Northwest College of Art (PNCA) の学生が相互に訪問し、札幌ならびにポートランドに係わる映像、画像作成を行った。

「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表に関わる補助制度、国際学会誌への投稿を促進する補助制度を実施した。

「提携校との交流の活性化」

華梵大学、承德医学院大学と学生の相互派遣を例年通り実施した。清華大学美術学院のデザインワークショップには応募したものの、残念ながら不採択となった。デザイン学部教員とラップランド大学教員が共同し、共同研究で外部資金に応募したが、不採択となった。引き続き、共同研究を進めるべく、スカイプなどのツールを活用し、引き続き連携を図る。

「海外とのネットワーク化」

7月に副市長が姉妹都市であるポートランドを訪問するにあたり、Pacific Northwest Collage of Art (PNCA) 関係者と打ち合わせを行い、調印に向けて前向きな感触を得た。

8月の学内研究交流会に参加希望があったため、台湾の台中科技大学ならびに康寧大学関係者を各3名ずつ看護学部関係者が受入れ、研究交流を促進した。

これまでも交流が進められてきた台中科技大学から打診があり、12月に学術交流協定を調印した。今後は看護学部の交流も促進していく。

#### <知的財産>

学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。「産学連携知的財産アドバイザー派遣プログラム（工業所有権情報・研修館主催）」に採択され、当該事業から派遣される知的財産アドバイザーの支援を受け、特許出願1件、特許審査請求1件を行ったほか、「イノベーションジャパン」への知的財産シーズ出展などの活動を行った。また、「北東北ものづくりプロジェクト形成ネットワーク」の幹事校として、一般財団法人工業所有権協力センター（IPCC）の助成を受け、ネットワーク会議（3回）開催、知的財産研修会（1回）開催、SCU産学官金研究交流会への参加などの活動を行った。

#### <研究推進>

地域や産業界等から依頼された受託研究7件、共同研究1件、寄附金3件の受入れを行ったほか、前年度に改善した学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金）制度を実施した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を企画・実施した。

#### <紀要編集>

前年度に発行準備をしていた研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第12巻」を平成30年7月に発行した。

## 10 附属図書館

平成30年度は全11回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館予算、データベース・電子ジャーナル・購読雑誌の契約検討、長期休業期間の長期貸出、機関リポジトリへの登録促進、電子書籍導入、除却、飲食コーナー試行結果に基づく設置の可否等であった。

平成30年度より研究論文集の担当が地域連携研究センターから移管されたことに伴い、SCUジャーナル編集ワーキングを立ち上げ、研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第13巻」を令和元年7月に発行することとし、投稿論文の査読を行った。6件を受理した。

この他、北海道地区大学図書館協議会相互利用促進事業運営委員会の委員館をつとめた。

芸術の森キャンパスライブラリーでは、札幌芸術の森美術館との連動企画展を開催（7月9日～8月



13日)した。

## 11 アドミッションセンター

入学者選抜試験及びそれに伴う入試広報、入学者選抜方法の調査研究及び統計等に関する事業の計画的な推進を行った。

平成30年度は計10回の会議を開催し、前年度の入試結果の分析、入学者選抜方法の検討、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会、高校訪問及び中学生向け広報活動等を企画・実施した。

さらに、高大接続改革に係る令和3年度入学者選抜試験の変更について検討を行い、変更内容について公表した。

## 12 キャリア支援センター

キャリア支援センターは、両学部に関係するキャリア支援に係る改善・充実を目的として、平成20年4月に設置され、両学部のキャリア支援委員会においては、各学部の特性や特徴及び社会情勢に応じたキャリア支援を行った。

## 13 教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に係わるプロジェクト等を所管しており、「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」を設け、各部門において活動を行った。

## 14 学内委員会

### 1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、平成30年度は11回開催した。

平成30年度の主な活動として、平成29年度計画及び第二期中期目標期間の実績報告書(案)の作成を行ったほか、平成30年度計画に係る半期の取組状況の進捗管理や大学評価(認証評価)結果に係る対応等について履行状況等の確認を行った。

### 2) 教員評価委員会

平成30年度は3回の委員会のほか、ワーキングや専門部会を開催し、各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた、記入要領及び申告書様式等の検証を行った。

評価結果については、平成30年度末に任期満了を迎える教員の再任審査に活用した。

### 3) 総務委員会

平成30年度は12回の委員会を開催した。

委員会では、「風水害・台風・土砂災害マニュアル」の策定や基幹ネットワークシステム更新に係るシステム要件の検討等を行った。また、入試合格発表時の公式ウェブサイトに係る対応の見直しを行った。

なお、昨年に引き続き、防災訓練、夏季及び冬季の節電対策について検討を行い実施した。

#### 4) FD委員会

FD委員会は、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を積極的に行った。委員会を9回開催し、FD活動の方針について論議するとともに、具体的な取り組みについて内容を検討し、実施した。

#### 5) 倫理委員会

倫理委員会では、申請された研究計画の倫理的配慮が充分であるか否かについて、人権擁護の観点に基づき審査を行っている。

平成30年度は、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計11回開催）。

平成24年度から始めた審査方法として、審査資料の事前確認を行い、申請者へ委員のコメントを送付し、最終版の申請書及び資料の提出を委員会開催までに求めている。この審査方法の採用により、審査時間の短縮化、審査申請から研究開始までの迅速化を図っている。

年間の審査申請総数は34件であったが5件の申請取下げ、差戻しがあり、最終的に審査したのは29件であった。1回当たり平均2.6件の審査を実施した。審査結果は「承認」、「条件付承認」、「変更の勧告」、「非該当」のいずれかとし、「条件付承認」となった申請については、修正箇所を確認し承認する「迅速審査」を行った。ただし、平成30年度はこの審査結果について、研究科倫理審査会長とワーキングを立ち上げ、よりよい審査のための検討を行った。その結果、平成31年度4月より「承認」、「条件付承認」、「再提出」、「不承認」「非該当」のいずれかで判定することとした。

審査の社会的透明性及び客観性を担保すると同時に、申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、平成23年度から継続して弁護士1名に外部委員として委嘱し、委員会を組織している。

平成26年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）に基づき、平成27年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置した。この指針において、倫理審査委員会の成立要件として、構成員は「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、この特別審査部門の外部委員として、前述の弁護士に加え、他大学の大学教授1名を追加で委嘱した（平成30年度は、特別審査部門の開催は0回）。

#### 6) 利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動において大学と教職員等が利益相反の疑いを持たれることを防ぎ、大学の社会的信頼の維持を目的として、平成28年度に設置された。

平成30年度は委員会を3回開催し、利益相反自己申告書3件について審議を行った。

#### 7) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、平成30年度に11回開催し、共通教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議したほか、年度計画に対応した取り組みとしては、連携科目の効果検証、デザイン総合実習の効果検証、OSCEの効果検証、メンタルヘルスに関する研修会等を行った。また、毎回、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。

#### 8) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、平成30年度に6回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項及び学生生活に関する事項等について、年度計画を見据え、かつ実際の授業運営等に即した事項について審議した。

具体的には、連携プロジェクト演習の効果検証、研究科連携科目の担当教員調整、院生研究支援費執行マニュアル改訂、シラバスや履修の手引き等に関する事項について審議した。



## 15 構成員名簿

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎中島 秀之 樋之津 淳子 川上 佳津仁	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 事務局長
	部局長会議	◎中島 秀之 樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 上遠野 敏 川村 三希子 川上 佳津仁	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長 附属図書館長 事務局長
	企画室	樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 川上 佳津仁	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	広報室	細谷 多聞 小田 和美 安齋 利典 本田 光 石田 勝也 福田 大年 原井 美佳 森川 由紀 ◎川上 佳津仁 阿部 大	デザイン学部長 看護学部教授 デザイン学部教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局長 事務局次長 兼 桑園事務室長
	人事委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 川上 佳津仁	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	キャンパス・ハラスメント防 止委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 川上 佳津仁	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	地域連携研究センター	◎上遠野 敏 菊地 ひろみ 武田 亘明 張 浦華 丸山 洋平 大野 夏代	地域連携研究センター長 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授





区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	地域連携研究センター	貝谷 敏子 三上 智子 金 秀 敬 武 富 貴久子 山本 真由美 田島 悠史 金子 晋也 柏倉 大作 阿部 大 上田 理子	看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 デザイン学部助教 デザイン学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 事務局地域連携課長
	図書館	◎川村 三希子 若林 尚樹 松井 美穂 森 朋子 古都 昌子 松永 康佑 伊東 健太郎 檜山 明子 上田 理子	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局地域連携課長
	教育支援プロジェクトセンター	◎樋之津 淳子 猪股 千代子 阿部 大	副学長 兼 看護学研究科長 看護学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長
	アドミッションセンター	◎細谷 多聞 松浦 和代 羽深 久夫 渡邊 由加利 守村 洋 大淵 一博 須之内 元洋 小宮 加容子 矢野 祐美子 櫻井 繭子 阿部 大 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局次長 兼 桑園事務室長 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
学内委員会	常置委員会 自己点検・評価委員会	樋之津 淳子 細谷 多聞 ◎松浦 和代 石井 雅博 川村 三希子 柿山 浩一郎 阿部 大	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 附属図書館長 デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学内委員会 常置委員会	教員評価委員会	◎樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 齊藤 雅也 定廣 和香子 川上 佳津仁	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局長
	総務委員会	若林 尚樹 猪股 千代子 山田 信博 大渕 一博 工藤 京子 山本 真由美 ◎川上 佳津仁	デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局長
	FD委員会	上 遠野 敏 ◎猪股 千代子 三谷 篤史 大野 夏代 石田 勝也 櫻井 繭子 福原 啓祐 布廣 成規	地域連携研究センター長 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	倫理委員会	◎川村 三希子 矢部 和夫 喜多 歳子 山田 信博 村松 真澄 松永 康佑 小坂 美智代 上田 理子	附属図書館長 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 事務局地域連携課長
	利益相反委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 川上 佳津仁	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 事務局長
	知的財産委員会	◎上遠野 敏 菊地 ひろみ 武田 亘明 貝谷 敏子 阿部 大 上田 理子	地域連携研究センター長 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 事務局地域連携課長



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
連絡調整会議	学部間	教務・学生連絡会議	細谷 多聞 ◎松浦 和代 羽深 久夫 矢部 和夫 町田 佳世子 定廣 和香子 小田 和美 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	研究科間	研究科教務・学生連絡会議	樋之津 淳子 ◎石井 雅博 齊藤 雅也 猪股 千代子 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
衛生委員会		芸術の森事業所衛生委員会	金 秀敬 ◎阿部 大 安藤 貴之 佐藤 理紗	デザイン学部講師 事務局次長 兼 桑園事務室長 事務局総務課庶務係員 保健室保健管理員
		桑園事業所衛生委員会	近藤 圭子 田仲 里江 ◎阿部 大 松浦 憲之	看護学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 桑園事務室学生支援係主任
学部委員会	デザイン学部	教務委員会	◎矢部 和夫 柿山 浩一郎 山田 良 丸山 洋平 藤木 淳 片山 めぐみ 石田 勝也	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師
		学生支援委員会	◎羽深 久夫 若林 尚樹 張 浦華 森 朋子 松井 美穂 金 秀敬 大島 卓	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師
		キャリア支援委員会	◎安齋 利典 三谷 篤史 椎野 亜紀夫 福田 大年 須之内 元洋 金子 晋也 矢久保 空遥	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教 デザイン学部助教



区分	委員会等	委員・構成員		
		教職員名	所属・職位等	
学部委員会	看護学部	教務委員会	◎定 廣 和 香子 卯野 木 健 喜多 歳 子 貝谷 敏 子 渡邊 由 加利 伊東 健 太郎 小坂 美 智代 工藤 京 子 矢野 祐 美子 高橋 奈 美 武富 貴 久子 檜山 明 子 牧田 靖 子 大友 舞 鬼塚 美 玲 渋谷 友 紀	看護学部教授 看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助手 看護学部助手 看護学部助手
		学生支援委員会	◎小田 和美 古都 昌子 本田 光 藤井 瑞 恵 守村 洋 三上 智子 森川 由 紀 田仲 里 江 御厩 美 登里 中田 亜 由美	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手
		キャリア支援委員会	◎菊地 ひろみ 神島 滋 子 菅原 美 樹 原井 美 佳 石引 か ずみ 柏倉 大 作 近藤 圭 子 野呂田 美 菜子 高橋 葉 子	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手 看護学部助手
研究科委員会	デザイン研究科	教務・学生支援委員会	◎齊藤 雅 也 安齋 利 典 町田 佳 世子 椎野 亜 紀夫 藤木 淳 片山 め ぐみ 金 秀 敬	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師
		研究科倫理審査会	◎矢部 和 夫 城間 祥 之 山田 信 博 阿部 大	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長

区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
研究科委員会	看護学研究科	教務・学生支援委員会	◎猪股 千代子 神島 滋子 菅原 美樹 高橋 奈美	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師
		研究科倫理審査会	◎卯野木 健 藤井 瑞恵 村松 真澄 阿部 大	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長

◎印：所管部局長等



## 16 FD・SD活動

## FD活動 年間活動概要 (学内研修会)

(単位：名)

全学FD	研修会名	場所	参加者数
4月25日	とある学長の生き様と研究歴	芸森:大講義室 桑園:講義室1	79
4月25日・26日	札幌市立大学の情報セキュリティ対策について	芸森:大講義室 桑園:講義室1	101
8月27日	2018札幌市立大学研究交流会	桑園:アリーナ	79
9月3日	キャンパスハラスメントの防止について ～加害者も被害者も出さないために～	桑園:講義室1 芸森:大講義室	71
2月7日	研究倫理とは：研究倫理審査の目的とポイント	桑園:講義室1 芸森:大講義室	66
2月26日	アクティブラーニングの視点から見た指導と評価の方法	桑園:大学院棟大講義室	48
2月26日	新カリの連携授業 その実施と課題	桑園:大学院棟大講義室	47
3月20日	基幹ネットワークシステムの更新について	芸森:大会議室 桑園:大会議室	65

(単位：名)

デザイン学部・ 研究科FD	研修会名	場所	参加者数
7月18日	メンタルヘルスに配慮した学生指導	芸森:大会議室	34
12月19日	授業評価アンケート分析よりみた授業改善方策の検討	芸森:大会議室	29
1月23日	デザイン学部の2020年度入試変更について	芸森:大会議室	33

(単位：名)

看護学部・ 研究科FD	研修会名	場所	参加者数
6月20日	入試改革における目指すべき方向性と課題整理	桑園:大会議室	65
9月18日	AACN synergy model for patient careとは～シンプルな理論とその概要～	桑園:講義室1	20
11月21日	模擬患者参加型演習・OSCEにおける教員の役割	桑園:大会議室	37
1月15日	普通のかかわりが難しい人へのアプローチ	桑園:講義室2	33
3月8日	模擬患者参加型学修を効果的に行うために	桑園:講義室5	28
3月20日	看護学部の2020年度入試変更について	桑園:大会議室	39
3月20日	平成30年度看護コンソーシアムの活動報告	桑園:大会議室	39



## SD活動 年間活動概要

(単位：名)

SD	研修名	形態	受講者数
4月9日	障害者差別解消法に関する研修 (e-learning)	札幌市立大学 総務課	23
4月26日	情報セキュリティ研修	札幌市立大学 総務課	101
6月8日	契約事務研修 (基礎)	外部	1
6月8日	契約事務研修 (物品)	外部	2
6月25日	契約事務研修 (役務)	外部	2
6月25日	契約事務研修 (役職者)	外部	3
7月23日	予算事務研修	外部	1
8月29日	若手職員を育てる効果的な仕事の伝え方	外部	1
9月3日	キャンパスハラスメントの防止について (講師は学外)	札幌市立大学 総務課	71
9月18日	公立大学中堅職員研修	外部	1
9月21日	イラストレーター研修	札幌市立大学 地域連携課	10
10月18日	大学職員セミナー	外部	1
11月26日	北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」	外部	1
11月30日	認知症サポーター養成講座	札幌市立大学 地域連携課	7
12月11日	ほっとけないゲートキーパー研修会	外部	1
1月16日	北海道におけるサイバー情勢	外部	1
1月17日	デートDV	外部	1
2月6日	コミュニケーション向上講座	外部	1
2月6日	働き方改革 (講師は学外)	札幌市立大学 総務課	15
2月19日	コミュニケーションスキルアップ講座	外部	1
3月7日	コンプライアンス研修 (e-learning)	札幌市立大学 総務課	31

## IX 資料

### 1 平成30年度年度計画

#### I 教育に関する目標を達成するための措置

##### 1 専門職業人の育成に関する目標を達成するための措置

###### 【項目番号1】 【重点取組項目】

- ・ 両学部の学生が協働して地域課題に取り組み、それぞれの専門性を理解しながら異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する2年次前期開講科目「学部連携基礎論」、その基礎を踏まえて課題解決プロセスを習得する3年次後期開講科目「学部連携演習」等の地域志向科目を、シラバスに基づき着実に実施する。

- ・ 「学部連携演習」の成果について、卒業時の教育評価アンケートを基に経年的な検証を行う。

〔指標〕 卒業時に地域の課題発見、解決提案する能力が身に付いたと認識した学生の割合：65%

###### 【項目番号2】

- ・ 共通教育科目の外国語科目により基礎的な外国語力を養うとともに、特に英語については新入生に対するTOEIC<sup>1</sup>試験を実施する。

- ・ 既存の科目において、国際的な共通性と多様性への理解を深めるための内容を充実する。

〔指標〕 TOEIC受験率（1年次）：100%

〔指標〕 卒業時に国際的な文化の理解を深めたと認識した学生の割合：60%

###### 【項目番号3】

- ・ [デザイン学部] カリキュラムを着実に運用するとともに、特に3年次前期開講科目「デザイン総合実習Ⅲ」において専門コース間による連携授業を実施し、互いの専門性を客観的に理解させるとともに、専門職業人としてのデザイン、コミュニケーション等の実践能力を養う。

〔指標〕 卒業時に社会で活用できるデザイン、コミュニケーション等の実践能力向上を認識した学生の割合：60%

###### 【項目番号4】

- ・ [デザイン学部] 3年次後期開講科目「デザイン総合実習Ⅳ」において企業や外部機関と連携した授業を実施し、専門職業人として地域や仕事の現場で活躍できる実践能力を養う。

〔指標〕 専門科目における企業等連携課題の実施：1件

###### 【項目番号5】

- ・ [看護学部・助産学専攻科] OSCE<sup>2</sup>やシミュレーターを用いた実践型教育を効果的に実施し、看護実践能力及び助産実践能力の向上を図る。

〔指標〕 [看護学部] 卒業時の看護実践能力の達成度：7.5（10段階自己評価）

〔指標〕 [助産学専攻科] 修了時の助産実践能力の到達度：6.5（10段階自己評価）

###### 【項目番号6】

- ・ [看護学部] 道内の保健医療機関との関係構築を通じて、臨地教員<sup>3</sup>が関わる授業を積極的に行い、実際の臨床現場の理解を促す。

〔指標〕 専門科目における臨地教員の活用：29科目

###### 【項目番号7】

- ・ [大学院博士前期課程] 実践的な演習・実習に加えて、研究指導教員による専門的な研究指導を行い、地域や仕事の現場を先導できる課題解決能力やマネジメント能力等を養う。

〔指標〕 [デザイン研究科] 修了時における在学中の教育に対する総合的満足度（直近3年間平均）：80%（5段階自己評価）

1 TOEIC (Test of English for International Communication)

国際コミュニケーション英語能力テスト。英語を母語としない者向けの試験で、日本では一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会が実施している。

2 OSCE (Objective Structured Clinical Examination)

客観的臨床能力試験。ペーパーテストによる知識重視の教育ではなく、判断力・技術力・マナーなど実際の現場で必要とされる臨床技能の習得を適正に評価する。

3 臨地教員

医療機関等から招き、実際の現場の実践的能力を教授する現役の看護師・保健師・助産師等





[指標] [看護学研究科] 修了時における在学中の教育に対する総合的満足度（直近3年間平均）：90%（4段階自己評価）

**項目番号8**

- ・ [大学院博士後期課程] 1年次の研究計画書の立案・審査、2年次の公開発表会、3年次の学位審査を通して、自立かつ計画的に研究活動を進める能力を養う。また、研究指導教員による専門的な研究指導に加え、他の教員の助言・指導を通して学生の幅広い視野を養う。

[指標] 博士後期課程研究計画書審査：3件

2 学生に対する支援に関する目標を達成するための措置

**項目番号9**

- ・ [デザイン学部] キャリアガイダンスを開催するとともに、キャリア教育科目「キャリアデザイン」「インターンシップ」を開講する。また、キャリア支援<sup>4</sup>室において進路希望に対応したサポートを行う。
- ・ [看護学部] キャリアガイダンスを開催するとともに、国家試験対策を含めたキャリア支援対策講座を計画的に実施する。また、キャリア支援相談室において学生の要望に応じた進路支援を随時行う。

[指標] [デザイン学部] 就職内定率（直近3年間平均）：93%

[指標] [デザイン学部] キャリアガイダンスの開催：10回

[指標] [看護学部] 就職内定率（直近3年間平均）：97%

[指標] [看護学部] キャリア支援対策講座の開催：8回

**項目番号10**

- ・ 授業料減額免除の制度により、家計基準及び成績基準に該当する者に対し、経済的な支援を実施する。

[指標] 経済的理由による退学者：なし

**項目番号11**

- ・ 「キャンパスの活用等に関するプラン<sup>5</sup>」に基づき、芸術の森キャンパスのC棟及びE棟に自動扉を、桑園キャンパスの管理実習棟に多目的トイレを設置する。
- ・ 「障害者差別解消法」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」について、教職員や学生に対する啓発・研修等を実施する。

[指標] 「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づくバリアフリー<sup>6</sup>工事の計画的な執行

[指標] 「障害者差別解消法」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」についての教職員及び学生への周知：1回

**項目番号12**

- ・ 学生のメンタルヘルスに対する教職員の理解を深めるため、研修会等を実施する。
- ・ 本学のメンター<sup>7</sup>制度を理解し効果的なメンター活動につなげるため、新任教員に対するガイダンスを実施する。

[指標] 学生のメンタルヘルスに関する教職員向け研修の実施：1回

[指標] 新任教員に対するメンターガイダンスの実施：1回

**項目番号13**

- ・ 留学生の日本語能力の向上を目的として、デザイン研究科の前期・後期においてそれぞれ日本語講座を開講し、受講者アンケート等により効果検証を行う。

[指標] 日本語能力の向上に役立ったと認識した留学生の割合：80%

4 キャリア支援

学生に対して行う就職支援や進路支援。学生が卒業・修了後の進路を主体的に選択し、社会的・職業的な自立を図るために必要な能力を培い活動するための支援

5 キャンパスの活用等に関するプラン

本学の構内において、誰もが快適に活動できる施設・設備や、機能・魅力の向上に資する整備等を進めることを目的に策定した長期的な計画（平成29～38年度）

6 バリアフリー

高齢者や障がい者など社会的弱者が、社会生活の上で支障となる物理的・社会的・制度的・心理的など全ての障壁を除去すること。

7 メンター

学生に対して学業上の問題だけではなく生活面においても助言や支援を行う者。一人の教員が学生を個別に担当し、定期的・継続的に対話を行い、気軽に相談できるようにしている。

## II 研究に関する目標を達成するための措置

### 1 特色のある活発な研究の推進に関する目標を達成するための措置

#### 【項目番号14】 【重点取組項目】

- ・ 学内の競争的資金<sup>8</sup>である共同研究費を通じて、デザイン・看護の両分野の連携や外部機関との連携による研究課題に対して重点的に支援する。

〔指標〕 デザインと看護の両分野の連携による研究：6件

#### 【項目番号15】

- ・ 学内の競争的資金である学術奨励研究費や共同研究費において、超高齢社会への対応、地域コミュニティの再生、地域産業の振興など、北海道や札幌などの地域特性・地域課題等に関する研究を推進する。

〔指標〕 地域特性や地域課題等に関する研究：15件

#### 【項目番号16】

- ・ [デザイン学部] 3年次後期開講科目「デザイン総合実習Ⅳ」等における企業や外部機関と連携した取組から、社会において有用性の高い研究を推進するための課題を抽出する。

〔指標〕 企業や外部機関との連携による課題研究：1件

### 2 研究機関としての地位の向上に関する目標を達成するための措置

#### 【項目番号17】

- ・ e-Rad（府省共通研究開発管理システム）を中心とした様々な外部資金の募集情報を定期的に周知する。

- ・ 科学研究費助成事業<sup>9</sup>への効果的な申請支援策を展開し、申請を積極的に行う。

〔指標〕 教員向け情報提供：3回

〔指標〕 科学研究費助成事業への新規申請：対象教員<sup>10</sup>の40%

#### 【項目番号18】

- ・ 学術奨励研究費の「国際学会・国際展示会等発表者補助」「学術論文掲載料等補助」を運用し、教員の研究成果について国内外へ積極的に発表する。

〔指標〕 国際学会・国際展示における研究成果の発表：11件

## III 地域貢献に関する目標を達成するための措置

### 1 地域産業及び地域医療への貢献に関する目標を達成するための措置

#### 【項目番号19】 【重点取組項目】

- ・ 産業界及び保健・医療・福祉業界等とのネットワークや展示会への出展などを通じて、地域産学連携協力依頼<sup>11</sup>の制度を周知するとともに、外部機関との契約支援や研究成果の知財化支援<sup>12</sup>等の体制を充実し、産学連携活動の増進を図る。

〔指標〕 産業界及び保健・医療・福祉業界等からの地域産学連携協力依頼の受諾：8件

#### 【項目番号20】

- ・ [デザイン学部] キャリアガイダンスの一環として開催する異業種公開座談会や学内企業セミナーにおいて、北海道・札幌市内の企業担当者を招き、求人の紹介や個別相談等を通して、当該企業の情報を提供する。

- ・ [デザイン学部] キャリア教育科目「インターンシップ」において、北海道・札幌市内の企業等へ学生を派遣する。

8 競争的資金

研究課題を公募の上、複数の者による客観的かつ厳正な審査を経て優れた課題を採択し、研究者に配分する研究資金

9 科学研究費助成事業

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会が実施する助成事業。全ての分野にわたり基礎から応用までのあらゆる学術研究を段階に発展させることを目的に競争的資金を助成する。

10 対象教員

休職者や定年退職予定者等を除いた科学研究費補助事業に応募資格のある専任教員。なお、第三期中期計画期間の最終年度である平成35年度までに、在籍した教員総数の90%の申請を目指す予定である。

11 地域産学連携協力依頼

地域や企業等が研究や地域貢献活動等について本学に協力を求める依頼

12 知財化支援

特許権や商標権など知的財産の権利化に向けて行う支援



- ・ [看護学部] 道内の医療機関や市町村（保健師）の採用担当者、当該医療機関等に勤める卒業生が参加するキャリア説明会を開催し、直接情報を得られる機会を提供する。  
〔指標〕 [デザイン学部] 専門教育科目「インターンシップ」において道内企業への理解が深まったと認識した学生の割合：60%  
〔指標〕 [看護学部] 就職希望先の道内医療機関等に対する理解が深まったと認識した学生の割合：80%

項目番号21

- ・ 地元企業等の競争力強化や地域の専門職の資質向上等に寄与する公開講座を開催する。  
〔指標〕 職業人向け公開講座の開催：8件

項目番号22

- ・ [看護学部] 市内の病院等が参加する看護コンソーシアム<sup>13</sup>の会議を定期的に開催し、看護職のスキル向上やキャリア形成に関する課題を共有するとともに、連携しながら必要な研修を企画、実施する。  
〔指標〕 看護コンソーシアムの研修において、スキル向上やキャリアの育成に効果を感じた受講生の割合：80%

2 地域社会への貢献に関する目標を達成するための措置

項目番号23

- ・ 市民がより良い生活を送るための新しい知見を獲得できるような生涯学習の機会提供や健康寿命の延伸等をテーマとした市民向け公開講座を開催する。
- ・ 公開講座受講者を対象にアンケートを実施し、講座内容の妥当性を確認する。  
〔指標〕 公開講座の開催（職業人向けを除く。）：25件  
〔指標〕 公開講座の受講（職業人向けを除く。）：630人  
〔指標〕 公開講座の受講者満足度（職業人向けを除く。）：4.5（5段階評価）

項目番号24

- ・ 札幌市の各部局に対して受託研究・共同研究や地域産学連携協力依頼の制度等の活用を周知するとともに、市の課題解決に向けた提案や市の事業・施策の推進に係る依頼を積極的に受け入れる。  
〔指標〕 札幌市からの受託研究・共同研究依頼及び地域産学連携協力依頼の受諾：20件

項目番号25

- ・ 公式ウェブサイトにおける行政との連携事例の公開や、「研究・活動事例集」及び「教員研究紹介」の活用により、道内市町村へ広報活動を行うとともに、道内市町村の振興・活性化に資する地域産学連携協力依頼を積極的に受け入れる。  
〔指標〕 行政からの地域産学連携協力依頼の受諾：15件

IV 教育・研究・地域貢献の取組を推進する大学運営に関する目標を達成するための措置

1 教育・研究・地域貢献の取組を推進する連携・国際化・情報発信に関する目標を達成するための措置

項目番号26

- ・ サテライトキャンパスの利便性を有効活用し、市民や外部機関、他大学、行政等との連携を促進する。  
〔指標〕 外部機関や他大学等との連携の場としてのサテライトキャンパスの利用：2,500人

項目番号27

- ・ 同窓会との連携により社会で活躍している卒業生・修了生の講演会等を開催し、同窓の絆を深めるとともに在学生の就業意欲向上等を図る。  
〔指標〕 卒業生・修了生による講演会等の開催：1回  
〔指標〕 卒業生・修了生による講演会への参加：20人/回

項目番号28

- ・ 海外提携校（承德医学院、清華大学美術学院、華梵大学、ラップランド大学）との交流活動を実

13 看護コンソーシアム

本学を拠点として医療機関等と連携し、社会ニーズに対応できる看護システムの構築や看護の質を保証することなどを目指す共同体

施するとともに、他の海外校とも連携し、教職員及び学生の国際交流の機会を充実する。

〔指標〕 教職員・学生の派遣と受入：60人

〔指標〕 海外提携校との交流活動：提携校ごと1件

**項目番号29** 【重点取組項目】

- ・ 本学の特長である「D×N（デザインと看護の連携）」の取組を中心に、公式ウェブサイトやマスメディア等を通じて、受験生や保護者、市民や企業などステークホルダーごとに戦略的かつ効果的な広報活動を展開する。

〔指標〕 公式ウェブサイトへのアクセス：295,000件

〔指標〕 プレスリリースの実施：10回

**項目番号30**

- ・ デザイン及び看護関連の学術情報を収集し、図書館機能を充実させる。
- ・ 学生向けの文献検索ガイダンスを実施し、修学・研究の円滑な遂行を支援する。
- ・ 機関リポジトリ<sup>14</sup>を活用して、紀要や博士論文など、教員や学生の研究成果を学外に公表する。

〔指標〕 書籍、資料の購入：2,000冊

〔指標〕 文献検索ガイダンスの受講：延べ250人

〔指標〕 機関リポジトリによる研究論文等の公表：11件

**項目番号31**

- ・ 本学の活動内容について高校生や保護者の理解を深めるため、オープンキャンパス<sup>15</sup>の開催、進学相談会及び出前授業等への参加など多様な機会を設けるとともに、高校教員を対象とする大学説明会を開催する。また、前年度までの出願状況、入学後の成績及び入学者アンケート等の結果を分析し、必要に応じて各種広報活動の内容や参加に係る見直しを行う。

〔指標〕 オープンキャンパスの開催：各キャンパス2回

〔指標〕 オープンキャンパスにおいて本学への理解が深まったと回答した参加者の割合：70%

〔指標〕 進学相談会及び出前授業等への参加：50件

〔指標〕 高校教員説明会の開催：各キャンパス1回

2 大学運営の改善・効率化に関する目標を達成するための措置

**項目番号32**

- ・ 学内委員会等による定例的な各種会議の開催回数を見直し、運営効率化を図るとともに、学内委員会等の統廃合について検討する。
- ・ 事務局において、定例業務の更なる見直し・改善により効率化を図るなど、職員の超過勤務時間の縮減に取り組む。
- ・ 全教職員に対して有給休暇の取得を啓発し、ワーク・ライフ・バランス<sup>16</sup>の向上に取り組む。

〔指標〕 学内委員会等が開催する各種会議：400回以下

〔指標〕 全教職員の有給休暇取得率：40%

**項目番号33**

- ・ 教員の定員計画及び「本学が求める教員像」に基づき、退職者の補充など適切な教員採用を行う。

〔指標〕 定員計画及び「本学が求める教員像」に基づく教員の採用

**項目番号34**

- ・ 適切に教員評価を実施するとともに、評価項目や配点などを検証し、必要に応じて次年度に向けた制度や運用の見直し・改善を行う。

〔指標〕 教員評価項目や配点の検証・見直し：1回

14 機関リポジトリ

研究成果の論文など、大学・研究機関とその構成員による知的生産物を電子的な形態で保存・管理し、原則的に無償で公開・発信するために構築されたインターネット上のシステム

15 オープンキャンパス

大学が施設内を公開し、特に入学を希望する者や考慮している者に対して大学への理解・関心を深めてもらうことを目的に開催する入学促進イベント

16 ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和。やりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活等においても多様な生き方が選択・実現できること。

**項目番号35**

- ・ 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、FD<sup>17</sup>研修会を実施するとともに、学外で開催される研修会の情報を適切に提供する。

〔指標〕 教育改善に資するFD研修の実施：7回

〔指標〕 教育改善に資するFD研修の受講：延べ200人

**項目番号36**

- ・ 職員が多彩な研修を受講できるよう研修機会を充実し、職員の能力向上を図る。
- ・ 適切な人事異動を実施し、大学運営に求められる様々な知識・経験の蓄積を図る。

〔指標〕 職員を対象としたSD<sup>18</sup>研修への派遣：15回/年

〔指標〕 職員を対象としたSD研修の受講：延べ35人/年

〔指標〕 SD研修報告会の実施：1回/年

## 3 自己点検・評価の実施・公表に関する目標を達成するための措置

**項目番号37**

- ・ 第二期中期目標期間の業務実績や平成30年度計画の進捗状況について、PDCAサイクル<sup>19</sup>による自己点検・評価を適切に実施するとともに、札幌市地方独立行政法人評価委員会や認証評価<sup>20</sup>機関等の評価結果を踏まえ、随時改善を図り、その結果を公式ウェブサイト等により公表する。

〔指標〕 年度計画に係る自己点検・評価の実施：半期ごと

**項目番号38**

- ・ 平成31年度計画の策定に当たり、前年度の実績見込みを参考に可能な限り各項目に適切な成果指標を設定する。

〔指標〕 年度計画のうち「教育」「研究」「地域貢献」に関する目標の全項目に成果指標を設定

## 4 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

**項目番号39**

- ・ 受託研究・共同研究・寄附金による成果事例を公式ウェブサイトで紹介するとともに、産学官のマッチング等を趣旨とした展示会において「研究・活動事例集」や「教員研究紹介」のほか大学グッズを配布するなど、自主財源の充実に向けたPR活動を積極的に行う。

〔指標〕 受託研究・共同研究の受入：15件

**項目番号40**

- ・ 戦略的な経費の確保に向け、管理的経費（消耗品費、備品購入費、印刷製本費、光熱水費等）の削減を図る。
- ・ 決算見込みを基に、適正な予算の執行管理を行う。
- ・ 電気事業者の選定に向け、情報収集等を行う。

〔指標〕 一般管理費の節減額：170万円

## 5 その他業務運営の適切な遂行に関する目標を達成するための措置

**項目番号41**

- ・ 保全計画に基づき、芸術の森キャンパスのA・B棟外壁等保全工事、G・H棟冷房設備更新工事、エントランス棟及びD・E棟屋上・外壁保全工事実施設計を適正に実施する。
- ・ 「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づき、芸術の森キャンパスのC棟及びE棟に自動扉を、桑園キャンパスの管理実習棟に多目的トイレを設置する。（項目番号11再掲）
- ・ 平成29年度に作成した大学内の要修繕箇所のリストに基づき、引き続き、緊急度や予算の執行状況を踏まえ、可能なものから速やかに修繕等を実施する。

〔指標〕 保全計画及び「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づく計画的な執行

17 FD (Faculty Development)

教員を対象に、授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な研修等の取組

18 SD (Staff Development)

職員を対象に、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な研修等の取組

19 PDCA サイクル

計画 (plan)、実施 (do)、検証 (check)、改善 (act) のサイクルを確実かつ継続的に繰り返すことにより、レベルアップを図ること。

20 認証評価

学校教育法に基づき、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価。大学の教育研究等の総合的な状況について、7年以内ごとに受けることが義務付けられている。



#### 項目番号42

- ・ 安全管理の徹底について、研修等の機会を通じて災害や感染症など有事の際の危機管理マニュアル等を周知する。
- ・ 防災訓練の実施を通じて全学的な危機管理体制の検証・見直しを行い、学生や教職員等の安全を確保する体制を強化する。

〔指標〕 リスク管理に関する研修の実施：1回

〔指標〕 防災訓練の実施：2回

#### 項目番号43

- ・ 施設管理支援システム（CAFM）を活用し施設でのエネルギー使用状況を把握するとともに、学生や教職員へ節電等の意識啓発及び省エネルギー対策に取り組む。

〔指標〕 電気使用量：1,650千kWh以下

〔指標〕 ガス使用量：426千m<sup>3</sup>以下

〔指標〕 水道使用量：9千m<sup>3</sup>以下

#### 項目番号44

- ・ 個人情報の保護・管理に係る研修を行う。
- ・ 関係法令及び情報セキュリティポリシー等を周知するとともに、遵守状況に関する定期的な点検を実施する。

〔指標〕 情報セキュリティに関する研修の実施：1回

〔指標〕 情報セキュリティに関する研修の受講：全教職員

#### 項目番号45

- ・ コンプライアンス<sup>21</sup>に係る研修を行う。
- ・ 教育・研究・地域貢献・大学運営のあらゆる場面において、関係法令及び学内規則等を遵守するよう周知する。

〔指標〕 コンプライアンスに関する研修の実施：1回

〔指標〕 コンプライアンスに関する研修の受講：全教職員

#### 項目番号46

- ・ 新任教員全員及び新規に研究費に関わる業務に着任した職員に対し、研究倫理教育の受講を促す。
- ・ 利益相反<sup>22</sup>に係わる申請に基づき、適切な管理を行う。

〔指標〕 研究倫理教育の受講：対象者<sup>23</sup>全員

#### 項目番号47

- ・ 高大接続改革に関する国の公表内容を踏まえ、平成32年度から実施する本学の入学者選抜試験（平成33年度入試）について予告・公表する。
- ・ 高大接続改革に関する高等教育政策の動向及び本学の入試改革について、FDを開催し学内共有を図る。

〔指標〕 新テスト（大学入学共通テスト）に対応した平成33年度入試に係る情報の公表

〔指標〕 入試に関する学内FDの実施：1回以上

## V 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

別紙参照

## VI 短期借入金の限度額

### 1 短期借入金の限度額

2億円

21 コンプライアンス

法令等を遵守することは元より、社会規範に反することなく高い倫理観に基づき務めを果たすこと。

22 利益相反

外部との経済的な利益関係等により、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は、第三者から懸念が表明されかねない事態

23 対象者

新任教員、新規に研究費の執行管理や研究倫理を担当する職員、研究倫理教育受講後5年を経た教員及び担当職員



## 2 想定される理由

運営費交付金の受入遅延及び事故の発生等により、緊急に必要となる対策費として借り入れることが想定される。

## VII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし。

## VIII 剰余金の使途

決算において地方独立行政法人法第40条第1項に規定する残余が発生した場合、教育研究の質の向上及び組織運営の改善その他札幌市が大学の運営上必要と認めた経費に充てる。

## IX 施設及び設備に関する計画

### 1 施設整備

- ・ 芸術の森キャンパスG・H棟冷房設備更新工事 予算額：57,600千円
- ・ 芸術の森キャンパスA・B棟外壁等保全工事 予算額：84,812千円
- ・ 芸術の森キャンパスエントランス棟及びD・E棟屋外・外壁保全工事实施設計 予算額：3,588千円

### 2 キャンパスプラン

- ・ 芸術の森キャンパスC・E棟自動扉設置工事 予算額：21,000千円
- ・ 桑園キャンパス管理実習棟車椅子トイレ設置工事 予算額：6,000千円

(注) 金額については見込みであり、上記のほか、業務の実施状況に応じた施設・設備の改善や、老朽度合いに応じた改修等を追加することもあり得る。

## X 人事に関する計画

### 1 教職員の採用

- ・ 教員の定員計画及び「本学が求める教員像」に基づき、退職者の補充など適切な教員採用を行う。(再掲)
- ・ 職員については、定年退職等の時期に基づき、計画的な採用を行う。

### 2 教職員の育成

- ・ 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、FD研修会を実施するとともに、学外で開催される研修会の情報を適切に提供する。(再掲)
- ・ 職員が多彩な研修を受講できるよう研修機会を充実し、職員の能力向上を図る。(再掲)
- ・ 適切な人事異動を実施し、大学運営に求められる様々な知識・経験の蓄積を図る。(再掲)

### 3 ワーク・ライフ・バランスの向上

- ・ 学内委員会等による定例的な各種会議の開催回数を見直し、運営効率化を図るとともに、学内委員会等の統廃合について検討する。(再掲)
- ・ 事務局において、定例業務の更なる見直し・改善により効率化を図るなど、職員の超過勤務時間の縮減に取り組む。(再掲)
- ・ 全教職員に対して有給休暇の取得を啓発し、ワーク・ライフ・バランスの向上に取り組む。(再掲)

別紙 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

## 1. 予算 (単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	1,531
施設整備費補助金	146
授業料等収入	451
受託研究等収入及び寄附金収入	23
その他収入	24
目的積立金取崩	73
計	2,248
支出	
教育研究経費	453
受託研究等経費及び寄附金事業費等	23
人件費	1,309
一般管理費	317
施設整備費	146
計	2,248





## 2. 収支計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	
経常費用	2,158
教育研究経費	416
受託研究等費	19
人件費	1,309
一般管理費	288
財務費用	2
減価償却費	124
収益の部	
経常収益	2,085
運営費交付金収益	1,509
授業料等収益	478
受託研究等収益	19
寄付金収益	4
資産見返運営費交付金戻入	41
資産見返寄附金戻入	3
資産見返物品受贈額戻入	7
資産見返補助金戻入	0
雑益	24
その他収益	24
純利益（純損失）	△73
目的積立金取崩益	73
総利益（総損失）	0

## 3. 資金計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	2,549
業務活動による支出	2,005
投資活動による支出	168
財務活動による支出	75
翌年度への繰越金	301
資金収入	2,549
業務活動による収入	2,029
運営費交付金による収入	1,531
授業料及び入学金検定料による収入	451
受託研究等による収入	19
寄付金による収入	4
その他収入	24
投資活動による収入	146
施設費による収入	146
前年度よりの繰越金	374



## 2 平成30年度決算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,531	1,531	—	
施設整備費補助金	146	146	0	
授業料等収入	451	460	9	
受託研究等収入及び寄附金収入	23	7	△ 16	(注1)
その他収入	24	20	△ 4	
目的積立金取崩	73	—	△ 73	(注2)
前中期目標期間繰越積立金取崩	—	73	73	(注2)
計	2,248	2,237	△ 11	
支出				
教育研究経費	453	414	△ 39	(注3)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	23	6	△ 17	(注1)
人件費	1,309	1,211	△ 98	(注3)
一般管理費	317	319	2	
施設整備費	146	146	0	
計	2,248	2,096	△ 152	
収入-支出	—	141	141	

○ 予算と決算の差異について

(注1) 受託研究の契約額が減少しました。

(注2) 第三期中期目標期間の初年度であったことから、前中期目標期間繰越積立金より取り崩しました。

(注3) 教員の欠員により、減少しました。

## 3 教職員数（平成31年3月31日現在）

## 1) 学部別教員数 (単位：名)

学	長	1
副	学 長	1
デ	ザ イ ン 学 部	34
看	護 学 部	44
合計		80

## 2) 職位別教員数 (単位：名)

		教授 (特任教授を 含む)	准教授	講師	助教	助手	計	非常勤講師
デザイン学部	男	11	8	6	3	0	28	24
	女	1	3	3	0	0	7	13
看護学部	男	0	2	1	1	0	5	44
	女	10	9	10	5	6	40	24
合計		23	22	20	9	6	80	105

## 3) 職員数 (単位：名)

	事務系	教務系	技術・技能系	医療系	その他	計
男	27	2	0	0	0	29
女	44	2	0	0	0	46
合計	71	4	0	0	0	75

## 4 管理職一覧表（平成31年3月31日現在）

役職名	教職員名
学長	中島 秀之
副学長兼看護学部長	樋之津 淳子
デザイン学部長	細谷 多聞
看護学研究科長	松浦 和代
デザイン研究科長	石井 雅博
地域連携研究センター長	上遠野 敏
附属図書館長	川村 三希子
事務局長	川上 佳津仁
事務局次長兼桑園事務室長	阿部 大
事務局総務課長	石原 荘史
事務局地域連携課長	上田 理子
事務局学生課長	福原 啓祐
事務局桑園担当課長	布廣 成規

## 5 学生定員及び学生数（平成30年5月1日現在）

## 1) 学生定員 (単位：名)

学部	入学定員	3年次編入学定員	総定員
デザイン学部	85	10	360
看護学部	80	10	340
合計	165	20	700

## 2) 学生数 (単位：名)

学部	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン学部	1学年	19	70	89
	2学年	25	67	92
	3学年	30	66	96
	4学年	29	63	92
看護学部	1学年	4	78	82
	2学年	4	81	85
	3学年	7	82	89
	4学年	10	86	96
助産学専攻科		0	11	11
合計		128	604	732

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士前期課程	1学年	8	7	15
	2学年	8	12	20
看護学研究科 博士前期課程	1学年	4	6	10
	2学年	6	19	25
合計		26	44	70

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士後期課程	1学年	0	0	0
	2学年	1	1	2
	3学年	5	3	8
看護学研究科 博士後期課程	1学年	1	2	3
	2学年	0	1	1
	3学年	1	4	5
合計		8	11	19

## 3) 科目等履修生・聴講生・研究生 (単位：名)

学部	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン学部	0	0	0	0
看護学部	1	0	0	1
合計	1	0	0	1

研究科	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン研究科	0	0	17	17
看護学研究科	7	0	0	7
合計	7	0	17	24

## 6 授業料等

(単位：円)

区分	検定料	入学料		授業料
		札幌市内居住者	札幌市外居住者	
学部生	17,000	141,000	282,000	535,800
科目等履修生・聴講生	9,800	14,100	28,200	1単位につき 14,800
研究生	9,800	42,300	84,600	月額29,700

## 7 奨学金貸与・授業料減免実施状況 (平成31年3月31日現在)

奨学金利用状況

(単位：名)

学年	日本学生支援機構			その他	計
	給付型	第1種	第2種		
学部1年生	5	50	30	6	91
学部2年生	1	52	32	2	87
学部3年生	-	54	40	2	96
学部4年生	-	42	32	3	77
助産学専攻科	-	5	3	5	13
研究科(博士前期)1年生	-	5	4	1	10
研究科(博士前期)2年生	-	4	4	2	10
研究科(博士後期)1年生	-	0	0	0	0
研究科(博士後期)2年生	-	0	0	0	0
研究科(博士後期)3年生	-	1	0	0	1
合計	6	213	145	21	385



## 授業料減免実施状況

(単位：名)

学年	学期	全額減免者	半額減免者	学長の定める額 免除者	計
学部1年生	前期	0	10	8	18
	後期	0	14	3	17
学部2年生	前期	0	17	4	21
	後期	0	19	4	23
学部3年生	前期	0	20	4	24
	後期	0	19	3	22
学部4年生	前期	0	25	3	28
	後期	0	24	7	31
助産学専攻科	前期	0	1	2	3
	後期	0	2	1	3
研究科（博士前期） 1年生	前期	0	3	2	5
	後期	0	3	0	3
研究科（博士前期） 2年生	前期	0	1	0	1
	後期	0	2	0	2
合計	前期	0	77	23	100
	後期	0	83	18	101



## 8 学生の入選・受賞（デザイン学部・デザイン研究科）

入選・受賞 年月	氏名	タイトル及び入賞・受賞の別	主催者
平成30年5月	【最優秀賞】和根崎海（デザイン学部4年） 【優秀賞】倉持歩（デザイン研究科博士前期課程2年）、山岡美紗希（デザイン学部4年）、宮浦志穂（デザイン学部3年）	「AIRDO就航20周年ステッカーデザイン」最優秀賞・優秀賞を受賞	㈱AIRDO
平成30年6月	【優秀賞】船山哲郎、神守優二、坂元文、河口紘亮、田邊和音、本田友希、蓑島福子、山本麗（デザイン研究科）、横山萌、原雅司（デザイン学部4年）	札幌市の公用車（燃料電池自動車）のラッピングデザインに採用、優秀賞を受賞	札幌市（環境局）
平成30年7月	【最優秀賞】森瑞紀（デザイン学部4年） 【優秀賞】荒谷祐衣、石井桃子（デザイン学部3年）、喜多音葉（デザイン学部2年）	創造都市さっぽろWAONカードをデザイン、最優秀賞・優秀賞を受賞	イオングループ（イオン北海道㈱・マックスバリュ北海道㈱）
平成30年11月	チーム名：Quotecha（西内寛大、村上龍司、清水康志、中津正樹、河原美紗都）	東京国際プロジェクションマッピングアワード Vol.3にノミネート	東京国際プロジェクションマッピングアワード実行委員会
平成31年2月	野崎鹿苑（デザイン学部2年）	Asia Digital Art Award FUKUOKA 2018 学生カテゴリー 静止画部門 作品「METAL IKAMESHI」入賞	2018アジアデジタルアート大賞展実行委員会
平成31年2月	塩田茉莉衣（デザイン学部卒業生）	「第24回学生CGコンテスト Campus Genius Contest」において作品「ジョウロの交信」がWacom Intuos Pro賞・パートナー賞を受賞	(公財)画像情報教育振興協会
平成31年3月	【優秀賞】石井桃子（デザイン学部3年）	「厚別区誕生30周年」記念ロゴマークをデザイン、優秀賞を受賞	札幌市（厚別区）



## 9 学生の課外活動

	公認団体
1	バスケットボール部
2	軽音楽部「halo」
3	美術部「noumenon」
4	YOSAKOIソーラン部「～真花～」
5	デザイン部「GNING」
6	服飾制作部「Alice」
7	写真映像部「SEED」
8	演劇部「デンコラ」
9	茶道部「Cha部」
10	野球部「ウップス！」
11	バレーボール部
12	絵本ボランティアサークル「しゃぼん玉」
13	フットサルサークル「SCUギャラクシー」
14	創作活動サークル「創-KIZ-」
15	ダンスサークル「VOLUME」
16	カレー研究サークル「SCUカレー研究会」
17	スポーツサークル「すぼさ」
18	アウトドアサークル「PEAK」
19	アルティメットサークル「Fly☆Fly」
20	バドミントンサークル
21	吹奏楽サークル「芸術の森 音楽隊」
22	国際協力／ボランティアを考える同好会「AMIGO」
23	地域交流ボランティア同好会「act」
24	備災同好会「EZO学さいぼー」
25	SCUスイーツ同好会「スイ研」
26	総合スポーツ同好会「Force」
27	アナログゲーム同好会「OFF」
28	ものづくり組（もの組）
29	SCUトレーニング同好会「金肉」
30	ふまねっと同好会「COC STUDENTPLAZA」
31	日本語デザイン研究会「しろ」



## 10 後援会

後援会(平成19年2月発足)は、学生の福利厚生の推進等、学生生活の充実に向けて必要な支援を行い、教育目的の達成に寄与することを目的として活動している。

(平成30年度)

役員	(会 長) 佐々木 佳造 (副会長) 宮浦 哲也 (理 事) 滝波 武仁、勝俣 信俊、河波 秀旭、江渡 政恵、川嶋 嘉史、高野 祐子、石井 敏三、近 圭司 (監 事) 宇佐美 晴己、橋本 和幸
主な事業	・ 課外活動(部活動、大学祭、地域ボランティア活動等) 支援 ・ 就職対策(就職試験対策、就職講話、資格取得支援、国家試験対策) ・ 後援会報「SSA News」発行
後援会費	40,000円(ただし、編入学生は20,000円、助産学専攻科生は10,000円)

## 11 教育・研究刊行物一覧

発行年月	名称
平成30年4月	平成30年度履修要項<履修の手引き>デザイン学部・看護学部
平成30年4月	平成30年度学生生活ハンドブック
平成30年5月	2019大学案内
平成30年5月	平成31年度デザイン学部3年次編入学学生募集要項
平成30年5月	平成31年度学生募集要項(デザイン研究科 博士前期課程 推薦選抜)
平成30年5月	平成31年度学生募集要項(デザイン研究科 博士前期課程 一般選抜・特別選抜)
平成30年5月	平成31年度入学者選抜要項(デザイン学部・看護学部)
平成30年6月	平成31年度学生募集要項(デザイン研究科 博士後期課程)
平成30年6月	平成31年度看護学部3年次編入学学生募集要項
平成30年6月	平成31年度学生募集要項(看護学研究科 博士前期課程)
平成30年6月	平成31年度学生募集要項(助産学専攻科)
平成30年7月	SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING2018 札幌市立大学研究論文集第12巻第1号
平成30年7月	札幌市立大学研究・活動事例集2018
平成30年7月	札幌市立大学教員研究紹介2018
平成30年7月	平成31年度学生募集要項(看護学研究科 博士後期課程)
平成30年8月	平成31年度学生募集要項(デザイン学部・看護学部 特別選抜)
平成30年10月	平成31年度学生募集要項(デザイン学部・看護学部 一般選抜)
平成30年10月	平成31年度学生募集要項(デザイン研究科 博士前期課程 第2次募集)
平成30年11月	平成31年度学生募集要項(看護学研究科 博士前期課程 第2次募集)
平成31年1月	札幌市立大学附属図書館ニュースレターのほほん第12号
平成31年3月	デザイン学部・デザイン研究科卒業修了研究展(2019 図録)
平成31年3月	札幌市立大学後援会 会報2019(SSA NEWS)

## 12 施設

## 1) 校地・校舎、講義室・演習室等の面積

(平成31年3月31日現在)

区分	校地・校舎		講義室・演習室等	
	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	総数	面積 (㎡)
芸術の森キャンパス	167,617	23,087	53	5,696
桑園キャンパス	18,152	12,367	30	3,132
合計	185,769	35,454	82	8,828
サテライトキャンパス	178	178	2	152
まこまないキャンパス	764.43	764.43	6	485

## 2) 芸術の森キャンパス・桑園キャンパス・サテライトキャンパス・まこまないキャンパス

(施設配置図・校舎配置図)

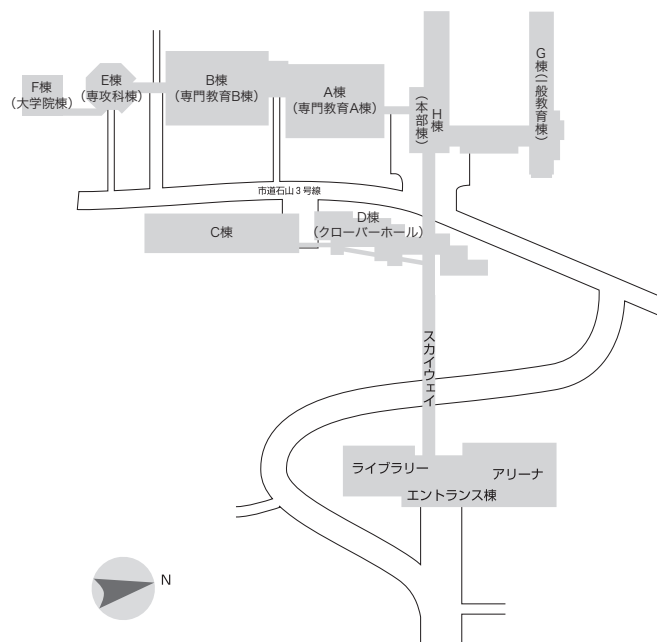
芸術の森キャンパス

〒005-0864

北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 (代)

FAX : 011-592-2369



## ●桑園キャンパス

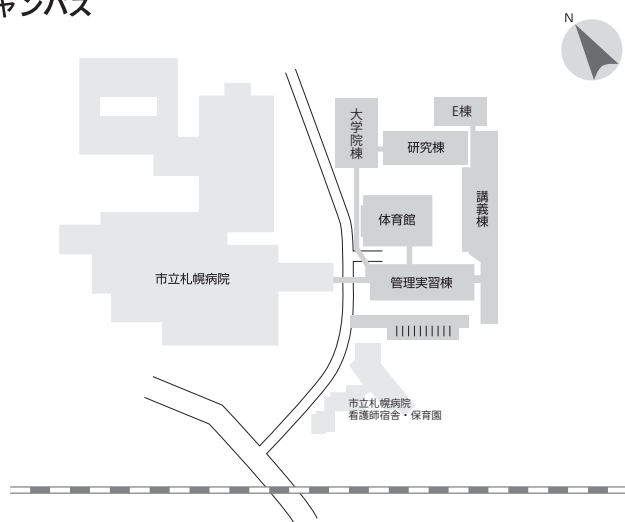
桑園キャンパス

〒060-0001

北海道札幌市中央区北11条西13丁目

TEL : 011-726-2500 (代)

FAX : 011-726-2506



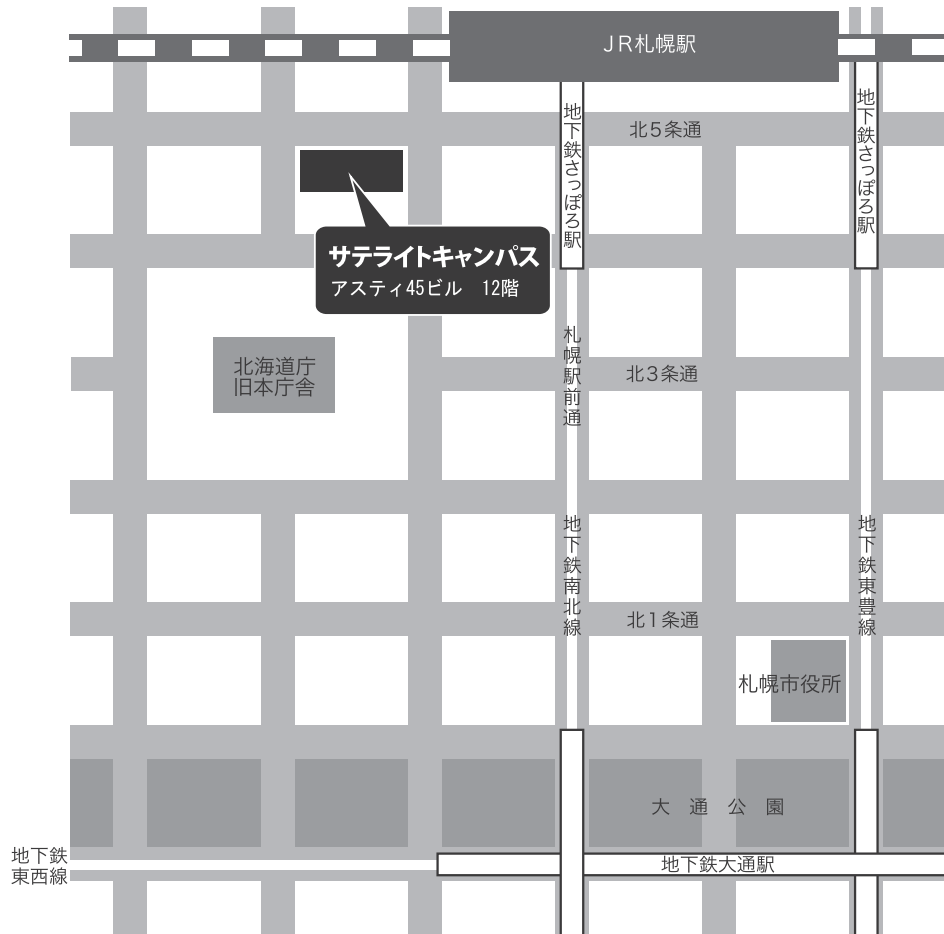
サテライトキャンパス

〒060-0004

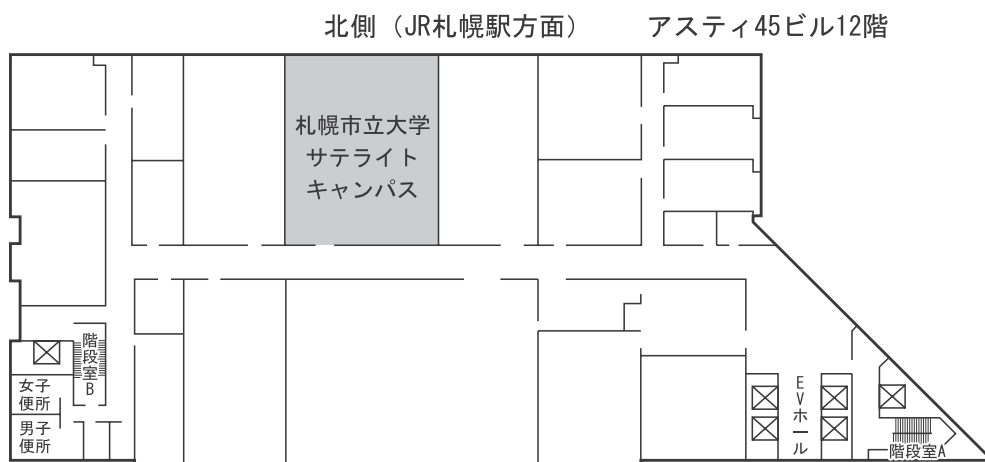
北海道札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階

TEL : 011-218-7500 (代)

FAX : 011-218-7507



〈施設平面図〉



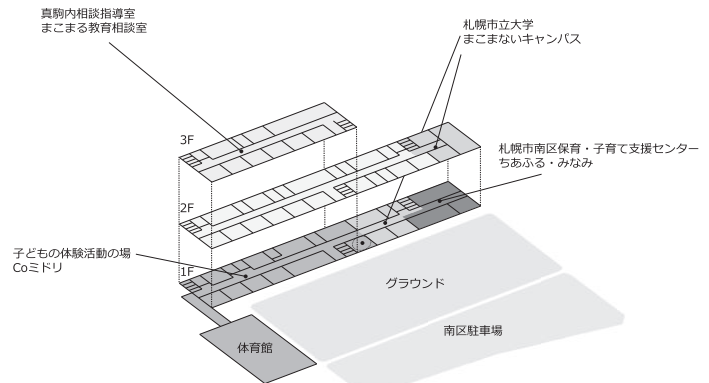
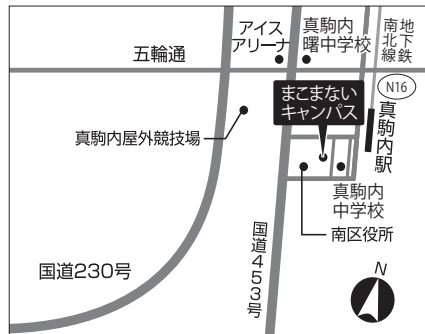
まこまないキャンパス

〒005-0014

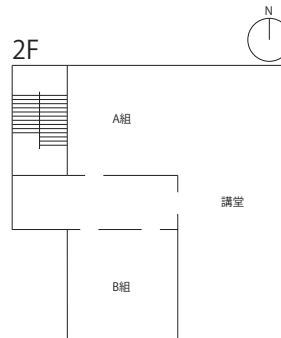
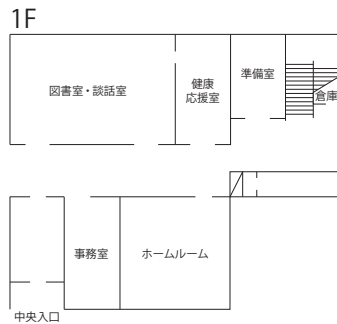
北海道札幌市南区真駒内幸町2丁目2-2まこまる（旧真駒内緑小学校）内

TEL：011-596-6675

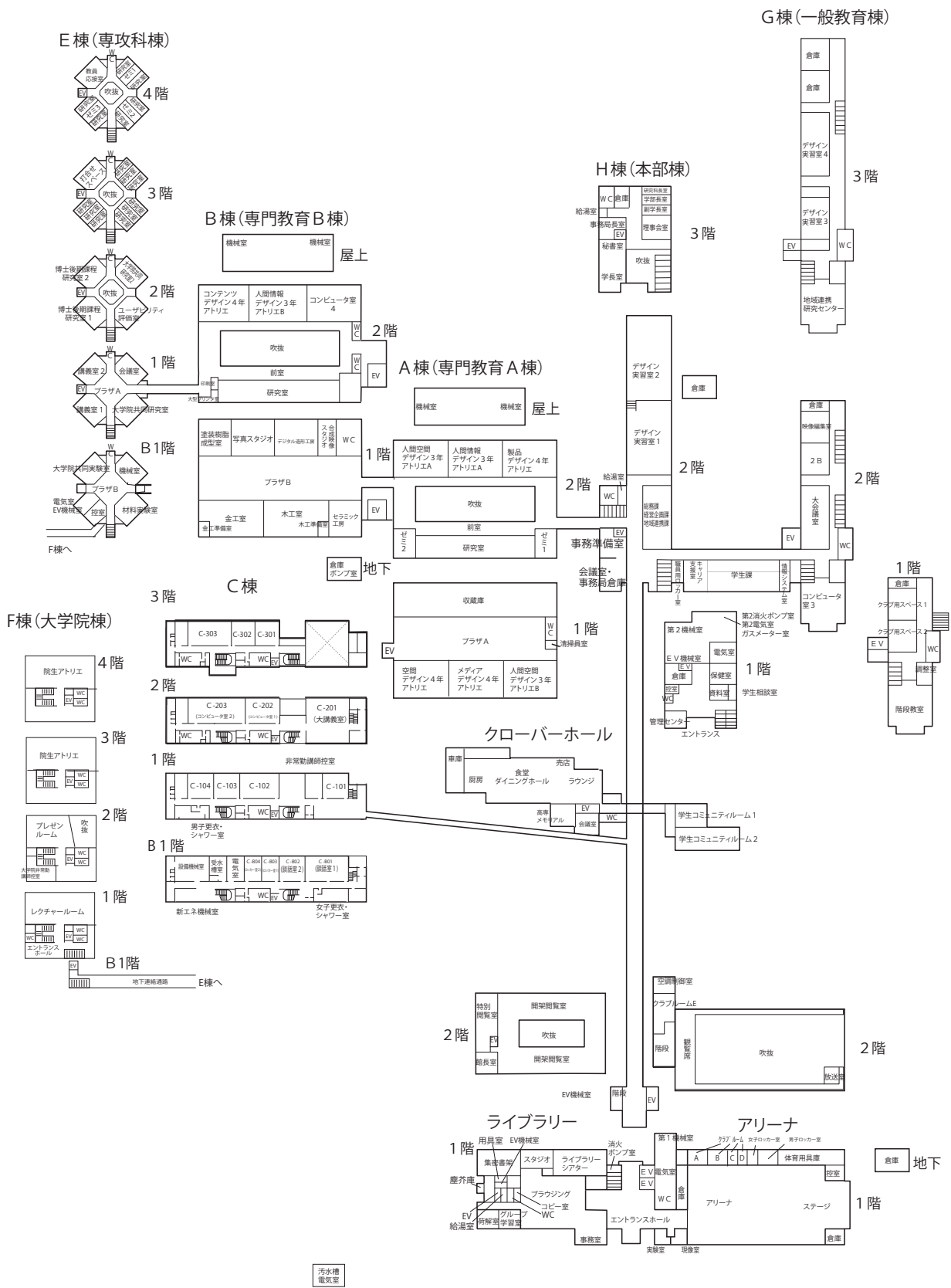
FAX：011-596-6676



〈まこまないキャンパス施設平面図〉

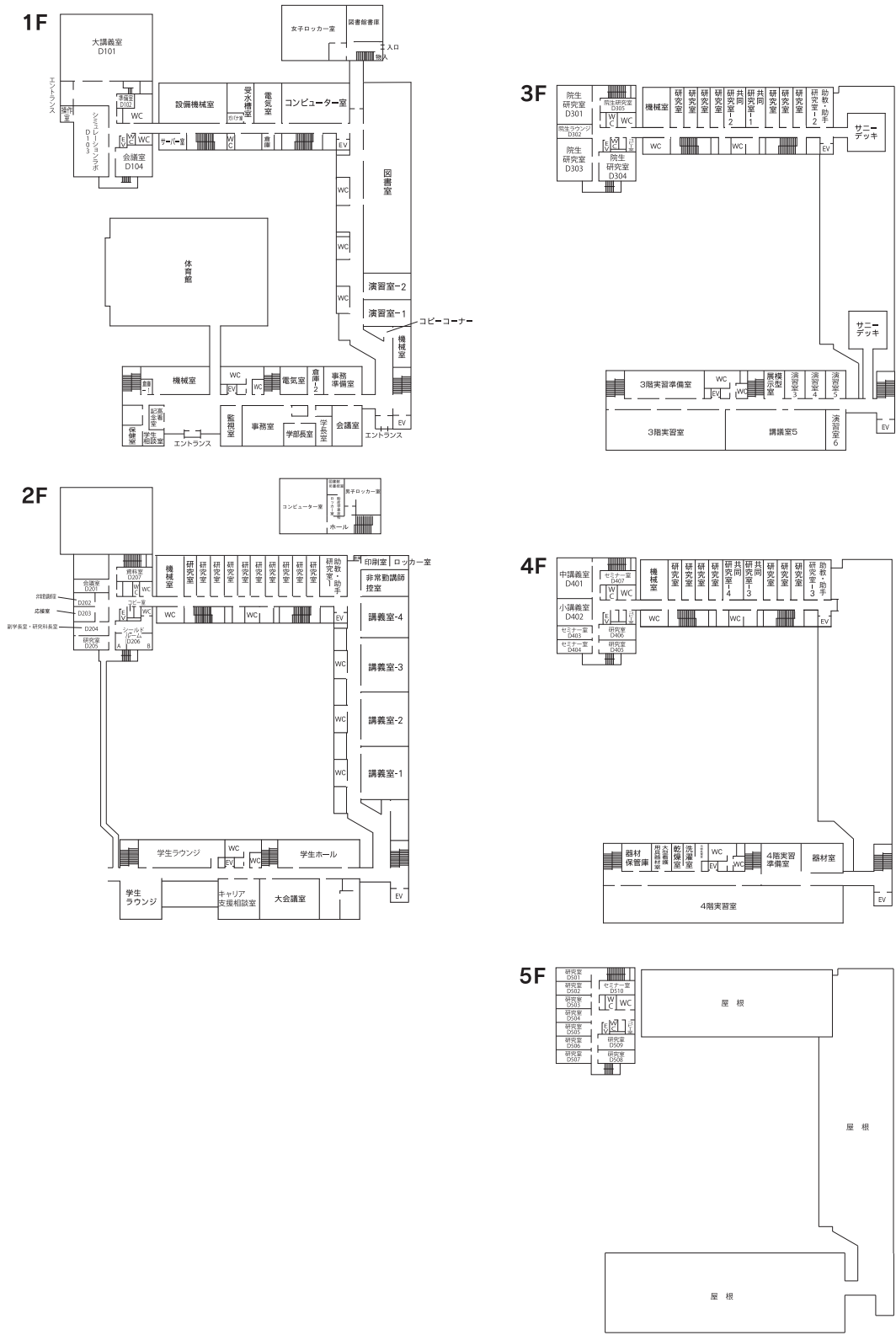


芸術の森キャンパス(校舎配置図)





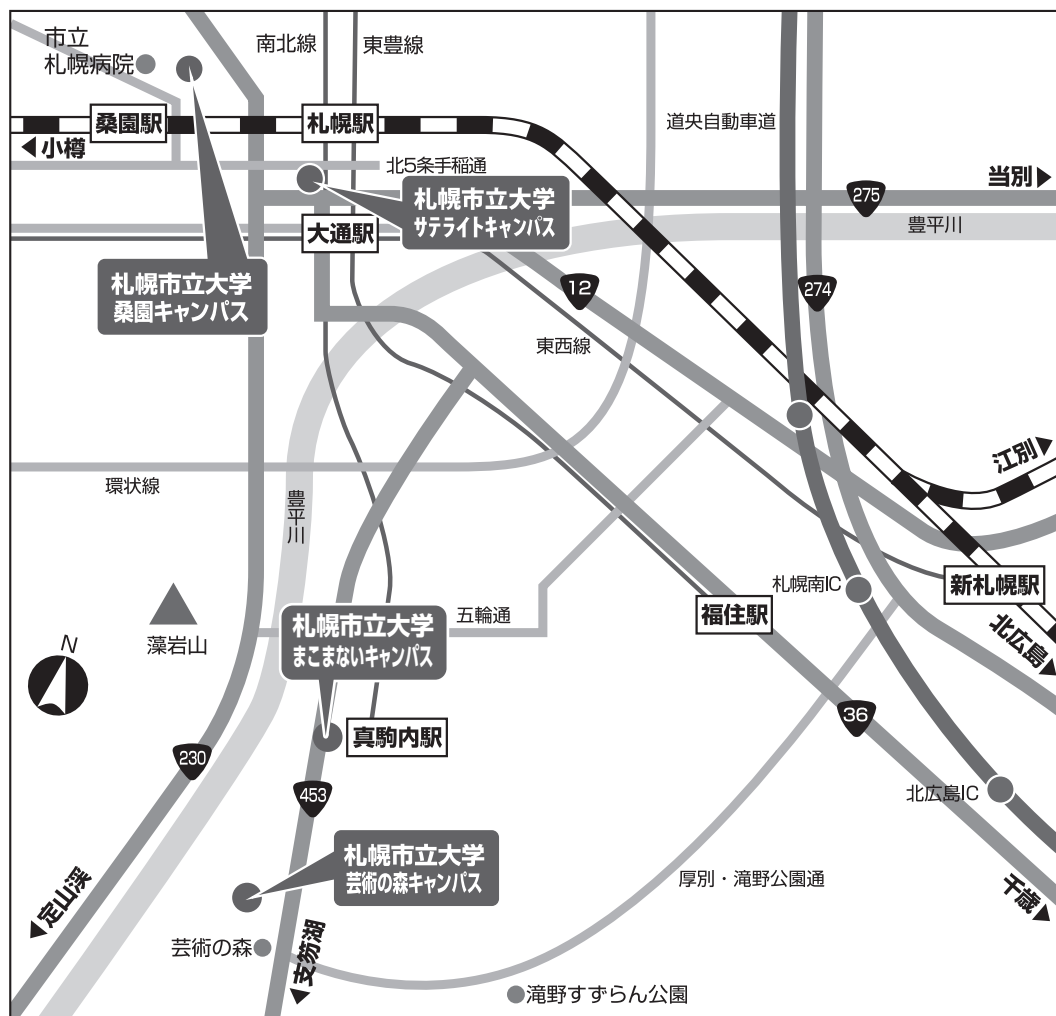
# 桑園キャンパス〈校舎配置図〉



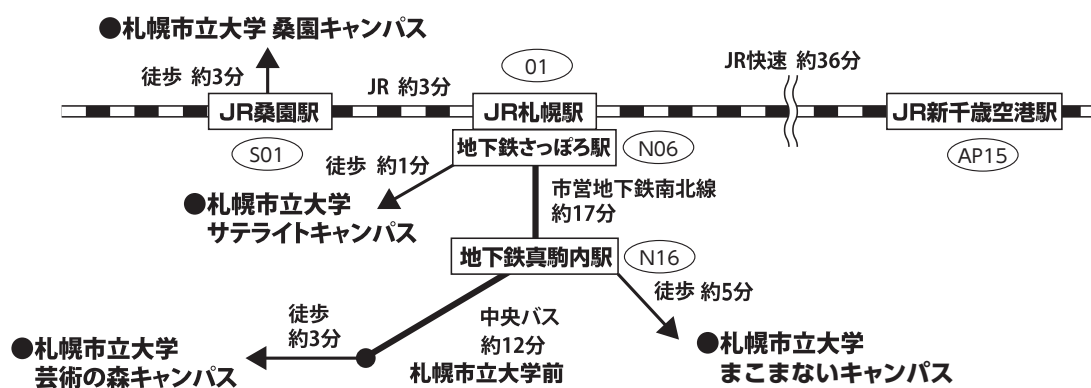


## 13 大学へのアクセス

### 1) アクセスマップ



### 2) 交通案内





14 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』

作詞:後藤優太・首藤翠(デザイン学部 第4期生)  
作曲:堀 彩菜(デザイン学部 第3期生)

力強く風が吹き抜ける  
新たな希望をたずさえて  
さあ飛び出そう  
翼広げて  
光の指す方へと

ともに笑いともに競った仲間たち  
これからは別々の道を往く  
強い風に吹かれ  
立ち止まりかけても  
恐れず歩き続けて

僕らには創りあげる手がある  
僕らには支えあえる手がある  
同じ空の下には今も  
走り続ける仲間がいるだろう

僕らには創りあげる手がある  
僕らには支えあえる手がある  
あの地平の彼方にはきっと  
君の染める世界がある

僕らには導く能力(ちから)がある  
僕らには差し伸べる精神(こころ)がある  
その壁の向こうにはきっと  
君を待つ世界がある

『みらいの手』

公立大学法人 札幌市立大学 大学歌

作詞: 後藤 優太・首藤 翠  
作曲: 堀 彩菜

The musical score is presented in two columns. The left column contains the vocal line and piano accompaniment for the first two verses. The right column contains the piano accompaniment for the first two verses and the vocal line for the third verse. The score includes various musical notations such as treble and bass clefs, time signatures, and dynamic markings like 'mf' and 'f'. Section markers A, B, and C are placed above the corresponding parts of the score. The lyrics are written in Japanese below the vocal lines.



## X 教員一覧

### 1 教員一覧

デザイン学部		看護学部	
職位・コース	教員名	職位・領域	教員名
教授	中島 秀之	教授・基礎	樋之津 淳子
教授・人間情報	細谷 多聞	教授・小児	松浦 和代
教授・人間情報	石井 雅博	教授・成人	川村 三希子
教授・人間空間	上遠野 敏	特任教授・成人	中村 恵子
特任教授・人間情報	蓮見 孝	特任教授・母性	宮崎 みち子
教授・人間情報	安齋 利典	教授・管理	猪股 千代子
教授・人間空間	齊藤 雅也	教授・成人	卯野木 健
教授・人間情報	城間 祥之	教授・成人	小田 和美
教授・人間空間	羽深 久夫	教授・在宅	菊地 ひろみ
教授・共通教育	町田 佳世子	教授・地域	喜多 歳子
教授・人間空間	矢部 和夫	教授・基礎	定廣 和香子
教授・人間情報	若林 尚樹	准教授・基礎	大野 夏代
准教授・人間情報	柿山 浩一郎	准教授・成人	貝谷 敏子
准教授・人間空間	椎野 亜紀夫	准教授・成人	神島 滋子
准教授・人間空間	高井 真希子	准教授・成人	菅原 美樹
准教授・人間空間	武田 亘明	准教授・成人	藤井 瑞恵
准教授・人間情報	張 浦華	准教授・基礎	古都 昌子
准教授・人間情報	藤木 淳	准教授・地域	本田 光
准教授・共通教育	松井 美穂	准教授・小児	三上 智子
准教授・共通教育	丸山 洋平	准教授・老年	村松 真澄
准教授・人間情報	三谷 篤史	准教授・精神	守村 洋
准教授・人間空間	森 朋子	准教授・母性	渡邊 由加利
准教授・人間空間	山田 信博	講師・精神	伊東 健太郎
准教授・人間空間	山田 良	講師・成人	工藤 京子
講師・人間空間	石田 勝也	講師・成人	小坂 美智代
講師・人間空間	大島 卓	講師・地域	櫻井 繭子
講師・人間情報	大淵 一博	講師・在宅	高橋 奈美
講師・人間空間	片山 めぐみ	講師・基礎	武富 貴久子
講師・人間情報	金 秀敬	講師・老年	原井 美佳
講師・人間空間	小宮 加容子	講師・基礎	檜山 明子
講師・人間空間	須之内 元洋	講師・母性	森川 由紀
講師・人間情報	福田 大年	講師・管理	矢野 祐美子
講師・人間情報	松永 康佑	講師・母性	山本 真由美
助教・人間空間	金子 晋也	助教・母性	石引 かずみ
助教・人間空間	田島 悠史	助教・成人	柏倉 大作
助教・人間情報	矢久保 空遥	助教・地域	近藤 圭子
		助教・地域	田仲 里江
		助教・小児	牧田 靖子
		助教・在宅	御厩 美登里
		助手・母性	大友 舞
		助手・管理	鬼塚 美玲
		助手・精神	出水 美菜子
		助手・基礎	渋谷 友紀
		助手・基礎	高橋 葉子
		助手・老年	中田 亜由美

※教員一覧の記載内容は教員の申告に基づく



## 2 教員業績一覧

## デザイン学部

## 中島 秀之

＜著書＞1.人工知能～その到達点と未来～（共著、平成30年12月、小学館、978-4-09-388622-2）／  
2.スマートモビリティ革命未来型AI公共交通サービスSAVS（共著、平成31年2月、公立はこだて未来  
大学出版会、978-4-7649-5556-1）

＜その他の論文＞1.情報処理（平成30年8月、情報処理学会59巻、9号、pp.776—777）

＜実務関係報告書＞1.AI白書2019（平成30年12月、KADOKAWA）

＜学会役員就任状況＞PRICAI（運営委員長）／サービス学会（編集委員長）

＜所属学会・研究会＞人工知能学会／日本認知科学会／情報処理学会／サービス学会／観光情報学会／  
日本ソフトウェア科学会／日本工学会／PRICAI（環太平洋人工知能国際会議）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞未来AI研究センター顧問 就任（平成30年4月1日～平成31年  
3月31日、はこだて未来大学）／株式会社未来シェア取締役 就任（平成30年4月1日～平成31年3月31  
日）／日本学術会議事務局長 就任（平成30年4月1日～令和2年9月30日）／産学連携推進機構理事 就  
任（平成30年4月1日～令和2年12月31日）／AI白書編集委員会委員 就任（平成30年4月6日～令和2年  
3月31日、独立行政法人情報処理推進機構）／未踏事業審査委員会委員 就任（平成30年4月16日～平成  
31年3月31日、独立行政法人情報処理推進機構）／本田財団理事 就任（平成30年6月22日～令和元年6  
月30日）／トヨタ技術会「技術者の1日」指導教官「AI／ビッグデータ」の発表に対する指導」（平  
成30年7月13日）／「経団連フォーラム21」7月講座 講師「人とAIの未来」（平成30年7月31日、一般  
社団法人経団連事業サービス）／札幌AIラボ エグゼクティブ・アドバイザー 就任（平成30年8月7日  
～平成31年3月31日、一財）さっぽろ産業振興財団）／2018年度科学セミナー 講師「情報処理技術と  
してのAI」（平成30年8月11日、日本物理学会）／自治労研究会 講師「AIと自治体行政」（平成30年  
10月18日、全日本自治団体労働組合）／科学者会議科学シンポジウム 講演「人工知能（AI）の歴史と  
未来」（平成30年10月28日、日本科学者会議北海道支部）／札幌市立病院院内講演（平成30年11月6  
日）／Hope講演（平成30年11月14日、道総研プラザ）／2018年度AXIES関係イベント 講師（平成30  
年11月20日、一般社団法人大学ICT推進協議会）／ViEW2018特別講演（平成30年12月6日、公益社団  
体法人精密工学会）／警察大学校での講演 講師（平成30年12月18日）／Singularity U Kyoto Chapter  
講師（平成31年1月14日、Impact Hub Kyoto）／札幌日経懇話会定例会（45周年記念会）講演（平  
成31年1月28日、日本経済新聞社札幌支社）／ひろしまIT融合フォーラム2019 講演（平成31年3月20  
日）

## 細谷 多聞

＜学会発表＞1.児童のカッターナイフ使用の習熟度向上に効果的な教示方法の研究（共同、平成30年6  
月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／2.触ることを促すデザインの研究（共同、平成30  
年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）

＜学会座長就任状況＞日本デザイン学会第65回春季研究発表大会（平成30年6月、日本デザイン学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学研究作品集（4件、日本デザイン学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（全国理事）

＜講演会・講習会活動＞昭和のデザイン

## 石井 雅博

＜学会研究発表＞1.見上げ・見下げによる重心動揺中心の変位（電子情報通信学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.The Journal of General Psychology（1件）／2.International Journal  
of Entertainment Technology and Management（1件）／3.基礎心理学会（1件）

＜学会役員就任状況＞International Journal of Entertainment Technology and Management  
（Editorial Board）／日本視覚学会（世話人）

＜学術集会運営＞電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞委員（視覚科学技術コンソーシアム）



### 上遠野 敏

＜作品発表＞1.閉山から二十四年。苔のむすまで（単独、平成30年9月、赤平アートプロジェクト2018）住友赤平炭鉱ネオン再び 他3作品（単独、平成30年9月、赤平アートプロジェクト2018）  
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞望郷の樺太慰霊碑の監修、審査、コンペ運営（通年、全国樺太連盟）／地域の魅力発見プロジェクト：キャラクターグッズ開発、アートディレクター（平成30年5月14日～15日、三吉神社例大祭を楽しくする会）／産学連携フラワーカーペットデザインと実施（平成30年6月23日～24日、サッポロフラワーカーペット実行委員会）／赤平アートプロジェクト2018アートディレクター（平成30年9月8日～10月8日、炭鉱の記憶推進事業団）／産学連携エコバックのデザインコンペ運営（平成30年11月5日～20日、土屋ホームトピア）／JRタワーアートボックス2019 審査委員（平成31年1月16日～2月13日、札幌駅総合開発株式会社）／八剣山ワインラベルコンペ2018 審査委員（平成31年1月30日、八剣山ワイナリー）

### 安齋 利典

＜学会発表＞1.造形教育におけるインダストリアルクレイ活用の一考察（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／2.HCDに基づいたGPS音声操作バリアフリー案内ネックレスの提案（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／3.デザインマネジメント活動を捉えるフレームの探索（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／4.IoT機能を中心したプロジェクターのデザイン提案（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／5.食のユーザー体験価値の向上に関する研究（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／6.地域創生に向けたユニバーサル製品（プロトタイプ）の提案（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／7.視覚的対話における落書コミュニケーションの活用（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／8.デジタル時代のアナログ教育（単独、平成30年10月、2018年度日本デザイン学会秋季企画大会）／9.食の情緒的価値の再認識に関する研究（共同、平成31年2月、感性フォーラム札幌2019）

＜学会研究発表＞1.AIRDO CIマニュアル改訂と就航20周年記念ステッカーの提案（平成30年11月、2018SCU産学官金研究交流会）／2.地域創生に向けたユニバーサル製品（プロトタイプ）の提案（平成30年11月、2018SCU産学官金研究交流会）

＜学会座長就任状況＞第3会場「デザインと教育」（平成30年10月、芸術工学会2018年度秋期大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.芸術工学会誌（1件、芸術工学会）

＜学会役員就任状況＞芸術工学会（理事）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／芸術工学会／道具学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞株式会社AIRDO 就航10周年「叶える翼」ステッカー デザイン（平成29年12月15日～平成30年5月31日、株式会社AIRDO）／ユニバーサル製品開発（平成30年4月6日～平成31年3月31日、旭川ウェルビーイング・コンソーシアム）／厚真町企画デザインセミナーワークショップ（平成30年6月7日～8月25日、厚真町町役場）／ZEB/ZEH時代のライフスタイル研究（平成30年8月27日～平成31年3月31日、三菱電機株式会社）／No Maps 2018 Conference札幌の学生VS東京のマーケター（平成30年10月10日、公益社団法人日本アドバイザーズ協会 Web広告研究会）

### 齊藤 雅也

＜学術論文＞1.夏季における中学生の想像温度と熱環境適応プロセスの関係（共著、平成31年2月、日本建築学会環境系論文集、84巻、756号、pp.171—178）

＜調査研究報告書＞1.布製天井による放射併用空調システムの空調効果に関する研究（単著、(株)山下設計 受託研究報告書、平成31年2月、札幌市立大学）／2.新ゾウ舎およびホッキョクグマ館の各展示技術の効果に関する研究（共著、札幌市円山動物園 受託研究報告書、平成31年2月、札幌市立大学）／3.木造オフィスのクリマデザインに関する研究（単著、(株)遠藤建築アトリエ 受託研究報告書、平成31年2月、札幌市立大学）／4.北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究（共著、札幌市円山動物園 受託研究報告書、平成31年2月、札幌市立大学）

＜学会発表＞1.外断熱建築の夏季温熱環境のエクセルギー評価（従共同発表者、平成30年6月、日本建築学会北海道支部研究発表会）／2.療養環境における入院患者の快・不快感に関する研究 その1.病



床の熱環境と患者の快・不快感（従共同発表者、平成30年6月、日本建築学会北海道支部研究発表会）  
 /3.療養環境における入院患者の快・不快感に関する研究 その2. 病床照度と患者の明るさ感・快適感（従共同発表者、平成30年6月、日本建築学会北海道支部研究発表会）  
 /4.ヒトの想像温度・人体エクセルギー消費加速による熱環境適応の研究（従共同発表者、平成30年6月、日本建築学会北海道支部研究発表会）  
 /5.夏季の屋外移動時に得られる「涼しさ」感の実測と考察（従共同発表者、平成30年6月、日本建築学会北海道支部研究発表会）  
 /6.拡張キャンパス型地域創生デザインの試行「ツーリズム」（従共同発表者、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）  
 /7.ヒトの想像温度の形成プロセスに関する考察（主共同発表者、平成30年9月、日本建築学会大会学術講演会）  
 /8.ヒトの想像温度と人体エクセルギー評価による熱環境適応の研究（従共同発表者、平成30年9月、日本建築学会大会学術講演会）  
 /9.夏季の室内外気候がヒトの温熱的快に与える影響 札幌・熊本の通風室・冷房室における被験者実験（従共同発表者、平成30年9月、日本建築学会大会学術講演会）  
 /10.中学生の想像温度と熱環境適応プロセスの関係についての考察（従共同発表者、平成30年9月、日本建築学会大会学術講演会）  
 /11.伝統的住居における増改築の現状と課題-ベトナム・ドゥオンラム村における集落保存に関する研究その1（従共同発表者、平成30年9月、日本建築学会大会学術講演会）  
 /12.伝統的住居における増改築の現状と課題-ベトナム・ドゥオンラム村における集落保存に関する研究その2（従共同発表者、平成30年9月、日本建築学会大会学術講演会）  
 /13.ベトナム・ハノイ郊外の住宅における温熱環境と住まい方の調査研究（主共同発表者、平成30年10月、日本太陽エネルギー学会）  
 /14.特別豪雪地帯の高齢者を対象とした学官連携による健康啓発事業の実践報告（従共同発表者、平成30年10月、日本公衆衛生学会総会）  
 /15.特別豪雪地帯に居住する高齢者への健康教育実施の一考察（従共同発表者、平成30年10月、日本公衆衛生学会総会）  
 /16.Characteristics of Cognitive Temperature Scale under the Thermal Adaptation in Summer（主共同発表者、平成30年12月、Passive and Low Energy Architecture）  
 /17.Radiant Exergy Analysis on the Process of Human Adaptive Thermal Comfort in Summer（従共同発表者、平成30年12月、Passive and Low Energy Architecture）  
 /18.夏季の室内外における着衣外表面での放射・対流エクセルギーの特徴（従共同発表者、平成31年3月、空気調和・衛生工学会北海道支部学術講演会）  
 /19.断熱性・蓄熱性を有する建築の窓システムの運用と熱的快適性に関する研究（従共同発表者、平成31年3月、空気調和・衛生工学会北海道支部学術講演会）

＜学会座長就任状況＞日本建築学会大会学術講演会（平成30年9月、日本建築学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会環境系論文集（2件、日本建築学会）/2.エネルギー・資源学会論文集（1件、エネルギー・資源学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（バイオフィリックデザイン小委員会 主査）/日本建築学会（環境ライフスタイル普及小委員会 委員）/Low Ex Network（委員）/空気調和・衛生工学会（運営委員）/日本建築学会（北海道支部環境工学専門委員会 委員）

＜学術集会運営＞日本建築学会北海道支部環境工学専門委員会主催 第12回環境工学系・卒業論文発表会/空気調和・衛生工学会北海道支部セミナー

＜講演会・講習会活動＞スーパーサイエンスハイスクール「SSH特別実験」「ペットボトルハウスで温房・涼房を考える」（平成30年12月18日）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞大倉山クリスタルハウス及び札幌オリンピックミュージアム改修工事等に係る基本及び実施設計のプロポーザル案作成支援「設計プロポーザル案「Jump」立案（結果は不採用）」（平成30年3月～4月、スタジオ・シンフォニカ、㈱札幌振興公社）/医療・福祉のクリマデザイン（平成30年4月21日、㈱ピーエス）/第5回クリマデザイン研究会 講師「医療・福祉のクリマデザイン、オレンジリビングベースの室内気候・活動」（平成30年5月10日、クリマデザイン研究会）/看護臨床分野に対しての室内温熱環境デザイン面に関する学術的支援「「病床の熱環境と患者の快・不快感」「病床照度と患者の明るさ感・快適感」」（平成30年5月14日、9月3日、北のケア環境研究会）/第2回学びの会 講師「ソフトウェア「ホームズ君」の解説」（平成30年5月15日、北方建築学びの会）/Hokkaido Nikken Sekkei May Forum 医療・看護・福祉のクリマデザイン（平成30年5月25日、㈱北海道日建設計）/社内研修・講師：動物たちの暮らしとクリマデザイン（平成30年5月29日、㈱日本設計）/JIAアフタヌーンセミナー 建築家 船木幹也講演会（開催支援）「建築と著作について」（平成30年12月1日、公益財団法人日本建築家協会北海道支部）/平成29年度 BIS養成講習会（養成講習会 講師）「開口部の計画、防暑計画」（平成30年12月4日、平成31年1月11日、17

日、北海道建築技術協会) / 寒冷地エアコンの可能性について(北海道の住宅性能、暖房の実状、温熱環境による快・不快等について)「北海道の住宅性能、暖房の実状、温熱環境による快・不快等について相談、意見交換」(平成30年12月19日、パナソニック株) / Low Exergy System (低エクセルギー利用システム) 研究会「低エクセルギー利用システム(光環境)」(平成31年1月29日、LEXS研究会) / 特別会員(学術的支援)(特定非営利活動法人 外断熱推進会議(EiPC)) / 建築環境分野 専門委員(北海道トップランナーネットワーク構築会議(HTNC))

### 城間 祥之

〈学会発表〉1.見たい、見せたい 魅せる百人一首 一題材の魅力を伝える擬人化作品の制作(共同、平成30年11月、日本感性工学会北海道支部学生会第6回研究発表会) / 2.テキストマイニングによる「地域創生デザイン」志向潜在知識抽出に関する研究 一札幌市南区の65歳以上住民を対象とした意識調査データを分析例として(共同、平成31年2月、感性フォーラム札幌2019)

〈学会研究発表〉1.大容量文書データのテキストマイニング分析 一札幌市南区在住65歳以上高齢者の意識調査データを対象として(共同、平成30年11月、SCU産学官金研究交流会)

〈学会座長就任状況〉第20回日本感性工学会大会 査読セッション(単独、平成30年9月、日本感性工学会) / 第14回日本感性工学会春季大会 査読セッション(単独、平成31年3月、日本感性工学会)

〈学会役員就任状況〉日本感性工学会(第11期・第12期理事) / 日本感性工学会(北海道支部支部長)

〈学術集会運営〉感性フォーラム札幌2019(平成31年2月開催) / 日本感性工学会北海道支部学生会第6回研究発表会 / 第20回日本感性工学会大会 / 第14回日本感性工学会春季大会

〈所属学会・研究会〉日本感性工学会 / 芸術工学会 / 日本デザイン学会 / 情報処理学会 / 日本設計工学会 / 精密工学会 / IEEE

### 町田 佳世子

〈学術論文〉1.コミュニケーション能力の構造に対する認識の相違一企業と大学生によるコミュニケーション能力評価の結果をもとに(単著、平成30年7月、札幌市立大学研究論文集、12巻、1号、pp.29-35) / 2.夏季における中学生の想像温度と熱環境適応プロセスの関係(共著、平成31年2月、日本建築学会環境系論文集、756巻、pp.171-178)

〈辞書・辞典〉1.英語で案内する日本の伝統・大衆文化(平成30年7月、三省堂)

〈調査研究報告書〉1.専門家による知の伝達一双方向的な解説手法の確立と検証(共著、平成31年3月、札幌市立大学)

〈学会発表〉1.出前授業前後における小学生の意識・認識の変化を測る(単独、平成30年6月、全日本博物館学会第44回大会) / 2.伝えたいことを伝えるために専門家がすること(共同、平成30年11月、日本質的心理学会第15回大会)

〈論文査読・学会抄録査読〉1. Research Bulletin of English Teaching (1件、大学英語教育学会北海道支部)

〈学会役員就任状況〉大学英語教育学会(研究企画委員)

〈学術集会運営〉大学英語教育学会北海道支部研究大会

〈所属学会・研究会〉日本コミュニケーション学会 / International Pragmatics Association / 一般社団法人 大学英語教育学会 / 日本質的心理学会 / 日本語用論学会 / 産業・組織心理学会 / 全日本博物館学会

〈講演会・講習会活動〉株式会社アイティ・コミュニケーションズ 新入職員研修「コミュニケーションとは」(平成30年4月4日、株式会社アイティ・コミュニケーションズ) / 札幌医科大学保健医療学部 保健医療総論における講演「人をつなぐ私たちの営みーコミュニケーションについて考える」(平成30年4月9日、札幌医科大学保健医療学部) / 「ふれあい活動」に関するワークショップ「動物園ふれあい活動の教育的意義について」(平成31年1月28日)

### 矢部 和夫

〈学会発表〉1.ミズゴケ小丘における水質形成過程のモデル化(共同、平成30年9月、日本湿地学会) / 2.水文環境が泥炭地湿原の栄養塩循環機能に与える影響(共同、平成30年9月、日本湿地学会)



- ＜学会シンポジウム＞1.「湿地学会の10年を振り返り今後の10年を展望する」（共同、平成30年9月、日本湿地学会）
- ＜学会研究発表＞1.創出湿地における16年間の群落変遷の中で起こった12年目からの一時的安定とその原因（単独、平成30年5月、ウエットランドセミナー）／2.幻の石狩湿原を取り戻す（単独、平成30年8月、しめっちカフェ）
- ＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCUジャーナル（1件）
- ＜学会役員就任状況＞日本湿地学会（湿地研究編集委員長）／日本造園学会北海道支部会（運営委員）
- ＜学術集会運営＞ウエットランドセミナー運営幹事
- ＜講演会・講習会活動＞駒里中学校環境学習／宮の森中学校 外来種の話
- ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞専門職員登録（北海道）

## 若林 尚樹

- ＜学術論文＞1.仕事体験プログラムにおける視覚的対話手法と参加者の主観的評価の分析（共著、平成30年8月、こども環境学研究、40巻、第14号、pp.89—95）
- ＜著書＞1.真意を聞き出すアンケート設計と開発・評価事例（共著、平成30年12月、サイエンス&テクノロジー、ISBN978-4-86428-183-6、pp.261—273）
- ＜調査研究報告書＞1.第1回円山動物園わくわく動物園マップ実施報告（共著、平成30年7月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp.1—16）／2.サマースクール「動物園のお仕事体験」報告と分析（共著、平成30年8月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp.1—15）／3.金沢動物園 わくわく動物園マップ（4回目） ー気持ち温度計の結果分析ー（共著、平成30年10月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp.1—14）／4.ワークショップにおける学びの評価ー金沢動物園 耳みみ、どんな耳?・動物バイザーを作ろう！（共著、平成30年11月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp.1—15）／5.ホッキョクグマ館主観的印象評価分析報告書（共著、平成30年12月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp.1—8）／6.札幌市円山動物園 この耳,だれの耳?・動物バイザーを作ろう！ーワークショップにおける学びの評価ー（共著、平成30年12月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp.1—14）／7.第2回円山動物園わくわく動物園マップ実施報告（共著、平成31年3月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp.1—15）
- ＜学会発表＞1.気持ち温度計によるワークショップ参加者の気持ちの変化の比較分析2（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／2.視覚的対話における落書コミュニケーションの活用（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／3.来園者の主観評定に基づく動物園の評価マップ分析（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）
- ＜学会研究発表＞1.AIRDO CIマニュアル改訂と就航20周年記念ステッカーの提案（共同、平成30年11月、SCU産学官金研究交流会）／2.観察と工作を組み合わせた教材によるプログラムの評価（共同、平成30年12月、日本動物園水族館教育研究会）／3.来園者の印象評定に基づく動物園での体験分析（共同、平成30年12月、日本動物園水族館教育研究会）
- ＜学会座長就任状況＞第65回春季発表大会口頭発表C4情報デザイン 座長（単独、平成30年6月、日本デザイン学会）
- ＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（代議員）／アジアデジタルアートアンドデザイン学会日本（理事）
- ＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／こども環境学会／芸術科学会
- ＜講演会・講習会活動＞上野動物園サマースクール 動物園のお仕事体験（平成30年7月27日、上野動物園）／金沢動物園 耳みみ、どんな耳?・動物バイザーを作ろう！（平成30年11月3日、金沢動物園）／札幌市円山動物園 この耳,だれの耳?・動物バイザーを作ろう！（平成30年11月17日、円山動物園）／「音楽を聴くをデザインする」（旭川工業高等専門学校）（平成31年2月7日、旭川ウェルビーイング・コンソーシアム）
- ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞AIRDOのCIマニュアルの改定（平成29年9月～平成30年6月、株式会社AIRDO CSR企画推進室）／WAONカードデザインコンペ（平成29年9月～平成30年7月、北海道イオン株式会社）／就航20周年記念ステッカーのデザインコンペ「株式会社AIR DO 就航20周年「叶える翼」ステッカー」（平成29年12月～平成30年12月、株式会社AIRDO CSR企画推進室）／No Maps 2018 Conference 札幌の学生VS東京のマーケター ワークショップに参加（平成30年



10月10日、no maps実行委員会)

### 柿山 浩一郎

＜調査研究報告書＞1.ZEB/ZEH時代のライフスタイル研究（共同、平成31年2月、札幌市立大学）

＜学会発表＞1.地域創生デザインの為のGPSロガーの試用と動作評価（共同、平成30年6月、日本デザイン学会）／2.地域創生デザインの為のGPSロガーから見えてくる道具のありかた（単独、平成30年7月、電子情報通信学会）

＜学会研究発表＞1.地域のポテンシャルを測定する「カメラ付きGPSロガーを用いた社会実験」（単独、平成30年11月、SCU産学官金研究交流会）

＜学会座長就任状況＞インタフェース C9（単独、平成30年6月、日本デザイン学会 第65回研究発表大会）／テーマセッション-情報デザイン研究部会：「当事者デザイン」 D7（単独、平成30年6月、日本デザイン学会 第65回研究発表大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本感性工学会論文誌（1件、日本感性工学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（理事）／日本デザイン学会（春季研究発表大会概要集編集委員会委員）／日本デザイン学会（研究推進委員会委員）／日本デザイン学会（評議委員）／日本感性工学会（論文編集委員会論文編集委員）

＜学術集会運営＞日本デザイン学会 第65回春季研究発表大会／日本感性工学会 感性フォーラム札幌2019／第22回日本統合医療学会／2018年度 第18回 ロボット・トライアスロン 札幌大会

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／日本教育工学会

### 椎野 亜紀夫

＜学術論文＞1.まちづくり市民活動団体の役割構造の分析手法開発に向けた基礎研究（共著、平成30年11月、都市計画論文集）

＜学会発表＞1.二世帯調査を通じた自然への意識と自然を対象とした遊びの比較（単独、平成30年10月、日本造園学会北海道支部大会）／2.都市計画学会北海道支部研究発表会（共同、平成30年10月、日本都市計画学会北海道支部）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本造園学会全国大会研究論文集（1件、日本造園学会）／2.食と緑の科学（千葉大学研究紀要）（1件、千葉大学）／3.SCUジャーナル（1件、札幌市立大学）／4.子ども環境学会学会誌（1件、子ども環境学会）

＜学会役員就任状況＞日本造園学会（北海道支部副支部長）

### 武田 亘明

＜その他の論文＞1.実践的クリエイティブ人材育成における自己能力開発の気づき（単著、平成31年3月、日本教育工学会、JSET19巻、1号、pp.729—736）

＜学会役員就任状況＞日本教育工学協会（理事）／教育とコンピュータ利用研究会（副会長・北海道支部長）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「平成30年度北海道高等学校産業教育実技講座（商業）「地域課題の解決をテーマにした実践的プロジェクト企画デザイン」（平成30年8月3日、北海道教育庁）／全国中学高校Webコンテスト「第二次審査員」（平成30年12月1日、特定非営利活動法人学校インターネット教育推進協会）

### 張 浦華

＜作品発表＞1.宝箱（単独、平成30年6月、北海道陶芸会の50周年展 陶・創造者たち—北の大地と共に（芸術の森美術館））陶管（単独、平成30年6月、北海道陶芸会の50周年展 陶・創造者たち—北の大地と共に（芸術の森美術館））／2.彩色大皿（単独、平成30年10月、北海道陶芸会の50周年記念展 陶・創造者たち—北の大地と共に（江別市セラミックアートセンター展））泥彩茶碗（単独、平成30年10月、北海道陶芸会の50周年記念展 陶・創造者たち—北の大地と共に（江別市セラミックアートセンター展））／3.Splash of Light（単独、平成31年2月、アジアネットワークビヨンドデザイン（ANBD）展 スリランカ、公募特別展）

＜受賞等＞1.ANBD展スリランカ特別展 特別賞受賞（平成31年2月）





＜学会研究発表＞1.高齢者のヘルスケアと食文化の豊かさを実現するための配食サービスの提案（単独、平成30年11月）

＜学会役員就任状況＞アジアネットワークビヨンドデザイン 日本（特任理事）／北海道陶芸会（北海道陶芸会の50周年記念事業 編集委員）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道陶芸会の50周年記念展 図録編集、平成30年4月1日、北海道陶芸会）／「ユニバーサル製品開発」の依頼、平成30年4月6日、旭川ウェルビーイング・コンソーシアム）／ポスター、チラシ、チケットデザインのデザイン、平成30年5月1日、北海道陶芸会）

### 藤木 淳

＜学術論文＞1.cellroid-変動と崩壊を繰り返す自律的組織化アルゴリズム（単著、平成30年7月、札幌市立大学、12巻、1号、pp.11—16）／2.みやざきアートセンター開催の個展についての報告-「不思議の体験展 藤木淳 個展」（単著、平成30年7月、札幌市立大学、12巻、1号、pp.17—28）

＜作品発表＞1.OLE Coodinate System（単独、平成30年4月、三菱みなとみらい技術館企画展「シカクノフシギ展」）マテリアライゼーションシリーズ（単独、平成30年4月、三菱みなとみらい技術館企画展「シカクノフシギ展」）／2.OLE Coodinate System（単独、平成30年4月、諸橋近代美術館企画展「夢幻×無限～エッシャー、ダリ、福田繁雄～」）／3.fairyRose（共同、平成30年5月、ぎふ国際ローズフェスティバル）SoundRose（共同、平成30年5月、ぎふ国際ローズフェスティバル）／4.OLE Coodinate System（単独、平成30年7月、アルスエレクトロニカ イン ザ ナレッジキャピタル「PLAYWARE アルゴリズムでつくる遊び展」）P055E55S10N（単独、平成30年7月、アルスエレクトロニカ イン ザ ナレッジキャピタル「PLAYWARE アルゴリズムでつくる遊び展」）／5.体内認知空間拡張装置（共同、平成30年9月、Matching HUB Sapporo 2018）／6.体内認知空間拡張装置（共同、平成30年9月、ビジネスEXPO）／7.etheroid（共同、平成31年1月、Ars Electronica Festival 2018）／8.Sense of non-presence（共同、平成31年1月、札幌市青少年科学館）／9.非現実的な実写映像生成のための方法論（共同、平成31年1月、「コンピュテショナル・アート特論」授業成果発表展）

＜受賞等＞1.芸術工学会奨励賞（平成31年3月、芸術工学会）

＜学会発表＞1.ADADA Japan 2018（共同、平成30年9月、ADADA Japan 2018）

＜学会シンポジウム＞1.スーパー錯視ブラザーズ：錯視図形によりプレイヤーの注意力を揺さぶるアクションゲーム（平成31年3月、インタラクシオン2019）／2.コトバーテル：日本語の曖昧さに着目した推理カードゲーム”（平成31年3月、インタラクシオン2019）

＜講演会・講習会活動＞第24回学生CGコンテスト 部門別トークイベント（アート部門）／アルスエレクトロニカトークセッション「PLAYWARE」／展示レクチャー「アルスエレクトロニカ イン ザ ナレッジキャピタル「PLAYWARE アルゴリズムでつくる遊び展」」

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞学生CGコンテストにおける審査（CG-ARTS）

### 松井 美穂

＜著書＞1.『ノンフィクションの英米文学』（共著、平成30年11月、金星堂、pp.305—321）

＜書評＞1.『フォークナー文学の水脈』（平成31年3月、北海道アメリカ文学、35号、pp.109—114）

＜学会役員就任状況＞日本アメリカ文学会（編集委員）／日本アメリカ文学会北海道支部（幹事）

＜所属学会・研究会＞日本英文学会／日本アメリカ文学会／日本カナダ文学会／アメリカ学会／日本ウィリアム・フォークナー協会／Faulkner Society／Carson McCullers Society

### 丸山 洋平

＜調査研究報告書＞1.高浜町の人口動態分析と将来人口推計（平成30年度報告書）（単著、平成31年3月、高浜町役場）／2.神奈川県2018年度人口問題等調査研究報告書（共著、平成31年3月、神奈川県庁）／3.さっぽろ健康スポーツ財団×札幌市立大学、『自主事業（教室）マーケティング 広報の現状把握、課題の解決方法の検討』（共著、平成31年3月、さっぽろ健康スポーツ財団、pp.39—44）／4.「よりよいホットライン」平成29年度報告書（共著、平成31年3月、社会的包摂サポートセンター、pp.221—233）

＜辞書・辞典＞1.人口学辞典（平成30年11月、丸善出版）

＜学会発表＞1.不詳が少ない住宅所有関係データの精度に関する考察（単独、平成30年6月、日本人口



学会第70回大会) / 2.人口移動の影響を考慮した親子同居の実質的地域差 (単独、平成30年9月、日本地理学会2018年度秋季学術大会) / 3.人口移動の影響を考慮した人口再生産指標の提案 (単独、平成30年11月、2018年人文地理学会大会) / 4.移動経験と生きづらさの関係に関する試験的分析～よりそいホットラインの継続支援相談者を対象として～ (単独、平成30年12月、2018年度第1回日本人口学会東日本地域部会)

＜学会座長就任状況＞日本人口学会第70回大会「自由論題C-2 東京の人口」 (単独、平成30年6月、日本人口学会) / 2018年度第1回日本人口学会東日本地域部会の前半 (単独、平成30年12月、日本人口学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.札幌市立大学研究論文集 SCU Journal of Design & Nursing 2019 (1件)

＜学会役員就任状況＞人口学研究会 (総務)

＜所属学会・研究会＞日本人口学会 / 日本家族社会学会 / 人文地理学会 / 日本地理学会 / 日本都市計画学会 / 北海道社会学会 / 人口学研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞人口移動研究プロジェクトの外部委員 (平成30年4月～平成31年3月、国立社会保障・人口問題研究所) / 将来人口推計に関する研究アドバイザー (平成30年4月～平成31年3月、新宿区新宿自治創造研究所) / 平成30年度神奈川県人口推計・分析共同研究会への参加 (平成30年4月～平成31年3月、神奈川県) / 「高浜町の人口動態分析と将来人口推計」プロジェクトへの参加 (平成30年4月～平成31年3月、福井県立大学) / 「北海道東北地方の曹洞宗寺院の将来像」プロジェクトで講演「日本の家族変動とその背後にある家族変動と人口分布変動」 (平成30年9月28日、東北福祉大学仏教文化研究所) / 平成30年度神奈川県地域人口研究会で講演「神奈川県の家族類型別の将来世帯推計の方法と市町村への適用」 (平成30年12月21日、神奈川県)

### 三谷 篤史

＜学術論文＞1. Development of a novel telecare system, integrated with plantar pressure measurement system (共著、ELSEVIER、12巻、pp.98—105) / 2. 口腔ケアシミュレータモデルの開発に現場が期待することの分析 (共著、平成30年6月、日本口腔ケア学会雑誌、13巻、1号、pp.43—47)

＜学会発表＞1. 現場が口腔ケアシミュレータモデルの開発に期待すること (共同、平成30年4月、第15回日本口腔ケア学会総会・学術大会) / 2. 道具の観点で見た歯科衛生士による専門的な口腔介護 (共同、平成30年4月、第15回日本口腔ケア学会総会・学術大会) / 3. 呼吸によって動作する人形を制作するワークショップの実施と評価～制作者の呼吸を検出するモジュールの開発とワークショップを通じた検証 (共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会) / 4. 継続的インタラクションを目的とした要介護高齢者のアート制作と心理評価 (共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会) / 5. 車椅子のクッションと肘掛の汚染度調査 (共同、平成30年6月、日本老年看護学会第23回学術集会) / 6. Identification of Contact Property between Soft-hard Materials (共同、平成30年11月、GTSD2018)

＜学会座長就任状況＞温泉療法最前線 (共同、平成30年10月、日本統合医療学会) / BS03-Automotive and Mechanical Engineering (共同、平成30年11月、GTSD2018)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. Proceedings of ROBIO2018 (8件、IEEE ROBIO 2018) / 2. Sensors (1件、MDPI) / 3. International Journal of Automation Technology (1件、Fuji Press) / 4. Sensors (1件、MDPI)

＜学会役員就任状況＞精密工学会北海道支部 (商議員) / 日本機械学会 (ロボティクス・メカトロニクス部門第2地区技術委員会委員) / 日本トライボロジー学会 (北海道トライボロジー研究会主査) / 精密工学会 (広報・情報専門部会)

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会 / 2018年度精密工学会秋季大会学術講演会

＜所属学会・研究会＞日本機械学会 / 日本デザイン学会 / 計測自動制御学会 / 米国電子電気学会 (IEEE) / 日本ロボット学会 / 日本感性工学会 / 精密工学会 / 北海道トライボロジー研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞サッポロ・ロボットコーナーへのロボット展示 (通年、札幌市青少年科学館) / フィールドクラブと共同開発した車椅子用クッションの展示「ユニバーサルデザインセミナー」 (平成30年4月21日、北のユニバーサルデザイン協議会) / 「道内高専・大学・公設



試 研究成果展示」ブースにおいて、フィールドクラブと共同開発した車椅子用クッション、および口腔ケアシミュレータの展示（平成30年9月5日～7日、精密工学会）／フィールドクラブと共同開発した車椅子用クッションの展示「国際福祉機器展2018」（平成30年10月10日～12日、フィールドクラブ、一般財団法人 保健福祉広報協会）／全国高等専門学校ロボットコンテスト2018北海道地区大会審判(主審)「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2018北海道地区大会」（平成30年10月28日、旭川高専、全国高等専門学校連合会、NHK、NHKエンタープライズ、後援、内閣府、文部科学省、日本機械学会、日本ロボット学会、電気学会）／産学官金研究交流会における講演（タイトル：おいしい食事・健康な体をもたらす良い姿勢を保つために—防水性・防汚性コーティングを活用した車椅子用クッションCOTEMALIの開発—）およびポスター・クッション展示（平成30年11月28日、札幌市立大学）／学生がデザインしたゆらぎ照明を用いたランプシェードの展示「ビジネスEXPO」（平成30年11月8日～9日、清水勸業株式会社、北海道 技術・ビジネス交流会 実行委員会）／第4回摂食嚥下カフェにて専門職従事者へ研究紹介タイトル：「ちょっと楽しい研究から何が見えるか？」（平成31年1月12日、ナーシングホーム気の里）／学生がデザインしたゆらぎ照明を用いたランプシェードの展示「第87回東京インターナショナル・ギフト・ショー春」（平成31年2月12日～15日、清水勸業株式会社、㈱ビジネスガイド社 インターナショナル・ギフト・ショー事務局）

### 森 朋子

＜著書＞1. 東京大学本郷キャンパス:140年の歴史をたどる（共著、平成30年6月、東京大学出版会、978-4130013505、pp.30—37、pp.42—45、pp.64—65、pp.88—89、pp.100—101、pp.108—119、pp.122—123、pp.126—127、pp.179—190）  
 ＜学会発表＞1. コカナにおける伝統的建造物の復興の実態（被災後2年半）（共同、平成30年9月、日本建築学会大会（東北））／2. カトマンズ盆地のネワール集落における伝統的町並みの残存状況（共同、平成30年9月、日本建築学会大会（東北））／3. カトマンズ盆地のネワール集落における集落空間の特徴分析（共同、平成30年9月、日本建築学会大会（東北））／4. National Identity Report on the Cultural Landscapes in Japan（単独、平成31年2月、アジア文化的景観連合）  
 ＜論文査読・学会抄録査読＞1. Proceedings of the 18th International Planning History Society Conference, vol 18, no.1 Yokohama, Japan（2件、国際都市計画史学会）  
 ＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本都市計画学会／アジア文化的景観連合／日本イコモス国内委員会（バッファゾーン小委員会幹事）  
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ヘリテージ・インパクト・アセスメント研修の企画および運営支援（平成31年3月11日・1日、ユネスコ・カトマンズ事務所）／ネパール・カトマンズ盆地における市長・行政担当者向け会議での講演「歴史的集落保全に関する第2回市長会議」（平成31年3月12日・1日、東京文化財研究所、ネパール・ラリトプル市）／ネパールにおける無形文化遺産の現状と課題に関する国際研究会でのコメンテーター（平成30年12月10日・1日、東京文化財研究所（神戸芸術工科大学より派遣依頼））

### 山田 信博

＜学術論文＞1. 夏季における中学生の想像温度と熱環境適応プロセスの関係（共著、平成31年2月、日本建築学会環境系論文集、756号、pp.171—178）  
 ＜調査研究報告書＞1. 地域課題に対応した公営住宅の活用（日本建築学会大会、建築社会システム部門パネルディスカッション論文集）（単著、平成30年9月、日本建築学会、pp.29—32）  
 ＜学会発表＞1. 高経年団地における居住者の実態把握 公的集合住宅団地の集約化手法に関する研究 その1（共同、日本建築学会）／2. 高経年団地における居住者の地域活動への参加特性 公的集合住宅団地の集約化手法に関する研究 その2（共同、日本建築学会）／3. 中学生の想像温度と熱環境適応プロセスの関係に関する考察（共同、日本建築学会）  
 ＜学会シンポジウム＞1. 地域課題に対応した公営住宅の活用（単独、平成30年9月、日本建築学会）  
 ＜論文査読・学会抄録査読＞1. 都市学研究（3件、北海道都市地域学会）／2. SCUジャーナル（1件、札幌市立大学）  
 ＜学会役員就任状況＞北海道都市地域学会（理事）  
 ＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本居住福祉学会／北海道都市地域学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞真駒内のまちづくりに関する事例を札幌市、UR都市再生機構と協議している（毎月1度、真駒内まちづくり協議会）／京都市向島ニュータウンの再生活動を行う団体へ専門知識に関する講義（向島ビジョン推進会議 暮らし安心WG）

### 山田 良

＜学術論文＞1.北海道の景観が引き出す環境芸術（共著、平成30年5月、環境芸術学会）／2.地域資源に気付きを与える環境芸術（共著、平成30年5月、環境芸術学会）／3.北海道におけるガーデンショー出展作品の空間特性に関する研究（共著、平成30年5月、環境芸術学会）

＜作品発表＞1.風の家／滝川（平成30年5月）／2.風の家／岩見沢（平成30年6月）／3.Italo Calvino / Invisible ities（平成30年7月）／4.紅桜アートアニュアル2018（平成30年8月）／5.風の家／千歳

＜学会発表＞1.風景に気付きを与える環境芸術（平成30年10月、環境芸術学会大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.環境芸術20（2件、環境芸術学会）

＜学会役員就任状況＞環境芸術学会（支部長）／日本建築学会（設計競技審査委員長）／日本建築学会（建築作品発表会委員）

### 石田 勝也

＜作品発表＞1.環境氷柱光壁（共同、平成31年2月、垂氷まつり）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞アイヌ語ラジオ講座検討委員としてアイヌ語講座の新メディア活用方法の検討（平成31年2月1日、(公財)アイヌ民族文化財団）

### 大島 卓

＜調査研究報告書＞1.北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究（平成31年2月、札幌市立大学）

＜その他の論文＞1.明治期以降に開設され、現存する牧場の歴史的・産業遺産的価値について（単著、平成30年8月、独立行政法人農畜産業振興機構346号、pp.2—6）／2.明治期以降に開設され、現存する牧場の歴史的展開について（単著、平成30年8月、株式会社酪農乳業速報夏季特集号、pp.20—26）

＜学会役員就任状況＞日本造園学会北海道支部（運営委員）

＜学術集会運営＞日本造園学会北海道支部大会

### 大淵 一博

＜調査研究報告書＞1.助産師教育における客観的臨床能力試験（OSCE）を用いた教育プログラムの開発・実践（共著、平成31年2月、札幌市立大学助産学研究科）

＜学会発表＞1.高齢者施設入居者の口腔環境と心臓血管リスク因子低下のための基礎的調査～口腔内アセスメントガイドを使用して～（共同、平成30年6月、第54回日本循環器病予防学会学術集会）／2.口腔粘膜ケア実施の有無によるOAGスコアとの関連に関するpilot study（共同、平成30年7月、第59回日本歯科医療管理学会学術大会）／3.介護福祉施設入居者の口腔の状態と機能及び口腔管理の実態～日本版 OAG を使用して～（共同、平成30年10月、第77回日本公衆衛生学会）／4.特別養護老人ホーム入居者の口腔の状態と機能及び口腔管理の実態～Oral Assessment Guide を使用して～（共同、平成30年10月、第70回北海道公衆衛生学会）

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会北海道支部（幹事：庶務担当）

＜学術集会運営＞感性フォーラム札幌2019／日本感性工学会北海道支部 学生発表会／芸術工学会 2019年度 秋期大会

＜所属学会・研究会＞電子情報通信学会／日本教育工学会／日本感性工学会／日本医療情報学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞システム開発協力（通年、札幌の美しい景観を考える会）／ソフトウェア利用に関する個別指導等・Webサイトデザイン制作協力（随時、札幌イメージコーディネート研究会）／イベント企画・運営・デザイン制作協力（平成30年5月～平成31年3月、北海道グレートサンタラン実行委員会）／Webページデザイン制作協力（平成30年8月～10月、札幌塗装工業協同組合）／Webサイトデザイン制作協力（平成30年10月～12月、特殊衣料）／札幌市長グリーティングカードデザイン審査会（平成30年10月18日、札幌市国際部）／パッケージデザイン制作協力（平成31年3月、社会福祉法人白老宏友会 多機能型事業所ポプリ）



## 片山 めぐみ

＜学術論文＞1. Case study of Ten-million House in Musashino City in Japan (共著、平成30年7月、international association people-environment studies、iaps25巻、pp.25—30) / 2. コミュニティ・レストランにおけるソーシャル・キャピタルの醸成:一寿都町「風のごはんや」の設置企画と評価 (単著、平成31年1月、デザイン学研究、65巻、3号、pp.31—36)

＜調査研究報告書＞1. パネルディスカッション シニア層が活躍する地域づくり:市町村職員研修会 シニア層の社会参加と地域づくり施策 (共著、平成30年5月、北海道市町村振興協会26巻、pp.55—57)

＜学会発表＞1. まちなか集客施設「SuBACo」改装ワークショップを通じた住民参加の手法 砂川市地域おこし協力隊によるまちづくり (共同、平成30年6月、日本建築学会北海道支部研究報告集)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 日本建築学会計画系論文集 (1件、一般社団法人 日本建築学会) / 2. デザイン学研究 (1件、日本デザイン学会)

＜学会役員就任状況＞日本建築学会北海道支部 (都市計画専門委会) / 人工知能学会 (仕掛学研究会運営委員会)

＜学術集会運営＞日本建築学会北海道支部研究会 / JSAI2019 (人工知能学会2019年度大会)

＜講演会・講習会活動＞子どもの居場所と地域の関わり (平成30年9月30日、石狩市) / 『ゆるワク! 地域生活のススメ』 (平成30年10月20日、浦河町、北海道) / 『ゆるワク! 地域生活のススメ』 (平成31年2月16日、小樽市、北海道)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞講義「コミュニティレストランの運営」 (平成30年9月3日、壮瞥町商工会) / 「皿鉢料理を囲みながら自分たちの生きがいの場づくり」 (平成31年3月2日、壮瞥町商工会)

## 金 秀敬

＜学術論文＞1. Designing User Experiences Focused on Multimodal Perception (単著、平成30年6月、Linköping Electronic Conference Proceedings、2018巻、146号、pp.454—463) / 2. 食と色彩の関係に着目したミントカラーの魅力に関する研究 (共著、平成31年2月、日本感性工学会) / 3. 「まちなかの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動—「まちなかの健康公園室」継続利用による効果検証— (共著、平成31年3月、SCU Journal of Design & Nursing、13巻、1号、pp.3—15) / 4. Rethinking Design-Doing Focused on Design-Learning (共著、平成31年3月、Design Principles & Practices)

＜著書＞1. Enhancing User Experience with Embodied Cognition (単著、平成31年3月、Springer Nature Switzerland AC、978-3-030-02052-1、pp.123—129)

＜調査研究報告書＞1. 「拡張キャンパス型地域連携」による過疎市町村の自律的創生デザイン研究 H29年度科学研究実績報告書 (H31.5) (共著、平成31年3月、(財)日本学術振興会) / 2. 「情報干渉」に着目した、複数知覚情報の検証と応用方法に関する研究 (単著、平成31年3月、公立大学法人札幌市立大学)

＜学会発表＞1. 「まちなかの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の効果検証～健康関連QOLの視点から～ (共同、平成30年12月、日本看護科学学会) / 2. COC事業「まちなかの健康応援室」利用者がとらえる継続利用の有用性 (共同、平成30年12月、日本看護科学学会)

＜学会座長就任状況＞Human-System and Interface Design I (平成30年10月、IHSED)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. International Journal of Affective Engineering (3件、日本感性工学会) / 2. SCU Journal of Design & Nursing (1件、公立大学法人札幌私立大学)

＜学会役員就任状況＞Design Society (委員) / Design Principles & Practices (委員) / 日本感性工学会 (感性工学会北海道支部運営委員) / 日本感性工学会 (委員) / 日本デザイン学会 (委員)

＜学術集会運営＞感性工学会北海道支部 (感性フォーラム札幌2018) / 感性工学会北海道支部 (感性フォーラム札幌2019) / IHSED2018 / 感性工学会北海道支部 (感性フォーラム札幌2020) / 学生会 第6回研究発表会 / 学生会 第7回研究発表会

## 小宮 加容子

＜作品発表＞1. ユニバーサル製品の提案 (共同、平成30年4月、北のユニバーサルデザイン協議会ユニバーサルデザインセミナー) / 2. ユニバーサル製品の提案 (共同、平成30年11月、ビジネスEXPO)



＜学会発表＞1.探究心を成長させる遊び「わくわくひろがる星の子たんけんたい」の活動報告（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回研究発表会）／2.ユニバーサルな参加・蓄積型の遊び「テーブルであそぼ」の提案とその活動報告（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回研究発表会）／3.論理的思考を促す遊び「想像しよう！生き物たちのすみか」の活動報告（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回研究発表会）／4.複数の感覚と体の動きをつなげる遊び「オトノイエ」の活動報告（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回研究発表会）／5.地域創生に向けたユニバーサル製品（プロトタイプ）の提案（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回研究発表会）

＜学会研究発表＞1.地域創生に向けたユニバーサル製品（プロトタイプ）の提案（共同、平成30年11月、SCU産学官金研究交流会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本デザイン学会第65回研究発表会梗概集（71件、日本デザイン学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（春季研究発表大会概要集編集委員会）

＜所属学会・研究会＞ヒューマンインタフェース学会／日本科学看護学会／日本リハビリテーション工学協会／日本機械学会／日本福祉のまちづくり学会／日本デザイン学会

＜講演会・講習会活動＞シェアキッズワークショップ2018「北海道ってどんな色？君だけのうちわづくり」（平成30年8月5日、㈱クレオテック）

## 須之内 元洋

＜実務関係書＞1.「どうしよう」からはじめるアーカイブ 作品を記録し、伝える方法（共著、平成31年3月、みずのき美術館+鞆の津ミュージアム+はじまりの美術館）

＜書評＞1.企業の遺伝子 第3号（平成30年6月、クオン㈱）

＜作品発表＞1.「アートと障害のアーカイブ・京都」デジタルアーカイブ（共同、平成30年9月、平成30年度 共生の芸術祭「アートと障害のアーカイブ・京都」）

＜学会発表＞1.長期的なデジタル文化資源運用のためのシステムマイグレーションフローチャートの構築に向けて：森正洋デザインアーカイブを例として（単独、平成31年3月、デジタルアーカイブ学会第3回研究大会）

＜所属学会・研究会＞ACM／デジタルアーカイブ学会／芸術科学会／情報処理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイヴ企画・構築支援（みずのき美術館）／福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイヴ企画・構築支援（鞆の津ミュージアム）／福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイヴ企画・構築支援（はじまりの美術館）／陶磁器デザイナー森正洋氏のデジタルアーカイヴ構築アドバイス・支援（合同会社森正洋デザイン研究所）／アール・ブリュットアーカイブの運用・構築、展覧会「共生の芸術祭」サポート（京都府）／SIAF LABの運営支援（札幌国際芸術祭実行委員会）／アール・ブリュットアーカイブに関するフォーラムの運営・モデレーターなど（日本財団）／天神山アートスタジオのウェブ広報支援（さっぽろ天神山アートスタジオ）／ラジオ番組の選曲企画・選評（㈱QON）／文化庁人材育成プログラム 講師 続けるための記録について AIR勉強会001（AISプランニング）

## 福田 大年

＜調査研究報告書＞1.新ゾウ舎およびホッキョクグマ館の各展示技術の効果に関する研究（平成31年3月、札幌市立大学）

＜作品発表＞1. Tap Behavior—スクリーンを越えた体験のデザイナー（共同、平成30年8月、イノベーション・ジャパン2018～大学見本市&ビジネスマッチング～）／2. デジタル絵本をつくろう！iPadで体験型ワークショップ（共同、平成30年10月、ジュニア・プログラミング・ワールド2018 with TEPIA）／3. Tap Behavior（共同、平成31年2月、Tap Behaviorでスクリーンを飛び出した体験をつくろう！）

＜学会発表＞1.参加型デザインワークショップでのフラットな関係構築にデザイン系学生が果たす役割（共同、平成30年7月、日本デザイン学会研究発表大会概要集）／2.参加型デザインワークショップがデザイン系学生にもたらす効果の考察（共同、平成30年12月、共創学会第2回年次大会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会 第1支部会（平成30・31年度 幹事）／日本デザイン学会（平成30・31年度 評議員）



＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／ヒューマンインタフェース学会／共創学会／日本福祉のまちづくり学会／情報文化学会

＜講演会・講習会活動＞バイオミメティクス市民セミナー(第80回)北海道とバイオミメティクスを考える その4「デザインとバイオミメティクス」(平成30年8月4日、北海道大学総合博物館)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ライフスタイル事業創出プロジェクトにおけるリサーチおよびサービスプロトタイピングの協力(平成30年6月～平成30年12月28日、ライオン株式会社、株式会社アイ・エム・ジェイ)／厚真町企画デザインセミナー(平成30年6月7日～8月25日、厚真町)／保健だよりで情報をうまく伝えるコツ「学校保健」研修講座(平成30年8月28日、後志教育研修センター)／厚真町復興PR事業(平成30年9月27日～平成31年3月31日、厚真町)／自主事業マーケティングの支援・助言(平成30年12月～平成31年3月31日、(財)さっぽろ健康スポーツ財団)／イラストデザインの制作(平成30年12月～平成31年3月31日、(財)さっぽろ健康スポーツ財団)／ジバとデザイン～パッケージやチラシだけじゃない?! 地場産業の価値を高めるデザインとの付き合い方「食品企業向けパッケージデザインセミナー」(平成31年2月5日、旭川食品産業支援センター)／「対話するスケッチ」でアイデアを出してみよう!!「クルクルスケッチ」によるアイデア生成プロセスを体験する「OthloEvent(学生限定)UXデザイン講座」(平成31年2月16日、Othlotech、(株)アクアリング)／教材掲載用の問題作成、吟味および監修や教材に関わる資料へのアドバイザー「P検リニューアル」(平成31年3月8月～、(株)ベネッセコーポレーション)／オーラルケア啓発学習プログラムの開発・効果検証・評価の協力(平成31年3月11日～令和2年3月31日、(財)ライオン歯科衛生研究所)

### 松永 康佑

＜著書＞1.ProcessingによるCGとメディアアート(共著、平成30年12月、講談社、4065129745、pp.202—244)

＜作品発表＞1.Platomino(単独、平成31年2月、アジアデジタルアート大賞展FUKUOKA)

＜受賞等＞1.優秀賞(エンターテインメント(産業応用)部門)(平成31年2月、2019アジアデジタルアート大賞展実行委員会)

＜学会発表＞1.Sense of non-presence(共同、平成30年9月、ADADA学会)／2.正二十面体を用いた色合わせ立体パズルゲーム「Platomino」(共同、平成31年3月、インタラクシオン2019)／3.足裏への音圧刺激による雪上歩行感の表現 さっぽろ雪まつりアーカイブ(共同、平成31年3月、インタラクシオン2019)

＜学会座長就任状況＞情報デザイン(単独、平成30年9月、ADADA学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.ADADA International Journal(8件、ADADA学会)

＜学会役員就任状況＞ADADA学会(理事)

＜学術集会運営＞ADADA Japan 2018

＜所属学会・研究会＞ADADA学会(アジアデジタルアートアンドデザイン学会)／日本図学会／日本デザイン学会／ACM SIGGRAPH

### 金子 晋也

＜学術論文＞1.FRAMING SYSTEMS AND TERMINOLOGY OF THE ROOF STRUCTURE IN JAPANESE AND BRITISH VERNACULAR HOUSES(共著、平成30年10月、日本建築学会計画系論文集、752巻、pp.1919—1928)／2.1980年代以降の昆布漁の変遷からみた番屋の変容—北海道目梨郡羅臼町カモイウンベ地区の調査(共著、平成31年3月、生活学論叢、34号、pp.31—40)

＜調査研究報告書＞1.札幌市立大学芸術の森キャンパスの地域特性からみたキャンパス整備計画と教育プログラムの開発に関する研究(共著、平成31年3月、札幌市立大学)

＜学会発表＞1.明治期から昭和初期における木造の武道場の空間構成(共同、平成30年7月、日本建築学会)／2.英米の二階建て伝統的木造住宅における部材用語の比較 日本と欧米諸国における木造建築構法の変遷過程に関する比較研究 その5(共同、日本建築学会)／3.北海道と米国におけるギャンブレル屋根畜舎の木造建築構法 日本と欧米諸国における木造建築構法の変遷過程に関する比較研究 その6(共同、日本建築学会)／4.函館市西部地区における住宅建築の活用実態に関する調査(単独、芸術工学会)／5.羅臼町カモイウンベ地区における漁業小屋の生活空間(共同、日本生活学会)

＜学会研究発表＞1.寒冷地の住宅建築の活用実態と変容過程に関する研究(平成30年8月、札幌市立大

学内研究交流会)

- <学会役員就任状況> 日本建築学会 (計画委員会) / 日本建築学会北海道支部 (歴史・意匠委員会)
- <学術集会運営> 日本建築学会木造建築構法小委員会研究会 / 2019芸術工学会秋季大会の誘致・企画 / 日本建築学会北海道支部の企画 / 日本建築学会建築計画ワーキング比較木造建築研究会
- <所属学会・研究会> 日本建築学会 / 芸術工学会 / 日本生活学会 / 在宅ケア学会 / NPO木の建築フォーラム
- <専門職者・企業・展覧会等への支援> 修士研究に関する専門知識の提供、建築調査指導、論文アドバイス (通年、札幌市立大学デザイン研究科) / 2018年度卒業設計優秀作品賞 (平成31年2月～3月、日本建築学会北海道支部) / ミーティングの運営、企画のアドバイスなど (平成30年7月11日、10月3日、12月5日、くらしラボまこまない) / ストリートファニチャー設置に関するデザイン監修 (平成30年9月、札幌市土木課) / 2019芸術工学会秋季大会ポスター学内コンペ (平成31年2月28日) / 旧増毛小学校体育館の建築調査 (平成30年8月31日、増毛町教育委員会) / 研修会 (平成30年9月14日、中小企業家同友会札幌支部) / はまます郷土資料館 (旧白鳥家番屋) の建築調査 (平成30年9月15日、石狩市教育委員会) / 和歌山武徳殿の建築調査 (平成30年9月18日、和歌山市教育委員会) / 研究協力、北海道におけるアイヌ文化に関する専門知識の提供 (平成30年10月5日、武庫川女子大学住環境・地域デザイン研究室) / 旧木村家番屋の建築調査 (平成30年10月21日、ごきびる番屋サポートの会) / 芸術工学奨励賞 (平成30年10月27日、芸術工学会) / 第25回大会卒業作品展2018 (平成30年11月14日・5日間、日本インテリア学会) / 修士研究に関する専門知識の提供 (平成30年11月28日、北海道大学工学研究院 建築都市空間デザイン部門 空間計画分野)

## 田島 悠史

- <学術論文> 1. 「ワークショップ<sup>o</sup> からコンサルティング<sup>o</sup> へ～人口減少社会における少人数創作ワークショップ<sup>o</sup> の提案～」 (単著、平成31年3月、宝塚大学)
- <実践報告書> 1. トリックアートde賑わい創出事業 2018年度 事業成果報告書 (平成31年3月、伊藤商工会議所)
- <作品発表> 1. (木津川アート2018、平成30年9月)
- <学会発表> 1. ワorkshopからコンサルティングへ～人口減少社会における新しいワークショップの提案 (単独、平成30年7月、日本美術教育学会第67回三重大会) / 2. クリエイターによる地域デザイン手法の提案～東京都新宿区の事例を通して～ (単独、平成30年9月、地域デザイン学会2018年度第7回全国大会) / 3. 静岡県伊東市における、サイトスペシフィックなトリックアート事業のプロデュース (単独、平成30年9月、環境芸術学会第19回大会) / 4. アートプロジェクトとアウトカム部会2018年度報告 (共同、平成30年9月、環境芸術学会第19回大会)
- <論文査読・学会抄録査読> 1. 芸術科学会論文誌 (NICOGRAPH2018) (1件) / 2. 環境芸術学会誌 (1件)
- <専門職者・企業・展覧会等への支援> アドバイザーとして運営全体にアドバイスを実施 (調査研究を兼ねる) (みなとメディアミュージアム) / 専務理事として運営全体に関与 (調査研究を兼ねる) ((社)新宿メディア芸術地域活性化推進協会)

## 矢久保 空遥

- <学会発表> 1. エゴグラムにみるアートプロジェクト型ワークショップの効果 (共同、平成30年6月、日本デザイン学会) / 2. 拡張キャンパス型地域創生デザインの試行「ツーリズム」 (共同、平成30年6月、日本デザイン学会) / 3. 地域創生デザインの為のGPSロガーの試用と動作評価 (共同、平成30年6月、日本デザイン学会) / 4. 訪問看護で注射器等を安全に廃棄できる携帯用医療廃棄物容器の開発 (共同、平成30年10月、日本デザイン学会)
- <学会研究発表> 1. おじさんハンコつくりました-ゴムを素材とする北海道土産の開発- (平成30年11月、札幌市立大学産学官金研究交流会)
- <学会座長就任状況> 日本デザイン学会第65回大会 (日本デザイン学会)
- <学術集会運営> 日本感性工学会 感性フォーラム
- <所属学会・研究会> 日本デザイン学会 / 日本音響学会 / 日本感性工学会 / 日本サウンドスケープ協会
- <講演会・講習会活動> 帯広緑陽高校での出前授業 (平成30年7月19日) / 共同求人委員会懇談会「札



幌市立大学でのインターンシップ実践報告・現状と課題,展望-」(平成30年11月26日)

<専門職者・企業・展覧会等への支援>ものづくりテクノフェアへの出展「おじさんハンコつくりました」(平成30年7月26日) / ビジネスEXPOへの出展

## 看護学部

### 樋之津 淳子

＜その他の論文＞1.病院で行われている注射準備時の針交換の現状と課題（共著、平成30年4月、日本看護技術学会誌17巻、1号、pp.18—25）／2.看護師と看護学生の手の使い方の違い—体位変換技術における手指・手掌の接触部位にかかる力に焦点を当てて—（共著、平成30年9月、日本看護研究学会誌41巻、4号、pp.783—794）

＜特許・意匠登録＞1.人体移動用の補助具（平成31年2月）

＜学会発表＞1.客観的臨床能力試験（OSCE）の導入と実際（単独、平成30年6月、第57回日本生体医工学会大会）／2.大学と病院をつなぐ遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果と課題 第3報—教育担当者への研修2か月後インタビューから—（共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会学術集会）／3.看護基礎教育の講義・演習に研修として参加した中堅看護師の学習効果と課題（共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会学術集会）／4.大学と病院を遠隔授業でつなぐ中堅看護師研修の効果と課題 第2報—受講者の研修2か月後グループインタビューから—（共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会学術集会）／5.大学と病院を遠隔授業でつなぐ中堅看護師研修 第1報—レディネス把握にむけた事前調査—（共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会学術集会）／6.看護コンソーシアム構築に向けて方策を探る—大学と医療施設のつながりによる継続教育支援への新たなモデル展開—（共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会学術集会）／7.大学と地方の病院をスカイプによる遠隔授業で繋いだ中堅看護師研修の実践報告（共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会）／8.学生が看護師とともに学んだ授業の意味—看護倫理学の授業を遠隔地とつないだ教育実践から—（共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会）

＜学会座長就任状況＞第4会場 第14群 看護教育（継続教育）（平成30年8月、日本看護研究学会第44回学術集会）／末梢静脈カテーテル留置の看護技術（平成30年10月、第6回看護理工学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護技術学会誌（1件、日本看護技術学会）／2.第38回日本看護科学学会学術集会講演集（5件、日本看護科学学会）／3.看護人間工学研究誌（1件、日本人間工学会看護人間工学部会）／4.日本看護科学学会誌（1件、日本看護科学学会）

＜学会役員就任状況＞日本看護研究学会（一般社団法人日本看護研究学会北海道地方会会長）／看護理工学会（評議員・監事）／日本看護技術学会（評議員）／日本看護研究学会（評議員）／日本人間工学会看護人間工学部会（総務）／日本看護科学学会（社員（代議員））

＜学術集会運営＞日本看護研究学会第46回学術集会企画委員

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本人間工学会／日本人間工学会看護人間工学部会／看護理工学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究会の運営委員、意見交換（北のケア環境研究会）

### 松浦 和代

＜調査研究報告書＞1.医療・福祉施設木材利用促進検討委員会およびWG成果報告書（共著、平成31年3月、(社)木を活かす建築推進協議会）

＜受賞等＞1.NICUにおける入院児の父親の親性に対するエキスパート看護師のアセスメントの視点と看護 学術優秀賞（平成30年11月、日本新生児看護学会）

＜学会発表＞1.モンゴル国におけるDDH予防研修会参加者の満足度評価（共同、平成30年8月、日本小児看護学会）

＜学会座長就任状況＞在宅呼吸ケアと医療的ケア児の呼吸管理上の問題点・地域連携の現状平成30年9月、日本小児呼吸器学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本小児呼吸器学会第51回日本小児呼吸器学会抄録集（5件、日本小児呼吸器学会）／2.日本小児看護学会第28回学術集会講演集（5件、日本小児看護学会）／3.日本看護科学学会第38回学術集会講演集（4件、日本看護科学学会）／4.日本小児看護学会誌（1件、日本小児看護学会）

＜学会役員就任状況＞日本小児看護学会（社員（評議員））／日本看護科学学会（代議員）／全国病弱研究会（北海道地区世話人）／北海道学校保健学会（理事）／北海道成育看護研究会（理事長）／北海道小児保健研究会（評議員）



<学術集会運営>日本小児看護学会第29回学術集会／北海道成育看護研究会／北海道学校保健学会  
 <所属学会・研究会>日本小児看護学会／日本小児保健学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／  
 日本学校保健学会／日本糖尿病教育・看護学会／日本母性衛生学会／日本新生児看護学会  
 <講演会・講習会活動>小児看護OSCE研修会（平成30年11月17日、札幌市立大学看護学部小児看護  
 学領域）  
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>実地指導者研修「新人看護職員の学習支援」（平成30年6月12  
 日・14日、札幌医科大学附属病院）

### 川村 三希子

<調査研究報告書>1.専門的緩和ケア看護師教育プログラム受講後の臨床実践における変化 自己評価  
 と他者評価（共著、平成30年9月、木村看護教育振興財団看護研究集録、25号、pp.1—22）  
 <その他の論文>1.「すべてが抜けて体がなくなってしまう」という不安と孤独のなか、亡くなった思  
 春期男児に必要なこと（共著、平成30年6月、死の臨床、41巻、1号、pp.150—151）  
 <実務関係書>1.ELNEC-Jコアカリキュラム改訂（平成30年4月、日本緩和医療学会）／2.専門的緩和  
 ケア教育プログラム（SPACE-N）改訂（平成30年4月、日本ホスピス緩和ケア協会）  
 <学会発表>1.専門的緩和ケア看護師教育プログラムの有効性の検証 臨床実践における自己評価と他  
 者評価（共同、平成30年6月、日本緩和医療学会）／2.在宅療養中の高齢がん患者のがん疼痛の体験と  
 方略（共同、平成31年2月、がん看護学会）／3.抗がん治療中止を告げられた進行・再発がん患者に対  
 する意思決定支援の実態と影響要因（共同、平成31年2月、がん看護学会）／4.頭頸部がん患者の化学  
 放射線療養に伴う口腔粘膜圏の痛みのマネジメントにおける看護師の困難（共同、平成31年2月、がん  
 看護学会）  
 <学会座長就任状況>1.倫理的な組織文化を育むために（平成30年6月、第20回日本医療マネジメント  
 学会）／2.終末期ケアのエビデンス（平成30年6月、第23回日本緩和医療学会）  
 <論文査読・学会抄録査読>1.日本がん看護学会（4件、第33回日本がん看護学会）／2.日本緩和医療  
 学会（15件、第24回日本緩和医療学会）／3.日本看護科学学会誌（3件）／4.日本看護科学学会誌（4  
 件、第38回日本看護科学学会）／5.日本死の臨床研究会（1件）  
 <学会役員就任状況>日本ホスピス緩和ケア協会（理事）／日本緩和医療学会（代議員）／日本死の臨  
 床研究会（編集委員）／日本緩和医療学会北海道支部（運営委員）／日本がん看護学会（代議員）／日  
 本看護科学学会（和文査読委員）／日本がん看護学会（査読委員）／日本ホスピス緩和ケア協会北海道  
 支部（役員）  
 <学術集会運営>日本統合医療学会／日本緩和医療学会北海道支部大会  
 <所属学会・研究会>日本緩和医療学会／日本がん看護学会／日本死の臨床研究会／日本看護科学学会  
 ／日本老年看護学会／日本ホスピス緩和ケア協会／European Association for Palliative Care  
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>将来に亘って持続可能ながんの療養に関する情報 原稿査  
 読（痛み）（厚労科研）／将来に亘って持続可能ながんの療養に関する情報 原稿査読（悪心・嘔  
 吐）（厚労科研）／SPACE-Nフォローアップ研修会（平成30年7月、日本ホスピス緩和ケア協会）／  
 ELNEC-J高齢者プログラム（平成30年7月28日～30日、北海道看護協会）／ELNEC-Jコアカリキュ  
 ラム看護師教育プログラム「エンド・オブ・ライフ研修会」（平成30年8月22日～24日、北海道看護協  
 会）／専門的緩和ケア看護師教育プログラム 進行役（平成30年9月～12月、日本ホスピス緩和ケア協  
 会）／ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム モジュール4（平成30年11月3日、北海道  
 がんセンター）／ELNEC-J指導者養成プログラム 講師 ファシリテーター（平成31年2月16日～17  
 日、日本緩和医療学会）

### 中村 恵子

<受賞等>1.第20回総会において学会功労者表彰を受ける（平成30年8月、(社)日本災害看護学会）  
 <学術論文>1.Evaluation of inter-rater reliability and accuracy of the fall Risk Behavior Assessment  
 Tool (FABA-Tool) for Prediction of prediction of The risk of fall（共著、平成30年6月、Journal of  
 Medical Safety）  
 <学会発表>1.大学と地方の病院をスカイプによる遠隔授業で繋いだ中堅看護師研修の実践報告（共  
 同、平成30年8月、日本看護学教育学会第38回学術集会）／2.学生が看護師と共に学んだ授業の意味



- 看護倫理学の授業を遠隔地とつないだ教育実践から- (共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第38回学術集会) / 3. 経験3年以下の看護師が手術室勤務を継続する過程 (共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会学術集会) / 4. コーパス分析に基づく救急看護教育支援のために看護学生の実習記録から抽出した600語 (共同、平成30年10月、日本救急看護学会学術集会) / 5. A大学認定看護管理者教育課程サードレベルにおける効果と課題第1報受講修了後の活動状況 (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会) / 6. A大学認定看護管理者教育課程サードレベルにおける効果と課題第2報受講修了生の認識に視点をあてて (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会) / 7. Identifying direct care competencies of the critical care certified nurse specialist in Japan (共同、平成31年1月、EAFONS Conference (シンガポール))

<論文査読・学会抄録査読> 1. 日本看護管理学会誌 (6件、(-社)日本看護管理学会) / 2. 日本看護科学学会 (5件、(公)日本看護科学学会) / 3. 日本看護学教育学会誌 (4件、(-社)日本看護学教育学会)

<学会役員就任状況> (公)日本看護科学学会 (社員) / (-社)日本看護管理学会 (社員) / (-社)日本看護学教育学会 (社員) / NPO法人地域の包括的な医療に関する研究会 (理事、社員 (評議員))

<所属学会・研究会> (-社)日本看護研究学会 / (-社)日本看護学教育学会 / (-社)日本看護管理学会 / (-社)クリティカルケア看護学会 / (公)日本看護科学学会 / (-社)日本救急看護学会 / (-社)日本臨床救急医学会 / NPO法人地域の包括的な医療に関する研究会 / 北の療養環境研究会 / Doコーチング研究会

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 看護職への啓発・研修 (医療安全ワークショップ) 講師「職場のパワーハラスメントー行き過ぎる指導」 (平成30年12月1日、北海道看護協会)

### 猪股 千代子

<学会発表> 1. CARING potential of a multidisciplinary collaborative health promotion program using music and nursing therapy, and introduction of the “HAMANASU” Music & Nursing Therapy Association (単独、平成30年12月、The 6th World Integrative Medicine Congress (WIMCO 2018), co-hosted by Chinese Association of Integrative Medicine and Shanghai Association for Science and Technology.)

<学会招聘講演> 1. ケアリングと癒しの統合医療看護の探究 (大会長講演) (単独、平成30年10月、日本統合医療学会)

<学会座長就任状況> エビデンスとナラティブに基いた医療とケアーその人にとっての最善を考える (単独、平成30年6月、日本医療マネジメント学会) / 日本統合医療学会サマーセミナー (単独、平成30年7月、日本統合医療学会) / 人工知能とインテグラティブヘルス (単独、平成30年10月、日本統合医療学会) / IMJ理事長としての6年間 (単独、平成30年10月、日本統合医療学会)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 日本統合医療学会誌 (5件、日本統合医療学会) / 2. 日本医療マネジメント学会誌 (5件、日本医療マネジメント学会)

<学会役員就任状況> 日本統合医療学会 (理事) / 日本看護管理学会 (評議員) / 日本医療マネジメント学会 (評議員) / 日本統合医療学会北海道支部 (副会長) / 日本統合医療学会北海道統合医療研究会 (会長) / ハマナス音楽&看護療法研究会

<学術集会運営> 第22回日本統合医療学会学術大会 (2018年、札幌) / 第18回日本ヨーガ療法学会研究総会 (2020年札幌) 誘致決定し準備

### 卯野木 健

<学術論文> 1. Physical restraints in intensive care units: a national questionnaire survey of physical restraint use for critically ill patients undergoing invasive mechanical ventilation in Japan (共著、平成30年12月、Acute Med & Surg)

<その他の論文> 1. のどの渇き もっときちんと評価すべき患者のつらい症状 (平成30年5月、ICNR) / 2. PICSの理解に向けて (平成30年11月、看護技術) / 3. フィジカルアセスメント総論 (平成31年2月、ICNR) / 4. 「家族ケア」「家族対応」をめぐる (平成31年2月、ナーシング)

<解説文> 1. 相次ぐインシデントに対する管理者の嘆き (平成30年5月、ICNR) / 2. 蛋白の代謝と必要エネルギー量 (平成30年5月、ICNR) / 3. 研究の意義をどこに見出したら良いのでしょうか (平成30年8月、ICNR) / 4. 投与エネルギーと経路を決めるまで (平成30年8月、ICNR) / 5. 大学院とかに行かずに英語論文を読もうとすることは無謀なことでしょうか (平成31年2月、ICNR)



＜学会発表＞1.人工呼吸中の身体拘束に関する実態と影響因子に関する検討-Webアンケートによる全国調査結果（共同、平成31年2月、日本集中治療医学会学術集会）／2.気管挿管中に強い口渇感を訴えた2症例とその要因に関する文献検討（共同、平成31年2月、日本集中治療医学会学術集会）／3.本邦の鎮静・鎮痛・せん妄管理とPICS予防に関する実態調査（共同、平成31年2月、日本集中治療医学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.クリティカルケア領域の看護師に必要な薬の知識-PADガイドラインから（平成30年10月、日本薬理学会-看護薬理学カンファレンス）／2.集中治療における薬剤有害事象とリスクマネジメント～薬剤の安全管理を考える（平成31年2月、日本集中治療医学会学術集会）

＜学会招聘講演＞1.急性脳機能障害（平成30年8月、日本集中治療医学会関東甲信越地方会）／2.Post-Intensive Care Syndrome（平成30年10月、看護理工学会）

＜学会座長就任状況＞クリティカルケア領域における看護師の育成-大人の学びを支援する（平成31年2月、日本集中治療医学会学術集会）／一般演題-リハビリテーション（平成31年2月、日本集中治療医学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.人工呼吸（2件、日本呼吸療法医学会）

＜学会役員就任状況＞日本呼吸療法医学会（社員）／日本呼吸療法医学会（代議員審査委員）／日本呼吸療法医学会（RSTプロジェクト）／日本集中治療医学会（敗血症ガイドライン作成WG）

＜学術集会運営＞日本創傷・オストミー・失禁管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞セミナー開催（日本離床研究会）／セミナー開催等（日本集中治療教育研究会）

### 小田 和美

＜学会発表＞1.「看護の教育的関わりモデル」開発から23年（共同、平成30年7月、日本慢性看護学会）／2.困った患者と思いませんか？一見せませぬ熟練看護師のプロの技（共同、平成30年9月、日本糖尿病教育・看護学会）／3.糖尿病患者における皮下硬結の有無とインスリン自己注射部位の選択理由との関係（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本保健医療行動科学会（1件、日本保健医療行動科学会）

＜学会役員就任状況＞日本保健医療行動科学会（評議員）

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会 北海道大会（平成30年10月）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本糖尿病教育・看護学会／日本保健医療行動科学会／日本糖尿病学会／日本糖尿病妊娠学会／日本看護研究学会／日本看護管理学会／日本慢性看護学会／日本看護学教育学会／日本循環器看護学会／日本がん看護学会／千葉看護学会／日本老年行動科学会／日本心身医学会

### 菊地 ひろみ

＜その他の論文＞1.多発性硬化症患者の抑うつ症状に対する認知行動療法の試み（共著、平成31年2月、難病と在宅ケア、24巻、11号、pp.13—16）

＜学会発表＞1.Influence of teachers' research-support activities on their own educational-research activities（共同、平成30年7月、6th Annual International conference on Worldwide Nursing）／2.多発性硬化症患者に対する認知行動療法のパイロットスタディ（単独、平成30年7月、第23回日本難病看護学会学術集会）／3.在宅看護学のOSCEによる3年次技術到達度の評価（共同、平成30年8月、第29回日本看護学教育学会学術集会）／4.A survey of clinical nurses' research needs for faculty support（共同、平成30年10月、6th Annual Conference on Management and Social Science）／5.大学の研究支援を受けた看護師の看護実践の成果と課題 ～研究に取り組んだ看護職への調査～（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／6.COC事業「まちの健康応援室」利用者がとらえる継続利用の有用性（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／7.COC事業「まちの健康応援室」における有資格ボランティアと教員による継続的な健康づくり支援の内容（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／8.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の効果検証～健康関連QOLの視点から～（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／9.「まちの健康応援室」の継続利用による健康支援活動の効果検証（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）



＜学会シンポジウム＞1.地域と大学の協働による在宅看護人材育成（平成30年10月、第70回北海道公衆衛生学会学術集会）／2.療養者、家族の不調の背後にあるものを探る（単独、平成30年11月、第23回日本心療内科学会総会・学術大会）

＜学会座長就任状況＞第6群「慢性期看護・在宅看護」（単独、平成30年6月、平成30年度北海道看護研究学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本難病看護学会／日本難病医療ネットワーク学会／日本在宅ケア学会／日本在宅看護学会／日本がん看護学会／日本看護研究学会

＜講演会・講習会活動＞札幌厚生病院看護研究導入講義「看護研究の基本と研究プロセスの理解」（平成30年6月10日、札幌厚生病院看護部）／雇用管理改善交流会「「看護と介護の連携について」～看護と介護の連携で見えてくる高齢化社会への対応策～」（平成31年2月22日、介護労働安定センター）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究支援（札幌厚生病院）／訪問看護スキルアップ講座（札幌市立大学）

### 喜多 歳子

＜学術論文＞1.保護者による家庭内性教育に関する文献レビュー：家庭内性教育に対する親の意識・実態・影響要因の検討（共著、平成31年3月、北海道公衆衛生雑誌、32巻、2号、pp.35—42）

＜学会発表＞1.交流集会「SCU患者セミナー」を中核とした地域協奏型模擬患者育成システムの検討（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）／2.社会経済状態と18か月の子を持つ母親の育児ストレスとの関連（単独、平成31年1月、日本公衆衛生看護学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.International Archives of Occupational and Environmental Health（1件）／2.北海道公衆衛生雑誌（1件、北海道公衆衛生学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（理事）／日本産業衛生学会北海道地方会（編集委員）

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会

＜講演会・講習会活動＞日・フィンランド市民交流セミナー

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞公衆衛生に関する調査研究、活動助成、関係団体との連絡調整、公衆衛生意識の普及啓発等（北海道公衆衛生協会）

### 定廣 和香子

＜学会発表＞1.Development and diffusion of an Art in Hospital model with spatial therapeutic treatment effects inJapan（共同、平成30年6月、Sigma Theta Tau European Conference）／2.Art in Hospital《風の家/Breathing House》の継続とエビデンス（共同、平成30年11月、アートミーツケア学会）／3.公開講座「SCU患者セミナー」を中核とした地域協奏型模擬患者育成システム（共同、平成30年12月、日本看護科学学会第38回学術集会）

＜学会座長就任状況＞第28回日本看護学教育学会学術集会（平成30年8月、日本看護学教育学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.看護教育学研究（1件、日本看護教育学学会）／2.Japan Journal of Nursing Science（1件、日本看護科学学会）／3.日本看護学教育学会第30回学術集会（6件、日本看護学教育学会）

＜学会役員就任状況＞日本看護学教育学会（理事）／日本看護教育学学会（看護社会保険連合学会代表）

＜学術集会運営＞日本看護教育学学会第28回学術集会／日本看護学教育学会 実習指導研修会／日本看護学教育学会 教育制度委員会主催講演会／日本看護学教育学会理事会企画 看護はなまる先生 企画・運営／日本看護教育学学会教育活動委員会主催実習指導研修企画・運営

＜所属学会・研究会＞日本看護教育学学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護技術学会／千葉看護学会／日本精神保健学会／Sigma Theta Tau International

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞実習指導研修会 講師（日本看護学教育学会）／専任教員養成講習会 看護論 講師（北海道看護協会）

### 大野 夏代

＜その他の論文＞1.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の効果（第1報）ーコピー



ング特性,精神健康度,気分状態による評価一(共著、平成30年4月、日本看護学会論文集 看護管理(2018)、pp.165—168) / 2.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の効果(第2報)一研修後の語りから一(共著、平成30年4月、日本看護学会論文集 看護管理(2018)、pp.169—172)

<学会発表> 1. Clinical nursing research with the support of university teachers: Results of cooperation that were recognized by hospital nurse managers (共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference) / 2. Clinical nursing research with the support of university teachers: Administrative achievements that were noticed by hospital nurse managers (共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference) / 3. 臨地でのマッサージに必要なリスクマネジメント(共同、平成30年8月、日本応用心理学会第85回大会) / 4. 家族を勇気づける「触れるケア」の実践と課題(共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会) / 5. グローバル化の中で求められる「国際看護の基礎」をどう育てるか一看護基礎教育課程のチャレンジ(共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会) / 6. 「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の評価(第4報) ころと身体の辛さによる評価(共同、平成30年10月、第22回日本統合医療学会) / 7. 「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の評価(第5報) 心と体の変化の記述から(共同、平成30年10月、第22回日本統合医療学会) / 8. A Survey of clinical nurses' research needs for faculty support (共同、平成30年11月、The 6th Annual Conference on Management and Social Science) / 9. 大学の研究支援を受けた看護師の看護実践の成果と課題～研究に取り組んだ看護師への調査(共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 日本国際看護学会誌第2号(2件、日本国際看護学会)

<学会役員就任状況> 日本国際看護学会(理事) / 日本看護科学学会(国際活動推進委員会委員)

<学術集会運営> 第22回日本統合医療学会

<所属学会・研究会> 日本看護科学学会 / 日本看護研究学会 / 日本国際看護学会 / 日本看護学教育学会 / 日本人間工学会看護人間工学部会 / 日本国際保健医療学会 / 日本渡航医学会 / 日本人間工学会 / 日本統合医療学会

### 貝谷 敏子

<学術論文> 1. 皮膚・排泄ケア認定看護師の組織横断的活動の成果に関する調査 第1報 褥瘡のアウトカムに関する前向き調査(共著、平成30年11月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌、22巻、3号、pp.325—334) / 2. 看護の効率性を評価する(単著、平成31年1月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌、23巻、1号、pp.1—5) / 3. 皮膚・排泄ケア認定看護師の組織横断的活動の成果に関する調査 第2報 創傷のアウトカムに関する前向き調査。(共著、平成31年2月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌、22巻、4号、pp.366—379)

<受賞等> 1. 最優秀査読賞(平成30年8月、日本褥瘡学会)

<学会発表> 1. 創傷・オストミー・失禁管理に関する災害時の困難と支援一東日本大震災時の災害掲示板の分析一(共同、平成30年6月、日本創傷オストミー失禁管理学会) / 2. 看護の効率性を評価する【会長講演】(単独、平成30年6月、日本創傷オストミー失禁管理学会)

<学会座長就任状況> 第27回日本褥瘡学会ランチョンセミナー(平成30年6月、日本褥瘡学会)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 日本創傷オストミー失禁管理学会【英語】(1件、日本創傷オストミー失禁管理学会) / 2. 第28回日本創傷オストミー失禁管理学会学術集会(6件、日本創傷オストミー失禁管理学会)

<学会役員就任状況> 日本創傷オストミー失禁管理学会(副理事長) / 日本褥瘡学会(評議委員) / 看護理工学会(査読委員会)

<学術集会運営> 第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会 / 第28回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会 / 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association

### 神島 滋子

<学術論文> 1. 札幌市南区における子育て世帯の子育て事情 乳児健診を受診した世帯の実態調査(共著、平成30年7月、SCU Journal)

<学会発表> 1. 我が国の看護師による栄養評価のためのアセスメントに関する文献検討(単独、平成30年7月、日本看護研究学会)



<学会招聘講演> 1. 新人看護師に必要な看護の基本（平成30年7月、日本脳神経看護研究学会北海道地方部会）  
 <学会座長就任状況> 一般演題（口演）座長（平成30年7月、日本看護研究学会第28回北海道地方学術集会）  
 <論文査読・学会抄録査読> 1. 日本脳神経看護研究学会誌（10件、日本脳神経看護研究学会）／2. 日本脳神経看護研究学会誌（3件、日本脳神経看護研究学会）／3. 日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌（3件、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）  
 <学会役員就任状況> 日本脳神経看護研究学会（理事）／日本脳神経看護研究学会（編集委員）／日本脳神経看護研究学会（北海道地方部会会長）  
 <学術集会運営> 日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会／日本ニューロサイエンス看護学会／日本脳神経看護研究学会  
 <所属学会・研究会> 日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本脳神経看護研究学会／高次脳機能障害学会／日本慢性看護学会／日本ニューロサイエンス看護学会／日本看護学教育学会／日本リハビリテーション看護学会／日本リハビリテーション栄養学会／日本看護管理学会／日本医療情報学会  
 <専門職者・企業・展覧会等への支援> 看護師教育について（北海道女性医師の会）／新人研修会（日本脳神経看護研究学会北海道地方）／病棟スタッフへの指導（平成29年4月～平成30年3月、北海道済生会小樽病院）／看護研究（量的研究の基本）（市立札幌病院）／中堅看護師ステップアップ研修OSCE：研修指導（平成29年8月～平成30年3月、手稲溪仁会病院）／研究発表会 座長（平成31年2月16日、北海道看護協会小樽支部）

### 菅原 美樹

<その他の論文> 1. 救急看護の実践知をつなぐ（共著、平成31年3月、日本救急看護学会誌、21巻、pp.75—76）  
 <学会発表> 1. Identifying direct care competencies of the critical care certified nurse specialist in Japan（共同、平成31年1月、22nd EAFONS）  
 <学会座長就任状況> 過大侵襲下にある患者の体液管理の考え方（平成30年7月、第14回日本クリティカルケア看護学会）／救急看護の実践知をつなぐ（平成30年10月、第20回日本救急看護学会）  
 <論文査読・学会抄録査読> 1. 日本救急看護学会（4件、第20回日本救急看護学会）／2. 日本クリティカルケア看護学会（5件、第14回日本クリティカルケア看護学会）  
 <学会役員就任状況> 日本救急看護学会（医療政策担当理事）／日本クリティカルケア看護学会（評議員 将来構想委員会委員）／看護系学会等社会保険連合（社員）／北のケア環境研究会（運営委員）  
 <学術集会運営> 第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会／第22回日本統合医療学会北海道大会  
 <所属学会・研究会> 日本救急看護学会／日本クリティカルケア看護学会／日本循環器看護学会／日本臨床救急医学会／日本集中治療医学会／日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本看護研究学会／日本災害看護学会／日本看護管理学会  
 <専門職者・企業・展覧会等への支援> トリアージナース育成研修会 9/8-9に実施予定で準備していたが直前に北海道胆振東部地震にて中止（日本救急看護学会）／認定看護分野統合に向けた検討ワーキング委員（(社)日本看護協会）／救急看護（基礎病態）セミナー（日本救急看護学会）／交流集会「救急看護実践の展望」—学会・研究者・実践者の立場から（日本救急看護学会）

### 藤井 瑞恵

<その他の論文> 1. Influence of teachers' research-support activities on their own educational-research activities（共著、平成30年7月、6th Annual Worldwide Nursing Conference (WNC 2018)、pp.97—103）  
 <学会発表> 1. 高齢者 施設入居者の口腔環境と心臓血管リスク因子低下ため基礎的調査～（共同、平成30年6月、日本循環器病予防学会）／2. Clinical Nursing Research with the Support of University Teachers - 1. Results of cooperation that were recognized by hospital nurse managers,（共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference,）／3. Clinical Nursing Research with the Support of University Teachers - 2. Administrative achievements that were noticed by hospital





nurse managers (共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference) / 4. 大学と地方の病院をスカイプによる遠隔授業で繋いだ中堅看護師研修の実践報告 (共同、平成30年8月、看護学教育学会) / 5. 看護基礎教育の講義を中堅看護師とともに学んだ授業に対する学生の反応 Skypeでつないだ遠隔授業を行って (共同、平成30年8月、看護学教育学会) / 6. 看護基礎教育の講義・演習に研修として参加した中堅看護師の学習効果と課題 (共同、平成30年8月、看護管理学会) / 7. 大学と病院を遠隔授業でつなぐ中堅看護師研修 第1報ーレディネス把握にむけた事前調査ー (共同、平成30年8月、看護管理学会) / 8. 大学と病院を遠隔授業でつなぐ中堅看護師研修の効果と課題 第2報ー受講者の研修2か月後グループインタビューからー (共同、平成30年8月、看護管理学会) / 9. 大学と病院をつなぐ遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果と課題 第3報ー教育担当者への研修2か月後インタビューからー (共同、平成30年8月、看護管理学会) / 10. インフォメーション・エクステンジ 看護コンソーシアム構築に向けて方策を探るー大学と医療施設のつながりによる継続教育への新たなモデルの提案ー (共同、平成30年8月、看護管理学会) / 11. 特別養護老人ホーム入居者の口腔の状態と機能および口腔管理の実態 (共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会) / 12. 介護福祉施設入居者の口腔状態と機能および口腔管理の実態ー口腔内アセスメントガイドを利用してー (共同、平成30年10月、日本公衆衛生学会) / 13. A survey of clinical nurses' research needs for faculty support (共同、平成30年11月、6th Annual Conference on Management and Social Science) / 14. 大学の研究支援を受けた看護師看護実践の変化ー研究に取り組んだ看護職への調査ー (共同、平成30年12月、日本看護科学学会)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 日本糖尿病看護教育学会 (2件、糖尿病看護教育学会)

<学術集会運営> 日本創傷オストミー失禁学会 (JOWCM)

<所属学会・研究会> 日本看護科学学会 / 日本看護学教育学科 / 日本慢性看護学会 / 日本糖尿病看護・教育学会 / 日本看護管理学会 / 日本透析医学会 / 日本循環器病予防学会 / 日本疫学会 / 日本公衆衛生学会 / 日本糖尿病学会 / 日本老年医学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 研究支援 (担当①グループ) (平成30年8月10日、以後はメールで指導札幌厚生病院) / 中堅看護師研修 (札幌市内3回)、道東遠隔講義 (1回) 「中堅看護師研修」 (平成30年9月21日、10月26日、11月13日、12月13日看護コンソーシアム参加表明した医療施設)

## 本田 光

<学術論文> 1. 子育てサロンに参加している母親の「人とつながる力」の因子構造 (共著、平成31年3月、北海道公衆衛生学雑誌、32巻、2号、pp.69—76) / 2. 「北海道における認知症初期集中支援チームの活動」に関する調査 (共著、平成31年3月、北海道公衆衛生学雑誌、32巻、2号、pp.93—101) / 3. 外国人患者に対する診療所の準備状況 (共著、平成31年3月、北海道公衆衛生学雑誌、32巻、2号、pp.137—141)

<著書> 1. 地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド第2版 (共著、平成30年10月、医歯薬出版、9784263237106、pp.44—49、pp.60—70)

<受賞等> 1. 学術奨励賞 (優秀論文部門) (平成31年1月、日本公衆衛生看護学会)

<学会発表> 1. Developing a Scale to Evaluate How Well Mothers with Infants Build Relationships with People in Their Communities (共同、平成30年9月、the 50th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health Conference) / 2. COC事業「まちの健康応援室」における有資格ボランティアと教員による継続的な健康づくり支援の内容 (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会) / 3. COC事業「まちの健康応援室」利用者がとらえる継続利用の有用性 (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会) / 4. 「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の効果検証-健康関連QOLの視点から (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会) / 5. 「まちの健康応援室」の継続利用による健康支援活動の効果検証 (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会) / 6. 修士課程における集団・地域支援の実践能力自己評価の2年間の推移-実践能力育成に向けた保健師教育の検討第2報 (共同、平成31年1月、第7回日本公衆衛生看護学会学術集会) / 7. 修士課程における個人・家族支援の実践能力自己評価の2年間の推移-実践能力育成に向けた保健師教育の検討第1報 (共同、平成31年1月、第7回日本公衆衛生看護学会学術集会)

<学会座長就任状況> 一般演題 (口演) 母子保健 / 癌検診 (単独、平成30年10月、第70回北海道公衆



衛生学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Public Health Nursing (2件、Public Health Nursing) / 2.BMC Health Services Research (2件、BMC Health Services Research)

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会 (評議員)

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会 / 日本地域看護学会 / 日本看護科学学会 / 日本公衆衛生学会 / 日本産業衛生学会 / 日本農村医学会 / 北海道公衆衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞特別講演会「思いが伝わる質問紙調査のつくり方」(平成31年2月9日、日本看護研究学会北海道地方会)

### 三上 智子

＜学会発表＞1.モンゴル国における先天性股関節脱臼ハイリスク群への育児指導の技術移転に関する検証(共同、平成30年7月、日本小児看護学会)

＜学術集会運営＞第27回日本創傷オストミー失禁学術集会 / 第97回北海道医学大会 学校保健分科会第53回 北海道学校保健学会

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会 / 日本学校保健学会 / 日本小児保健協会 / 日本看護科学学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護研究学会 / 日本母性衛生学会 / 日本看護管理学会 / 日本育療学会 / 日本新生児看護学会 / 北海道成育看護研究会 / 北海道小児保健研究会

＜講演会・講習会活動＞(株)クレオテック ACU学びシェアキッズワークショップ「小児看護師の仕事にチャレンジ！」(平成30年8月5日)

### 村松 真澄

＜学術論文＞1.口腔ケアシミュレータモデルの開発に現場が期待することの分析(共著、平成30年6月、日本口腔ケア学会、13巻、1号、pp.43—47) / 2.札幌市南区における子育て世帯の子育て事情乳児健診を受診した世帯の実態調査(共著、平成30年7月、SCU Journal of Design & Nursing、12巻、1号、pp.37—47) / 3.看護師と看護学生の手使いの違い 体位変換技術における手指・手掌の接触部位にかかる力に焦点を当てて(共著、平成30年9月、日本看護研究学会、41巻、4号、pp.783—794) / 4.特別養護老人ホームにおける歯科の取り組み—Oral Assessment Guide (OAG) と口腔内状況の変化—(共著、平成30年12月、北海道医療大学歯学雑誌、37巻、2号、pp.97—102)

＜その他の論文＞1.特別養護老人ホームにおける経口摂取支援についての検討(単著、平成30年12月、看護実践の科学、43巻、13号、pp.58—62)

＜学会発表＞1.現場が口腔ケアシミュレータモデルの開発に期待すること(共同、平成30年4月、日本口腔ケア学会15回) / 2.特別養護老人ホームにおける経口摂取支援についての検討(共同、平成30年6月、日本老年歯科学会29回) / 3.呼吸によって動作する人形を制作するワークショップの実施と評価～制作者の呼吸を検出するモジュールの開発とワークショップを通じた検証(共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会) / 4. Influence of teachers' research-support activities on their own educational-research activities (共同、平成30年7月、6th Annual Worldwide Nursing Conference (WNC 2018)) / 5. Clinical Nursing Research with the Support of University Teachers - 1. Results of cooperation that were recognized by hospital nurse managers (共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference) / 6. Clinical Nursing Research with the Support of University Teachers - 2. Administrative achievements that were noticed by hospital nurse managers (共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference) / 7. 特別養護老人ホームにおける口腔粘膜ケアがOAGスコアに与える影響に関するpilot study (共同、平成30年7月、第59回 日本歯科医療管理学会総会・学術大会) / 8. The validity of the Japanese version of the oral assessment guide -A survey at a university hospital (共同、平成30年7月、6th Annual Worldwide Nursing Conference (WNC 2018)) / 9. 介護福祉施設入居者の口腔の状態と機能及び口腔管理の実態 日本版OAGを使用して(共同、平成30年10月、日本公衆衛生学会第77回) / 10. 特別養護老人ホーム入居者の口腔の状態と機能及び口腔管理の実態 Oral Assessment Guideを使用して(共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会38回) / 11. 高齢者のアドバンス・ケア・プランニングに関する文献検討(共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会38回) / 12. 認知症高齢者のケアに関する看護基礎教育の文献検討(共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会38回) / 13. A町で生活する高齢者の日本語版



EuroQolに影響を及ぼす要因（共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会38回）／14.積雪期の在住高齢者の外出に対する自己効力感と目的別の外出に対する楽しみの程度との関係（共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会38回）／15.A survey of clinical nurses' research needs for faculty support（共同、平成30年11月、6th Annual Conference on Management and Social Science）／16.老年看護学臨地実習のルーブリック評価表の作成に関する研究（共同、平成30年12月、日本看護科学学会学術集会講演集38回）／17.大学の研究支援を受けた看護師の看護実践の成果と課題 研究に取り組んだ看護職への調査（共同、平成30年12月、日本看護科学学会学術集会講演集38回）／18.大学の研究支援を受けた監護親看護実践の変化 ～研究に取り組んだ看護職への調査～（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／19.継続的インタラクションを目的とした要介護高齢者のアート制作と心理評価（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第66回春季研究発表大会）／20.呼気によって動作する人形を制作するワークショップの実施と評価～制作者の呼気を検出するモジュールの開発とワークショップを通じた検証（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第67回春季研究発表大会）

＜学会シンポジウム＞1.シンポジウム1：すべての高齢者の口腔ケアを多職種連携で[高齢社会における看護教育の実践]（単独、平成30年5月、第67回日本口腔衛生学会）

＜学会招聘講演＞1.口腔ケアと全人的健康（単独、平成30年9月、日本統合医療学会）

＜学会研究発表＞1.おいしい食事・健康な体をもたらす良い姿勢を保つために－防水性・防汚性コーティングを活用した車椅子用クッションCOTEMALIの開発－)およびポスター・クッション展示,2018.11.28（共同、平成30年11月、SCU産学官金）

＜学会座長就任状況＞一般演題 ポスター 1 看護1（単独、平成30年9月、第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本摂食嚥下リハビリテーション学会（1件、日本摂食嚥下リハビリテーション学会）

＜学会役員就任状況＞日本老年看護学会（評議員）／日本口腔ケア学会（評議員）／日本摂食嚥下リハビリテーション学会（評議員）／日本口腔看護研究会（世話人）／日本公衆衛生学会（モニタリング・レポート委員会）

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会／第17回日本口腔ケア協会学術集会／第68回日本口腔衛生学会

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会評議員／日本口腔ケア学会評議員／日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員／日本看護科学学会／日本公衆衛生学会／日本看護管理学会／日本看護教育学会／日本地域看護学会／日本看護技術学会／日本認知症ケア学会／看護理工学会／日本在宅ケア学会／日本世代間交流学会会員／日本統合医療学会／日本看護研究学会／日本保健福祉学会／日本老年歯科医学会／日本歯科医学会／北海道歯学会／日本がん看護学会／北海道口腔ケア研究会／日本歯科医療管理学会／日本口腔看護研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞企画等の相談（年間、旭川口腔ケア普及会）／研究会の企画・実施（年間、飲み込み安心ネット札幌）／認知症の方への食支援の研修会を看護・介護向けに実施「認知症の方への食支援」（平成30年7月29日・8月25日、日本口腔看護研究会）／フィールドクラブと共同開発した車椅子用クッション、および口腔ケアシミュレータの展示（平成30年9月5日～7日、精密工学会）／フィールドクラブと共同開発した車椅子用クッションの展示（平成30年10月10日～12日、国際福祉機器展）／フィールドクラブと共同開発した車椅子用クッションの展示「ユニバーサルデザインセミナー」（平成30年4月21日、北のユニバーサルデザイン協議会）／他職種が学べる内容で企画（平成30年5月12日、北海道口腔ケア研究会）／口腔ケアと食支援に関する参加型研修会（平成30年6月30日、浅香山病院）／看護師による口腔ケアと地域連携（平成30年8月5日、山梨県歯科医師会）／食支援研修会（平成30年7月11日、特別養護老人ホームさつなえ）／食支援研修会（平成30年8月30日、特別養護老人ホームあそか）

## 守村 洋

＜学会発表＞1.精神看護学シミュレーション教育の構築に向けて 一看護学生が模擬患者から受けたフィードバックから－（共同、平成30年6月、日本精神保健看護学会第28回学術集会総会）／2.精神看護学シミュレーション教育の構築に向けて 一直接ケア学生と観察学生との比較検討－（共同、平成30年6月、日本精神保健看護学会第28回学術集会総会）／3.OSCEによる自殺念慮を抱くうつ病患者へ



の看護実践の評価（共同、平成30年7月、第15回日本うつ病学会総会）／4.精神看護学シミュレーション教育の効果～看護学生が模擬患者と関わることで得たケアへの自信～（共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会）／5.精神看護学シミュレーション教育の効果～模擬患者を導入したロールプレイにおける学習効果の比較～（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／6.精神看護学シミュレーション教育の効果-看護学生が模擬患者と関わることの意義-（共同、平成31年2月、第38回日本社会精神医学会）

＜講演会・講習会活動＞メンタルヘルス・スペシャリスト養成講座「精神保健」

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本精神障害者リハビリテーション学会／日本精神保健看護学会／日本救急看護学会／日本臨床救急医学会／日本自殺予防学会／日本うつ病学会／日本看護学教育学会／日本看護技術学会／日本社会精神医学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞平成30年度「生活支援員登録に向けた研修・説明会」の講師（札幌市社会福祉協議会）／札幌市中央区保健福祉課「自立支援協議会中央区地域部会との協働による地域密着型自殺対策事業」における自殺対策勉強会の講師（株式会社 石塚計画デザイン事務所）／平成30年度札幌市学校経営研修の講師 講義「子ども理解に関わる研修」（札幌市教育委員会）／平成30年度札幌市市民後見人養成研修の講師 講演内容「対人援助の基礎」（札幌市社会福祉協議会）／平成30年度 日常生活自立支援事業「生活支援員現任者研修会」の講師 内容「日常生活自立支援事業を利用した地域生活を考える」（札幌市社会福祉協議会）／啓明中学校区 青少年健全育成推進会主催講演会の講師（札幌市立啓明中学校）／自殺予防の取り組み（札幌市教育センター専門研修）／＜社会保険診療報酬算定要件研修＞精神科訪問看護基本療養費算定要件研修（北海道看護協会）／精神療養講座「うつ病とコミュニケーション」（札幌市精神障害者家屋会）／「心の健康」編集委員会（北海道精神保健協会）

## 渡邊 由加利

＜学術論文＞1. Sex-Related Violence and The Protection of Women's Health In Japan（共著、平成30年6月、Medicine and Law Journal、37巻、2号、pp.353—362）／2.「札幌市南区における子育て世帯の子育ての事情—乳児健診を受診した世帯の実態調査—」（共著、平成30年7月、SCU Journal of Design & Nursing、11巻、1号、pp.53—57）

＜著書＞1.助産師国試対策 スキルアップブック 第3版（共著、平成30年10月、海馬書房、4907921209、pp.124—157、206—249）

＜学会発表＞1.性暴力被害者支援センター北海道SACRACH—センター開設5.5年間の活動実態—（共同、平成30年8月、第37回日本思春期学会学術集会抄録集）／2.産後2週間にある母親のソーシャルサポートとエジンバラ産後うつ病自己調査票得点との関連（共同、平成30年10月、第59回日本母性衛生学会学術集会）／3.「装着型産褥子宮モデル」を使用したOSCE課題「子宮復古の観察」（共同、平成30年10月、第59回日本母性衛生学会学術集会）／4.子宮復古の観察場面での装着型産褥子宮モデル使用による学生が感じた学習効果（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.母性衛生（1件、日本母性衛生学会）／2.母性衛生（11件、日本母性衛生学会）／3.母性衛生（1件、日本母性衛生学会）

＜学会役員就任状況＞日本母性衛生学会（代議員）／北海道母性衛生学会（理事）

＜学術集会運営＞第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本思春期学会／日本看護科学学会／日本助産学会／日本看護教育学会／人間工学学会／日本看護研究学会／母性衛生学会／北海道母性衛生学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞組織強化委員会 委員長（全国助産師教育協議会）／模擬患者養成講座講義（札幌市立大学）／性暴力被害者支援のための研修講座（NPO法人ゆいネット北海道）／シャトル研修（札幌市立大学）／研究の支援（桶谷式乳房管理法研鑽会）／研究の支援（プリモ産婦人科クリニック）／ママサポートタクシーにおける妊産婦の送迎のあり方と対応（第一交通産業株式会社）／模擬患者養成講座（札幌市立大学）／模擬患者学習会（札幌市立大学）

## 伊東 健太郎

＜学会発表＞1.精神看護学シミュレーション教育の構築に向けて—看護学生が模擬患者から受けたフィードバック—（共同、平成30年6月、日本精神保健看護学会第28回学術集会・総会）／2.精神看護



学シミュレーション教育の構築に向けて一直接ケア学生と観察学生との比較検討一（共同、平成30年6月、日本精神保健看護学会第28回学術集会・総会）／3.精神看護学におけるシミュレーション教育の効果と質の向上（共同、平成30年6月、日本精神保健看護学会第29回学術集会・総会）／4.OSCEによる自殺念慮を抱くうつ病患者への看護実践の評価（共同、平成30年7月、第15回うつ病学会総会）／5.精神看護学におけるシミュレーション教育の効果一看護学生が模擬患者とかわることで得たケアへの自信一（共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会）／6.精神看護学におけるシミュレーション教育の効果一看護学生が自殺念慮のある患者に対する意識と看護実践一（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／7.精神看護学シミュレーション教育の効果一模擬患者を導入したロールプレイにおける学習効果の比較一（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／8.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の効果検証～健康関連QOLの視点から～（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／9.「まちの健康応援室」の継続利用による健康支援活動の効果検証（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／10.COC事業「まちの健康応援室」利用者がとらえる継続利用の有用性（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／11.COC事業「まちの健康応援室」における有資格ボランティアと教員による継続的な健康づくり支援の内容（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／12.公開講座「SCU患者セミナー」を中核とした地域協奏型模擬患者育成システムの検討（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／13.精神看護学シミュレーション教育の効果-看護学生が模擬患者と関わることの意義-（共同、平成31年3月、第38回社会精神医学会）

＜学術集会運営＞日本心理教育・家族ネットワーク第23回研究集会 準備活動

＜所属学会・研究会＞日本精神保健看護学会／日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本自殺予防学会／日本社会精神医学会／日本看護研究学会／日本看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞現役看護師を中心とした参加者が当事者研究を行い自身のメンタルヘルスについて分析するための支援「ケアする人が行う当事者研究」、月に1回開催、当事者研究会「ぱちぱちの会」、小松詩織）／医療職者が当事者研究を行い、生きづらさについて共有し分かち合う会の支援、1～2カ月に1回開催、当事者研究「Supaの会」、高橋美帆）

## 工藤 京子

＜論文査読・学会抄録査読＞1.札幌市立大学研究論文集（1件）

＜学会役員就任状況＞日本看護研究学会北海道地方会（事務局、会計）

＜学術集会運営＞第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本呼吸ケア・リハビリテーション学会／日本看護研究学会／日本慢性看護学会／日本看護管理学会／日本看護技術学会／日本認知症ケア学会

## 櫻井 繭子

＜学会研究発表＞1.産業看護職の労働者への支援における連携の研究動向（平成30年11月、2018年SCU産学官金研究交流会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCU Journal Design & Nursing-札幌市立大学研究論文集（1件、札幌市立大学研究論文集）

＜学会役員就任状況＞日本産業衛生学会（看護部会幹事）／日本産業衛生学会北海道地方会（役員）／北海道公衆衛生学会（評議員）／日本産業看護学会（評議員）

＜学術集会運営＞日本産業衛生学会全国協議会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本産業衛生学会／日本公衆衛生看護学会／日本産業看護学会／日本産業精神保健学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本精神保健看護学会／日本フォレンジック看護学会／日本地域看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道産業看護研修会企画・運営（本学で開催）（平成30年11月17日、日本産業衛生学会北海道地方会）／産業看護体系化委員会 北海道ワーキング・グループリーダー（ファシリテーター）（平成31年1月26日～、日本産業看護学会）



### 高橋 奈美

＜学会研究発表＞1.難病患者の生活をよりよくするために～筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の人工呼吸器装着をめぐる状況～（平成30年11月、SCU産学官金研究交流会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本慢性看護学会誌（1件、日本慢性看護学会）／2.SCU Journal Design & Nursing 札幌市立大学研究論文集（1件、市立大学研究論文集）

＜学会役員就任状況＞日本CNS学会（編集委員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本在宅看護学会／日本在宅ケア学会／日本難病看護学会／日本慢性看護学会／日本専門看護師協議会／慢性疾患看護専門看護師研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞訪問看護における神経難病患者への看護～慢性疾患看護専門看護師の立場から～（平成30年11月、札幌市立大学専門セミナー訪問看護スキルアップ講座2018、講師）

### 武富 貴久子

＜学会発表＞1.看護師が根拠に基づく看護を実践するための情報リテラシー教育のニーズに関する検討（共同、平成30年7月、第50回日本医学教育学会大会）／2.看護職のHWE特性の解明に向けた前向き研究（共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会）／3.看護職のHealthy Work Environment特性の解明に向けた前向き研究（第2報）：2016・2017年の調査より（共同、平成30年10月、第56回日本医療・病院管理学会学術総会）／4.EBNおよび看護研究の実践環境と教育的課題の検討（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会）／5.SCU患者セミナーを中核とした地域協奏型模擬患者育成システムの検討（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会）

＜学会シンポジウム＞1.Nursing students' satisfaction of the clinical learning environment and its related factors in Japan（共同、平成30年9月、CLES2018 Symposium）

＜学会座長就任状況＞看護師教育（平成30年7月、第50回日本医学教育学会大会）／血管看護の多様性（平成30年10月、第59回日本脈管学会総会）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護教育学学会／日本看護研究学会／日本医学教育学会／日本医療・病院管理学会／日本血管看護研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究支援（道内病院）／OSCE支援（北海道大学）

### 原井 美佳

＜学術論文＞1.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動ー「まちの健康応援室」継続利用による効果検証ー（共著、札幌市立大学研究論文集2019）

＜実務関係報告書＞1.平成30年度札幌市立大学看護学部キャリア支援委員会活動報告書（共著、平成31年3月、札幌市立大学、pp.1ー61）

＜調査研究報告書＞1.寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発 第3回いきいき健康塾 報告書（共著、平成31年3月、札幌市立大学、pp.1ー31）

＜学会発表＞1.Investigation of urinary incontinence in Japanese elderly women 75 to 90 years old.（共同、平成30年8月、ICS2018（フィラデルフィア））／2.特別豪雪地帯の高齢者を対象とした学官連携による健康啓発事業の実践報告（共同、平成30年10月、第77回日本公衆衛生学会総会）／3.特別豪雪地帯に居住する高齢者への健康教育実施の一考察（共同、平成30年10月、第77回日本公衆衛生学会総会）／4.「まちの健康応援室」の継続利用による健康支援活動の効果検証（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／5.COC事業「まちの健康応援室」における有資格ボランティアと教員による継続的な健康づくり支援の内容（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／6.COC事業「まちの健康応援室」利用者がとらえる継続利用の有用性（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／7.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の効果検証～健康関連QOLの視点から～（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／8.老年看護学臨地実習のルーブリック評価表の作成に関する研究（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議委員）

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会／日本老年泌尿器科学会／日本排尿機能学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本産業カウンセラー協会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本



コンチネンス協会／札幌市介護支援専門員連絡協議会／全国福祉用具専門相談員協会

### 檜山 明子

＜学術論文＞1.病院で行われている注射準備時の針交換の現状と課題（共著、平成30年4月、日本看護技術学会誌、17巻、pp.18—25）／2.Falling in Hospitalized Patients under the Influence of Soporific Agents: An Analysis of Public Adverse Event Reports on the Web（共著、平成30年4月、Journal of Medical Safety、2018巻、pp.12—21）／3.Evaluation of inter-rater reliability and accuracy of the Fall Risk Behavior Assessment Tool (FRBA-Tool) for prediction of the risk of fall（共著、平成30年4月、Journal of Medical Safety、2018 巻、pp.22—28）／4.精神科病棟に従事する看護師のための疼痛アセスメント自己評価尺度の開発（共著、平成30年6月、日本精神保健看護学会誌、27巻、1号、pp.21—31）／5.札幌市南区における子育て世帯の子育て事情・乳児検診を受診した世帯の実態調査（共著、平成30年7月、SCU Journal of Design & Nursing、12巻、1号、pp.37—47）

＜学会発表＞1.療養環境における入院患者の快・不快感に関する研究 その1.病床の熱環境と患者の快・不快感（共同、平成30年6月、日本建築学会北海道支部研究発表会）／2.Influence of Teacher's Research Support Activities on Educational Research Activities of Teachers Themselves（共同、平成30年7月、Worldwide Nursing Conference2018）／3.Clinical Nursing Research with the Support of University Teachers - 1. Results of cooperation that were recognized by hospital nurse managers（共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference）／4.Clinical Nursing Research with the Support of University Teachers - 2. Administrative achievements that were noticed by hospital nurse managers（共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference）／5.Brief in-lecture venipuncture technique simulation training for nursing students（共同、平成30年9月、4th International Conference on Education, Psychology and Society & ASMSS）／6.綿タオル及び化繊ディスプレイザブルタオルを用いた清拭の保温性とリラククス効果の比較（共同、平成30年9月、日本看護技術学会第17回学術集会）／7.A survey of clinical nurses' research needs for faculty support（共同、平成30年10月、6th Annual Conference on Management and Social Science）／8.大学の研究支援を受けた看護師の看護実践の成果と課題～研究に取り組んだ看護職への調査～（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／9.整形外科疾患患者がリハビリ期の病床で受ける照度と明るさ感（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／10.Factors Associated with Fall Risk Behaviors in Hospitalized Patients（単独、平成31年1月、International Symposium on Social Sciences and Management）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護管理学会誌（1件、日本看護管理学会）／2.日本医療・病院管理学会誌（1件、日本医療・病院管理学会）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本看護倫理学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／看護総合科学研究会／北のケア環境研究会／日本看護技術学会／日本医療・病院管理学会／看護総合科学研究会／日本看護管理学会／日本精神保健看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞運営委員（事務局）（北のケア環境研究会）

### 森川 由紀

＜調査研究報告書＞1.助産師教育における客観的臨床能力試験（OSCE）を用いた教育プログラムの開発・実践—報告書—（札幌市立大学助産学専攻科）

＜学会発表＞1.大学と病院をつなぐ遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果と課題第3報（共同、平成30年8月、日本看護管理学会）／2.大学と病院をつなぐ遠隔授業を用いた中堅看護師研修の企画・運営（共同、平成30年8月、日本看護管理学会）／3.大学と病院をつなぐ遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果と課題第2報（共同、平成30年8月、日本看護管理学会）／4.学生が看護師とともに学んだ授業の意味（共同、平成30年8月、日本看護教育学会）／5.「装着型産褥子宮モデル」使用前後のOSCE課題「子宮復古の観察」結果の検討（共同、平成30年10月、日本母性衛生学会）／6.子宮復古の観察場面での「装着型産褥子宮モデル」使用による学生が感じた学習効果（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）

＜学会シンポジウム＞1.看護コンソーシアム構築に向けて方策を探る（平成30年8月、日本看護管理学会）



### 矢野 祐美子

<学会発表> 1. 大学と病院を遠隔授業でつなぐ中堅看護師研修 第1報-レディネス把握にむけた事前調査- (共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会) / 2. 大学と病院を遠隔授業でつなぐ中堅看護師研修の効果と課題 第2報-受講者の研修2か月後グループインタビューから- (共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会) / 3. 大学と病院をつなぐ遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果と課題 第3報-教育担当者への研修2か月後インタビューから- (共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会) / 4. 看護基礎教育の講義・演習に研修として参加した中堅看護師の学習効果と課題 (共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会) / 5. 看護コンソーシアム構築に向けて方策を探る-大学と医療施設のつながりによる継続教育支援への新たなモデル展開- (共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会) / 6. 学生が看護師とともに学んだ授業の意味 看護倫理学の授業を遠隔地とつないだ教育実践から (共同、平成30年8月、第28回日本看護学教育学会) / 7. 大学と地方の病院をスカイプによる遠隔授業で繋いだ中堅看護師研修の実践報告 (共同、平成30年8月、第28回日本看護学教育学会) / 8. A大学認定看護管理者教育課程サードレベルにおける効果と課題 第1報 -受講修了後の活動状況- (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会) / 9. A大学認定看護管理者教育課程サードレベルにおける効果と課題 第2報 -修了生の認識に視点をあてて- (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会)

<学会研究発表> 1. 大学と病院を遠隔授業でつなぐ中堅看護師研修の効果と課題-受講者の研修後グループインタビューから- (平成30年11月、SCU産学官金研究交流会)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 第22回日本看護管理学会学術集会 (7件、日本看護管理学会) / 2. 日本看護管理学会誌 (1件、日本看護管理学会)

<学術集会運営> 第22回日本統合医療学会学術大会 / 日本創傷・オストミー・失禁管理学会第27回学術集会

<所属学会・研究会> 日本看護管理学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護評価学会 / 日本医療・病院管理学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 実習指導者研修1・プリセプター研修1 (平成31年1月29日、苫小牧市立病院)

### 山本 真由美

<調査研究報告書> 1. 看護実践能力を向上させるための教材開発と評価-装着型産褥子宮モデル- (共著、平成31年3月、札幌市立大学) / 2. 助産師教育における客観的臨床能力試験 (OSCE) を用いた教育プログラムの開発・実践-報告書- (共著、平成31年3月、札幌市立大学 助産学専攻科)

<学会発表> 1. 「装着型産褥子宮モデル」使用前後のOSCE課題「子宮復古の観察」結果の検討 (共同、平成30年10月、日本母性衛生学会) / 2. 第1子・第2子誕生における父親の家族に対する思いの比較 (共同、平成30年10月、北海道母性衛生学会) / 3. 子宮復古の観察場面での「装着型産褥子宮モデル」使用による学生が感じた学習効果 (共同、平成30年12月、日本看護科学学会)

<学会座長就任状況> 一般演題 第II群 (3題) (平成30年10月、北海道母性衛生学会)

<学術集会運営> 第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会

<所属学会・研究会> 日本助産学会 / 日本母性衛生学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護管理学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護研究学会 / 日本看護技術学会 / 日本看護理工学会 / 北海道母性衛生学会

### 石引 かずみ

<調査研究報告書> 1. 看護実践能力を向上させるための教材開発と評価-装着型産褥子宮モデル- (共著、平成31年3月、札幌市立大学) / 2. 助産師教育における客観的臨床能力試験 (OSCE) を用いた教育プログラムの開発・実践-報告書- (共著、平成31年3月、札幌市立大学 助産学専攻科)

<学会発表> 1. 「装着型産褥子宮モデル」使用前後のOSCE課題「子宮復古の観察」結果の検討 (共同、平成30年10月、第59回 日本母性衛生学会総会・学術集会) / 2. 子宮復古の観察場面での「装着型産褥子宮モデル」使用による学生が感じた学習効果 (共同、平成30年12月、第38回 日本看護科学学会学術集会)

<所属学会・研究会> 日本助産学会 / 日本母性衛生学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護研究学会 / 日本フォレンジック看護学会



**柏倉 大作**

＜学術集会運営＞第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護教育学会／日本看護理工学会／北海道クリティカルケア研究会

＜講演会・講習会活動＞2018年6月2日に北海道クリティカルケア研究会とアボット株式会社と共同で「栄養療法実践のための症例検討～初級編～」を運営／2018年7月7日に北海道クリティカルケア研究会と日本集中治療教育研究会看護部会と共同で「ICUの若手看護師に一步踏み込んで知ってもらいたいこと」のセミナーを運営

**近藤 圭子**

＜学会発表＞1.特別豪雪地帯の高齢者を対象とした健康啓発事業「いきいき健康塾」の実践報告（共同、平成30年10月、日本公衆衛生学会）／2.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の効果検証～健康関連QOLの視点から～（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）／3.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の効果検証（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）／4.COC事業「まちの健康応援室」における有資格ボランティアと教員による継続的な健康づくり支援の内容（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）／5.COC事業「まちの健康応援室」利用者がとらえる継続利用の有用性（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）／6.CORRELATION OF HEALTH-RELATED QUALITY OF LIFE AND SELF-EFFICACY AMONG ELDERLY PEOPLE LIVING AT HOME（共同、平成31年1月、22nd East Asian Forum of Nursing Scholars）／7.在宅高齢者のうつの可能性とソーシャルキャピタルに関する研究（共同、平成31年1月、日本公衆衛生看護学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜学術集会運営＞日本統合医療学会

＜所属学会・研究会＞日本プライマリ・ケア連合学会／日本在宅ケア学会／日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本看護科学学会／北海道公衆衛生学会／日本公衆衛生学会

**田中 里江**

＜学術論文＞1.地域保健活動におけるソーシャル・キャピタルの醸成を意図した保健師活動（共著、平成30年4月、北海道公衆衛生学会誌、31巻、2号、pp.93—99）

＜受賞等＞1.日本公衆衛生看護学会 学術奨励賞 優秀論文部門（平成31年1月、(社)日本公衆衛生看護学会）

＜学会発表＞1.定山溪におけるヘルスツーリズム（共同、平成30年10月、日本統合医療学会）／2.若手保健師が語り合い・育ちあう会（共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会）／3.がんサバイバーの就労に関する社会的問題とその支援についての文献検討（共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会）／4.高齢者の日常生活における笑いの意識とQOLについての研究（共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会学術集会（実行委員）

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本学校保健学会／看護総合科学研究会／日本統合医療学会

**牧田 靖子**

＜その他の論文＞1.乳児に対する自己抜去防止のための身体抑制（単著、平成30年10月、日総研、13巻、4号、pp.37—43）

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本小児救急医学会／日本小児集中治療研究会／日本子ども虐待防止学会／日本糖尿病教育・看護学会／北海道地域医療研究会／北海道育成看護研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞小児の怪我や症状の初期判断、下記の応急手当・ケア（擦り傷・切り傷、鼻血、捻挫・打撲、骨折、ひじが抜けたとき、歯が折れたとき、やけど、虫刺され、熱中症、のどを詰まらせたときの対処）「小児の応急手当」（平成30年10月24日、まなびばプロジェクト）



ト)

### 御厩 美登里

＜学術論文＞1.札幌市南区における子育て世帯の子育て事情—乳児健診を受診した世帯の実態調査—  
（共著、平成30年7月、札幌市立大学、12巻、1号、pp.37—47）

＜学会発表＞1.在宅看護学のOSCEによる3年次技術到達度の評価（共同、平成30年8月、日本看護学教育学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

### 大友 舞

＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本母性衛生学会／日本看護科学学会

＜講演会・講習会活動＞2018年度性暴力被害者診療支援看護職養成講座にて、診察介助方法をインストラクターとして実施「性暴力被害者に対する病院での診察（証拠採取）」（平成30年12月1日 1日間、NPO法人ゆいネット北海道）

### 鬼塚 美玲

＜学会発表＞1.母親役割を持つ看護師における看護の専門性を発揮できる職場環境の評価（共同、平成30年6月、第20回日本医療マネジメント学会学術総会）／2.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の評価（第5報）—心と体の辛さによる評価—（共同、平成30年10月、第22回日本統合医療学会学術大会）／3.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の評価（第6報）—心と体の辛さに—（共同、平成30年10月、第22回日本統合医療学会学術大会）

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会学術大会／第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本防衛衛生学会／日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本統合医療学会／日本医療マネジメント学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究支援（札幌厚生病院）／看護研究支援（自衛隊札幌病院）／院内教育体制構築へ支援（特別養護老人ホームへいわの郷）／事務局運営（広報）、特別講演会の運営（日本看護研究学会北海道地方会）

### 野呂田 美菜子

＜学会発表＞1.精神看護学シミュレーション教育の構築に向けて—看護学生が模擬患者から受けたフィードバックから—（共同、平成30年6月、日本精神保健看護学会第28回学術集会）／2.精神看護学シミュレーション教育の構築に向けて—直接ケア学生と観察ケア学生の比較検討—（共同、平成30年6月、日本精神保健看護学会第28回学術集会）／3.OSCEによる自殺念慮を抱くうつ病患者への看護実践の評価（共同、平成30年7月、第15回うつ病学会総会）／4.精神看護学におけるシミュレーション教育の効果—看護学生が模擬患者と関わることで得たケアへの自信—（共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本精神保健看護学会／日本シミュレーション医療教育学会

### 渋谷 友紀

＜学会発表＞1.Development and diffusion of Art in Hospital model with spatial therapeutic effects in Sapporo Japan（共同、平成30年6月、STTI）／2.Art in Hospital《風の家》の継続とエビデンス（共同、平成30年11月、アートミーツケア学会）／3.公開講座「SCU患者セミナー」を中核とした地域協奏型模擬患者育成システムの検討（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞Sapporo SantaRunの活動支援、SantaRunイベント運営、病院訪問「SapporoSantaRun：12月8日、病院訪問12月19日、21日」（平成30年6月～平成31年2月、SantaFun事務局）

**高橋 葉子**

＜学会発表＞1.療養環境に対して看護師が実施する効果的な環境整備（共同、平成30年9月、日本看護技術学会）

＜所属学会・研究会＞日本看護技術学会／日本看護研究学会／日本看護科学学会／日本新生児看護学会

**中田 亜由美**

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本在宅ケア学会／日本老年看護学会／日本公衆衛生学会／日本小児保健協会／北海道成育看護研究会／看護総合科学研究会

「札幌市立大学のシンボルマークについて」

札幌市立大学のシンボルマークは、  
英国の著名なクリエイティブグループtomatoの  
ジョン・ワーウィッカー氏によってデザインされました。  
雪の結晶のイメージは、札幌の自然環境を特徴づけると共に、  
大学での学習過程を図像的にあらわしたものです。(登録商標)



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

札幌市立大学年報 平成30年度 第13号

編 集 広報室

担 当 事 務 経営企画課

発 行 日 令和元年12月1日

発 行 行 札幌市立大学

〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 FAX : 011-592-2369

URL <https://www.scu.ac.jp>